取扱説明書

FOMA® SO702i '06.7

かんたん検索/目次/注意事項
ご使用前の確認
電話のかけかた/受けかた
テレビ電話のかけかた/受けかた
電話帳
音/画面/照明設定
あんしん設定
カメラ
iモード/iモーション
メール
iアプリ
iチャネル
データ表示/編集/管理
その他の便利な機能
ネットワークサービス
データ通信
文字入力
付録/外部機器連携/困ったときには
索引/クイックマニュアル

ドコモ　W-CDMA方式

このたびは、「FOMA SO702i」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書をよくお読みいただき、FOMA SO702iを正しく、効果的にお使いくださいますようお願いいたします。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中など電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

初めてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「初めてのFOMA端末」という方は、まず本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

1. 電池パックをセットし、充電しましょう（P.35、36）
2. 電源を入れ初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう（P.39、41）
3. 本体のボタンなどの役割を確認しましょう（P.26）
4. 画面に表示されるアイコンなどの意味を確認しましょう（P.28）
5. メニューの操作方法を確認しましょう（P.31）
6. 電話のかけかた/受けかたを確認しましょう（P.44、55）

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

- 「取扱説明書ダウンロード（PDFファイル）」
  （http://www.nttdocomo.co.jp/support/manual/download/index.html）

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた/引きかた

本書では、FOMA端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたを操作手順ごとに画面例などを交えて説明しています。

■本書の引きかたについて

本書では、次のような検索方法で、お客様の用途に応じて、機能やサービスの説明ページを検索することができます。

次ページで詳しく説明しております。

◆ 索引から（P.324）

あらかじめわかっている機能名・サービス名や、ディスプレイに表示される機能名から検索できます。

◆ かんたん検索から（P.4）

知りたい機能や知っていると便利な機能を目的や機能名で検索できます。

◆ 表紙インデックスから（表紙）

「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に設定したい機能の説明ページを検索できます。章扉には詳しい目次を記載しています。

◆ 目次から（P.6）

機能別に分類された章ごとに目的や機能名から検索できます。

◆ 特徴から（P.8）

新機能や便利な機能など、SO702iの特徴的な機能から検索できます。

◆ メニュー一覧から（P.278）

SO702iのメニュー項目から機能を検索できます。

◆ クイックマニュアルから（P.332）

よく使う機能などの操作手順が簡潔に記載されています。外出の際に切り離してお持ちいただけます。

■お買い上げ時の設定について

各機能のお買い上げ時の設定はメニュー一覧に記載しています。（P.278）

■本書のご使用にあたって

- 本書では「FOMA SO702i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書では"メモリースティック Duo"を使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途"メモリースティック Duo"が必要となります。
  - "メモリースティック Duo"について（P.233）
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

「発信者番号通知」をさまざまな方法で探してみましょう。

索引から(P.324)

あらかじめわかっている機能名・サービス名や、ディスプレイに表示される機能名から検索できます。

かんたん検索から(P.4)

知りたい機能や知っていると便利な機能を目的や機能名で検索できます。

表紙インデックスから(表紙)

「表紙」→「章扉(章の最初のページ)」→「説明ページ」の順に設定したい機能の説明ページを検索できます。章扉には詳しい目次を記載しています。

■操作説明のページ構成

タイトル

章タイトル

インデックス

機能名

操作のポイントとなる画面を記載しています。

知っておくと便利なこと、補足情報、注意事項などを記載しています。

ページ番号

相手に自分の電話番号を通知する

使用前の確認

発信者番号通知

お買い上げ時　通知しない

電話をかけたとき、相手の電話機（ディスプレイ）にお客様の電話番号をお知らせすることができます。

- 発信者番号は、お客様の大切な情報です。通知する際には、十分にご注意ください。

1 メニューで[NWサービス]→[発信者番号通知]→[発信者番号通知設定]を選び ◉ を押す

ネットワーク暗証番号入力画面が表示されます。

2 ネットワーク暗証番号を入力する

発信者番号通知の設定を選んでください
通知する
通知しない

[通知する]　：相手にお客様の電話番号を通知します。
[通知しない]：相手にお客様の電話番号を通知しません。

3 [通知する]/[通知しない]を選び ◉ を押す

発信者番号通知が設定されます。

設定内容を確認する場合

メニューで[NWサービス]→[発信者番号通知]→[発信者番号通知確認]を選択します。

- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知設定を[通知する]に設定するか相手の電話番号の前に「186」を付けておかけ直しください。

41

お買い上げいただいたときの初期設定を記載しています。

機能の概要や目的などを記載しています。

機能の注意事項や制限情報などを記載しています。

操作手順を順番に説明しています。

画面に表示される選択肢と説明を記載しています。

操作に関する補足説明などを記載しています。

※ 上記のページはサンプルです。実際のページとは異なります。

■メニューの表記

本書では、メニューを選択する操作を次のように省略して表記しています。

実際の操作

MENU（MENU）を押す

▲▼で[設定]にカーソルをあわせ、◉（選択）を押す

▲▼で[発着信通話]にカーソルをあわせ、◉（選択）を押す

▲▼で[着信設定]にカーソルをあわせ、◉（選択）を押す

本書の表記例

メニューで[設定]→[発着信通話]→[着信設定]を選び ◉ を押す

- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 画面は着せかえメニュー（P.99）を[Clear white]に設定した状態で記載しています。
- 本書に記載しているボタンは、一部を省略・変形して記載しています。ご了承ください。

かんたん検索

知りたい機能や知っていると便利な機能を目的別や機能名で検索できます。

通話に便利な機能を知りたい

電話番号を知らせたい/知られたくない .... P.41（発信者番号通知）
携帯電話と向きあって通話したい .... P.44（ハンズフリー）
相手の**声の音量**を変えたい .... P.91（受話音量）
相手と**小さい声**で話したい .... P.59（ささやき通話）
通話を**保留**したい .... P.59（通話中保留）
通話中に**テレビ電話に切り替え**たい .... P.46（テレビ電話切替）

出られない電話に対応したい

用件を**録音**したい .... P.65（伝言メモ/テレビ伝言メモ）
留守番電話に録音したい .... P.262（留守番電話サービス）
電話に出ずに**保留**にしたい .... P.60（応答保留）

メロディや着信ランプを変えたい

ボタンを押したときの音を消したい .... P.90（ボタン確認音量）
着信音を変えたい .... P.88（着信音）
着信相手にあわせて**着信音/着信ランプ**を変えたい ... P.80（指定着信音/指定ランプ色）
着信音の音量を変えたい .... P.88（着信音量）
マナーモードにしたい .... P.93（マナーモード）
着信を**振動**でも知りたい .... P.89（バイブレータ）
着信ランプの色を変えたい .... P.89（ランプ色）

画面表示を変えたい/知りたい

待受画面を変えたい .... P.95（待受画面設定）
時計をあわせたい .... P.40（日付時刻設定）
文字の大きさを変えたい .... P.101（文字サイズ）
画面の**アイコン**の意味を知りたい .... P.28（ディスプレイの見かた）
アイコンやメニューの**デザインを一括して**変えたい ... P.99（着せかえメニュー）

*"メモリースティック Duo"をご利用になるには、別途"メモリースティック Duo"が必要となります。（P.233）

メールを使いこなしたい

デコメールを送りたい .... P.183（デコメール作成・送信）
画像を送りたい .... P.187（ファイル添付）
一度に**5人まで同時に**メールを送りたい .... P.205（一括メールリスト）
メールを**自動で振り分けて**保存したい .... P.202（受信振分条件）
署名を付けたい .... P.203（署名編集・署名設定）

カメラを使いこなしたい

撮影する**サイズ**を変えたい .... P.130（サイズ選択）
シャッター音を変えたい .... P.135（シャッター音）
フォトライトを点灯したい .... P.129（フォトライト）
"メモリースティック Duo"に直接保存したい .... P.136（保存先選択）
撮影した**画像を表示**したい .... P.128（画像表示）

安心して電話を使いたい

シークレット登録した内容を表示したい .... P.113（シークレット表示）
番号非通知の電話を**受けたくない** .... P.115（非通知着信拒否）
電話帳にない人からの電話を**受けたくない** .... P.116（登録外着信拒否）
手元にない**携帯電話をロック**したい .... P.109（遠隔ロック設定）

こんなこともできます

よく使う機能を**簡単に呼び出し**たい .... P.254（マイセレクト）
電池を**長持ち**させたい .... P.99（省電力モード）
電卓として使いたい .... P.256（電卓）
QRコードやバーコードを取り込みたい .... P.137（バーコードリーダー）
赤外線で情報をやりとりしたい .... P.242（赤外線通信）
めざましとして使いたい .... P.250（めざまし時計）
"メモリースティック Duo"を使いたい .... P.233（"メモリースティック Duo"）
最新の**ソフトウェア**にしたい .... P.312（ソフトウェア更新）
セキュリティを最新の状態にしたい .... P.316（スキャン機能）

- かんたん検索以外での機能の検索方法については、「本書の見かた/引きかた」をご参照ください。（P.1）
- よく使う機能などの操作手順はクイックマニュアルに記載しています。（P.332）

目 次

FOMA端末のご使用にあたって
初めてFOMA端末をお使いになる方へ
本書の見かた/引きかた 1
かんたん検索 4
FOMA SO702iの特徴 8
SO702iを使いこなす！ 10
安全上のご注意（必ずお守りください） 12
取り扱い上の注意について 20
知的財産権について 22
本体付属品および主なオプション品について 24

ご使用前の確認 25

各部の名称と機能、ディスプレイ、メニュー、FOMAカード、電池パック、充電、電池残量、電源、初期設定、日付時刻設定、発信者番号通知、電話番号表示

電話のかけかた/受けかた 43

電話をかける、テレビ電話切替、リダイヤル、186/184、条件指定発信、プレフィックス設定、WORLD CALL、サブアドレス設定、再接続アラーム音、ノイズキャンセラ、車載ハンズフリー、電話を受ける、エニーキーアンサー、クローズ動作設定、着信履歴、ささやき通話、通話中保留、応答保留、公共モード、伝言メモ/テレビ伝言メモなど

テレビ電話のかけかた/受けかた 67

テレビ電話をかける、テレビ電話を受ける、キャラ電発信、テレビ電話設定など

電話帳 77

電話帳について、FOMA端末電話帳登録、FOMAカード電話帳登録、履歴の登録、グループ設定、電話帳表示、電話帳検索、電話帳設定、電話帳修正、電話帳削除、登録件数確認、ツータッチダイヤル

音/画面/照明設定 87

着信設定、本体音設定、受話音量、効果音設定、音声通話品質アラーム、イヤホン切替、マナーモード、オリジナルマナーモード、待受画面設定、アニメーション設定、発着信表示設定、照明設定、省電力モード、着せかえメニュー、メニュー設定、不在お知らせ、文字サイズ、バイリンガル

あんしん設定 103

暗証番号について、暗証番号変更、FOMAカード設定、PINロック解除、オールロック、セルフモード、PIMロック、ダイヤル発信制限、履歴表示設定、シークレット表示、着信許可/拒否、非通知着信拒否、着信呼出動作設定、登録外着信拒否など

カメラ 119

静止画撮影、動画撮影、画像表示、撮影時設定、カメラ調整、カメラ動作設定、バーコードリーダーなど

ｉモード/ｉモーション 139

ｉモードとは、ｉモードメニュー、サイト表示、ｉモードパスワード変更、インターネット接続、ブックマーク、画面メモ、画像保存、ダウンロード、Phone To・Mail To・Web To・ｉアプリTo機能、ｉモード設定、メッセージ受信、ｉモード問合せ、メッセージR/メッセージF、SSL証明書操作、ユーザ証明書操作、センター接続先選択、ｉモーションとは、ｉモーション取得など

メール 173

ｉモードメールとは、メールメニュー、ｉモードメール作成・送信、デコメール作成・送信、テンプレート、ファイル添付、ｉモードメール保存、メール自動受信、メール選択受信、ｉモード問合せ、ｉモードメール返信、ｉモードメール転送、メールアドレス登録/電話帳登録、添付ファイル再生・保存、受信メール/送信メール/保存メール、メール設定、SMS作成・送信、SMS受信、SMS問合せ、SMS設定など

ｉアプリ 211

ｉアプリとは、ダウンロード、ｉアプリ実行、自動起動/自動起動設定、ｉアプリ待受画面、ｉアプリ管理など

ｉチャネル 221

ｉチャネルとは、ｉチャネル表示

データ表示/編集/管理 225

マイピクチャ、静止画編集、ｉモーション、動画編集、キャラ電、メロディ、“メモリースティック Duo”、FOMAカード、データBOX、赤外線通信など

その他の便利な機能 247

マルチアクセス、マルチタスク、めざまし時計、スケジュール、マイセレクト、音声メモ、通話時間表示・通話料金表示、料金上限値通知設定、電卓、テキストメモ、アプリケーション設定、EV-Link、スイッチ付イヤホンマイク、自動着信設定、設定リセット、データ一括削除など

ネットワークサービス 261

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービス、迷惑電話ストップサービス、番号通知お願いサービス、デュアルネットワークサービス、英語ガイダンス、サービスダイヤル、通話中着信動作選択、遠隔操作設定、マルチナンバーなど

データ通信 267

データ通信について、データ通信の準備と流れ、ATコマンド

文字入力 271

文字入力、定型文入力、絵文字・記号入力、定型文編集、引用、文字コピー、区点コード入力、単語登録、学習情報リセット、ダウンロード辞書など

付録/外部機器連携/困ったときには 277

メニュー一覧、文字割り当て一覧、デュアルスタイル、音楽再生、故障かな？と思ったら、ソフトウェア更新、スキャン機能、主な仕様など

索引/クイックマニュアル 323

索引、クイックマニュアル

FOMA SO702iの特徴

FOMAとは、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格のひとつとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

ｉモードだからスゴイ！

ｉモードは、ｉモード端末のディスプレイを利用して、ｉモードメニューサイト（番組）やｉモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

デコメール

メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えたり、デコメールピクチャや内蔵カメラで撮影した写真を本文中に挿入できるなど、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。
また、テンプレートに対応しているので、送られてきたデコメールやサイトからダウンロードしたデコメールの様式を保存し、簡単にデコメールを作成できます。（P.183）

テレビ電話

離れている相手と顔を見ながら会話することができます。アウトカメラに切り替えて周囲の風景を相手に見せることができたり、自分の画像の代わりにキャラクタを表示させることも可能なキャラ電にも対応しています。また、通常の音声通話中でも電話を切ることなくテレビ電話へ切り替えることができます。
初期設定では相手の声がスピーカーから聞こえるようになっているのですぐに会話を始めることができます。（P.68）

ｉチャネル

ニュースや天気などのグラフィカルな情報を受信できます。
定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、(ch) を押すことでチャネル一覧を表示できます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、Flash（P.150）で作られたリッチな詳細情報を取得できます。
また、ｉチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料でおためしサービスを利用できます。（P.222）

※ お申し込みが必要な有料サービスです。

ｉアプリ、ｉアプリDX

ｉアプリをサイトから取り込むことにより、より豊かな表現でゲームを楽しんだり自動的に株価や天気情報などを更新させたりすることができます。
さらにｉアプリDXでは、電話帳やメールなどｉモード端末内の情報と連動することでよりｉアプリの楽しみかたが広がります。（P.212）

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス（有料）（P.262）
- 転送でんわサービス（無料）（P.263）
- 番号通知お願いサービス（無料）（P.264）
- 英語ガイダンス（無料）（P.264）
- キャッチホン（有料）（P.263）
- 迷惑電話ストップサービス（無料）（P.263）
- デュアルネットワークサービス（有料）（P.264）
- マルチナンバー（有料）（P.265）

*“メモリースティック Duo”をご利用になるには、別途“メモリースティック Duo”が必要となります。（P.233）

デュアルスタイル

デュアルスタイル SO01(別売)で、FOMA端末の表裏両面を着せかえ、端末の印象をがらりと変えることができます。(P.298)

高輝度ディスプレイ

240×320ドット、2.2インチの高輝度高精細TFT液晶を搭載。文字や画像、ゲームなどのｉアプリを明るく美しい表示でお楽しみいただけます。

着せかえメニュー

待受画面やメニュー画面のデザインを一括して変更できます。お買い上げ時には4種類の着せかえメニューが用意されているほか、デュアルスタイル(別売)にあった着せかえメニューを「SO@Planet」からダウンロードすることもできます。(P.99)

カメラ機能

アウトカメラとインカメラの2つのカメラで静止画、動画を撮影できます。撮影時のシーン選択、マクロ撮影モード、最大6倍ズームなど充実したカメラ機能を搭載しています。(P.120)

アウトカメラ：有効画素数約130万画素
(最大記録画素数約120万画素)

インカメラ　：有効画素数約11万画素
(最大記録画素数約10万画素)

バーコードリーダー

アウトカメラで撮影したJANコード/QRコードを読み取ることができます。読み取ったデータは、電話帳に登録したり、メール送信に利用できます。(P.137)

“メモリースティック Duo”

FOMA端末電話帳、メール、画像などのデータを“メモリースティック Duo”にコピーできます。また、“メモリースティック Duo”に保存したデータをFOMA端末で表示できます。(P.233)

コンパクト＆シンプルデザイン

デュアルスタイルを搭載、手になじむラウンドフォルムでありながらコンパクト。生活になじみやすいすっきりとしたシンプルなデザインです。独立したキーのレイアウトにより、使いやすさ、押しやすさも兼ね備えています。

スマートレイヤーメニュー

メニューの表示もマルチタスク中の機能の切替も MENU で簡単に行えます。また、立ち上げている機能の上に浮かび上がるように表示されるフローティングデザインを採用しました。(P.11)

マルチアクセス/マルチタスク

音声通話とパケット通信を同時に利用できます。通話中にｉモードメールを受信したり、ｉモード中に通話したりできます。(P.248)また、複数の機能を同時に使用できる「マルチタスク」にも対応しています。(P.249)

着信音

PCM音源128和音、声や効果音などの着信音(ADPCM音源)にも対応しています。(P.88)

“POBox”と便利な文字入力

予測変換機能“POBox”(Predictive Operation Based On eXample)を搭載。“POBox”内の候補を ▼ を1秒以上押して行単位で移動でき、目的の語句を選択できます。また、ダイヤルボタンを1秒以上押すと「あ→い→う→え→お→ぁ→…」などのダイヤルボタンに割り当てられた文字を連続して切り替えることができます。(P.272)

赤外線通信/赤外線リモコン

赤外線を利用して他のFOMA端末などとデータのやりとりを行うことができます。また、テレビなどの赤外線リモコンに対応した機器を操作することもできます。(P.242、245)

SO702iを使いこなす！

i チャネル

自分で操作することなく、いろいろな情報を定期的に受信することができます。また、(chMy)を押すことでチャネル一覧を表示することができ、さらにリッチな詳細情報を取得することができます。（P.222）

未契約

契約後

テレビ電話

©BVIG

テレビ電話で通話するときに、自分の画像の代わりにキャラクタを送信することもできます。ダイヤルボタンを押してキャラクタを動かしたり、キャラクタによっては、送話口からの音声に反応して口を動かしたりもできます。（P.73）

Gガイド番組表リモコン

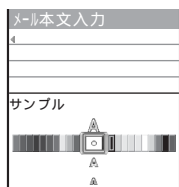
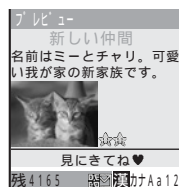
※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

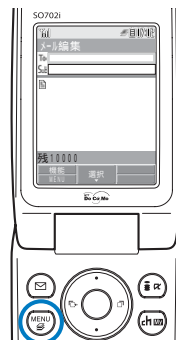
テレビ番組表とテレビリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利アプリです。
いつでもどこでも知りたい時間のテレビ番組情報を簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始/終了時間・Gコードなどを知ることができます。また、お使いのテレビのリモコン操作ができます。（一部対応していない機種もあります）（P.216）

着せかえメニュー

待受画面やメニュー画面のデザインを一括して変更できます。(P.99)

デコメール

クロスデコパレットで楽しいデコメールが簡単に作成できます。(P.183)

スマートレイヤーメニュー

メニューの表示もマルチタスク中の機能の切り替えも MENU で簡単に操作できます。また、立ち上げている機能の上に浮かび上がるように表示されるフローティングデザインを採用しました。(P.31、249)

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

区分	説明
危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

記号	説明
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水にぬらしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	ぬれた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

記号	説明
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取り扱いについて（共通） 13
FOMA端末の取り扱いについて 14
電池パックの取り扱いについて 16
アダプタ（充電器含む）の取り扱いについて 17
FOMAカードの取り扱いについて 19
医用電気機器近くでの取り扱いについて 19

FOMA端末、電池パック、アダプタ(充電器含む)、FOMAカードの取り扱いについて(共通)

⚠危険

火のそばやストーブのそば、直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

ぬらさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ(充電器含む)は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック SO01、卓上ホルダ SO02、FOMA ACアダプタ 01、FOMA DCアダプタ 01、FOMA 海外兼用 ACアダプタ 01、FOMA 乾電池アダプタ 01

※ その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

⚠警告

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末、アダプタ(充電器含む)、FOMAカードを入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ(充電器含む)の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火、爆発のおそれがある場所では、使用しないでください。

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、今までと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. 電源プラグをコンセントやソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

故障の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかを注意してください。

けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

充電、動画の撮影/再生、テレビ電話、iモード、iアプリの繰り返しや長時間連続使用すると、FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては、肌に赤み、かゆみ、かぶれなどが生じるおそれがあります。FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用する場合は特にご注意ください。

FOMA端末の取り扱いについて

警告

自動車などを運転中に使用しないでください。

2004年11月1日から運転中の携帯電話の使用は、罰則の対象となっております。ハンズフリーキットをご利用の場合でも車を安全な場所に停車してからご利用ください。運転中は、公共モードまたは留守番電話サービスをご利用ください。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、ヘッドホンの音量を上げないでください。また、周囲の交通、路面状態には気を付けてください。

事故の原因となります。

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯しないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

エアバッグ近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となるおそれがあります。

⚠警告

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用など禁止行為をした場合、法令により罰せられる場合があります。

指示

ハンズフリーを動作して通話するときは、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴になる可能性があります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末をふり回さないでください。

本人や他の人などに当たったり、ストラップが切れるなどして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどはスピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量に気を付けてください。

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためる原因となります。

禁止

万一ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した場合は、割れたガラスなどに触れないでください。

ディスプレイ部やカメラのレンズはガラスが飛び散りにくい構造となっていますが、誤って割れた切断面などに触れるとけがの原因となります。

注意

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、はさんだりしないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。また、けがの原因となりますので、スピーカーにピンなどの金属が吸着していないか確かめてからご使用ください。

禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、感電、故障の原因となります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどをはさまないようにご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となることがあります。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

リアカバーを取外すと、金属（ステンレス）を使用している箇所があります。

電池パックの取り扱いについて

■**電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取付けるときに、うまく取付けできない場合は、無理に取付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取付けてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液が目のなかに入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。

皮膚に傷害をおこす原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となることがあります。不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り絶縁してから、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

アダプタ（充電器含む）の取り扱いについて

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。

感電、発熱、火災の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災の原因となります。

雷が鳴りだしたら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。

落雷、感電の原因となります。

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、故障、感電、傷害の原因となります。

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

ぬれた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。

感電の原因となります。

警告

指定の電源、電圧で使用してください。

誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、FOMA海外兼用ACアダプタ 01を使用してください。
ACアダプタ：AC100V
FOMA海外兼用ACアダプタ
：AC100～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V
（マイナスアース車専用）

DCアダプタのヒューズが万一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

感電、ショート、火災の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電、火災、故障の原因となります。

万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。

感電、発煙、火災の原因となります。

注意

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。

感電、火災の原因となります。

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）コードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットから抜いて、行ってください。

感電の原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意

FOMAカード（IC部分）を取外すときはご注意ください。

手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■**本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（ＣＣＵ）にはFOMA端末を持ち込まないでください。

- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からＦＯＭＡ端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上の注意について

◆ 共通のお願い

●水をかけないでください。

- FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水ぬれによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

●お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

●端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

- 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

●エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

- 急激な湿度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

●FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

- 多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

●電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

◆ FOMA端末についてのお願い

**●極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。**

●一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

●お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

- 万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。

- 故障の原因となります。

●ストラップなどをはさんだまま、FOMA端末を閉じないでください。

- 故障・破損の原因となります。

●使用中、充電中、FOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

●カメラを直射日光に向けて放置しないでください。

- 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

●お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

◆ 電池パックについてのお願い

●電池パックは消耗品です。

- 十分に充電しても使用状態などによっても異なりますが、使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

●充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。

●初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

●電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

●電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが若干膨れる場合がありますが問題ありません。

●直射日光が当たらず、風通しのよい涼しい場所に保管してください。

- 長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。

◆ アダプタ(充電器含む)についてのお願い

●充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。

●次のような場所では、充電しないでください。

- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く

●充電中、アダプタ(充電器含む)が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

●DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。

- 車のバッテリーを消耗させる原因となります。

●抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

●強い衝撃を与えないでください。また、充電端子、端子ガイドを変形させないでください。

- 故障の原因となります。

◆ FOMAカードについてのお願い

●FOMAカードの取外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。

●ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。

●使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

●他のICカードリーダー/ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

●IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

●お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。

●お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

- 万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

●極端な高温・低温は避けてください。

●ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。

- データの消失、故障の原因となります。

●FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

- 故障の原因となります。

●FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。

- 故障の原因となります。

知的財産権について

◆ 著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはサイトやインターネットホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど、第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネットホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

◆ 商標について

- 「FOMA」「mova」「ｉモード」「ｉチャネル」「ｉアプリ」「ｉアプリDX」「ｉモーション」「ｉアプリサーチ」「ｉアニメ」「ｉメロディ」「ｉショット」「ｉエリア」「デコメール」「ショートメール」「メッセージF」「トクだねニュース便」「mopera U」「mopera」「DoPa」「WORLD CALL」「WORLD WING」「My DoCoMo」「マルチナンバー」「着モーション」「FirstPass」「デュアルネットワーク」「クイックキャスト」「公共モード」「セキュリティスキャン」「sigmarion」「musea」「Vライブ」「ビジュアルネット」および「FOMA」ロゴ、「i-mode」ロゴ、「i-αppli」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称およびフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズの商標です。
- JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。その他本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカの登録商標あるいは商標です。なお本文中では、™、®マークは明記していません。
- 「マルチタスク/Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- Mascot Capsule®は株式会社エイチアイの商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Macromedia、Flash、Macromedia FlashはMacromedia, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関連会社の登録商標です。
- AdobeおよびReaderは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。
- 「Gガイドモバイル」およびそのロゴ、「Gガイド」およびそのロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関係会社の日本国内における登録商標です。
- Powered by JBlend™, Copyright © 2002-2006 Aplix Corporation. All rights reserved.
JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- ImageStarはアイニックス株式会社の登録商標です。
- 本製品は、インターネット機能として株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
  NetFrontは日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright © 1996-2006 ACCESS CO., LTD.
- QuickTimeは米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- POBoxはソニー株式会社の登録商標です。
- 「MagicGate」「MagicGate Memory Stick」「Memory Stick」「Memory Stick Duo」「Memory Stick PRO Duo」「」「MEMORY STICK DUO」「MAGICGATE」はソニー株式会社の登録商標または商標です。
- 「PostPet」はソニーコミュニケーションネットワーク株式会社の登録商標です。
- 「クロスデコパレット」「スマートレイヤーメニュー」はソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- その他、本書で記載するシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカの登録商標または商標です。なお、本文中では、™、®マークは表記していません。

◆ その他

- Powered by Mascot Capsule®
- IrDA Protocol Stack「DeepCore™」© ITX E-Globaledge Corp. All rights reserved.
- 本製品はMacromedia, Inc.のMacromedia® Flash®テクノロジーを搭載しています。
  Copyright © 1995-2006 Macromedia, Inc. All rights reserved.
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-4よりライセンスを受けた提供者により記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品にはSymbian Software Ltd.よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。
  Symbian、Symbian OS、およびすべてのSymbian関連の商標およびロゴはSymbian Software Ltd.の商標または登録商標です。
  © 1998-2006 Symbian Software Ltd. All rights reserved.

symbian

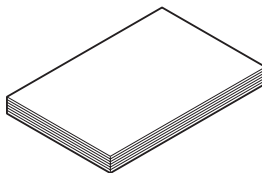
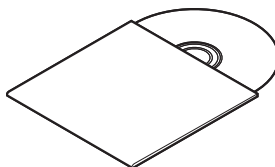
◆ Windowsの表記について

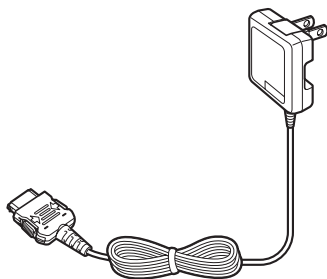
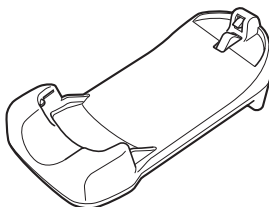
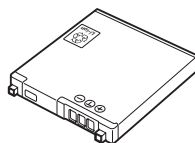
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
- Windows® 98SEは、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating systemの略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

本体付属品および主なオプション品について

■本体付属品

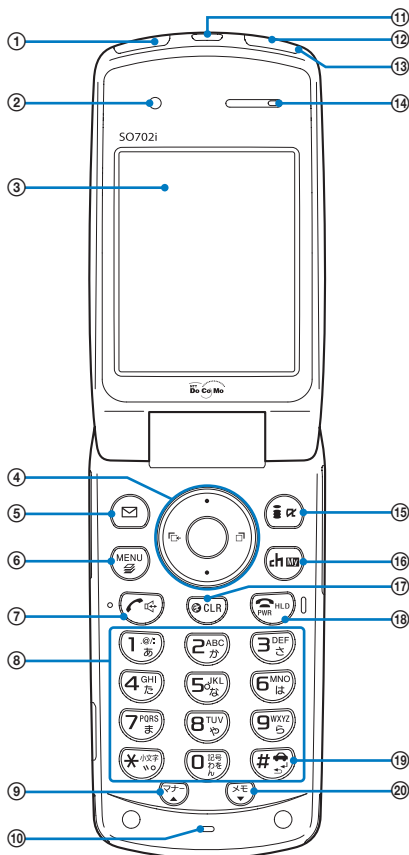
FOMA SO702i
（保証書、フロントカバー SO01、
リアカバー SO02 含む）

取扱説明書（本書）
（クイックマニュアル添付 P.332）

FOMA SO702i用CD-ROM
（「データ通信マニュアル」（PDF形式）収録）

■主なオプション品

FOMA ACアダプタ 01
（保証書、取扱説明書 付き）

卓上ホルダ SO02
（取扱説明書 付き）

電池パック SO01
（取扱説明書 付き）

- その他のオプション品について（P.299）

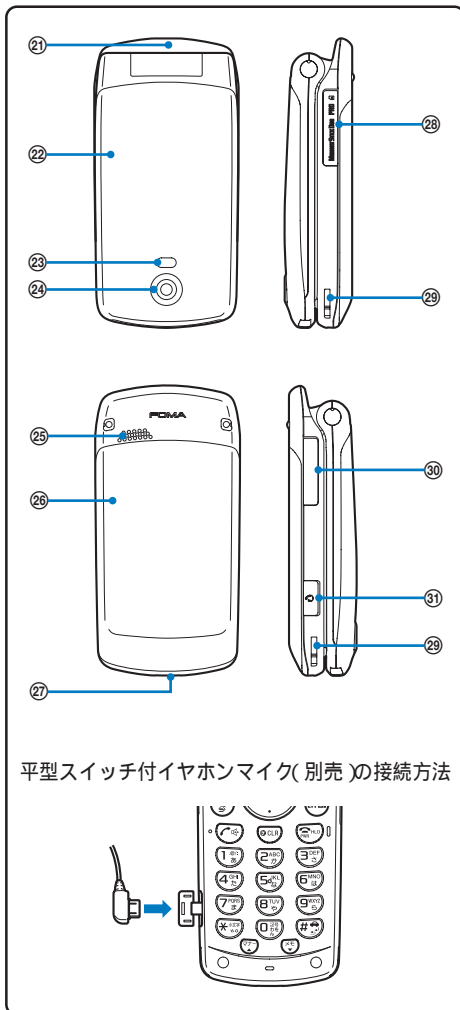
ご使用前の確認

各部の名称と機能 26
ディスプレイの見かた 28
メニューの選択方法 31
FOMAカードを使う 33
電池パックの取付けかた/取外しかた 35
携帯電話を充電する 36
電池残量の確認のしかた .... 〈電池残量〉 38
電源を入れる/切る .... 〈電源ON/OFF〉 39
初期設定を行う .... 〈初期設定〉 39
日付・時刻をあわせる .... 〈日付時刻設定〉 40
相手に自分の電話番号を通知する .... 〈発信者番号通知〉 41
自分の電話番号を確認する .... 〈電話番号表示〉 41

各部の名称と機能

FOMA SO702i

サイズ（mm）	：高さ 94 × 幅 47 × 厚さ 23 （高さ・厚さは本体を閉じたとき）
質　量（g）	：約103（電池パック装着時）

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）の接続方法

＊“メモリースティック Duo”をご利用になるには、別途“メモリースティック Duo”が必要となります。（P.233）

① **着信ランプ**
電話がかかってきたときやメールを受信したときに点滅します。不在着信や新着メール/未読メッセージがあるときは、点滅してお知らせします。(P.89、101)
デュアルスタイル(フロントカバー)を取外すときにここを押します。(P.298)

② **インカメラ**
静止画や動画を撮影(P.129)したり、テレビ電話時に自分側の映像を送信(P.69)します。

③ **ディスプレイ**(P.28)

④ **4方向ボタンと決定ボタン**(P.28)

⑤ **メールボタン**
待受画面で押すとメールメニュー(P.181)を表示し、1秒以上押すとｉモード問合せ(P.165、191)をします。
ガイド表示の項目を選択します。(P.30)

⑥ **メニューボタン**
メニューを表示します。(P.31、249)
ガイド表示の項目を選択します。(P.30)

⑦ **発信/ハンズフリー切替ボタン**
音声電話をかけるときや音声電話/テレビ電話を受けるときに押します。
通話中に押すとハンズフリーのON/OFFを切り替えます。(P.44)

⑧ **ダイヤルボタン**
電話番号や文字を入力します。(P.285)

⑨ **マナーボタン**
待受画面で押すとマナーモード設定画面(P.94)を表示し、1秒以上押すとマナーモード(P.93)を設定/解除します。
表示内容を画面単位で前の画面にスクロールします。

⑩ **送話口**
自分の声をここから伝えます。手などでふさがないようにしてください。

⑪ **マクロ撮影切替スイッチ**
マクロ撮影するときに「」の方向にスライドします。(P.125)

⑫ **赤外線ポート**
赤外線通信を行うとき(P.242)やリモコンとして使うとき(P.245)は、ここを通信相手の機器に向けます。

⑬ **充電ランプ**
充電中は赤色に点灯します。(P.36)

⑭ **受話口**
相手の声がここから聞こえます。

⑮ **ｉモードボタン**
待受画面で押すとｉモードメニュー(P.146)、1秒以上押すとｉアプリフォルダ一覧画面(P.214)を表示します。
ガイド表示の項目を選択します。(P.30)

⑯ **ｉチャネル/マイセレクトボタン**
テレビ電話をかけるときや受けるときに押します。(P.69、72)
待受画面で押すとチャネル一覧画面(P.223)、1秒以上押すとマイセレクト(P.254)を表示します。
ガイド表示の項目を選択します。(P.30)

⑰ **クリアボタン**
操作を中止します。
ｉアプリ待受画面で押すとソフトを操作できます。(P.218)
待受画面で1秒以上押すと通知情報アイコンを消去します。(P.30)

⑱ **電源/終了/応答保留ボタン**
電話の電源を入れるときや切るときに押します。(P.39)
通話を終了するときやマルチタスクの機能を終了するときにも押します。
音声電話、テレビ電話着信中に押すと応答を保留できます。(P.60)

⑲ **#/公共モード(ドライブモード)ボタン**
待受画面で1秒以上押すと公共モード(ドライブモード)を設定/解除します。(P.60)

⑳ **メモボタン**
待受画面で押すと伝言メモ画面(P.65)を表示し、1秒以上押すと伝言メモを設定/解除します。(P.63)
表示内容を画面単位で次の画面にスクロールします。

㉑ **アンテナ部(アンテナ内蔵)**
よりよい条件で電話を利用するために、手でおおわないようにしてお使いください。

㉒ **デュアルスタイル(フロントカバー)**(P.298)

㉓ **セルフタイマーランプ/フォトライト**
カメラモード中に赤く点灯し、動画を撮影するときやセルフタイマーで撮影するときに赤く点滅します。(P.127、130)
また、アウトカメラを利用するときにフォトライトとして点灯します。(P.129)

㉔ **アウトカメラ**
静止画や動画を撮影(P.124、127)したり、テレビ電話時に周囲の映像を送信(P.69)します。

㉕ **スピーカー**
着信音などがここから鳴ります。

㉖ **デュアルスタイル(リアカバー)**(P.35)

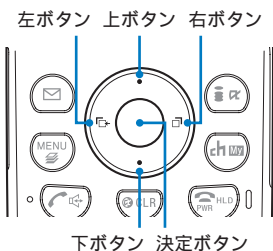
㉗ **ストラップ取付け部**
ストラップを取付ける場所です。

㉘ **“メモリースティック Duo”挿入口**
“メモリースティック Duo”をここから挿入します。カバーを無理に引っ張らないでください。(P.233)

㉙ **充電端子**(P.37)

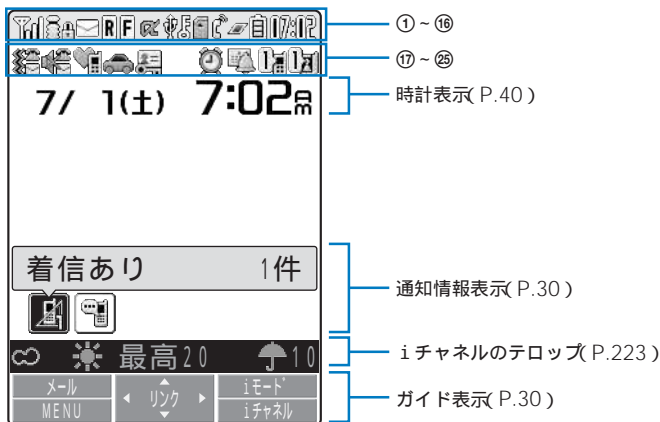
㉚ **外部接続端子**
ACアダプタ(別売)などを接続するための端子です。カバーを無理に引っ張らないでください。(P.37)

㉛ **イヤホンマイク端子**
平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続します。
イヤホンジャック変換アダプタ(別売)を使用すると従来のスイッチ付イヤホンマイク(別売)などもご利用になれます。カバーを無理に引っ張らないでください。(P.258)

4方向ボタンと決定ボタン

操　作	本書の表記	説　明
決定ボタン	●	選択した項目を決定します。 カメラモードではシャッターとして働きます。 (P.124、127)
上ボタン	▲	カーソルを上に移動します。1秒以上押すと連続してカーソルが移動します。 待受画面で押すとデータBOXが表示されます。
下ボタン	▼	カーソルを下に移動します。1秒以上押すと連続してカーソルが移動します。 待受画面で押すと電話帳が表示されます。
左ボタン	◀	カーソルを左に移動します。1秒以上押すと連続してカーソルが移動します。 また、前の画面に戻ります。 待受画面で押すと着信履歴が表示されます。
右ボタン	▶	カーソルを右に移動します。1秒以上押すと連続してカーソルが移動します。 また、次の画面に進みます。 待受画面で押すとリダイヤルが表示されます。

ディスプレイの見かた

• カメラモード中のアイコンの詳細は、P.123をご覧ください。

*“メモリースティック Duo”をご利用になるには、別途“メモリースティック Duo”が必要となります。(P.233)

① 電波受信レベル

② iモード中(P.146)
iモード通信中
パケット通信中(P.268)
パケット通信データ送受信中(P.268)

③ 圏外
セルフモード設定中(P.111)
FOMAカード以外のカード挿入中
赤外線機能実行中(P.244)

④ SSLサイト表示中(P.147)/SSLサイトからダウンロードしたiアプリのソフト起動中(P.214)/ソフトウェア更新でSSL通信中(P.314)

⑤ 未読iモードメールあり(P.189)/未読SMSあり(P.209)/未読iモードメールと未読SMSあり
FOMA端末内の受信iモードメール・SMSが満杯/FOMAカード内のSMSが満杯
iモードセンターにメールあり/iモードセンターが満杯

⑥ 未読メッセージRあり(P.164)/FOMA端末内のメッセージRが満杯
iモードセンターにメッセージRあり/iモードセンターが満杯

⑦ 未読メッセージFあり(P.164)/FOMA端末内のメッセージFが満杯
iモードセンターにメッセージFあり/iモードセンターが満杯

⑧ iアプリ(iアプリ待受画面)実行中/iアプリDX実行中(P.214)
iアプリ待受画面設定中/iアプリDX待受画面設定中(P.218)

⑨ USBケーブルで外部機器と接続中
ハンズフリー対応機器と接続中(P.54)

⑩ シークレット表示を[ON]に設定中(P.113)

⑪ “メモリースティック Duo”挿入中(P.233)

⑫ 赤外線リモコン使用中(P.245)

⑬ 音声通話中
テレビ電話通話中(64K)/テレビ電話通話中(32K)(P.68)
64Kデータ通信中(P.268)

⑭ 起動中タスク1件/2件/3件以上(P.249)

⑮ 電池残量(P.38)

⑯ 現在時刻(24時間表示)

⑰ 電話着信バイブレータ設定中(P.89)
メール着信バイブレータ設定中(P.89)
電話着信とメール着信バイブレータ設定中(P.89)

⑱ 電話着信音量OFF(P.88)
メール着信音量OFF(P.88)
電話着信とメール着信音量OFF(P.88)

⑲ マナーモード設定中(はピンク)(P.93)
サイレントモード設定中(P.93)
オリジナルマナーモード設定中(は青)(P.93)

⑳ 公共モード(ドライブモード)設定中(P.60)

㉑ PIMロック設定中(P.111)
ダイヤル発信制限設定中(P.112)
PIMロックとダイヤル発信制限設定中(P.111、112)

㉒ めざまし時計設定中(P.250)

㉓ スケジュールアラーム設定中(P.251)

㉔ 伝言メモ設定中(は白)(P.63)
未再生伝言メモあり(は水色)
未再生伝言メモなし(は青)

伝言メモ設定OFF(伝言メモあり)(はグレー)
未再生伝言メモあり(は水色)
未再生伝言メモなし(は青)
に録音件数を表示します。録音件数が満杯になると「F」を表示します。

㉕ テレビ伝言メモ設定中(は緑)(P.63)
未再生テレビ伝言メモあり(は水色)
未再生テレビ伝言メモなし(は青)

テレビ伝言メモ設定OFF(伝言メモあり)(はグレー)
未再生テレビ伝言メモあり(は水色)
未再生テレビ伝言メモなし(は青)
に録画件数を表示します。録画件数が満杯になると「F」を表示します。

● FOMA端末のディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

通知情報表示

電話がかかってきて応答できなかった場合など、通知情報表示にアイコンを表示してお知らせします。アイコンは新着順に左から表示されます。
アイコンにカーソルをあわせると文字情報が表示され、選択すると通知情報を確認できます。アイコンは通知情報を確認するか、CLRを1秒以上押すと消去されます。

アイコン	文字情報	内　容
	着信あり X件	音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の不在着信がありました。(P.63)
	新着メールあり X件	ｉモードメール/SMSを受信しました。(P.189、209)
	センターに ✉ あり	ｉモードセンターにメールが保管されています。(P.189)
	新規伝言メモあり	伝言メモが録音されました。(P.64)
	新規テレビ伝言メモあり	テレビ伝言メモが録画されました。(P.64)
※1	料金上限値超過	積算通話料金が上限値を超えました。(P.256)
	留守番メッセージ X件	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが保存されました。(P.262)
	待受解除 セキュリティエラー	ｉアプリ待受画面セキュリティエラーが発生しました。(P.219)
	ソフトウェア更新完了	ソフトウェア更新が完了しました。(P.314)
	ソフトウェア更新説明あり	ソフトウェア更新の確認情報があります。(P.314)
※1	パターンデータ更新成功	パターンデータの自動更新が成功しました。(P.318)
※1	パターンデータ更新推奨	パターンデータの自動更新に失敗しました。更新を行う必要があります。(P.318)
※1※2	未終了機能あり	起動中の機能があります。(ｉアプリ待受画面を除く)(P.249)

※1 CLRを1秒以上押しても、アイコンは消去されません。
※2 複数のアイコンが表示されているときは1番右に表示されます。

ガイド表示

FOMA端末の機能を利用するには、ガイド表示に従って4方向ボタン(上下左右ボタン)、決定ボタン、メールボタン、ｉモードボタン、メニューボタン、ｉチャネル/マイセレクトボタンを操作します。

画面表示	操　作	画面表示	操　作
メール MENU リンク ｉモード ｉチャネル	決定ボタンを押します。	メール MENU リンク ｉモード ｉチャネル	メールボタンを押します。
メール MENU リンク ｉモード ｉチャネル	上ボタンを押します。	メール MENU リンク ｉモード ｉチャネル	ｉモードボタンを押します。
メール MENU リンク ｉモード ｉチャネル	下ボタンを押します。	メール MENU リンク ｉモード ｉチャネル	MENUを押します。
メール MENU リンク ｉモード ｉチャネル	左ボタンを押します。	メール MENU リンク ｉモード ｉチャネル	chを押します。
メール MENU リンク ｉモード ｉチャネル	右ボタンを押します。		

● サイトやｉアプリのソフトによっては、上記と異なることがあります。

メニューの選択方法

お買い上げ時 | メニュー画面の表示サイズ：通常サイズ

FOMA端末では、さまざまな機能を実行できます。
MENU（MENU）を押すと、メニュー画面が表示されます。メニュー画面を［通常モード］と［シンプルモード］で切り替えたり、通常モードのメニューアイコンを変更できます。（P.100）
通常モードのメニュー一覧はP.278を参照してください。

通常モード

アイコン	メニュー名	説　明
	エンタテインメント	マイセレクト、カメラ、メモリースティックなどを利用するときに使用します。
	メール	ｉモードメール、SMSを利用するときに使用します。
	ｉモード	ｉモードを利用するときに使用します。
	ｉアプリ	ｉアプリを利用するときに使用します。
	電話	電話番号表示、電話帳、履歴、伝言メモなど、主に電話に関わる機能を利用するときに使用します。
	生活ツール	バーコードリーダー、赤外線受信、めざまし時計、スケジュール、テキストメモ、電卓などの生活ツールを利用するときに使用します。
	データBOX	マイピクチャ、ｉモーション、メロディ、キャラ電などのデータを利用するときに使用します。
	設定	画面設定、発着信通話、アプリケーション設定、ロック/セキュリティ、管理などの項目を設定するときに使用します。
	NWサービス	留守番電話、キャッチホン、転送でんわ、発信者番号通知、通話料金表示、マルチナンバー、テレビ電話切替通知などネットワークサービスを利用するときに使用します。

シンプルモードのメニュー一覧はP.284を参照してください。

シンプルモード

メニュー名	説　明
電話	電話帳、履歴、伝言メモ、電話番号表示を利用するときに使用します。
メール	受信メール、送信メール、保存メール、新規メール作成、ｉモード問合せを利用するときに使用します。
ｉモード	ｉMenu、ブックマーク、画面メモ、ｉチャネルを利用するときに使用します。
カメラ	カメラで撮影したり、撮影した画像を表示するときに使用します。
設定/ツール	待受画面設定、着信設定、めざまし時計、電卓、通話料金・時間、留守番電話を利用するときに使用します。
通常メニュー	通常モードのメニュー画面を表示します。

- 通常モードのメニューは、ch（拡大）/ ch（縮小）を押して文字の表示サイズを拡大/縮小できます。
- 薄く表示されているときは、その機能を実行できません。

メニュー画面から機能を選択する

メニュー画面を操作して機能を簡単に実行できます。

1 (MENU)**を押す**

メニュー画面が表示されます。

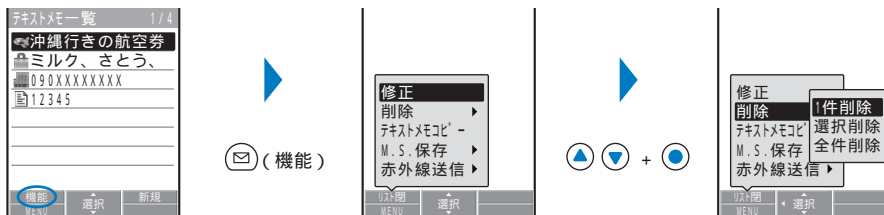
2 **でメニューを選び** **を押す**

各機能が選択されます。

● メニュー画面ではダイヤルボタンを押して機能を実行できます。ダイヤルボタンで実行できる機能については、メニュー一覧(P.278)をご覧ください。

機能メニューから機能を選択する

機能メニューとは、各機能の補助的な役割を果たすメニューです。
機能メニューが利用できるときは、ガイド表示に[機能]と表示されます。 を押すと、利用できる機能メニューが一覧表示されます。

• 機能メニューの内容は、機能や画面によって異なります。詳しくは各機能の操作説明をご覧ください。

FOMAカードを使う

FOMAカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されるカードです。FOMA対応の端末に挿入して使用します。

FOMAカードの取付けかた/取外しかた

FOMAカードの取付けや取外しは、FOMA端末の電源を切ってFOMA端末を閉じ、電池パックを取外してから、手で持って行ってください。

- FOMAカードを無理に取付けようとすると、FOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。

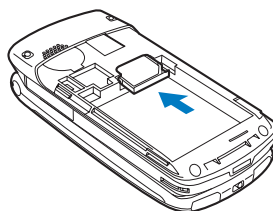
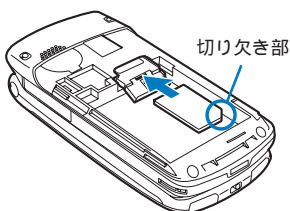
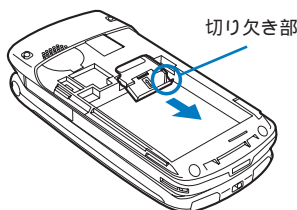
■取付けかた

1 FOMAカードトレイを引き出す

トレイが止まるところまで引き出します。

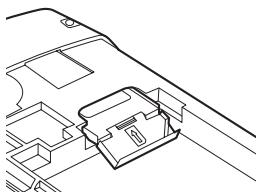
2 IC面を下にしてFOMAカードをトレイにのせる

FOMAカードとトレイの切り欠き部分をあわせてください。

3 トレイを奥まで押し込む

■取外しかた

1 FOMAカードトレイを引き出す

2 FOMAカードを引き抜く

FOMAカードトレイが外れた場合

FOMAカードトレイの矢印が見える面を上にして、まっすぐに押し込んでください。

- FOMAカードを外してから行ってください。

● 取外したFOMAカードはなくさないようにご注意ください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号があります。
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、4～8桁の任意の数字に変更できます。（P.106）

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末にはお客様のデータやファイルを保護するための機能としてFOMAカード動作制限機能が搭載されています。FOMA端末にお客様のFOMAカードを取付けている状態でテレビ伝言メモを録画したり、サイトやメールなどからファイルやデータを取得すると、それらのデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。

- FOMAカードを差し替えた場合やFOMAカードが取付けられていない場合、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは表示、再生、赤外線通信、メール添付などができなくなります。
- 動作制限の対象となるデータは次のとおりです。
  - 静止画(アニメーション、Flashを含む)
  - 動画/ｉモーション
  - ｉモードメールに添付されているファイル
  - テレビ伝言メモ
  - デコメール本文中に挿入されている画像
  - 画面メモ(動作制限の対象を含む場合)
  - メロディ
  - メッセージR/Fに添付されているファイル
  - ｉアプリ(ｉアプリ待受画面を含む)
  - キャラ電
- FOMAカード動作制限が付いているデータには「」が表示されます。データによっては「」が表示されず、データを選択したときにメッセージが表示されることがあります。

● FOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを待受画面や発着信画像、着信音などに設定しているとき、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを挿入せずに使用したりすると、音や画像の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。この場合、設定されている音や画像と、実際に鳴動する音や表示される画像が異なることがあります。

● 赤外線通信や“メモリースティック Duo”、データリンクソフトを利用して入手したデータや内蔵のカメラで撮影した画像には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。

FOMAカードに保存される設定

次の設定はFOMAカードに保存されます。FOMAカードを差し替えると、差し替えたFOMAカードに保存されている設定が有効になります。

- バイリンガル
- SSL証明書
- SMS設定
- FOMAカード設定

FOMAカードの機能差分について

FOMAカードには緑色と青色の2種類があり、それぞれのカードは次のように機能が異なります。

項　目	FOMAカード(緑色)	FOMAカード(青色)	参　照
FOMAカード電話帳に登録可能な電話番号の桁数	最大26桁	最大20桁	P.81
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用可	利用不可	P.168
WORLD WINGサービスの利用	利用可	利用不可	P.35
サービスダイヤル ([ドコモ故障問合せ]および[ドコモ総合案内・受付]の利用)	利用可	利用不可	P.264

*“メモリースティック Duo”をご利用になるには、別途“メモリースティック Duo”が必要となります。(P.233)

WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応のFOMA端末や海外用携帯電話（W-CDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。
WORLD WINGはお申し込み手続きなしでご利用いただけます。

※ 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをご契約いただいていないお客様は、WORLD WINGをご利用される場合、別途お申し込み手続きが必要となります。

- 一部ご利用いただけない料金プランがございます。
- 万一、FOMAカード（緑色）を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きを取ってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取付けかた/取外しかた

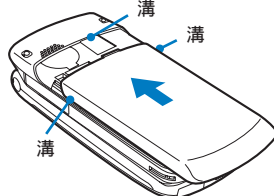
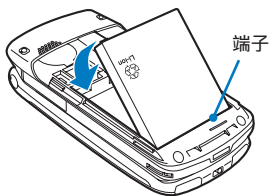
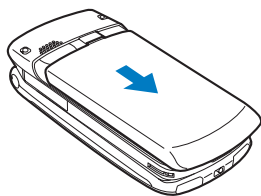
電池パックおよびデュアルスタイル（リアカバー）の取付け/取外しは、必ずFOMA端末の電源を切ってFOMA端末を閉じてから行ってください。

- 電池パックを無理に取付けようとすると、FOMA端末の端子が壊れることがあります。
- 力を入れすぎたり、下記以外の方法でリアカバーの取付け/取外しを行ったりすると破損するおそれがあります。

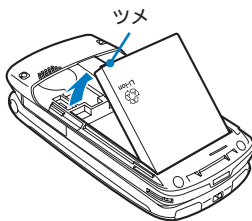
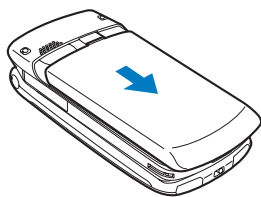
■取付けかた

1 リアカバーを指で押しながら矢印の方向にスライドして取外す

2 電池パックの下図の面を上にして、FOMA端末と電池パックの端子をあわせてはめ込む

3 約1cm開けた状態でリアカバー上部と側面の突起部をFOMA端末の溝にあわせ、矢印の方向にスライドして取付ける

■取外しかた

1 リアカバーを指で押しながら矢印の方向にスライドして取外す

2 電池パックのツメ部を持って矢印の方向に持ち上げて取外す

● 電池パックを取付けるときは、必ずFOMAカードのトレイが出ていないことを確認してください。トレイが出ていると電池パックを取付けることができません。無理に取付けようとするとFOMAカードやトレイが壊れることがあります。

電池パックについて

FOMA端末の性能を十分に発揮するために、電池パック SO01をご利用ください。

■電池パックの寿命

電池パックは消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すごとに1回の使用時間が短くなっていきます。
1回の使用時間が使用開始時に比べて半分以下になったら、電池パックの寿命とお考えください。
(電池パックの寿命の目安は約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなることがあります)

環境保全のため、不要になった電池パックはNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

携帯電話を充電する

お買い上げ時、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

充電について

- 別売りのACアダプタ、卓上ホルダ、DCアダプタに接続するときは、必ずFOMA端末に電池パックを取付けてください。電池パックが取付けられていないと、充電できません。
- 充電中にテレビ電話、データ通信、iアプリなどを使用すると、FOMA端末が高温になり充電が停止されることがあります。また、FOMA端末が高温のときに充電すると、充電が開始されないことがあります。この場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って再度充電してください。
- FOMA端末の充電ランプが赤色に点滅したときは、FOMA端末の温度が下がるのを待ったり、電池パックを取付け直してください。
  それでも点滅する場合は、電池パックの不良も考えられます。直ちに充電を中止して、ドコモショップなど窓口にご相談ください。
- 電源を入れたまま長時間(1日以上)充電しないでください。充電が完了してもFOMA端末の電源が入っていると、電池残量が減少します。この場合は再度充電を行いますが、再充電の途中でFOMA端末を取外した場合、次のような状態になることがあります。
  - 電池残量が少ない　- 電池警告音が鳴る　- 短時間しか使えない

■充電時間・使用時間の目安

充電時間(ACアダプタ)	連続通話(通信)時間	連続待受時間
約130分	音声電話時：約145分 テレビ電話時：約90分	静止時：約500時間 移動時：約390時間

- 充電時間とは、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電した時間の目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。
- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かないか、弱い場合など)などにより、通話(通信)・待受時間は約半分程度になることがあります。iモード通信を行うと通話(通信)・待受時間は短くなります。また、通話やiモード通信をしなくても、iモードメールの作成、ダウンロードしたiアプリやiアプリ待受画面の起動、データ通信やマルチアクセスの実行、カメラの使用などによっても通話(通信)・待受時間は短くなります。

充電のしかた

別売りの卓上ホルダ SO02とFOMA ACアダプタ 01を組み合わせて充電します。卓上ホルダ、ACアダプタの取扱説明書も必ずご覧ください。
電池パック単体での充電はできません。

1 **卓上ホルダ底面の接続端子に、ACアダプタのコネクタを、刻印面を上にして水平に差し込む**

2 **ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントに差し込む**

3 **FOMA端末の充電端子を卓上ホルダの凸部にあわせた後(①)、FOMA端末を矢印の方向に押し込む(②)**

充電が開始され、充電ランプが赤色に点灯します。充電が完了すると充電ランプが消灯します。

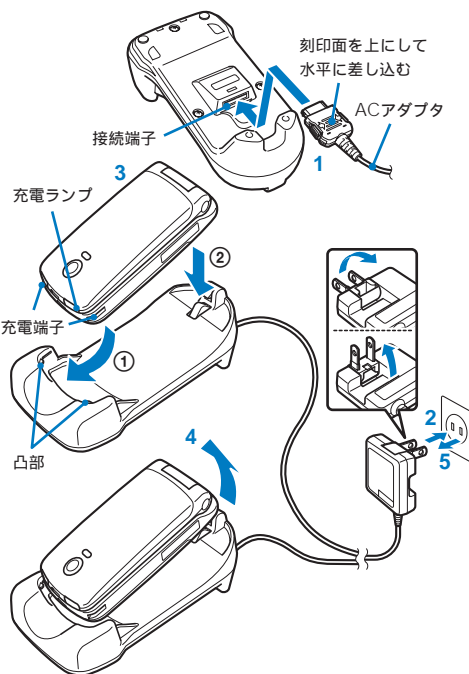
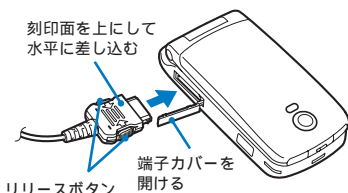
電源を入れたまま充電した場合

電池残量アイコンが点滅し、充電確認音が鳴ります。充電が完了すると電池残量アイコンが点灯し、充電確認音が鳴ります。

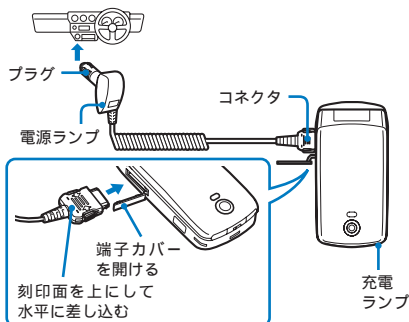
- 充電確認音は、本体音設定で鳴らないように設定することもできます。(P.90)

※ 電池残量がゼロの状態で電池パックを充電する場合、充電開始時に充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は始まっています。

4 **充電が完了したら、FOMA端末を卓上ホルダから上に持ち上げて外す**

5 **ACアダプタの電源プラグをAC100Vコンセントから抜く**

■ACアダプタのみで充電する場合

- ACアダプタを取り外す場合は、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

■DCアダプタで充電する場合

別売りのFOMA DCアダプタ 01を使用すると、自動車のシガーライタソケット(12V/24V)から充電できます。詳しくはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

- 長時間使用しないときは、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ストラップをFOMA端末と卓上ホルダの間にはさまないようにしてください。
- DCアダプタのヒューズ(2.0A)は消耗品ですので、交換に際してはお近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池残量の確認のしかた

ディスプレイに電池残量の目安が表示されます。

- 電池残量は、あくまでも目安としてご利用ください。

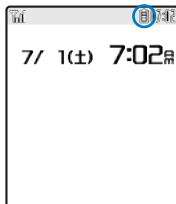



表　示	電池パックの状態
	十分残っています。
	少なくなっています。
	ほとんど残っていません。充電してください。
（点滅）	残量ゼロです。充電してください。

● 電池残量がゼロになると右の画面が表示され、警告音が鳴ります。警告音は、他の音が鳴っている場合など鳴らないことがあります。通話中は受話口から警告音が鳴ります。約20秒後に再度警告音が鳴り起動中の機能を終了します。通話中も通話を終了します。充電が行われない場合、約60秒後に自動的に電源が切れます。

電池残量を音と表示で確認する

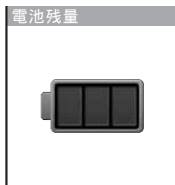
- ボタン確認音量を［OFF］に設定しているときは、確認音は鳴りません。（P.90）

1 **メニューで［設定］→［管理］→［電池残量］を選び ◉ を押す**

現在の電池の残量がイラストで表示され、残量のレベルにあわせて確認音が鳴ります。

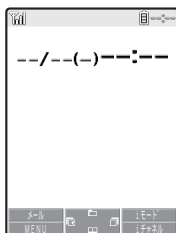
十分残っています。（ピーピーピー）

少なくなっています。（ピーピー）

ほとんど残っていません。充電してください。（ピー）

残量ゼロです。充電してください。（無音）

電源を入れる/切る

- 電源を入れるとソフトウェア更新を実行するかどうかを確認する画面が表示されることがあります。(P.312)

1 を2秒以上押す

電源が入りディスプレイとボタンの照明が点灯し、ウェイクアップ画像(アニメーション)が表示されます。しばらくすると待受画面になります。

- PIN1コード入力設定を[ON]に設定している場合は、PIN1コード入力画面が表示されます。PIN1コードを入力して (OK)を押します。(P.106)

電源を切る場合

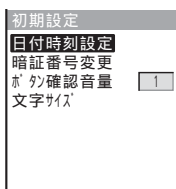
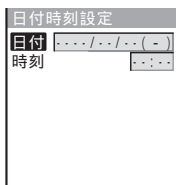
を2秒以上押します。パワーオフ画像が表示されたあと、電源が切れます。

初期設定を行う

日付時刻設定、端末暗証番号変更など基本的な機能の設定を[初期設定]から行うことができます。設定内容の詳細はそれぞれのページをご覧ください。

■設定できる項目

画面表示	設定内容
日付時刻設定	FOMA端末の日付と時刻を設定できます。(P.40)
暗証番号変更	端末暗証番号を変更できます。(P.106)
ボタン確認音量	ボタンを押したときに鳴る音の音量を設定します。(P.90)
文字サイズ	電話帳、履歴、メール、iモードのサイトなどを表示するときの文字の大きさを個別に設定できます。(P.101)

1 メニューで[設定]→[管理]→[初期設定]を選び を押す

2 各項目を設定する

● データ一括削除を行ったり、日付時刻設定と暗証番号変更を設定していないと、FOMA端末の電源を入れたときに「初期設定が未完了です　実行しますか」と表示されます。[はい]を選択すると操作1の画面が表示され、初期設定を行うことができます。

日付・時刻をあわせる

お買い上げ時　日付：----/--/--(–)／時刻：--:--

FOMA端末の日付と時刻をあわせます。

1 **メニューで[設定]→[管理]→[日付時刻設定]を選び ◉ を押す**

2 **年月日・時刻を入力する**

年月日は、2000/1/1～2050/12/31の範囲で入力します。
時刻は、24時間制(00:00～23:59)で入力します。

3 **(完了)を押す**

日付時刻が設定されます。

- 通話中に日付時刻を設定する場合は、機能メニュー[日付時刻設定]を選択してください。
- 設定した日付時刻は電池パックを交換しても保持されます。ただし、電池パックを外した状態または空の状態でFOMA端末をしばらく放置すると、日付時刻が「----/--/--(–) --:--」にリセットされることがあります。その場合は、再度日付時刻を設定してください。
- 日付時刻が設定されていないと、現在時刻アイコン、スケジュール、めざまし時計、ｉアプリの自動起動、カレンダー/時計表示など、時計を利用する機能が利用できません。また、リダイヤルや着信履歴、カメラで撮影した画像などの日付時刻が記録されません。

相手に自分の電話番号を通知する

お買い上げ時 通知しない

電話をかけたとき、相手の電話機(ディスプレイ)にお客様の電話番号をお知らせすることができます。

- 発信者番号は、お客様の大切な情報です。通知する際には、十分にご注意ください。

1 メニューで[NWサービス]→[発信者番号通知]→[発信者番号通知設定]を選び ◉ を押す

ネットワーク暗証番号入力画面が表示されます。

2 ネットワーク暗証番号を入力する

3 [通知する]/[通知しない]を選び ◉ を押す

発信者番号通知が設定されます。

設定内容を確認する場合

メニューで[NWサービス]→[発信者番号通知]→[発信者番号通知確認]を選択します。

- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知設定を[通知する]に設定するか相手の電話番号の前に「186」を付けておかけ直しください。

自分の電話番号を確認する

お客様の電話番号を確認できます。また、ご自分の名前やメールアドレスなどを登録することもできます。(電話番号表示)

- 電話番号表示がシークレット登録されていると、お客様の電話番号、メールアドレスおよび付加番号以外の内容は表示されません。すべて表示するにはシークレット表示を[ON]に設定してください。

1 待受画面で MENU (MENU)を押し、0 を押す

[NO.]にお客様の電話番号が表示されます。電話番号以外のマイデータを登録しているときは、その内容も表示されます。

電話をかける場合

電話番号にカーソルをあわせ、 を押します。

テレビ電話をかける場合

電話番号にカーソルをあわせ、 (テレビ電話)を押します。

i モードメールを送信する場合

メールアドレスにカーソルをあわせ、◉ (メール)を押します。

画像を確認する場合

画像にカーソルをあわせ、◉ (見る)を押します。

個人情報を登録する

お客様の名前、住所やメールアドレスなどを登録し、いつでも表示できます。

1 電話番号表示画面で(iα)(編集)を押す

2 各項目を登録する

アイコン	項　目	設定内容
	お客様のメールアドレス	半角英数字50文字以内で入力します。
	お客様の名前	全角16文字、半角32文字以内で入力します。
	フリガナ	自動的に入力されたフリガナを確認します。 • 修正する場合は、半角32文字以内で入力します。
	自宅などの郵便番号	半角数字7桁以内で入力します。
	自宅などの住所	全角64文字、半角128文字以内で入力します。
	自宅などの電話番号	26桁以内で入力します。
	自宅などのメールアドレス	半角英数字50文字以内で入力します。
	勤務先などの名前	全角64文字、半角128文字以内で入力します。
	勤務先などの郵便番号	半角数字7桁以内で入力します。
	勤務先などの住所	全角64文字、半角128文字以内で入力します。
	勤務先などの電話番号	26桁以内で入力します。
	勤務先などのメールアドレス	半角英数字50文字以内で入力します。
	誕生日	1900/01/01～2050/12/31の範囲で入力します。
	画像	画像をデータBOXのマイピクチャから選択します。 • ファイルサイズが100Kバイト以下および画像サイズが[待受(240×320)]以下のGIF画像/JPEG画像を設定できます。 • 画像を指定しない場合は、[指定なし]を選択します。 • 画像を確認する場合は、画像にカーソルをあわせ、(ch)(見る)を押します。
	シークレット登録	[ON]/[OFF]を選択します。 • シークレット登録した内容を表示する場合は、シークレット表示を[ON]に設定します。

3 (iα)(完了)を押す

個人情報が登録されます。

お買い上げ時の状態に戻す場合

電話番号表示画面で機能メニュー[全項目リセット]→[はい]を選択します。

- [No.1]にはお客様の電話番号、[No.2]、[No.3]にはマルチナンバーで設定した付加番号を表示します。修正や削除はできません。
- お買い上げ時、メールアドレスは表示されません。お客様が取得されたメールアドレスは、(iα)(ｉモード)→[ｉMenu]→[オプション設定]→[メール設定]→[アドレス確認]でご確認ください。また、メールアドレスを変更した場合は、あわせて電話番号表示画面の内容も変更してください。

電話のかけかた/受けかた

■ 電話のかけかた
電話をかける 44
音声電話からテレビ電話へ切り替える ....〈テレビ電話切替〉46
前にかけた相手にかけ直す ....〈リダイヤル〉47
1回の通話ごとに発信者番号を通知/非通知にする ....〈186/184〉48
条件を指定して電話をかける 49
プレフィックスを設定する ....〈プレフィックス設定〉50
国際電話を利用する ....〈WORLD CALL〉50
サブアドレスを指定して電話をかける ....〈サブアドレス設定〉52
途切れた通話を再接続するときのアラームを設定する ....〈再接続アラーム音〉53
周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする ....〈ノイズキャンセラ〉53
車の中で手を使わずに話す ....〈車載ハンズフリー〉54
■ 電話の受けかた
電話を受ける 55
ダイヤルボタンを押して電話に出られるようにする ....〈エニーキーアンサー〉56
FOMA端末を閉じて通話を終了/保留する ....〈クローズ動作設定〉57
着信履歴を利用する ....〈着信履歴〉58
相手と小さい声で話す ....〈ささやき通話〉59
自分の音声を相手に聞こえないようにする ....〈通話中保留〉59
■ 電話に出られないとき/出られなかったとき
すぐに電話に出られないときに保留にする ....〈応答保留〉60
公共モード(ドライブモード)を利用する ....〈公共モード(ドライブモード)〉60
公共モード(電源OFF)を利用する ....〈公共モード(電源OFF)〉62
不在着信を確認する ....〈不在着信〉63
電話に出られないときに用件を録音・録画する ....〈伝言メモ/テレビ伝言メモ〉63
伝言メモ・音声メモを再生/削除する 66

電話をかける

電波の受信レベルを確認し、電話番号を入力します。

- よりよい条件で通話ができるよう、アンテナ部を手でおおわないようにしてお使いください。

1 待受画面で電話番号を入力する

- 電話番号は80桁まで入力できます。
- 同一市内への通話でも、必ず市外局番を付けてください。

電話番号を押し間違えた場合

[CLR] を押すと、右端から1桁ずつ削除されます。[CLR] を1秒以上押すと、すべて削除されます。

2 [通話キー] を押す

相手の電話につながると「ルルル…」という呼出音が聞こえます。

「ツーツーツー」という音が聞こえる場合

話し中です。[PWR/HLD] を押して、しばらく待ってからおかけ直しください。

ガイダンスが聞こえる場合

ガイダンスの指示に従い、おかけ直しください。

3 通話が終わったら [PWR/HLD] を押す

- 操作2→操作1の順番でも電話をかけられます。[通話キー] を押して電話番号を入力したあと、約5秒経過すると自動的に電話がかかります。

ハンズフリーを利用する

通話中にハンズフリーに切り替えると、相手の声などがスピーカーから聞こえ通話できます。

1 通話中に [通話キー] を押す

ハンズフリーに切り替わり、「[ハンズフリーアイコン]」が表示されます。

解除する場合

もう一度 [通話キー] を押します。

- 通話が終了すると、ハンズフリーも解除されます。

- FOMA端末に向かって約30cm以内の距離でお話しください。

ポーズ、タイマー、＋を入力する

電話番号にポーズ、タイマー、＋を最大80桁まで入力して電話をかけることができます。ポーズ、タイマー、＋は、電話番号と組み合わせて電話帳に登録できます。

- ポーズとタイマーは音声電話のみに有効です。

ポーズ「P」を入力する

チケットの予約や自宅の留守番電話の再生、ドコモのポケットベル*へのメッセージの送信時などに電話番号とプッシュ信号の間に「P（ポーズ）」を入力すると、ポーズ（P）の所で区切ってプッシュ信号を送信します。

1 電話番号入力画面で メモ を押す

電話帳に登録したプッシュ記号を送信する場合
電話帳から電話をかけ、プッシュ信号が表示されたら ◉（発信）を押します。

● 受信側の機器によってはプッシュ信号を受信できない場合があります。

タイマー「T」を入力する

外線番号に続けて内線番号をダイヤルするときなどは、外線番号と内線番号の間に「T（タイマー）」を入力します。外線番号に続いて一定の秒数が経過したあとに内線番号が発信されます。タイマー（T）1つにつき約1秒の間隔をとり、連続入力して間隔を長くすることができます。

1 電話番号入力画面で メモ を1秒以上押す

「＋」を入力する

国際ダイヤル設定の自動付加設定が［自動付加］のとき、電話番号の先頭に「＋」を入力すると、設定した国際電話番号（お買い上げ時は「009130010」）を自動的に付加して発信します。

1 電話番号入力画面で 0 を1秒以上押す

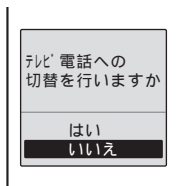
● 「＋」のあとに電話番号以外を入力したり、「＋」だけを入力しても発信できないことがあります。

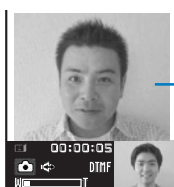
＊2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

音声電話からテレビ電話へ切り替える

音声電話をかけた側は、音声電話通話中にテレビ電話へ切り替えることができます。

- 音声↔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。また、電話を受けた側がテレビ電話切替通知を[切替通知開始]に設定しておく必要があります。(P.76)

1 音声電話通話中に ✉(機能)を押し、[テレビ電話切替]を選び ◉ を押す

[はい]　：音声電話からテレビ電話に切り替えます。
[いいえ]：切り替えず、音声電話に戻ります。

2 [はい]を選び ◉ を押す

相手の画像
相手側の設定により、代替画像が表示されることがあります。

切り替え中はアニメーションが表示され、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。テレビ電話に切り替わると、相手側に自分の画像が送信され、相手の声がスピーカーから聞こえるハンズフリーに切り替わります。マナーモード設定中でもハンズフリーになります。

- パケット通信中の場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 相手側がパケット通信中はテレビ電話に切り替えられません。
- 切り替えには、約5秒かかります。なお、電波状況により切り替えに時間がかかる場合があります。
- 電波状況によっては音声電話からテレビ電話に切り替えられず、接続が切れてしまう場合があります。
- 「テレビ電話切替中」と表示されている間は料金が課金されません。
- 通話時間は、通話を切り替えるたびに0秒から開始されます。
- テレビ電話から音声電話へ切り替えることができます。音声電話とテレビ電話は、繰り返し切り替えることができます。

前にかけた相手にかけ直す

以前にかけた電話の日時・電話番号/名前は、リダイヤルとして30件まで記録されます。電話をかけた回数の多い順にも表示できます。（発信頻度履歴）

1 待受画面で ▶（□）を押す

電話番号/名前が日時の新しい順に表示されます。発信の内容は次のアイコンで確認できます。

電話の種類

アイコン	種類
	音声電話
	テレビ電話
//	マルチナンバー（基本契約番号）/（付加番号1）/（付加番号2）
	国際電話

電話番号種別

	携帯電話1		携帯電話2		一般電話
	テレビ電話		自宅電話		会社電話
	自宅FAX		会社FAX		クイックキャスト

発信頻度履歴を表示する場合
リダイヤル画面で ◀ を押します。

電話番号を表示する場合
電話帳に登録されている場合は、電話番号の代わりに名前と電話番号種別が表示されます。# を押すと、名前と電話番号の表示を一時的に切り替えることができます。

メールを送信する場合
電話帳に電話番号とメールアドレスが登録されている場合は、EV-Linkを利用してメールを送信できます。

2 リダイヤルを選び を押す

選択した相手に電話がかかります。

テレビ電話をかける場合
リダイヤルにカーソルをあわせ、（テレビ電話）を押します。

3 通話が終わったら を押す

- 同じ電話番号に電話をかけた場合、リダイヤルには最新の1件のみが記録されます。
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合、最初に発信した電話の履歴が記録されます。

リダイヤルを削除する

電源を切ってもリダイヤル/発信頻度履歴は消えません。他の人に見られたくないときは、削除してください。

- リダイヤル/発信頻度履歴のどちらか一方を削除すると、両方が削除されます。

例：リダイヤルを1件削除する場合

1 リダイヤル画面でリダイヤルを選び (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

複数選択して削除する場合

機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、リダイヤルを複数選択して (完了)を押し、[はい]を選択します。

すべて削除する場合

機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 [削除]→[1件削除]→[はい]を選び を押す

リダイヤルが1件削除されます。

1回の通話ごとに発信者番号を通知/非通知にする

電話をかけたとき、相手に自分の電話番号(発信者番号)を通知するかどうかを設定します。

- 発信者番号は、お客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。

発信者番号の通知/非通知は次のいずれかの方法で設定できます。

あらかじめ一括して設定	発信者番号通知設定で、[通知する]/[通知しない]を設定します。(P.41)
電話帳に設定	電話番号に「186/184」を付けて電話帳に登録します。(P.79)
電話をかけるときに設定	電話番号を入力したあとに発信メニューから[通知発信]/[非通知発信]を設定します。(P.49) 電話番号を入力する前に「186/184」を入力します。(P.44)

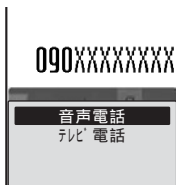
- 発信方法を付けると電話番号が80桁以上になる場合は、発信メニューの[プレフィックス選択]、[国際ダイヤル選択]、[国番号設定]は選択できません。
- 相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号表示が可能なときに表示されます。
- 「186/184」を付けて を押し発信した場合、「186/184」が付いた電話番号がリダイヤルに記録されます。

条件を指定して電話をかける

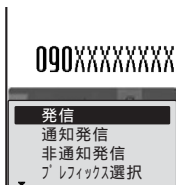
電話の種類や、電話番号を相手に通知するかどうかなどの発信条件を、電話をかけるときに発信メニューから選んで指定できます。

例：音声電話をかける場合

1 待受画面で電話番号を入力し、◉（発信）を押す

090XXXXXXXX
音声電話
テレビ電話

[音声電話] ：発信条件を選択して音声電話をかけます。
[テレビ電話] ：送信する画像（自画像/代替画像/代替画像選択）、通信速度（64K/32K）を選択してテレビ電話をかけます。

2 [音声電話]を選び◉を押す

090XXXXXXXX
発信
通知発信
非通知発信
プレフィックス選択

[発信] ：発信者番号通知設定に従って音声電話/テレビ電話をかけます。
[通知発信] ：相手に電話番号を通知します。
[非通知発信] ：相手に電話番号を通知しません。
[プレフィックス選択]：登録したプレフィックス（P.50）を選択して音声電話をかけます。（プレフィックスを登録しているときのみ表示されます）
[国際ダイヤル選択] ：登録した国際電話番号（P.51）を選択して音声電話/テレビ電話をかけます。
[国番号選択] ：登録した国番号（P.52）を選択して音声電話/テレビ電話をかけます。

3 発信条件を選び◉を押す

選択した発信条件に従って電話がかかります。

● マルチナンバーのマルチナンバー発信を[ON]に設定している場合は、操作1を行うと付加番号を選択するメニューが表示されます。利用する付加番号を選択して、操作2に進みます。

プレフィックスを設定する

電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する特定の番号(プレフィックス)を3件まで登録できます。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[発着信補助]→[プレフィックス設定]を選び◉を押す

2 番号を選び◉を押す

番号入力画面が表示されます。

3 プレフィックスを入力し、◉(確定)を押す

26桁以内で入力します。

国際電話を利用する

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

- FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています。(ただし、不要のお申し出をされた方を除きます)
- 通話方法

  009130 − 010 − 国番号 − 市外局番 − 相手先電話番号 [発信]

  ※ 上記の操作方法をFOMA端末の電話帳に登録できます。
  ※ 市外局番が「0」で始まる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。(ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です)
- 通話先は世界約220の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月の通話料とあわせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- 一部ご利用いただけない料金プランがございます。
- 国際電話ダイヤル手順の変更について
  携帯電話などの移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、 WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順(上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの)ではご利用いただけませんのでご注意ください。
- WORLD CALLについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときは、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
- 海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対しては、上記ダイヤル方法のあとにテレビ電話発信すると国際テレビ電話がご利用いただけます。
  ※ 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
  ※ 国際テレビ電話の接続先の端末によっては、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

WORLD CALL以外の番号を設定する

お買い上げ時	自動付加設定：自動付加 国際電話設定－国際電話1：名称 World Call／番号 009130010 国番号設定－国番号1：国名称 日本／国番号 ＋81

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する番号や国番号を3件まで登録できます。電話をかけるときに「＋」を入力すると自動で番号を付加することもできます。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[発着信補助]→[国際ダイヤル設定]を選び ◉ を押す

国際ダイヤル設定
自動付加設定
自動付加
国際電話設定
World Call
国番号設定

[自動付加設定] ： 音声電話/テレビ電話をかけるときに電話番号の先頭が「＋」の場合、国際電話設定で設定した番号を自動で付加するかどうかを設定します。

[国際電話設定] ： 自動付加設定が[自動付加]の場合、電話番号に付加する国際電話番号を登録します。発信メニューの[国際ダイヤル選択]を選択して国際電話番号を付加することもできます。

[国番号設定] ： 発信メニューの[国番号選択]を選択したときに付加する国番号を登録します。

2 [自動付加設定]に[自動付加]/[付加なし]を選択する

[自動付加] ： 国際電話設定で設定した国際電話番号を自動で付加します。
[付加なし] ： 国際電話設定で設定した国際電話番号を自動で付加しません。

3 [国際電話設定]を選び ◉ を押す

国際電話設定画面が表示されます。

4 登録欄を選び ◉ を押す

5 名称欄に名称を入力し、番号欄に国際電話番号を入力する

名称は全角8文字、半角17文字以内、国際電話番号は26桁以内で入力します。

6 ⓘα（完了）を押し、◀ を押す

国際電話番号が登録されます。

自動付加番号にする場合

登録欄にカーソルをあわせ、ⓘα（自動付加）を押します。自動付加番号に「▶」が表示されます。

7 [国番号設定]を選び ◉ を押す

国番号設定画面が表示されます。

8 登録欄を選び ◉ を押す

9 国名称欄に国名称を入力し、国番号欄に国番号を入力する

国名称は全角8文字、半角17文字以内、国番号は26桁以内で入力します。

10 (完了)を押す

国番号が登録されます。

サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時 ON

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出すように設定できます。

- 「Vライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[発着信補助]→[サブアドレス設定]を選び ◉ を押す

[ON] ：「*」以降をサブアドレスとして認識します。
[OFF] ：「*」以降をサブアドレスとして認識しません。

2 [ON]/[OFF]を選び ◉ を押す

サブアドレス設定が設定されます。

サブアドレスを指定して電話をかける場合

待受画面で電話番号＋ ＋サブアドレスの形式で入力し、 または (テレビ電話)を押します。

● サブアドレス設定を[ON]に設定していても、電話番号の先頭の「*」、プレフィックス選択/国際ダイヤル選択/国番号選択で入力した番号の直後の「*」は、サブアドレスの区切りとしては認識されず電話番号として認識されます。

途切れた通話を再接続するときのアラームを設定する

お買い上げ時 高音

音声電話やテレビ電話の通話中に、トンネルやビルの陰などで電波の状態が悪くなり通話が途切れても、そのあとすぐに電波の状態がよくなったときは自動的に再接続します。通話を再接続しているときのアラーム音を設定できます。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[通話設定]→[再接続アラーム音]を選び ◉ を押す

[高音] ：アラーム音が高音で鳴ります。
[低音] ：アラーム音が低音で鳴ります。
[OFF]：アラーム音は鳴りません。

2 アラーム音の種類を選び ◉ を押す

再接続中のアラーム音が設定されます。

- 電波が途切れている間、相手は無音状態になります。
- ご利用状態や電波の状態により再接続が可能な時間は異なります。目安としては約10秒です。
- 再接続されるまでの時間(最長10秒)も通話料がかかります。

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

お買い上げ時 ON

音声電話、テレビ電話の通話中や、伝言メモの応答メッセージ再生時の周囲の騒音を抑えることができます。(ノイズキャンセラ)

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[通話品質]→[ノイズキャンセラ]を選び ◉ を押す

2 [ON]/[OFF]を選び ◉ を押す

ノイズキャンセラが設定されます。

車の中で手を使わずに話す

FOMA端末を車載ハンズフリーキット 01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキットをご利用時には、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01（別売）が必要です。

- 着信時の画面表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末でマナーモード設定中や着信音量を［OFF］に設定中でもハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- FOMA端末とハンズフリー対応機器を接続しても、公共モード（ドライブモード）、伝言メモは通常どおり動作します。
- 通話中にFOMA端末を閉じたときの動作は、FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、［クローズ動作設定］に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、［クローズ動作設定］にかかわらず、FOMA端末を閉じても通話を継続します。
- 車載ハンズフリーキット 01以外の市販の車載アダプタを接続した場合、「 」が表示されることがあります。

電話を受ける

電話がかかってくると、着信ランプの点滅、着信音、バイブレータなどでお知らせします。
着信時の動作は、着信設定やマナーモードなどの設定により異なります。

1 電話がかかってきたら を押す

通話中
03XXXXXXXX
通話時間 0:03

相手が電話番号を通知してきた場合は、電話番号が画面に表示されます。

電話帳に登録されている場合

相手の電話番号と名前が表示されます。同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録した場合、メモリ番号の若い名前が表示されます。電話帳に登録した指定電話着信音、指定発着信画像、指定電話ランプ色が動作します。

相手の電話番号が表示されない場合

相手の電話番号が通知されないときは、その理由が表示されます。

非通知理由	内　容
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合（ただし、経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります）

留守番電話サービスセンターに接続する場合

機能メニュー[留守番転送]を選択します。

転送先に転送する場合

機能メニュー[転送でんわ]を選択します。

着信を拒否する場合

機能メニュー[着信拒否]を選択します。

2 通話が終わったら を押す

- の代わりに、（通話）を押しても電話を受けることができます。エニーキーアンサーを[ON]に設定していると、 ～ 、 、 でも電話を受けることができます。（P.56）
- 通話中に「ププ…ププ…」という音（通話中着信音）が聞こえることがあります。
  留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンのいずれかをご契約いただき、着信動作選択を[通常着信]に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、以下の動作が可能です。
  ＜ご契約の内容＞
  - 留守番電話サービス…… 留守番電話サービスセンターへ転送できます。
  - 転送でんわサービス…… 転送先へ転送できます。
  - キャッチホン…………… 通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます。

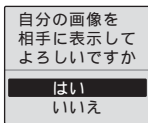
音声電話からテレビ電話に切り替えて電話を受ける

電話をかけた側が音声電話からテレビ電話に切り替えると、電話を受けた側は送信する画像を選択できます。

- 音声↔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。あらかじめテレビ電話切替通知を[切替通知開始]に設定してください。(P.76)

1 音声電話通話中に自画像送信確認画面が表示されたら[はい]を選び ◉ を押す

切り替え中はアニメーションが表示され、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

[はい]　：相手側にカメラ画像が送信されます。
[いいえ]：相手側にお買い上げ時に登録されている画像が送信されます。

テレビ電話に切り替わると、相手側に自分の画像が送信され、相手の声がスピーカーから聞こえるハンズフリーに切り替わります。マナーモード設定中でもハンズフリーになります。

ダイヤルボタンを押して電話に出られるようにする

お買い上げ時　ON

音声電話がかかってきたとき、📞 の代わりに、ダイヤルボタンを押しても電話を受けることができるように設定できます。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[発着信補助]→[エニーキーアンサー]を選び ◉ を押す

[ON]　：0 ～ 9、*、# でも電話を受けることができます。
[OFF]：0 ～ 9、*、# では電話を受けることができません。📞、◉（通話）で電話を受けます。

2 [ON]/[OFF]を選び ◉ を押す

エニーキーアンサーが設定されます。

FOMA端末を閉じて通話を終了/保留する

お買い上げ時 終話

音声電話やテレビ電話の通話中に、FOMA端末を閉じたときの動作を設定できます。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[通話設定]→[クローズ動作設定]を選び ◉ を押す

[終話]　：通話を終了します。
[保留]　：通話を保留にします。FOMA端末と相手の両方にメロディ(浜辺の歌)が流れます。テレビ電話中は、お買い上げ時に登録されている画像が送信されます。FOMA端末を再び開くと閉じる前の状態に戻ります。
[ミュート]：音声を消して通話を継続します。テレビ電話中は代替画像が送信されます。(P.74) FOMA端末を再び開くと閉じる前の状態に戻ります。

2 クローズ動作を選び ◉ を押す

クローズ動作が設定されます。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続時にFOMA端末を閉じた場合は、クローズ動作設定にかかわらず、通話を継続します。テレビ電話中にFOMA端末を閉じた場合は代替画像が送信されます。

着信履歴を利用する

以前にかかってきた電話の日時・電話番号/名前は、着信履歴として30件まで記録されます。また、不在着信時の呼び出し時間を確認できます。

1 待受画面で◀（[着信]）を押す

電話番号/名前が日時の新しい順に表示されます。着信の内容は次のアイコンで確認できます。

電話の種類

[アイコン]/[アイコン]	音声電話/音声電話（伝言メモあり）
[アイコン]/[アイコン]	音声電話不在/音声電話不在（伝言メモあり）
[アイコン]/[アイコン]	テレビ電話/テレビ電話（テレビ伝言メモあり）
[アイコン]/[アイコン]	テレビ電話不在/テレビ電話不在（テレビ伝言メモあり）
[アイコン]	64Kデータ通信
[アイコン]	64Kデータ通信不在
[アイコン]/[アイコン]/[アイコン]	マルチナンバー（基本契約番号）/（付加番号1）/（付加番号2）
[アイコン]	国際電話

電話番号種別

[アイコン]	携帯電話1	[アイコン]	携帯電話2	[アイコン]	一般電話
[アイコン]	テレビ電話	[アイコン]	自宅電話	[アイコン]	会社電話
[アイコン]	自宅FAX	[アイコン]	会社FAX	[アイコン]	クイックキャスト

電話番号を表示する場合
電話帳に登録されている場合は、電話番号の代わりに名前と電話番号種別が表示されます。[#]を押すと、名前と電話番号の表示を一時的に切り替えることができます。

音声電話をかける場合
着信履歴にカーソルをあわせ、[発信]を押します。

テレビ電話をかける場合
着信履歴にカーソルをあわせ、[ch]（テレビ電話）を押します。

メールを送信する場合
電話帳に電話番号とメールアドレスが登録されている場合は、EV-Linkを利用してメールを送信できます。

不在着信の呼び出し時間を確認する場合
不在着信の着信履歴にカーソルをあわせ、 機能メニュー[呼出時間表示]を選択します。

- ダイヤルインをご利用の方からかかってきた場合、相手のダイヤルイン番号と異なった電話番号が表示されることがあります。
- 通話中に相手が音声電話とテレビ電話を切り替えた場合、最初に着信した電話の履歴が記録されます。
- 伝言メモが録音されている不在着信は、呼び出し時間を確認できません。
- 電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときに、すぐに呼び出し動作を開始しないように設定できます。（P.115）

着信履歴を削除する

電源を切っても着信履歴は消えません。他の人に見られたくないときは、削除してください。

例：着信履歴を1件削除する場合

1 着信履歴画面で着信履歴を選び (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

複数選択して削除する場合

機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、着信履歴を複数選択して (完了)を押し、[はい]を選択します。

すべて削除する場合

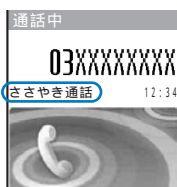
機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 [削除]→[1件削除]→[はい]を選び を押す

着信履歴が1件削除されます。

相手と小さい声で話す

音声電話の通話中、小さな声で話しても相手には普通の音量で聞こえるように設定します。

1 通話中に を押す

ささやき通話に切り替わり、「ささやき通話」が表示されます。

解除する場合

もう一度 を押します。

- 通話が終了すると、ささやき通話も解除されます。

自分の音声を相手に聞こえないようにする

音声電話、テレビ電話の通話中に保留にして、自分の声を相手に聞こえないようにできます。

- 通話保留中でも、電話をかけた方には通話料がかかります。

1 通話中に (機能)を押し、[通話中保留]を選び を押す

FOMA端末と相手の両方にメロディ(浜辺の歌)が流れます。テレビ電話中は、お買い上げ時に登録されている画像が送信されます。

通話中保留を解除する場合

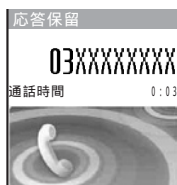
を押します。

すぐに電話に出られないときに保留にする

音声電話やテレビ電話がかかってきたときにすぐに出られない場合は、保留にできます。

- 応答保留中でも、電話をかけてきた相手には通話料がかかります。

例：音声電話を応答保留にする場合

1 電話がかかってきたら [PWR/HLD] を押す

「ピッピッピッ」と鳴り、応答保留の状態になります。応答保留中は、約30秒経過するたびに「ピッピッピッ」と鳴ります。

- 相手には現在電話に出られない旨のガイダンスが流れます。テレビ電話中は、お買い上げ時に登録されている画像が送信されます。
- 応答保留中に [PWR/HLD] を押すと、保留中の電話が切れます。
- 電話着信音量が[OFF]の場合は、「ピッピッピッ」と鳴りません。

2 電話に出られる状態になったら [通話キー] を押す

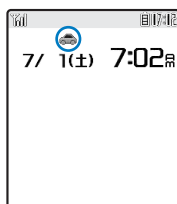
保留が解除され、通話できます。

● 留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約の場合は、着信中に機能メニュー[留守番転送]、[転送でんわ]を選択すると、サービスをご利用いただけます。

公共モード（ドライブモード）を利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のある場所（電車、バス、映画館など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 公共モードは「圏外」が表示されているときでも設定/解除できます。
- 本機能は、データ通信中はご利用できません。

1 待受画面で [#] を1秒以上押す

公共モードが設定され、「[公共モードアイコン]」が表示されます。

- マナーモードを同時に設定しているときは、公共モードの設定が優先されます。

解除する場合

待受画面で [#] を1秒以上押します。公共モードが解除され、「[公共モードアイコン]」が消えます。

■公共モード（ドライブモード）を設定すると

- 電話がかかってきても、着信音は鳴らず応答できません。不在着信の通知情報アイコンが表示され、着信履歴に記録されます。電話をかけてきた相手には「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。後ほどおかけ直しください。」という公共モードのガイダンスが流れ、通話を終了します。
- 通常どおり電話をかけることができます。
- 次の音が鳴りません。
  - 着信音
  - 電池警告音
  - 充電確認音
  - めざまし時計のアラーム音
  - 通話料金上限通知アラーム音
  - スケジュールアラーム音
  - ｉアプリのソフト音

■ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード）設定中の着信動作

ネットワークサービスの利用状況により、公共モード設定中に着信があった場合の動作は次のようになります。

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	公共モードのガイダンスが流れたあと、留守番電話サービスセンターに接続されます。※2	公共モードの映像ガイダンスは流れずに、留守番電話サービスセンターに接続されます。※3
転送でんわサービス※1	公共モードのガイダンスが流れたあと、転送先に転送されます。※2	公共モードの映像ガイダンスは流れずに、転送先に転送されます。転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。※4
キャッチホン	公共モードのガイダンスが流れたあと、切断されます。	公共モードの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。
迷惑電話ストップサービス	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、接続できなかった旨のガイダンスが流れたあと、切断されます。	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、接続できなかった旨の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合、番号通知お願いのガイダンスが流れたあと、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合、公共モードのガイダンスが流れたあと、切断されます。	• 相手が電話番号を通知していない場合、番号通知お願いの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合、公共モードの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。

※1 電話をかけてきた相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの「1429」番で設定できます。

※2 留守番電話サービスの呼び出し時間または転送でんわサービスの呼び出し時間を0秒に設定した場合、公共モードのガイダンスは流れず、着信履歴にも記録されません。

※3 2006年5月現在、留守番電話サービスセンターに接続されず、切断されます。

※4 転送でんわサービスの呼び出し時間を0秒に設定した場合、着信履歴には記録されません。

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定すると、電源をOFFにしているときに着信した場合、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 * 2 5 2 5 1 ＋ [発信] **を押す**

公共モード（電源OFF）が設定されます。（待受画面上の変化はありません）

解除する場合

* 2 5 2 5 0 ＋ [発信] を押します。

設定内容を確認する場合

* 2 5 2 5 9 ＋ [発信] を押します。

■公共モード（電源OFF）を設定すると

- 電源OFF時、サービスエリア外、電波の届かない場所にいる場合、電話をかけてきた相手には「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。後ほどおかけ直しください。」という公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れ、通話を終了します。

■ネットワークサービスと公共モード（電源OFF）設定中の着信動作

ネットワークサービスの利用状況により、公共モード（電源OFF）設定中に着信があった場合の動作は次のようになります。

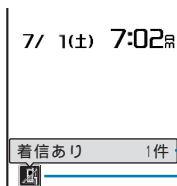
サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れたあと、留守番電話サービスセンターに接続されます。	公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスは流れずに、留守番電話サービスセンターに接続されます。※2
転送でんわサービス	公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れたあと、転送先に転送されます。※1	公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスは流れずに、転送先に転送されます。転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。
迷惑電話ストップサービス	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、接続できなかった旨のガイダンスが流れたあと、切断されます。	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、接続できなかった旨の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合、番号通知お願いのガイダンスが流れたあと、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合、公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れたあと、切断されます。	• 相手が電話番号を通知していない場合、番号通知お願いの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合、公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。

※1 電話をかけてきた相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの「1429」番で設定できます。

※2 2006年5月現在、留守番電話サービスセンターに接続されず、切断されます。

不在着信を確認する

かかってきた電話に出られなかったときや新着メールがあったときなどは、待受画面に通知情報アイコン(P.30)が表示されます。
音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信に応答できなかったときは、待受画面に「」が表示されます。電話がかかってきた日時と相手は着信履歴で確認できます。(P.58)

1 待受画面で ◉ (リンク)を押し、通知情報アイコンを選ぶ

通知情報の文字情報が表示されます。

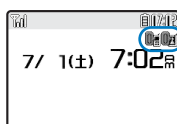
着信履歴を確認する場合
「」(着信あり)を選択します。

通知情報アイコンを消す場合
CLR を1秒以上押します。着信履歴を表示しても「」は消えます。

電話に出られないときに用件を録音・録画する

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の音声メッセージを録音します。テレビ電話に出られないときには応答メッセージと応答画像を再生し、相手の音声メッセージと映像を録画します。

- 伝言メモ、テレビ伝言メモそれぞれについて最大3件、1件につき約15秒まで録音/録画可能です。伝言メモが3件録音されていると、伝言メモは動作しません。また、テレビ伝言メモが3件録画されていると、テレビ伝言メモは動作しません。不要な伝言メモ/テレビ伝言メモを削除してください。
- 公共モード(ドライブモード)設定中、伝言メモ/テレビ伝言メモは動作しません。

1 待受画面で メモ を1秒以上押す

伝言メモ/テレビ伝言メモが設定され、「」「」が表示されます。

伝言メモ/テレビ伝言メモを解除する場合
待受画面で メモ を1秒以上押します。伝言メモ/テレビ伝言メモが解除されます。

● 伝言メモの内容は、別にメモを取って保管することをおすすめします。
FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、内容が消失してしまう場合もあります。万一、内容が消失してしまうことがあっても当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 圏外のときは、伝言メモは動作しません。留守番電話サービス(有料)をご利用ください。

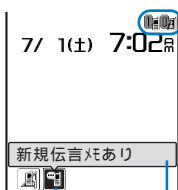
電話がかかってくると

設定した応答時間が経過すると、応答メッセージが相手に流れます。

相手と話す場合

を押します。

テレビ電話がかかってきた場合

応答メッセージと応答画像が相手に流れます。相手と話す場合は、（テレビ電話）を押します。◉（代替）を押すと代替画像で応答できます。

待受画面に「」（新規伝言メモあり）または「」（新規テレビ伝言メモあり）の通知情報アイコンが表示されます。

文字情報を表示する場合

待受画面で◉（リンク）を押し、「」「」にカーソルをあわせます。

伝言メモ/テレビ伝言メモを再生する場合

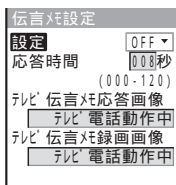
待受画面で◉（リンク）を押し、「」または「」を選択します。

通知情報アイコンを消す場合

を1秒以上押します。伝言メモ/テレビ伝言メモを再生しても「」「」は消えます。

伝言メモの動作を設定する

お買い上げ時　設定：OFF／応答時間：8秒／テレビ伝言メモ応答画像・テレビ伝言メモ録画画像：テレビ電話動作中

1 **待受画面で [メモ] を押し、[伝言メモ設定]を選び ● を押す**

2 **[応答時間]に伝言メモが応答するまでの時間を入力する**

000〜120秒の範囲で入力します。

3 **[テレビ伝言メモ応答画像]にデータBOXのマイピクチャから応答時に送信する画像を選択する**

- ファイルサイズが500Kバイト以下および画像サイズが[QCIF(176×144)]以下のGIF画像/JPEG画像を設定できます。ファイル制限がある画像、フレーム画像などは設定できません。

4 **[テレビ伝言メモ録画画像]にデータBOXのマイピクチャから録画時に送信する画像を選択する**

- ファイルサイズが500Kバイト以下および画像サイズが[QCIF(176×144)]以下のGIF画像/JPEG画像を設定できます。ファイル制限がある画像、フレーム画像などは設定できません。

5 **[i αppli]（完了）を押す**

伝言メモの動作が設定されます。

● 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスと伝言メモを同時に設定する場合、伝言メモを優先させるには、本機能の応答時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼び出し時間よりも短く設定してください。

着信中の電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモを設定していなくても、音声電話やテレビ電話がかかってきたときに伝言メモを一時的に動作できます。（クイック伝言メモ）

- 伝言メモが3件録音されていると、電話がかかってきたときにクイック伝言メモは動作しません。また、テレビ伝言メモが3件録画されていると、テレビ電話がかかってきたときにクイック伝言メモは動作しません。

1 **着信中に [メモ] を押す**

応答メッセージが相手に流れます。

相手と話す場合

[通話] を押します。

テレビ電話がかかってきた場合

応答メッセージと応答画像が相手に流れます。相手と話す場合は、[ch TV]（テレビ電話）を押します。●（代替）を押すと代替画像で応答できます。

伝言メモ・音声メモを再生/削除する

録音された伝言メモ/テレビ伝言メモや音声メモ(P.254)は、再生したり削除したりできます。

伝言メモ・音声メモを再生する

例：伝言メモを再生する場合

1 待受画面で メモ を押し、[伝言メモ再生]を選び ● を押す

テレビ伝言メモを再生する場合
待受画面で メモ を押し、[テレビ伝言メモ再生]を選択します。

音声メモを再生する場合
待受画面で メモ を押し、[音声メモ再生]を選択します。

電話番号を表示する場合
電話帳に登録されている場合は、電話番号の代わりに名前と電話番号種別が表示されます。 # を押すと、名前と電話番号の表示を一時的に切り替えることができます。音声メモは切り替わりません。

2 伝言メモを選び ●(再生)を押す

伝言メモが再生されます。

再生を途中で停止する場合
●(停止)を押します。

前後の伝言メモを再生する場合
再生中に ◀ で前の伝言メモ、▶ で次の伝言メモを再生できます。

伝言メモ・音声メモを削除する

録音できる件数は、伝言メモが3件、テレビ伝言メモが3件、音声メモが3件です。不要な伝言メモ・テレビ伝言メモ・音声メモは削除してください。

例：伝言メモを1件削除する場合

1 待受画面で メモ を押し、[伝言メモ再生]を選び ● を押す

テレビ伝言メモを削除する場合
待受画面で メモ を押し、[テレビ伝言メモ再生]を選択します。

音声メモを削除する場合
待受画面で メモ を押し、[音声メモ再生]を選択します。

すべて削除する場合
機能メニュー[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 伝言メモを選び ✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

3 [1件削除]→[はい]を選び ● を押す

伝言メモが削除されます。

テレビ電話のかけかた/受けかた

テレビ電話とは …… 68
テレビ電話をかける …… 69
テレビ電話を受ける …… 72
キャラ電を利用する …… 73
テレビ電話の動作を設定する ……〈テレビ電話設定〉74
音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する ……〈テレビ電話切替通知〉76

テレビ電話とは

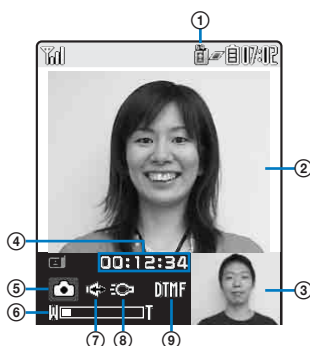
テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。テレビ電話を利用すると、お互いの映像を見ながら通話できます。また、自分の映像の代わりに静止画や代替画像、キャラ電などを表示できます。

ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※1 3GPP（3rd Generation Partnership Project）
第三世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体。

※2 3G-324M
第三世代携帯テレビ電話の国際規格。

- テレビ電話の通信速度には、次の2種類があります。
  - 64K：通信速度64kbpsで通信をします。
  - 32K：通信速度32kbpsで通信をします。

テレビ電話通話中の画面の見かた

① テレビ電話通話中
：64K　：32K
② TV画像（大）
お買い上げ時は、相手の画像を表示
③ TV画像（小）
お買い上げ時は、自分の画像を表示
④ 通話時間
時：分：秒の形式で表示
⑤ 送信画像の状態
：カメラ画像送信中
：静止画送信中
：キャラ電送信中
⑥ ズーム倍率
ズーム倍率をバー表示
⑦ ：ハンズフリーON
⑧ ：フォトライト点灯
⑨ モード
：全体アクションを操作できるモード
：パーツアクションを操作できるモード
DTMF：プッシュ信号（DTMF）を送信できるモード

テレビ電話通話中の操作

操　作	ボタン操作
カメラ画像/代替画像を切り替える	◉（自画像/代替）を押します。押すたびにカメラ画像/代替画像が切り替わります。
カメラを切り替える	（カメラ切替）を押します。押すたびにインカメラ/アウトカメラが切り替わります。
ハンズフリーを切り替える	を押します。押すたびにON/OFFが切り替わります。
画像をズームイン/ズームアウトする	▶（ズームイン）/◀（ズームアウト）を押します。
通話を保留にする	機能メニュー［通話中保留］を選択します。解除するときは を押します。
画面表示を切り替える	機能メニュー［テレビ電話画面設定］を選択します。
送信画像の画質を切り替える	機能メニュー［送信画質設定］を選択します。通話を終了すると、テレビ電話設定の送信画質設定で設定した画質に戻ります。
代替画像を選択する	機能メニュー［代替画像選択］を選択します。
フォトライトのON/OFFを切り替える	機能メニュー［フォトライト］を選択します。（アウトカメラ利用時のみ）
自分の電話番号を表示する	機能メニュー［自局電話番号表示］を選択します。
音声電話に切り替える	機能メニュー［音声電話切替］を選択します。（テレビ電話をかけた場合のみ）

テレビ電話をかける

1 **待受画面で電話番号を入力する**

2 **（テレビ電話）を押す**

相手の電話につながると「ルルル…」という呼出音が聞こえます。
相手が応答すると、相手側に自分の画像が送信され、相手の声がスピーカーから聞こえるハンズフリーに切り替わります。

3 **通話が終わったら を押す**

- 電話番号を入力して ◉（発信）を押し、発信メニューから[テレビ電話]を選択すると、送信する画像や通信速度を指定してテレビ電話をかけることができます。
- 他の機能を実行中はテレビ電話をかけることができない場合があります。
- 代替画像を送信して通話しているときもデジタル通信料がかかります。
- テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージ（文字情報）が表示され、自動的に待受画面に戻ります。なお、通話する相手の機種やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。

メッセージ	説　明
電話番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号です。
お話中です	相手が話し中、またはパケット通信中です。
電波の届かない所にいるか電源が切れています	相手が電波の届かない所にいるか、電源が入っていません。
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます。（Vライブやビジュアルネットなどへの発信時）
音声電話でおかけ直しください	相手が転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応の場合に表示されます。※
接続できませんでした	上記のいずれにも該当しない場合に表示されます。

※ 2006年5月現在、相手が留守番電話サービスを設定している場合も表示されます。

- 32Kによるテレビ電話は、ネットワーク状況によって64Kでのテレビ電話が利用できないPHSなどの機器と接続するためのものです。64Kでテレビ電話をかけたときでも相手が32Kエリアなどの通信環境だった場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。
  ※ 32Kでテレビ電話接続した場合でも、64Kで接続したデジタル通信料と同一になります。
- テレビ電話がつながらなかった場合、自動的に32Kや音声電話に切り替えて再発信します。

	音声自動再発信[ON]	音声自動再発信[OFF]
64Kで発信してつながらなかった場合	32Kで再発信します。	32Kで再発信します。
32Kで発信してつながらなかった場合	音声電話で再発信します。	再発信しません。

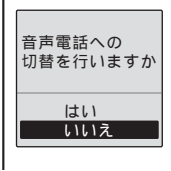
- FOMA端末から緊急通報（110番、119番、118番）にテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。
- テレビ電話通話中は、音声電話やテレビ電話をかけることができません。また、ｉモードメール、メッセージR/Fは受信できません。テレビ電話終了後にｉモード問合せを行って受信してください。
- テレビ電話非対応端末にかけた場合や、相手がテレビ電話対応端末でも圏外にいる場合や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話非対応端末にかけた場合で、音声自動再発信の設定を[ON]に設定しているときは、テレビ電話接続前に相手から切断され、音声電話として電話をかけ直します。ただし、ISDN同期64KbpsやPIAFSのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2006年5月現在）、間違い電話をした場合は、このような動作にならない場合があります。通話料が発生する場合もありますのでご注意ください。

テレビ電話から音声電話に切り替える

テレビ電話をかけた側は、テレビ電話通話中に音声電話に切り替えることができます。

- 音声↔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。また、電話を受けた側がテレビ電話切替通知を[切替通知開始]に設定しておく必要があります。(P.76)

1 テレビ電話通話中に (機能)を押し、[音声電話切替]を選び を押す

音声電話への
切替を行いますか
はい
いいえ

[はい]　：テレビ電話から音声電話に切り替えます。
[いいえ]：切り替えず、テレビ電話に戻ります。

2 [はい]を選び を押す

切り替え中はアニメーションが表示され、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
音声電話に切り替わると、ハンズフリーが[OFF]に切り替わります。

- 切り替えには、約5秒かかります。なお、電波状況により切り替えに時間がかかる場合があります。
- 電波状況によってはテレビ電話から音声電話に切り替えられず、接続が切れてしまう場合があります。
- 「音声電話切替中」と表示されている間は料金は課金されません。
- 通話時間は通話を切り替えるたびに0秒から開始されます。
- 音声電話からテレビ電話へ切り替えることができます。テレビ電話と音声電話は、繰り返し切り替えることができます。

テレビ電話を受ける

テレビ電話がかかってくると、着信ランプの点滅、着信音、バイブレータなどでお知らせします。着信時の動作は、着信設定やマナーモードなどの設定により異なります。

1 テレビ電話がかかってきたら または (テレビ電話)を押す

応答すると、相手側に自分の画像が送信され、相手の声がスピーカーから聞こえるハンズフリーに切り替わります。
相手が電話番号を通知してきた場合は、電話番号が画面に表示されます。

電話帳に登録されている場合
相手の電話番号と名前が表示されます。同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録した場合、メモリ番号の若い名前が表示されます。電話帳に登録した指定電話着信音、指定発着信画像、指定電話ランプ色が動作します。

相手の電話番号が表示されない場合
相手の電話番号が通知されないときは、その理由が表示されます。

非通知理由	内　容
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合(ただし、経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります)

代替画像でテレビ電話を受ける場合
(代替)を押します。

転送先に転送する場合
機能メニュー[転送でんわ]を選択します。

着信を拒否する場合
機能メニュー[着信拒否]を選択します。

2 通話が終わったら を押す

- マナーモード中にテレビ電話がかかってきた場合、電話を受けるとハンズフリーをONにするかどうかを確認する画面が表示されます。ハンズフリー通話しない場合は、[いいえ]を選択してください。
- テレビ電話のハンズフリー機能は、あらかじめ[OFF]に設定することもできます。(P.75)
- 音声通話中にテレビ電話がかかってきた場合、キャッチホンなど(ネットワークサービス)のお申し込み状況により、通話中の音声電話を切断し、テレビ電話を受けることができます。

テレビ電話から音声電話に切り替えて電話を受ける

テレビ電話をかけた側がテレビ電話から音声電話に切り替えると、電話を受けた側は自動的に音声電話になります。

- 音声↔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。あらかじめテレビ電話切替通知を［切替通知開始］に設定してください。（P.76）

切り替え中はアニメーションが表示され、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
音声電話に切り替わると、ハンズフリーが［OFF］に切り替わります。

キャラ電を利用する

テレビ電話で通話するときに、カメラ画像の代わりにキャラクタを送信できます。ダイヤルボタンを押してキャラクタを動かしたり、キャラクタによっては、送話口からの音声に反応して口を動かしたりします。

- お買い上げ時に登録されているキャラ電のアクション一覧については、P.231をご覧ください。

1 待受画面で ▲（📁）を押し、［キャラ電］を選び ● を押す

キャラ電一覧が表示されます。

2 キャラ電を選び ✉（機能）を押し、［キャラ電発信］を選び ● を押す

電話番号入力方法選択画面が表示されます。

3 入力方法を選び ● を押し、電話番号を入力する

4 chMy（テレビ電話）を押す

©BVIG

キャラ電を代替画像にしてテレビ電話がかかります。

全体アクションモードとパーツアクションモードを切り替える場合
chMy（切替）を押します。

アクション一覧を表示する場合
iα（一覧）を押します。

プッシュ信号（DTMF）を送信するモードに切り替える場合
機能メニュー［DTMF送出モード］を選択します。

キャラ電のアクションを実行するモードに切り替える場合
機能メニュー［アクション入力モード］を選択します。

テレビ電話の動作を設定する

テレビ電話中の画面表示を設定する

お買い上げ時　相手大自分小

テレビ電話中のTV画像(大)とTV画像(小)に表示される画像を設定します。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[テレビ電話設定]→[テレビ電話画面設定]を選び◉を押す

[相手大自分小]：TV画像(大)に相手の画像、TV画像(小)に自分の画像を表示します。
[相手小自分大]：TV画像(大)に自分の画像、TV画像(小)に相手の画像を表示します。
[相手のみ]：TV画像(大)に相手の画像のみ表示します。
[自分のみ]：TV画像(大)に自分の画像のみ表示します。

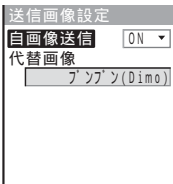
2 表示方法を選び◉を押す

テレビ電話画面設定が設定されます。

相手側に送信する映像を設定する

お買い上げ時　自画像送信：ON／代替画像：ブンブン(Dimo)

テレビ電話をかけたときに相手にカメラ画像を送信するかどうか、また、カメラ画像を送信しない場合の代替画像をマイピクチャまたはキャラ電から設定します。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[テレビ電話設定]→[送信画像設定]を選び◉を押す

2 [自画像送信]に[ON]/[OFF]を選択する

[ON]：テレビ電話をかけたときに相手にカメラ画像を送信します。
[OFF]：テレビ電話をかけたときに相手に代替画像を送信します。

3 [代替画像]にデータBOXのマイピクチャ/キャラ電から代替画像を選択する

- マイピクチャからファイルサイズが500Kバイト以下および画像サイズが[QCIF(176×144)]以下のGIF画像/JPEG画像、キャラ電からキャラ電を設定できます。ファイル制限がある画像、フレーム画像などは設定できません。

送信画像設定が設定されます。

テレビ電話の画質を設定する

お買い上げ時 標準

相手に送信する画像の画質を設定します。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[テレビ電話設定]→[送信画質設定]を選び◉を押す

[画質優先]：画質を重視して送信します。
[標準]　　：画質と動きのバランスをとって送信します。
[動き優先]：動きを重視して送信します。

2 送信する画像の画質を選び◉を押す

送信画質設定が設定されます。

テレビ電話がつながらなかったときに音声電話で再発信する

お買い上げ時 OFF

テレビ電話がつながらなかったとき、自動的に音声電話をかけ直します。テレビ電話がつながったときは、音声電話で再発信しません。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[テレビ電話設定]→[音声自動再発信]を選び◉を押す

2 [ON]/[OFF]を選び◉を押す

音声自動再発信が設定されます。

- 音声電話で再発信した場合の通話料は、デジタル通信料ではなく通話料になります。

ハンズフリー機能を利用する

お買い上げ時 ON

テレビ電話がつながったときに、自動的にハンズフリー機能を利用するかどうかを設定します。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[テレビ電話設定]→[ハンズフリー]を選び◉を押す

2 [ON]/[OFF]を選び◉を押す

ハンズフリーが設定されます。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続時は、ハンズフリーの設定にかかわらず、イヤホンマイクでの通話になります。

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

自分のFOMA端末が音声電話/テレビ電話の切り替えに対応していることを、相手に通知するかどうかを設定します。

- サービスエリア外や電波の届いていない場所や音声通話中、テレビ電話通話中は、設定できません。

1 **メニューで[NWサービス]→[テレビ電話切替通知]を選び ◉ を押す**

2 **[切替通知開始]→[はい]を選び ◉ を押す**

通知しない場合
[切替通知停止]→[はい]を選択します。

設定内容を確認する場合
[切替通知設定確認]を選択します。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について......78
FOMA端末電話帳に登録する......〈FOMA端末電話帳登録〉79
FOMAカード電話帳に登録する......〈FOMAカード電話帳登録〉81
リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する......81
グループを登録する......〈グループ設定〉82
電話帳を表示する......83
電話帳を検索する......〈電話帳検索〉84
電話帳の表示を設定する......〈電話帳設定〉84
電話帳を修正する......〈電話帳修正〉85
電話帳を削除する......〈電話帳削除〉85
電話帳の登録状況を確認する......〈登録件数確認〉86
少ないボタン操作で電話をかける......〈ツータッチダイヤル〉86

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末では、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳を利用できます。
各電話帳に登録できる項目は次のとおりです。

○：登録可　×：登録不可

		FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳
個別登録項目	名前	○（必須）	○（必須）
	フリガナ	○	○
	グループ	0～19	0～10
	メモリ番号	0～999	×
	電話番号	3件	1件
	電話番号種別アイコン	○	×
	メールアドレス	3件	1件
	メールアドレス種別アイコン	○	×
	シークレットコード	○	×
	その他の項目（郵便番号、住所、誕生日、指定発着信画像、指定キャラ電、指定電話着信音、指定メール着信音、指定電話ランプ色、指定メールランプ色、シークレット登録）	○	×
グループ登録項目	グループ名	○	○
	グループアイコン	○	×
	その他の項目（指定発着信画像、指定電話着信音、指定メール着信音、指定電話ランプ色、指定メールランプ色）	○	×

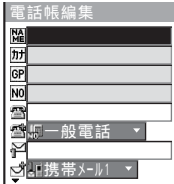
- マルチナンバーの付加番号に電話がかかってくると、電話番号設定（P.265）で設定した着信音が鳴ります。また、電話帳登録とグループ設定の指定着信音、指定発着信画像、指定ランプ色を同時に設定している場合は、電話帳登録の設定が優先されます。ただし、グループ設定の指定着信音に映像と音声が含まれるｉモーションを設定している場合、優先されることがあります。
- シークレット登録した相手から電話がかかってきたり、メールを受信すると、通常の着信音・着信画像・着信ランプ色が動作し、名前は表示されません。シークレット登録した相手の設定や、シークレット登録した相手が含まれるグループの設定を有効にする場合は、シークレット表示を［ON］に設定してください。
- 電話帳に登録した内容は、別にメモを取ったり、“メモリースティック Duo”（P.233）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.300）とUSB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに保管することもできます。
FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。万一、電話帳などに登録してある内容が消失してしまうことがあっても当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ドコモショップなど窓口にて機種変更時などに新機種へコピーできるのは、「名前」「フリガナ」「1つ目の電話番号」「グループ設定」「1つ目のメールアドレス」「シークレット登録の設定」です。なお、新機種の仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

＊“メモリースティック Duo”をご利用になるには、別途“メモリースティック Duo”が必要となります。（P.233）

FOMA端末電話帳に登録する

FOMA端末電話帳には1,000件のデータを登録できます。

1 待受画面で ▼（□）を押し、（新規）を押す

2 ［本体メモリ］を選び ◉ を押す

FOMAカード電話帳に登録する場合
［FOMAカード（UIM）］を選択します。（P.81）

3 各項目を登録する

アイコン	項　目	設定内容
	名前	全角16文字、半角32文字以内で入力します。
	フリガナ	自動的に入力されたフリガナを確認します。 • 修正する場合は、半角32文字以内で入力します。
	グループ	グループを選択します。名前/電話番号/メールアドレスを入力すると、グループ ⓪ が自動的に入力されます。
	メモリ番号	000～999の範囲で入力します。名前/電話番号/メールアドレスを入力すると、空いている最小のメモリ番号が自動的に入力されます。
	電話番号	最大3件、1件につき26桁以内で入力します。ポーズ（P）、タイマー（T）、「＋」、「＃」、サブアドレスの区切り（＊）を登録できます。 • 先頭に「184」、「186」を付けて登録すると、SMSの宛先として電話番号を選択しても送信できません。
	電話番号種別アイコン	電話番号種別アイコンを選択します。電話番号を入力すると、［一般電話］が自動的に入力されます。
	メールアドレス	最大3件、1件につき半角英数字50文字以内で入力します。 • メールの送信先がｉモード端末（mova含む）のときは、メールアドレスの@以降を省略することもできます。
	メールアドレス種別アイコン	メールアドレス種別アイコンを選択します。メールアドレスを入力すると、［携帯メール1］が自動的に入力されます。
	メールアドレス用シークレットコード	相手がシークレットコードを登録している場合、相手から指定されたシークレットコード（P.176）を入力します。メールを送信するときに使います。 • メールアドレスを「電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」と電話帳に登録している場合は、シークレットコードを登録するとその相手にメール送信や返信ができなくなります。メールアドレスを「電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードを登録してください。 • 入力したシークレットコードは「＊＊＊＊」で表示されます。シークレット表示を［ON］に設定しているときのみ、数字で表示されます。
	郵便番号	半角数字7桁以内で入力します。
	住所	全角64文字、半角128文字以内で入力します。
	誕生日	1900/01/01～2050/12/31の範囲で入力します。

アイコン	項　目	設定内容
	指定発着信画像	電話の発着信時、メールの受信直後、電話帳1件表示時に表示する画像を、データBOXのマイピクチャから選択または撮影します。 ・ファイルサイズが100Kバイト以下および画像サイズが[待受(240×320)]以下のGIF画像/JPEG画像を設定できます。 ・サイズの大きい画像は、表示に時間がかかる場合があります。 ・静止画を撮影する場合は、[カメラ]を選択し、撮影します。画像サイズが[待受(240×320)]以下の静止画を撮影できます。(P.124) ・画像を指定しない場合は、[指定なし]を選択します。 ・画像を確認する場合は、画像にカーソルをあわせ、(見る)を押します。
	指定キャラ電	テレビ電話発信時に送信するキャラ電を、データBOXのキャラ電から選択します。 ・キャラ電を指定しない場合は、[指定なし]を選択します。
♪	指定電話着信音 指定メール着信音	音声/テレビ電話がかかってきたとき、メールの受信直後に鳴動する着信音をデータBOXのメロディ/iモーションから選択します。 ・メロディからSMF形式/MFi形式のメロディ、iモーションから画像サイズが[sQCIF(128×96)]、[QCIF(176×144)]の映像と音声が含まれるiモーション/音声のみのiモーションを設定できます。iモーションによっては設定できないことがあります。 ・着信音を指定しない場合は、[指定なし]を選択します。 ・着信音を鳴らさない場合は、[サイレント]を選択します。 ・着信音を確認する場合は、着信音にカーソルをあわせ、(聞く/再生)を押します。
	指定電話ランプ色 指定メールランプ色	音声/テレビ電話がかかってきたとき、メールの受信直後に点滅するランプ色を選択します。ランプ色にカーソルをあわせると、着信ランプが点滅します。 ・ランプ色を指定しない場合は、[指定なし]を選択します。
	シークレット登録	[ON]/[OFF]を選択します。 ・シークレット登録した内容を表示する場合は、シークレット表示を[ON]に設定します。

4 (完了)を押す

入力した内容がFOMA端末電話帳に登録されます。

- 指定発着信画像、指定着信音、指定ランプ色に[指定なし]を設定した場合、グループ設定に登録されている発着信画像、着信音、ランプ色がそれぞれ動作します。グループ設定に登録されていない場合は、着信設定(P.88、89)やアニメーション設定(P.97)に従います。
- 指定キャラ電に[指定なし]を選択した場合、送信画像設定(P.74)で設定した代替画像または自分の画像が送信されます。
- 指定着信音に映像と音声が含まれるiモーションを設定した場合、指定発着信画像にそのiモーションが表示されます。ただし、音声のみのiモーション(歌手の歌声など映像のないiモーション)の場合は、指定発着信画像に設定した画像が表示されます。
- 指定着信音に音声のみのiモーションまたはSMF形式/MFi形式のメロディを設定し、指定発着信画像に[指定なし]を設定した場合、着信設定の着信音または着信画像に映像と音声が含まれるiモーションを設定すると、指定発着信画像にお買い上げ時の画像が表示されます。
- 指定着信音に音声のみのiモーションを設定し、指定発着信画像に[指定なし]を設定した場合、着信設定の着信画像にFlash画像または映像のみのiモーションを設定すると、指定発着信画像にお買い上げ時の画像が表示されます。
- 指定着信音に[指定なし]を設定し、指定発着信画像にGIF画像/JPEG画像を設定した場合、着信設定の着信音または着信画像に映像と音声が含まれるiモーションを設定すると、指定発着信画像に着信設定の着信画像が表示されます。

FOMAカード電話帳に登録する

FOMAカード電話帳には50件のデータを登録できます。

1 待受画面で (▼) (□)を押し、(iα) (新規)を押す

2 [FOMAカード(UIM)]を選び (●) を押す

FOMA端末電話帳に登録する場合
[本体メモリ]を選択します。(P.79)

3 各項目を登録する

アイコン	項　目	設定内容
NAME	名前	全角10文字、半角21文字以内で入力します。全角と半角が混在している場合や半角カタカナが含まれている場合は、10文字までしか登録できません。
ｶﾅ	フリガナ	自動的に入力されたフリガナを確認します。 • 修正する場合は、全角カナ12文字、半角英数字25文字以内で入力します。全角と半角が混在している場合は、12文字までしか登録できません。
GP	グループ	グループを選択します。名前/電話番号/メールアドレスを入力すると、グループ［⓪指定なし］が自動的に入力されます。
☎	電話番号	26桁(FOMAカードの種類によっては20桁)以内で入力します。
✉	メールアドレス	半角英数字50文字以内で入力します。記号を入力した場合は、最大入力文字数まで登録できないことがあります。 • メールの送信先がｉモード端末(mova含む)のときは、メールアドレスの@以降を省略することもできます。

4 (iα) (完了)を押す

入力した内容がFOMAカード電話帳に登録されます。

● FOMA端末電話帳からコピーしたり、赤外線通信などで受信したデータは、正しく登録できないことがあります。

リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する

履歴に記録されている電話番号をそのまま電話帳に登録できます。

例：着信履歴をFOMA端末電話帳に新規登録する場合

1 待受画面で (◀) (□)を押す

リダイヤルを登録する場合
待受画面で (▶) (□)を押します。

2 着信履歴を選び (iα) (登録)を押す

登録方法選択画面が表示されます。

3 [新規登録]を選び ◉ を押す

保存先選択画面が表示されます。

[追加登録]を選択した場合

電話帳から項目を追加登録するデータを選択します。

4 [本体メモリ]を選び ◉ を押す

電話帳編集画面が表示されます。

FOMAカード電話帳に登録する場合

[FOMAカード(UIM)]を選択します。

5 各項目を登録する

- FOMA端末電話帳登録(P.79操作3)またはFOMAカード電話帳登録(P.81操作3)の該当する操作を行ってください。

6 (完了)を押す

登録した内容がFOMA端末電話帳に登録されます。

グループを登録する

FOMA端末電話帳のグループは20件、FOMAカード電話帳のグループは10件登録できます。

- FOMAカード電話帳の[⓪指定なし]は変更できません。

例：FOMA端末電話帳のグループを登録する場合

1 電話帳で (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [グループ設定]を選び ◉ を押す

グループ番号を表示する場合

グループアイコンが登録されている場合は、グループ番号の代わりにグループアイコンが表示されます。 を押すと、グループアイコンとグループ番号の表示を一時的に切り替えることができます。

3 グループを選び ◉ を押す

4 [NAME]にグループ名を入力する

全角10文字、半角21文字以内で入力します。FOMAカード電話帳で全角と半角が混在している場合や半角カタカナが含まれている場合は、10文字までしか登録できません。

- FOMAカード電話帳の場合は操作7に進みます。

5 [😊]にグループアイコンを選択する

6 指定発着信画像、指定着信音、指定ランプ色を登録する

- FOMA端末電話帳登録(P.80)の指定発着信画像、指定着信音、指定ランプ色の登録と同じ操作を行ってください。

7 (完了)を押す

グループが設定されます。

● 発着信画像、着信音、着信ランプ色の優先順位については、P.90をご覧ください。

電話帳を表示する

電話帳からさまざまな操作を行うことができます。

例：FOMA端末電話帳を表示する場合

1 待受画面で ▼ (📖)を押す

FOMAカード電話帳を表示する場合

(FOMAカード)を押します。押すたびにFOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳が切り替わります。FOMAカード電話帳には「 」が表示されます。

2 データを選び ◉ を押す

電話をかける場合

電話番号にカーソルをあわせ、 を押します。

テレビ電話をかける場合

電話番号にカーソルをあわせ、 (テレビ電話)を押します。

メールを送信する場合

メールアドレスにカーソルをあわせ、◉ (メール)を押します。

発着信画像を確認する場合

発着信画像にカーソルをあわせ、◉ (見る)を押します。

キャラ電を確認する場合

キャラ電にカーソルをあわせ、◉ (見る)を押します。

着信音を確認する場合

着信音にカーソルをあわせ、◉ (聞く)を押します。

着信ランプを確認する場合

着信ランプにカーソルをあわせ、◉ (確認)を押します。

画像表示を切り替える場合

 を押すと、画像の表示/非表示を一時的に切り替えることができます。

● あかさたな順、グループ順で表示されているときは、ダイヤルボタンを使って「あ」～「わ」行のページや各行の先頭に移動できます。たとえば、「は」行に移動するときは「は」が表記されたボタン 6 を押します。また、6 を繰り返し押すと、「は→ひ→ふ→…」のように「は」行内で移動できます。「A」、「ETC」行は * を押して切り替えます。

電話帳を検索する

電話帳を検索して一時的に100件まで表示できます。

1 電話帳で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [検索]を選び ● を押す

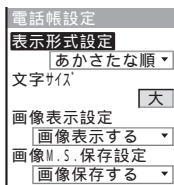
電話帳検索
名前検索
ﾒﾓﾘ番号検索
ｸﾞﾙｰﾌﾟ検索
電話番号検索

[名前検索] ：名前のフリガナの一部（先頭から）を、半角32文字以内で入力します。FOMAカード電話帳は半角25文字以内で入力します。
[メモリ番号検索]：メモリ番号を入力します。
[グループ検索] ：グループを選択します。
[電話番号検索] ：電話番号の一部を、26桁以内で入力します。

FOMAカード電話帳を検索する場合

ch（FOMAカード）を押します。

3 検索方法を選び ● を押し、項目を入力する

検索結果が表示されます。

電話帳の表示を設定する

お買い上げ時 | 表示形式設定：あかさたな順／画像表示設定：画像表示する／画像M.S.保存設定：画像保存する

電話帳の表示形式、文字サイズ、電話帳1件表示時の画像の有無などを設定できます。

1 電話帳で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [電話帳設定]を選び ● を押す

電話帳設定
表示形式設定
あかさたな順
文字ｻｲｽﾞ
大
画像表示設定
画像表示する
画像M.S.保存設定
画像保存する

[表示形式設定] ：電話帳を呼び出したときの表示形式を選択します。
[文字サイズ] ：電話帳の文字サイズを選択します。（P.101）
[画像表示設定] ：電話帳を1件表示するときに指定発着信画像に設定した画像を表示するかどうかを選択します。
[画像M.S.保存設定]：“メモリースティック Duo”に全件保存するときに指定発着信画像に設定した画像を保存するかどうかを選択します。

3 [表示形式設定]に表示形式を選択する

[あかさたな順]：登録されている[ﾌﾘｶﾞﾅ]のあかさたな順（50音順）に表示します。
[グループ順] ：グループ番号順に表示します。
[メモリ番号順]：メモリ番号順に表示します。

4 [画像表示設定]に[画像表示する]/[画像表示しない]を選択する

5 [画像M.S.保存設定]に[画像保存する]/[画像保存しない]を選択する

電話帳設定が設定されます。

*“メモリースティック Duo”をご利用になるには、別途“メモリースティック Duo”が必要となります。（P.233）

電話帳を修正する

1 電話帳でデータを選び ◉ を押す

2 (i) (修正)を押す

電話帳編集画面が表示されます。

3 各項目を修正する

- FOMA端末電話帳登録(P.79操作3)またはFOMAカード電話帳登録(P.81操作3)の該当する操作を行ってください。

4 (i) (完了)を押す

修正した内容が電話帳に登録されます。

電話帳を削除する

電話帳のデータは3とおりの方法で削除できます。

例：1件ずつ削除する場合

1 待受画面で ▼ (📖)を押す

あ	か	さ	た	な	は	ま	や

ドコモ一郎
ドコモ三郎
ドコモ二郎
ドコモ太郎

複数選択して削除する場合

機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、データを複数選択して (i) (完了)を押し、[はい]を選択します。

すべて削除する場合

機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

- [全件削除]では、FOMA端末電話帳、FOMAカード電話帳それぞれのデータをすべて削除します。

2 データを選び ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

グループ順に表示設定している場合

削除するデータが含まれているグループを選択し、データにカーソルをあわせ、✉ (機能)を押します。

3 [削除]→[1件削除]→[はい]を選び ◉ を押す

選択したデータが削除されます。

電話帳の登録状況を確認する

FOMA端末電話帳やFOMAカード電話帳に登録されているデータの件数、登録可能な残りの件数およびシークレット登録されているデータの件数を確認できます。

1 電話帳で (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [登録件数確認]を選び ◉ を押す

登録件数確認	
残りメモリ	550
登録メモリ	450
シークレット登録	5
FOMAカード残りメモリ	30
FOMAカード登録メモリ	20

[残りメモリ]：FOMA端末電話帳に登録できるデータの残り件数
[登録メモリ]：FOMA端末電話帳に登録されているデータの件数（シークレット登録件数を含む）
[シークレット登録]：FOMA端末電話帳にシークレット登録されているデータの件数（シークレット表示を［ON］に設定しているときのみ表示されます）
[FOMA**カード残りメモリ**]：FOMAカード電話帳に登録できるデータの残り件数
[FOMA**カード登録メモリ**]：FOMAカード電話帳に登録されているデータの件数

少ないボタン操作で電話をかける

メモリ番号000〜009に登録されている相手には、簡単に電話をかけることができます。（ツータッチダイヤル）
よくかける電話番号は、メモリ番号の000〜009に登録しておくと便利です。

- シークレット表示を［OFF］に設定しているとき、シークレット登録されている電話番号へは、ツータッチダイヤルで電話をかけることはできません。

例：メモリ番号001で登録されている相手に電話をかける場合

1 待受画面でメモリ番号の下1桁（0〜9）を入力する

メモリ番号に登録されているデータを確認する場合
メモリ番号（1桁または2桁）を入力し、▲ または ▼ を押します。入力したメモリ番号の電話帳が表示されます。

2 を押す

約5秒経過すると、メモリ番号001に登録されている相手の1件目の電話番号に電話がかかります。

テレビ電話をかける場合
（テレビ電話）を押します。

● メモリ番号010〜099で登録されている相手へは、メモリ番号の下2桁（10〜99）を入力して電話をかけることができます。

音/画面/照明設定

電話やメール着信時の音/画像/ランプなどを設定する〈着信設定〉88

■ 音の設定

FOMA端末の音を設定する〈本体音設定〉90
相手の声の音量を調節する〈受話音量〉91
Flash再生時の音量を調節する〈効果音設定〉91
通話が切れそうなときにアラームで知らせる〈音声通話品質アラーム〉92
イヤホンだけから着信音を鳴らす〈イヤホン切替〉92
電話から鳴る音を消す〈マナーモード〉93
マナーモードを変更する〈マナーモード設定〉94

■ 画面/照明の設定

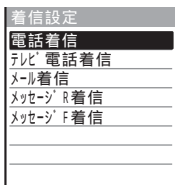
待受画面の表示を変更する〈待受画面設定〉95
電話発信時/メール送信時の画像を設定する〈アニメーション設定〉97
発着信時の表示を設定する〈発着信表示設定〉97
ディスプレイとボタンの照明を設定する〈照明設定〉98
画面表示の消費電力を節約する〈省電力モード〉99
メニューや待受画面のデザインを一括して設定する〈着せかえメニュー〉99
メニューの表示を変更する〈メニュー設定〉100
電話やメールがあったことを着信ランプで知らせる〈不在お知らせ〉101
文字のサイズを変える〈文字サイズ〉101
画面を英語表示に切り替える〈バイリンガル〉102

電話やメール着信時の音/画像/ランプなどを設定する

お買い上げ時	共通－着信音：着信音1／着信音量：3／バイブレータ：OFF／ランプ色：C1:ランプ色1 電話着信－着信画像：音声発着信中 テレビ電話着信－電話着信に連動：OFF／着信画像：テレビ電話発着信中 メール着信－着信画像：メール受信完了／鳴動時間：1回再生OFF、鳴動時間4秒 メッセージR着信・メッセージF着信－メール着信に連動：ON／着信画像：メール受信完了／鳴動時間：1回再生 OFF、鳴動時間 4秒

音声電話やテレビ電話がかかってきたときやメールを受信したときなど着信の種類ごとに、着信音、着信音量、着信画像、バイブレータ、着信ランプの色を設定できます。

例：メール着信を設定する場合

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[着信設定]を選び ◉ を押す

2 [メール着信]を選び ◉ を押す

テレビ電話着信の場合

[電話着信に連動]に[ON]を選択すると、電話着信の設定に従います。

メッセージR着信/メッセージF着信の場合

[メール着信に連動]に[ON]を選択すると、メール着信の設定に従います。

3 [着信音]にデータBOXのメロディ/ｉモーションから着信音を選択する

- 電話着信・テレビ電話着信・メール着信・メッセージR着信・メッセージF着信の場合、メロディからSMF形式/MFi形式のメロディ、ｉモーションから画像サイズが[sQCIF(128×96)]、[QCIF(176×144)]の映像と音声が含まれるｉモーション/音声のみのｉモーションを設定できます。ｉモーションによっては設定できないことがあります。
- "メモリースティック Duo"からFOMA端末にコピーしたり、FOMA端末から"メモリースティック Duo"にコピーしてからFOMA端末に戻したｉモーションは設定できません。

着信音を鳴らさない場合

[サイレント]を選択します。

着信音を確認する場合

着信音にカーソルをあわせ、(ch)(聞く/再生)を押します。

4 [着信音量]に着信音の音量を設定する

[OFF]、[1〜5]、[STEP DOWN]、[STEP UP]から選択します。

- [STEP DOWN]は約6秒ごとに音が小さくなり、[STEP UP]は約6秒ごとに音が大きくなります。電話着信、テレビ電話着信に設定できます。

[OFF]に設定する場合

レベル1で ▼ を押します。電話着信を[OFF]に設定した場合は「(アイコン)」、メール着信を[OFF]に設定した場合は「(アイコン)」、電話着信とメール着信の両方を[OFF]に設定した場合は「(アイコン)」が待受画面に表示されます。

＊"メモリースティック Duo"をご利用になるには、別途"メモリースティック Duo"が必要となります。(P.233)

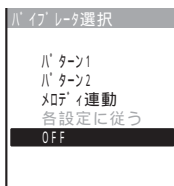
5 [着信画像]にデータBOXから画像を選択する

- 電話着信・テレビ電話着信の場合、マイピクチャからファイルサイズが500Kバイト以下および画像サイズが[VGA(480×640)]以下のGIF画像/JPEG画像、ファイルサイズが100Kバイト以下および画像サイズが[VGA(480×640)]以下のFlash画像、iモーションから画像サイズが[sQCIF(128×96)]、[QCIF(176×144)]の映像と音声が含まれるiモーション/映像のみのiモーションを設定できます。iモーションによっては設定できないことがあります。
- "メモリースティック Duo"からFOMA端末にコピーしたり、FOMA端末から"メモリースティック Duo"にコピーしてからFOMA端末に戻したiモーションは設定できません。
- メール着信・メッセージR着信・メッセージF着信の場合、マイピクチャからファイルサイズが100Kバイト以下および画像サイズが[待受(240×320)]以下のGIF画像/JPEG画像/Flash画像を設定できます。

着信画像を確認する場合

着信画像にカーソルをあわせ、(見る/再生)を押します。

6 [バイブレータ]に振動パターンを設定する

ﾊﾞｲﾌﾞﾚｰﾀ選択
ﾊﾟﾀｰﾝ1
ﾊﾟﾀｰﾝ2
ﾒﾛﾃﾞｨ連動
各設定に従う
OFF

[パターン1] ：振動/停止を繰り返します。
[パターン2] ：長めの振動/停止を繰り返します。
[メロディ連動]：着信音に設定したメロディにあわせて振動します。着信音を[サイレント]に設定している場合やバイブレータパターンが指定されていないメロディの場合は、[パターン1]で振動します。
[OFF] ：バイブレータを設定しません。

電話着信のバイブレータを設定した場合は「」、メール着信のバイブレータを設定した場合は「」、電話着信とメール着信の両方のバイブレータを設定した場合は「」が待受画面に表示されます。

7 [ランプ色]にランプ色を選択する

12色のランプ色、[C13:ALL](12色が順番に点滅)から選択します。
カーソルをあわせると、着信ランプが点滅します。

8 [鳴動時間]を選び ◉ を押す

- 鳴動時間は、メール着信、メッセージR着信、メッセージF着信に設定できます。

9 [1回再生]に[ON]/[OFF]を選択する

[ON] ：着信音を1サイクル分鳴らします。鳴動時間は設定できません。
- メロディによっては、繰り返し鳴動する場合があります。

[OFF]：着信音を[鳴動時間]で設定した時間で鳴らします。

10 [鳴動時間]に着信音を鳴らす時間を入力する

00〜30秒の範囲で入力します。

11 (完了)を押す

メール着信が設定されます。

■プリインストールメロディ一覧

曲　名
着信音1〜5
Tokyo Moon
Double Decker
Nordic Sun
After The Rain
The Earth

曲　名
Swanee
Chorus
Majesty
無伴奏チェロ組曲
Gentle Sound
Nordic Session

曲　名
Glam UK
Fantasia
Brilliance
Fairy
Dawn
Breeze

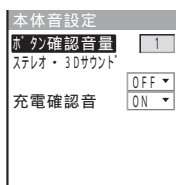
● 音声電話/テレビ電話/メールの着信音、着信画像、着信ランプ色が複数設定されている場合、優先順位は次のとおりです。
1. 電話番号設定の着信音（マルチナンバーの付加番号に電話がかかってきた場合）
2. 電話帳登録の指定着信音、指定発着信画像、指定ランプ色
3. グループ設定の指定着信音、指定発着信画像、指定ランプ色
4. 着信設定の着信音、着信画像、ランプ色
ただし、着信音、着信画像に映像と音声が含まれるｉモーションを設定している場合、優先順位が異なることがあります。
● 着信音量は着信中も調節できます。どちらで調節しても最後に設定した音量になります。
● 鳴動時間を0秒に設定すると、メール/メッセージ受信時に着信音が鳴らず、着信ランプやバイブレータも動作しません。
● 着信音に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合、着信画像もそのｉモーションに変更されます。また、着信画像に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合、着信音もそのｉモーションに変更されます。
● 着信音や着信画像に映像と音声が含まれるｉモーションを設定している場合、着信音を音声のみのｉモーションまたはSMF形式/MFi形式のメロディに変更すると、着信画像がお買い上げ時の画像に変更されます。また、着信画像を映像のみのｉモーションまたはGIF画像/JPEG画像/Flash画像に変更すると、着信音がお買い上げ時のメロディに変更されます。
● 着信音に音声のみのｉモーションを設定している場合、着信画像を映像のみのｉモーションまたはFlash画像に変更すると、着信音がお買い上げ時のメロディに変更されます。
● 着信画像に映像のみのｉモーションまたはFlash画像を設定している場合、着信音を音声のみのｉモーションに変更すると、着信画像がお買い上げ時の画像に変更されます。

FOMA端末の音を設定する

お買い上げ時 | **ボタン確認音量**：1／**ステレオ・3Dサウンド**：OFF／**充電確認音**：ON

ボタン確認音の音量のほか、充電を開始/終了したときに効果音を鳴らすかどうか、3Dサウンドを平型ステレオイヤホンセット（別売）から再生するかどうかを設定できます。

1 メニューで［設定］→［管理］→［本体音設定］を選び ◉ を押す

本体音設定
ボタン確認音量 1
ステレオ・3Dサウンド OFF
充電確認音 ON

［ボタン確認音量］：ボタンを押したときに鳴るボタン確認音の音量を設定します。
［ステレオ・3Dサウンド］：3Dサウンドを3次元の立体音響で平型ステレオイヤホンセットから再生するかどうかを設定します。
［充電確認音］：充電開始時/完了時に効果音を鳴らすかどうかを設定します。

2 ［ボタン確認音量］にボタン確認音の音量を設定する

［OFF］、［1〜2］から選択します。

3 ［ステレオ・3Dサウンド］に［ON］/［OFF］を選択する

4 ［充電確認音］に［ON］/［OFF］を選択する

FOMA端末の音が設定されます。

● ボタン確認音、充電確認音は他の音が鳴っている場合など鳴らないことがあります。
● 3Dサウンド機能とは、平型ステレオイヤホンセット（別売）を使用して、立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。3Dサウンド対応のｉアプリによるゲームや着信音を臨場感あふれるサウンドでお楽しみいただけます。立体感の感じかたには個人差があります。違和感を感じる場合は、ステレオ・3Dサウンドを［OFF］に設定してください。

相手の声の音量を調節する

お買い上げ時 | 3

音声電話やテレビ電話中の相手の声の大きさをレベル1（最小）～レベル5（最大）の5段階に調節できます。

1 メニューで［設定］→［発着信通話］→［通話設定］→［受話音量］を選び ◉ を押す

2 ▲ ▼ で音量を調節し、◉（OK）を押す

受話音量が設定されます。

● 通話中に ▲ ▼ を押しても、音量を調節できます。どちらで調節しても、最後に設定した音量になります。

Flash再生時の音量を調節する

お買い上げ時 | 3

Flash画像やｉチャネルを再生したときの音の大きさをOFF（消音）、レベル1（最小）～レベル5（最大）の6段階に調節できます。

1 ｉモードメニューで［ｉモード設定］→［効果音設定］を選び ◉ を押す

2 効果音の音量を設定する

［OFF］、［1～5］から選択します。
Flash再生時の音量が設定されます。

● Flash画像（P.150）再生中に機能メニュー［効果音設定］を選択しても、音量を調節できます。
● Flash画像によっては、効果音が鳴らないものもあります。

通話が切れそうなときにアラームで知らせる

お買い上げ時 OFF

音声電話の通話中に電波の状態が悪くて通話が切れてしまいそうなとき、アラーム音を鳴らして事前にお知らせすることができます。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[通話品質]→[音声通話品質アラーム]を選び ◉ を押す

[高音]：アラーム音が高音で鳴ります。
[低音]：アラーム音が低音で鳴ります。
[OFF]：アラーム音は鳴りません。

2 アラーム音の種類を選び ◉ を押す

音声通話品質アラームが設定されます。

● 急に電波状態が悪くなった場合は、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

イヤホンだけから着信音を鳴らす

お買い上げ時 イヤホン＋スピーカー

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続した場合の電話着信音、テレビ電話着信音、アラーム音を鳴らす位置を設定できます。

- ［イヤホン］に設定しても、約20秒経過するとイヤホンマイクとスピーカーの両方から着信音が鳴ります。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[イヤホン設定]→[イヤホン切替]を選び ◉ を押す

[イヤホン]：イヤホンマイクからのみ聞こえます。
[イヤホン＋スピーカー]：イヤホンマイクとスピーカーの両方から聞こえます。

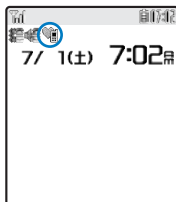
2 [イヤホン]を選び ◉ を押す

イヤホンマイクからのみ聞こえるようになります。

電話から鳴る音を消す

周囲の迷惑にならないよう、電話から出る音を消すマナーモードを設定できます。
マナーモードは3種類あります。マナーモード設定(P.94)で選択できます。

- マナーモード設定中でも、カメラのシャッター音は鳴ります。
- FOMA端末を閉じているときは、マナーモードの設定/解除はできません。

1 待受画面で (マナー) を1秒以上押す

マナーモードが設定され、現在のマナーモードの種類に対応したアイコンが表示されます。

(アイコン)	マナーモード(♡はピンク)
(アイコン)	サイレントモード
(アイコン)	オリジナルマナーモード(♡は青)

マナーモードを解除する場合

待受画面で (マナー) を1秒以上押します。マナーモードが解除され、「(アイコン)/(アイコン)/(アイコン)」が消えます。

■各モードの動作一覧

	マナーモード	サイレントモード	オリジナルマナーモード	
			初期設定	設定範囲
バイブレータ(P.89)※1	各設定に従う([OFF]設定時はパターン1で振動)	OFF	OFF	パターン1/パターン2/メロディ連動/各設定に従う/OFF
電話着信音量(P.88)※2	OFF	OFF	SD(STEP DOWN)	SU(STEP UP)/SD(STEP DOWN)/5~1/OFF
メール着信音量(P.88)※3	OFF	OFF	3	5~1/OFF
アラーム音量(P.250、252)	OFF	OFF	3	5~1/OFF
ボタン確認音量(P.90)※4	OFF	OFF	1	2~1/OFF
充電確認音(P.90)	OFF	OFF	ON	ON/OFF
電池警告音(P.38)※5	OFF+バイブ	OFF	ON	ON/OFF※6
ささやき通話(P.59)	ON	OFF	OFF	ON/OFF

※1 音声電話、テレビ電話、メール、メッセージR/F、めざまし時計、スケジュールアラームのバイブレータに共通の設定です。

※2 音声電話/テレビ電話の着信音量、通話料金上限通知アラーム音に共通の設定です。

※3 メール、メッセージR/Fの着信音量に共通の設定です。

※4 電池残量確認音に共通の設定です。

※5 通話中は設定にかかわらず、電池警告音が受話口から鳴ります。ただし、通話中保留の場合は画面表示のみで電池警告音は鳴りません。

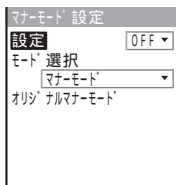
※6 電池警告音が[ON]の場合、バイブレータの設定にかかわらず、バイブレータが振動します。

● 音声電話の通話中に (マナー) を押すと、ささやき通話が設定/解除されます。

マナーモードを変更する

お買い上げ時 設定：OFF／モード選択：マナーモード

マナーモードの種類を「マナーモード」、「サイレントモード」、「オリジナルマナーモード」の3種類から選択します。

1 待受画面で マナー を押す

2 ［モード選択］にマナーモードの種類を選択する

3 i （完了）を押す

マナーモードの種類が変更されます。

オリジナルマナーモードを変更する

お買い上げ時 各モードの動作一覧(P.93)をご覧ください。

オリジナルマナーモードの動作をお好みにあわせて登録できます。設定できる項目の内容については、各モードの動作一覧(P.93)をご覧ください。

例：電池警告音を設定する場合

1 待受画面で マナー を押し、［オリジナルマナーモード］を選び ● を押す

2 ［電池警告音］に［ON］/［OFF］を選択する

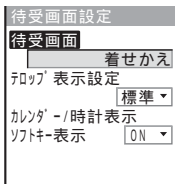
電池警告音の設定が変更されます。

＊"メモリースティック Duo"をご利用になるには、別途"メモリースティック Duo"が必要となります。（P.233）

待受画面の表示を変更する

お買い上げ時	待受画面：着せかえ／テロップ表示設定：標準 カレンダー/時計表示－カレンダー/時計種類：デジタル時計小／文字色：黒／時計表示形式：12h ソフトキー表示：ON

待受画面に表示する画像、ｉチャネルで表示するテロップ、カレンダー/時計の表示、ガイド表示の表示/非表示を設定できます。

1 メニューで[設定]→[画面設定]→[待受画面設定]を選び ◉ を押す

[待受画面]　：待受画面に表示する画像またはｉアプリのソフトを設定します。

[テロップ表示設定]　：待受画面に表示するｉチャネルのテロップの速度または非表示を設定します。

[カレンダー/時計表示]：待受画面に表示するカレンダー/時計の種類、文字色と時計の表示形式を設定します。

[ソフトキー表示]　：待受画面にガイド表示を表示するかどうかを設定します。

待受画面設定の説明を表示する場合

(ｉα)（ヘルプ）を押します。

2 [待受画面]にデータBOXのマイピクチャ/ｉモーションから画像を選択する

- マイピクチャからファイルサイズが500Kバイト以下および画像サイズが[VGA(480×640)]以下のGIF画像/JPEG画像、ファイルサイズが100Kバイト以下および画像サイズが[VGA(480×640)]以下のFlash画像、ｉモーションから画像サイズが[sQCIF(128×96)]、[QCIF(176×144)]、[待受(320×240)]の映像と音声が含まれるｉモーション/映像のみのｉモーションを設定できます。ｉモーションによっては設定できないことがあります。
- " メモリースティック Duo "からFOMA端末にコピーしたり、FOMA端末から" メモリースティック Duo "にコピーしてからFOMA端末に戻したｉモーションは設定できません。

設定中の着せかえメニューの待受画面を表示する場合

[着せかえ]を選択します。

ｉアプリ待受画面を設定する場合

[ｉアプリ一覧]を選択し、ｉアプリソフト一覧からｉアプリの待受画面対応ソフトを選択します。

画像を表示しない場合

[設定なし]を選択します。

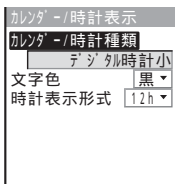
画像を確認する場合

画像にカーソルをあわせ、(ch MY)（見る/再生）を押します。

3 [テロップ表示設定]にテロップを表示する速度または非表示を選択する

[速い]/[標準]/[遅い]　：選択した速度でテロップを表示します。

[OFF]　：テロップを表示しません。

4 [カレンダー/時計表示]を選び ◉ を押す

5 [カレンダー/時計種類]にカレンダー/時計の種類を選択する

カレンダー/時計を表示しない場合

[OFF]を選択します。

6 (配置1～4)で表示位置を調整し、●(OK)を押す

(配置1～4)を押すたびに、カレンダー/時計の位置が移動します。

[カレンダー大/時計]/[カレンダー大]を選択した場合

表示位置は調整できません。

7 [文字色]にカレンダー/時計の文字色を選択する

- カレンダーの土曜日、休祝日の文字色は変わりません。

8 [時計表示形式]に時計の表示形式を選択する

[12h]：12時間制で表示します。
[24h]：24時間制で表示します。

9 (完了)を押す

カレンダー/時計の表示が設定されます。

10 [ソフトキー表示]に[ON]/[OFF]を選択する

ソフトキー表示が設定されます。

- ｉアプリ待受画面、ｉモーションの画像とｉチャネルのテロップを同時に表示する設定はできません。
- ソフトキー表示を[OFF]に設定しても通常どおり操作できます。
- 待受画面にｉモーションを設定した場合、1コマ目の画像が表示されます。 CLR を押すと再生され、 PWR/HLD または CLR を押すと停止します。
- 待受画面にFlash画像やGIFアニメを設定した場合、一定時間再生後に停止します。再開する場合は CLR を押してください。待受画面に設定したFlash画像の効果音は鳴りません。
- 待受画面に設定したｉモーションからPhone To(AV Phone To)、Mail To、Web Toは利用できません。
- 待受画面にｉアプリを設定した場合や通知情報アイコンが表示されている場合など、カレンダー/時計表示が正しく表示されないことがあります。

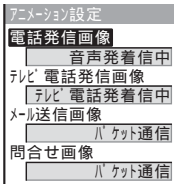
電話発信時/メール送信時の画像を設定する

お買い上げ時　電話発信画像：音声発着信中／テレビ電話発信画像：テレビ電話発着信中／メール送信画像・問合せ画像：パケット通信

音声電話、テレビ電話の発信時やメールの送信時などに表示される画像を設定できます。

例：電話をかけるときの画像を設定する場合

1 メニューで[設定]→[画面設定]→[アニメーション設定]を選び ◉ を押す

ｱﾆﾒｰｼｮﾝ設定
電話発信画像
音声発着信中
ﾃﾚﾋﾞ電話発信画像
ﾃﾚﾋﾞ電話発着信中
ﾒｰﾙ送信画像
ﾊﾟｹｯﾄ通信
問合せ画像
ﾊﾟｹｯﾄ通信

[電話発信画像]　：音声電話発信中の画像を設定します。
[テレビ電話発信画像]：テレビ電話発信中の画像を設定します。
[メール送信画像]　：ｉモードメール、SMS送信中の画像を設定します。
[問合せ画像]　：ｉモード問合せ、SMS問合せ中の画像を設定します。

2 [電話発信画像]にデータBOXのマイピクチャから画像を選択する

- 電話発信画像・テレビ電話発信画像の場合、ファイルサイズが500Kバイト以下および画像サイズが[VGA(480×640)]以下のGIF画像/JPEG画像、ファイルサイズが100Kバイト以下および画像サイズが[VGA(480×640)]以下のFlash画像を設定できます。
- メール送信画像・問合せ画像の場合、ファイルサイズが100Kバイト以下および画像サイズが[待受(240×320)]以下のGIF画像/JPEG画像/Flash画像を設定できます。

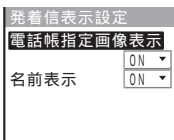
電話をかけるときの画像が設定されます。

● 発着信表示設定の電話帳指定画像表示を[ON]に設定した場合、音声電話とテレビ電話の発信時は電話帳の指定発着信画像が表示されます。

発着信時の表示を設定する

お買い上げ時　電話帳指定画像表示・名前表示：ON

音声電話、テレビ電話の発着信時やメールの受信直後に、電話帳で指定した画像や相手の名前を表示するかどうかを設定できます。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[発着信表示設定]を選び ◉ を押す

[電話帳指定画像表示]：電話帳の指定発着信画像を表示するかどうかを設定します。
[名前表示]　：電話帳の名前を表示するかどうかを設定します。

2 [電話帳指定画像表示]に[ON]/[OFF]を選択する

[ON]　：音声電話、テレビ電話の発着信時やメールの受信直後に電話帳の指定発着信画像で設定した画像を表示します。
[OFF]：音声電話、テレビ電話の発着信時はアニメーション設定/着信設定で設定した画像を表示します。メールの受信直後は画像を表示しません。

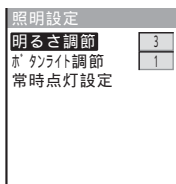
3 [名前表示]に[ON]/[OFF]を選択する

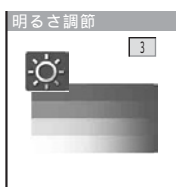
[ON]　：音声電話、テレビ電話の発着信時に電話帳の名前を表示します。
[OFF]：音声電話、テレビ電話の発着信時に電話番号を表示します。

ディスプレイとボタンの照明を設定する

お買い上げ時	明るさ調節：3／ボタンライト調節：1 常時点灯設定－充電時・インターネット中：OFF／テレビ電話中・静止画撮影中・動画撮影中・動画再生中：ON

ディスプレイやボタンの照明の明るさ、ディスプレイの照明を常時点灯するかどうかを設定できます。

1 メニューで[設定]→[画面設定]→[照明設定]を選び ◉ を押す

[明るさ調節]　：ディスプレイの照明の明るさを設定します。
[ボタンライト調節]：ボタンの照明の明るさを設定します。
[常時点灯設定]　：充電中や撮影中などにディスプレイの照明を常時点灯するかどうかを設定します。

2 [明るさ調節]にディスプレイの照明の明るさを設定する

[1～5]から選択します。

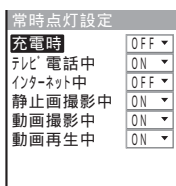
お買い上げ時の明るさに戻す場合
(ｉα)（リセット）を押します。

3 [ボタンライト調節]にボタンの照明の明るさを設定する

[OFF]、[1～2]から選択します。

お買い上げ時の明るさに戻す場合
(ｉα)（リセット）を押します。

4 [常時点灯設定]を選び ◉ を押す

常時点灯設定
充電時 OFF
ﾃﾚﾋﾞ電話中 ON
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ中 OFF
静止画撮影中 ON
動画撮影中 ON
動画再生中 ON

[充電時]　：充電時にディスプレイの照明を常時点灯するかどうかを設定します。
[テレビ電話中]　：テレビ電話中にディスプレイの照明を常時点灯するかどうかを設定します。
[インターネット中]：サイトやインターネットホームページ表示中にディスプレイの照明を常時点灯するかどうかを設定します。
[静止画撮影中]　：静止画撮影中にディスプレイの照明を常時点灯するかどうかを設定します。
[動画撮影中]　：動画撮影中にディスプレイの照明を常時点灯するかどうかを設定します。
[動画再生中]　：動画再生中にディスプレイの照明を常時点灯するかどうかを設定します。

5 各項目に常時点灯の[ON]/[OFF]を選択する

● 常時点灯設定の[充電時]を[ON]に設定した場合、充電完了までに時間がかかることがあります。

画面表示の消費電力を節約する

お買い上げ時 | 3分

一定時間操作を行わなかったとき、画面の表示を自動的にオフにして消費電力を節約します。画面表示オフになるまでの時間を設定できます。

1 メニューで[設定]→[画面設定]→[省電力モード]を選び ◉ を押す

2 省電力モードを起動するまでの時間を選び ◉ を押す

[1分]、[3分]、[5分]、[10分]、[15分]、[30分]、[OFF]から選択します。

省電力モードを設定しない場合

[OFF]を選択します。

- 常時点灯設定が[ON]に設定されている機能の操作中、スライドショー再生中、ソフトウェア更新(書換え)中、カメラ起動中は、省電力モードは起動しません。
- 電話の着信、めざまし時計/スケジュールアラームの起動などにより、省電力モードが解除されることがあります。
- 省電力モードを[OFF]に設定した場合、充電完了までに時間がかかることがあります。

メニューや待受画面のデザインを一括して設定する

お買い上げ時 | Clear white

画面配色パターン、メニューアイコン、待受画面、タスクアイコンを着せかえメニューで一括して変更できます。「SO@Planet」からダウンロードした着せかえメニューを使うこともできます。(P.100)

例：お買い上げ時に登録されている着せかえメニューを設定する場合

1 メニューで[設定]→[画面設定]→[着せかえメニュー]を選び ◉ を押す

[ダウンロード] ：サイトからダウンロードした着せかえメニューを設定します。
[プリインストール]：お買い上げ時に登録されている着せかえメニューを設定します。

2 [プリインストール]フォルダを選び ◉ を押す

ダウンロードした着せかえメニューを設定する場合

[ダウンロード]フォルダを選択します。

着せかえメニューを確認する場合

着せかえメニューにカーソルをあわせ、(i)(見る)を押します。さらに、(ch)(プレビュー2)を押すと、待受画面を確認できます。

着せかえメニューを削除する場合

着せかえメニューにカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、着せかえメニューを複数選択して(i)(完了)を押し、[はい]を選択します。フォルダ内のすべての着せかえメニューを削除する場合は、機能メニュー[削除]→[フォルダ内全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

- お買い上げ時に登録されている着せかえメニューは削除できません。

3 着せかえメニューを選び ◉ を押す

着せかえメニューが設定されます。

- 着せかえメニューは「SO@Planet」からダウンロードできます。
  [ｉMenu]→[メニューリスト]→[ケータイ電話メーカー]→[SO@Planet]

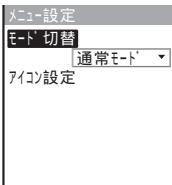
- 着せかえメニューを設定すると、待受画面設定の待受画面やメニュー設定のアイコン設定も選択した着せかえメニューの画像に変わります。
- 着せかえメニューを設定後に、待受画面設定やメニュー設定で待受画面やメニューアイコンを個別に変更することができます。

メニューの表示を変更する

お買い上げ時 | モード切替：通常モード／アイコン設定：着せかえ

メニュー画面のモードを切り替えたり、通常モードのメニュー画面の9つのアイコンの画像を設定したりできます。

例：ｉモードのアイコンを設定する場合

1 メニューで[設定]→[画面設定]→[メニュー設定]を選び ◉ を押す

[モード切替]：メニュー画面のモードを切り替えます。(P.31)
[アイコン設定]：通常モードのメニュー画面に表示するアイコンを設定します。(P.31)

メニューがシンプルモードに設定されている場合
シンプルメニューで[通常メニュー]→[設定]→[画面設定]→[メニュー設定]を選択します。

2 [モード切替]に表示モードを選択する

[通常モード]：通常モードのメニューを表示します。
[シンプルモード]：よく使う機能をまとめたシンプルモードのメニューを表示します。

3 [アイコン設定]を選び ◉ を押す

アイコン設定画面が表示されます。

4 [ｉモード]にデータBOXのマイピクチャから画像を選択する

- ファイルサイズが500Kバイト以下および画像サイズが[VGA(480×640)]以下のGIF画像/JPEG画像を設定できます。画像サイズが40×40ドット(縮小表示時は24×24ドット)を超える画像は、縮小表示されます。

設定中の着せかえメニューのアイコンを表示する場合
[着せかえ]を選択します。

画像を確認する場合
画像にカーソルをあわせ、(chUM)（見る)を押します。

- アイコンにｉアニメを設定した場合、1コマ目の画像が表示されます。

電話やメールがあったことを着信ランプで知らせる

お買い上げ時	ON

不在着信や未読メール/未読SMS/未読メッセージがあるときに、着信ランプを約5秒間隔で点滅してお知らせすることができます。不在着信を確認したり、メール/SMS/メッセージを表示すると着信ランプは消灯します。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[不在お知らせ]を選び ◉ を押す

2 [ON]/[OFF]を選び ◉ を押す

不在お知らせが設定されます。

- 不在お知らせの着信ランプ色は、着信時のランプ色の設定に従います。
- 不在着信と未読メール/未読メッセージが同時にある場合、着信ランプの色は次の優先順位で点滅します。
  1. 音声電話着信ランプ色
  2. テレビ電話着信ランプ色
  3. メール着信ランプ色
  4. メッセージR着信ランプ色
  5. メッセージF着信ランプ色

  優先度の同じものが複数ある場合、最新のものの着信ランプ色が優先されます。

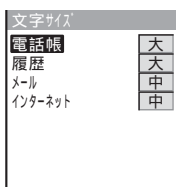
文字のサイズを変える

お買い上げ時	電話帳・履歴：大／メール・インターネット：中

電話帳、履歴、メール/SMS、サイトを表示するときの文字の大きさを、個別に設定できます。

例：電話帳の文字サイズを設定する場合

1 メニューで[設定]→[画面設定]→[文字サイズ]を選び ◉ を押す

文字ｻｲｽﾞ	
電話帳	大
履歴	大
ﾒｰﾙ	中
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	中

[電話帳]：電話帳の文字サイズを[最大]、[大]から選択します。

[履歴]：履歴の文字サイズを[最大]、[大]から選択します。

[メール]：ｉモードメール、SMSの内容表示画面の文字サイズを[大]、[中]、[小]から選択します。

[インターネット]：サイト、画面メモ、メッセージR/Fの内容表示画面の文字サイズを[大]、[中]、[小]から選択します。

2 [電話帳]に文字サイズを選択する

電話帳の文字サイズが設定されます。

画面を英語表示に切り替える

お買い上げ時 Japanese

メニューやメッセージなどの表示を、日本語と英語から選択できます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[バイリンガル]を選び ◉ を押す

[Japanese]：日本語表示に設定します。
[English]　：英語表示に設定します。

英語表示に設定されている場合

[Settings]→[Management]→[Language]を選択します。

2 [English]を選び ◉ を押す

英語表示に設定されます。

● FOMAカードを挿入している場合、バイリンガルの設定はFOMAカードに記憶されます。

あんしん設定

■ 暗証番号について

FOMA端末で利用する暗証番号について 104
端末暗証番号を変更する ....〈暗証番号変更〉106
PINコードを設定する ....〈FOMAカード設定〉106
PINロックを解除する 107

■ 携帯電話の操作や機能を制限する

各種ロック機能について 108
他の人が使用できないようにする ....〈オールロック〉109
発信や着信ができないようにする ....〈セルフモード〉111
電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする ....〈PIMロック〉111
ダイヤル発信を禁止する ....〈ダイヤル発信制限〉112

■ 発着信や送受信を制限する

リダイヤルや着信履歴の表示を設定する ....〈履歴表示設定〉113
シークレット登録されている情報を表示する ....〈シークレット表示〉113
指定した電話番号からの電話だけを受ける/受けない ....〈着信許可/拒否〉114
発信者番号のわからない電話を受けない ....〈非通知着信拒否〉115
電話帳未登録の相手の着信音を無音にする ....〈着信呼出動作設定〉115
電話帳未登録の相手からの電話を受けない ....〈登録外着信拒否〉116

■ その他の「あんしん設定」について

その他の「あんしん設定」について 117

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他の人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気を付けください。
- 暗証番号は、他の人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他の人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（P.106）

端末暗証番号入力画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、◉（OK）を押します。

- 入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

端末暗証番号を間違えた場合

「暗証番号が違います」と表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。

ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「My DoCoMo ID/パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、ｉモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更できます。

※「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります。
（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）
ｉモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
ｉモードからは、[ｉMenu]→[オプション設定]→[ｉモードパスワード変更]から変更できます。

PIN1コード/PIN2コード

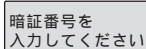
FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。
これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（P.107）
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2コードは、積算料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。

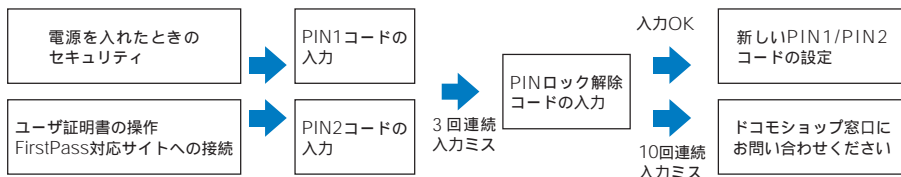
- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご使用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご使用ください。

PIN1コードまたはPIN2コードの入力画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コード/PIN2コードを入力し、◉（OK）を押します。

- 入力したPIN1コード/PIN2コードは「＊」で表示されます。
- PIN1コード/PIN2コードの入力を3回連続して失敗すると、PIN1コード/PIN2コードがロックされて使えなくなります。（入力可能な残りの回数は「残り入力回数」として画面に表示されます）
  正しいPIN1コード/PIN2コードを入力すると、残り入力回数が3回に戻ります。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。お客様ご自身で変更することはできません。

- PIN1ロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。

あんしん設定
暗証番号について

端末暗証番号を変更する

お買い上げ時 0000

1 メニューで[設定]→[管理]→[暗証番号変更]を選び ◉ を押す

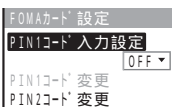
2 現在の端末暗証番号を入力し、◉ (OK)を押す

入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

3 新しい端末暗証番号を入力し、◉ (OK)を押す

4～8桁で入力します。

4 [はい]を選び ◉ を押す

新しい端末暗証番号に変更されます。

PINコードを設定する

お買い上げ時 PIN1コード入力設定：OFF

FOMA端末の電源を入れたときに、PIN1コードを入力するように設定します。PIN1コード、PIN2コードは変更できます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[FOMAカード設定]を選び ◉ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

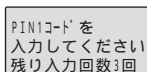
2 端末暗証番号を入力し、◉ (OK)を押す

3 [PIN1コード入力設定]に[ON]/[OFF]を選択する

[ON] ：FOMA端末の電源を入れたとき、PIN1コードの入力が必要です。
[OFF] ：FOMA端末の電源を入れたとき、PIN1コードの入力が不要です。

4 PIN1コードを入力し、◉ (OK)を押す

入力したPIN1コードは「*」で表示されます。
- お買い上げ時、PIN1コードは「0000」に設定されています。

PIN1コード入力設定が設定されます。

PIN1コード/PIN2コードを変更する

お買い上げ時　PIN1コード変更・PIN2コード変更：0000

・PIN1コードを変更するときは、PIN1コード入力設定を［ON］に設定してください。

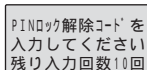
例：PIN1コードを変更する場合

1　メニューで［設定］→［管理］→［FOMAカード設定］を選び ◉ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2　端末暗証番号を入力し、◉（OK）を押す

FOMAカード設定画面が表示されます。

3　［PIN1コード変更］を選び ◉ を押す

PIN2コードを変更する場合
［PIN2コード変更］を選択します。

4　現在のPIN1コードを入力し、◉（OK）を押す

入力したPIN1/PIN2コードは「＊」で表示されます。

5　新しいPIN1コードを入力し、◉（OK）を押す

4～8桁で入力します。

6　もう一度新しいPIN1コードを入力し、◉（OK）を押す

新しいPIN1コードに変更されます。

PINロックを解除する

例：PIN1コードのロックを解除する場合

1　8桁のPINロック解除コードを入力し、◉（OK）を押す

入力したPINロック解除コードは「＊」で表示されます。

2　新しいPIN1コードを入力し、◉（OK）を押す

4～8桁で入力します。
入力したPIN1コードは「＊」で表示されます。

3　もう一度新しいPIN1コードを入力し、◉（OK）を押す

PINロックが解除され、新しいPIN1コードに変更されます。

各種ロック機能について

FOMA端末には、他の人に無断で使用されたり、電話帳を見られたりしないように、さまざまなロック機能があります。目的にあわせてご利用ください。

機　能	説　明
オールロック	他の人がFOMA端末を使用できないようにします。(P.109)
遠隔ロック設定	FOMA端末を紛失したときなど、登録した番号から指定時間に設定した回数だけ電話をかけ、オールロックを設定します。(P.109)
セルフモード	音声電話、テレビ電話の発着信やメールの送受信、赤外線通信や赤外線リモコンなど通話/通信を必要とする機能をすべて利用できないようにします。(P.111)
PIMロック	電話帳やスケジュールなどの個人情報が他の人に閲覧・編集されるのを防ぐため、一部の機能を使用できないようにします。(P.111)
ダイヤル発信制限	ダイヤルボタンを使って音声電話やテレビ電話をかけられないようにします。(P.112)
履歴表示設定	リダイヤル、発信頻度履歴、着信履歴を表示しないように設定できます。(P.113)
シークレット表示	シークレット登録した電話帳・電話番号表示・スケジュールを表示する/しないようにします。(P.113)
着信許可/拒否	音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、特定の電話番号/グループだけを受ける/受けないようにします。(P.114)
非通知着信拒否	発信者番号を通知していない相手からの音声電話やテレビ電話を受けないようにします。(P.115)
着信呼出動作設定	電話帳に登録していない相手からの音声電話やテレビ電話の着信動作を行うまでの時間を設定します。(P.115)
登録外着信拒否	電話帳に登録していない相手からの音声電話やテレビ電話を受けないようにします。(P.116)

他の人が使用できないようにする

お買い上げ時 | OFF

他の人がFOMA端末を使用できないようオールロックを設定します。オールロックを設定すると、電源ON/OFF以外の操作ができなくなります。

1 メニューで[設定]→[ロック/セキュリティ]→[オールロック]を選び ◉ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、◉ (OK)を押す

オールロック設定確認画面が表示されます。

3 [はい]を選び ◉ を押す

オールロックが設定され、待受画面に「オールロック中」と表示されます。

オールロックを解除する場合

端末暗証番号を入力し、◉ (OK)を押します。

- オールロック設定中に緊急通報(110番、119番、118番)に発信するには、緊急通報番号を入力して を押します。緊急通報番号は端末暗証番号の入力欄に「*」で表示されます。
- オールロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。
- オールロック設定中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、着信動作を行わず相手には話中音が流れます。着信履歴には記録されます。オールロックを解除すると「」(着信あり)の通知情報アイコンが表示されます。
- オールロック設定中にメール、メッセージR/F、SMSを受信すると、着信動作を行わず受信をお知らせしません。オールロックを解除すると「」「」「」「」「」が表示されます。また、メールやSMSを受信したときは「」(新着メールあり)の通知情報アイコンも表示されます。
- オールロック設定中はめざまし時計、スケジュールアラームは動作しません。
- 待受画面に[着せかえ]以外の画像を設定していた場合、オールロックを設定すると、[着せかえ]の待受画面に変更されます。
- オールロック設定中は通知情報アイコンが表示されません。オールロックを解除すると表示されます。

遠隔操作でオールロックを設定する

お買い上げ時 | 設定：OFF／指定時間：3分／着信回数：5回

FOMA端末を紛失したときなど、登録した番号から指定時間内に設定した回数だけ電話をかけ、オールロックを設定できます。

1 メニューで[設定]→[ロック/セキュリティ]→[遠隔ロック設定]を選び ◉ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、◉ (OK)を押す

あんしん設定

オールロック

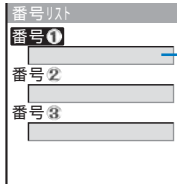
3 [設定]に遠隔ロック設定の[ON]/[OFF]を選択する

4 [指定時間]に着信をカウントする時間を入力する

01～10分の範囲で入力します。

5 [着信回数]に指定時間内に電話を受ける回数を入力する

03～10回の範囲で入力します。

6 [番号リスト]を選び ◉ を押す

番号を削除する場合

番号欄にカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。すべての番号を削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]→[はい]を選択します。

7 番号欄に遠隔操作する電話番号を入力する

3件まで登録できます。公衆電話も登録できます。

8 ◀ を押す

遠隔操作を行う電話番号が登録され、遠隔ロック設定画面に戻ります。

9 iα (完了)を押す

遠隔ロック設定が設定されます。

- 登録した電話からFOMA端末に電話をかけても、次の場合は着信回数のカウントを開始しません。
  - 通話中
  - セルフモード設定中
  - 留守番電話サービス、転送でんわサービスを開始中で呼び出し時間を0秒に設定している場合
  - 電話番号を通知しないでかけた場合
  - FOMA端末で電話に出たり、伝言メモや平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)で自動着信した場合(すでにカウントを開始している場合はリセットされます)
- 登録されている複数の許可番号から着信した場合、最初に着信した許可番号からの着信のみ着信回数として数えられます。

発信や着信ができないようにする

お買い上げ時 OFF

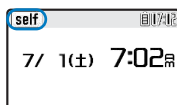
音声電話、テレビ電話の発着信やメールの送受信など通話/通信を必要とする機能をすべて使えないようにします。また、赤外線通信や赤外線リモコンも利用できません。（セルフモード）

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[セルフモード]を選び ◉ を押す

セルフモード設定確認画面が表示されます。

セルフモードを解除する場合

セルフモード解除確認画面が表示されます。[はい]を選択してください。

2 [はい]を選び ◉ を押す

セルフモードが設定され、「self」が表示されます。

- セルフモード設定中でも、緊急通報（110番、119番、118番）には発信できます。緊急通報を発信したあとはセルフモードが解除されます。
- セルフモード設定中に電話がかかってきた場合、相手の方には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合、FOMA端末の電源を切っているときと同様にサービスをご利用になれます。

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

お買い上げ時 OFF

電話帳やスケジュールなどの個人情報が他の人に閲覧・編集されるのを防ぐため、次の機能を使用できないようにします。

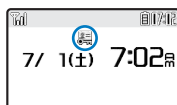
- カメラ
- ｉチャネル
- 伝言メモ
- めざまし時計
- 待受画面設定
- 着信画像
- 設定リセット
- メモリースティック
- ｉアプリ
- 音声メモ
- スケジュール
- アイコン設定
- 代替画像
- データ一括削除
- メール
- 電話番号表示
- バーコード認識
- テキストメモ
- アニメーション設定
- スキャン機能
- マルチナンバー
- ｉモード
- 電話帳
- 赤外線通信
- データBOX
- 着信音
- ソフトウェア更新

• 登録外着信拒否設定中は、PIMロックを設定できません。

1 メニューで[設定]→[ロック/セキュリティ]→[PIMロック]を選び ◉ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、◉ (OK)を押す

3 [ON]→[はい]を選び ◉ を押す

発着信履歴と送受信ランキングを削除し、PIMロックが設定され、「」が表示されます。

あんしん設定 セルフモード

- PIMロックとダイヤル発信制限が同時に設定されている場合は、「」の代わりに「」が表示されます。
- お買い上げ時にデータBOXの[プリインストール]フォルダに登録されているデータ以外を待受画面などの画像や代替画像、着信音に設定している場合、PIMロックを設定するとお買い上げ時の状態に戻ります。PIMロックを解除すると、元の状態に戻ります。
- PIMロック設定中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、通常の着信音・着信画像・着信ランプ色が動作します。また、相手の名前は表示されず電話番号が表示されます。
- PIMロック設定中にメール、メッセージR/F、SMSを受信すると、着信動作を行わず受信をお知らせしません。PIMロックを解除すると「」「」「」「」「」が表示されます。また、メールやSMSを受信したときは「」(新着メールあり)の通知情報アイコンも表示されます。
- PIMロック設定中はめざまし時計、スケジュールアラームは動作しません。
- PIMロック設定中は着信許可/拒否の設定にかかわらずすべて着信します。
- PIMロック設定中はｉチャネルのテロップが表示されません。
- PIMロックを設定すると、待受画面に表示されている「」(着信あり)の通知情報アイコンが消去されます。
- PIMロック設定中は「」(新着メールあり)、「」(センターに✉あり)、「」(新規伝言メモあり)、「」(新規テレビ伝言メモあり)、「」(留守番メッセージ)、「」(待受解除 セキュリティエラー)の通知情報アイコンが表示されません。PIMロックを解除すると表示されます。

ダイヤル発信を禁止する

お買い上げ時	OFF

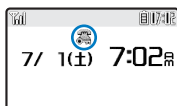
ダイヤルボタンを使って音声電話やテレビ電話をかけられないようにします。一時的に解除する場合は、端末暗証番号を入力してください。

- ダイヤル発信制限設定中は、次の操作ができなくなります。
  - ダイヤルボタンを使った発信(ツータッチダイヤル、平型スイッチ付イヤホンマイクからの発信は除く)、着信履歴からの発信
  - 電話帳に登録していない相手へのｉモードメール、SMSの送信
  - Phone To(AV Phone To)、Mail To、EV-Link
  - 電話帳の新規登録/修正/削除
  - “メモリースティック Duo”の電話帳操作

1 メニューで[設定]→[ロック/セキュリティ]→[ダイヤル発信制限]を選び ◉ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、◉ (OK)を押す

3 [ON]→[はい]を選び ◉ を押す

発着信履歴を削除し、ダイヤル発信制限が設定され、「」が表示されます。

- ダイヤル発信制限とPIMロックが同時に設定されている場合は、「」の代わりに「」が表示されます。
- ダイヤル発信制限設定中でも、緊急通報(110番、119番、118番)には発信できます。
- ダイヤル発信制限を設定すると、待受画面に表示されている「」(着信あり)の通知情報アイコンが消去されます。

*“メモリースティック Duo”をご利用になるには、別途“メモリースティック Duo”が必要となります。(P.233)

リダイヤルや着信履歴の表示を設定する

お買い上げ時 | 履歴表示設定：ON

リダイヤル、発信頻度履歴、着信履歴を表示しないように設定できます。また、伝言メモを再生できなくなります。一時的に解除する場合は、端末暗証番号を入力してください。

1 待受画面で ▶（□）を押し、✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [履歴設定]→[履歴表示設定]を選び ◉ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 端末暗証番号を入力し、◉（OK）を押す

履歴表示設定画面が表示されます。

4 [ON]/[OFF]を選び ◉ を押す

履歴表示設定が設定されます。

● 履歴表示設定を[OFF]に設定していても、リダイヤルまたは着信履歴のデータは記録されます。

シークレット登録されている情報を表示する

お買い上げ時 | OFF

シークレット登録した電話帳・電話番号表示・スケジュールは、シークレット表示を[ON]に設定しないと表示されません。他の人に知られたくない電話帳・電話番号表示・スケジュールは、シークレット登録してください。

- シークレット表示を[ON]に設定しても、電源を切ると[OFF]になります。

1 メニューで[設定]→[ロック/セキュリティ]→[シークレット表示]を選び ◉ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、◉（OK）を押す

3 [ON]/[OFF]を選び ◉ を押す

シークレット表示が設定されます。
[ON]に設定すると、「🔑」が表示されます。

● シークレット表示を[ON]に設定しているときは、電話帳にシークレット登録した相手であっても、名前・電話番号種別がリダイヤル/着信履歴に表示されます。また、メールの場合は名前が受信メール/送信メール一覧および受信ランキング/送信ランキングに表示されます。あとでシークレット表示を[OFF]に設定しても、リダイヤル/着信履歴、受信メール/送信メール一覧、受信ランキング/送信ランキングは表示されたままになります。

指定した電話番号からの電話だけを受ける/受けない

お買い上げ時 | 設定：OFF

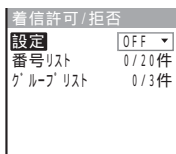
音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、特定の電話番号だけを受ける/受けないように設定できます。着信許可/拒否は20件まで登録できます。（番号リスト）
また、FOMA端末電話帳の特定のグループに属した相手からの電話だけを受ける/受けないようにも設定できます。着信許可/拒否は3グループまで登録できます。（グループリスト）
相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。番号通知お願いサービスと非通知着信拒否もあわせて設定することをおすすめいたします。

- SMSやｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。
- PIMロック設定中は、着信許可/拒否を設定できません。

例：指定した電話番号からの着信を[許可]/[拒否]する場合

1 **メニューで[設定]→[ロック/セキュリティ]→[着信許可/拒否]を選び ◉ を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力し、◉（OK）を押す**

3 **[設定]に[許可]/[拒否]を選択する**

[許可] ：着信許可を設定します。指定した電話番号/グループ以外からかかってくると、電話はつながりません。不在着信の通知情報アイコンが表示され、着信履歴に記録されます。
[拒否] ：着信拒否を設定します。指定した電話番号/グループからかかってくると、電話はつながりません。不在着信の通知情報アイコンが表示され、着信履歴に記録されます。
[OFF] ：着信許可/拒否を解除します。

4 **[番号リスト]を選び ◉ を押す**

グループを指定する場合

[グループリスト]を選択し、グループ欄にグループを選択します。

電話番号やグループを削除する場合

欄にカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。すべての電話番号やグループを削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]→[はい]を選択します。

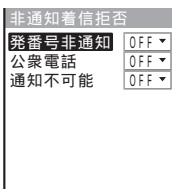
5 **番号欄に電話番号を入力する**

6 **◀ を押す**

番号リストが登録され、着信許可/拒否画面に戻ります。

7 **（完了）を押す**

指定した電話番号の着信許可/拒否が設定されます。

発信者番号のわからない電話を受けない

お買い上げ時 | 発番号非通知・公衆電話・通知不可能：OFF

発信者番号を通知していない音声電話やテレビ電話がかかってきた場合、通知されない理由(発信者番号非通知理由)も同時に通知されます。発信者番号非通知理由によって、電話を受けないように設定できます。

- SMSやｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。
- 非通知着信拒否を[ON]に設定しているときに、発信者番号のわからない電話がかかってくると、電話はつながりません。不在着信の通知情報アイコンが表示され、着信履歴に記録されます。

1 メニューで[設定]→[ロック/セキュリティ]→[非通知着信拒否]を選び ◉ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、◉ (OK)を押す

3 非通知理由ごとに非通知着信拒否の[ON]/[OFF]を選択する

非通知着信拒否が設定されます。

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

お買い上げ時 | 設定：OFF／開始時間：4秒／時間内着信履歴表示：OFF

電話帳に登録していない相手から音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、着信音、着信ランプ、バイブレータが動作するまでの時間を設定できます。ワン切りなどの迷惑電話対策に利用することもできます。

- 登録外着信拒否設定中は、着信呼出動作設定を設定できません。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[発着信補助]→[着信呼出動作設定]を選び ◉ を押す

2 [設定]に着信呼出動作設定の[ON]/[OFF]を選択する

3 [開始時間]に着信呼出動作を開始するまでの時間を入力する

01〜99秒の範囲で入力します。

4 [時間内着信履歴表示]に[ON]/[OFF]を選択する

[ON] ：すべての着信を着信履歴に表示します。
[OFF] ：設定した時間に満たない着信の不在着信の通知情報アイコンおよび着信履歴を表示しません。着信履歴には記録されます。伝言メモまたはテレビ伝言メモの動作が開始された場合は、不在着信の通知情報アイコンおよび着信履歴を表示します。

5 (完了)を押す

着信呼出動作設定が設定されます。

- 以下の場合は、電話帳に登録している相手から電話がかかってきても着信呼出動作設定の対象となります。
  - 電話帳にシークレット登録した相手からの電話(シークレット表示が[OFF]の場合)
  - 電話番号が通知されない電話
  - PIMロック設定中
- 時間内着信履歴表示を[OFF]に設定しているときにすべての着信履歴を表示する場合は、着信履歴画面で機能メニュー[全着信履歴表示]を選択します。
- 開始時間を伝言メモ、自動着信設定、留守番電話サービス、転送でんわサービスの応答時間、呼び出し時間と同じに設定した場合、着信音が鳴ることがあります。

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

お買い上げ時 OFF

電話帳に登録していない相手からの音声電話やテレビ電話を受けないように設定できます。

- 番号通知お願いサービスとあわせて設定することをおすすめします。
- SMSやｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。
- 登録外着信拒否を[ON]に設定しているときに、電話帳に登録していない相手から電話がかかってくると、電話はつながりません。不在着信の通知情報アイコンが表示され、着信履歴に記録されます。
- 着信呼出動作設定中やPIMロック設定中は、登録外着信拒否を設定できません。

1 メニューで[設定]→[ロック/セキュリティ]→[登録外着信拒否]を選び ◉ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、◉ (OK)を押す

3 [ON]/[OFF]を選び ◉ を押す

登録外着信拒否が設定されます。

- 以下の場合は、電話帳に登録している相手から電話がかかってきても登録外着信拒否の対象となります。
  - 電話帳にシークレット登録した相手からの電話(シークレット表示が[OFF]の場合)
  - 電話番号が通知されない電話
- 電話帳に登録していない電話番号を着信許可の番号リストに登録し設定を[ON]に設定した場合、その電話番号から電話がかかってくると登録外着信拒否が無効となります。

その他の「あんしん設定」について

FOMA端末を安心してお使いいただくため、次のような設定や機能を利用することもできます。

目　的	機能・サービス名称	参　照
知らない相手からのメールを受信したくない。	メールアドレス変更、シークレットコード登録	『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
特定のドメインや相手からのメールだけを受信したい/受信したくない。	迷惑メール対策(受信/拒否設定)	
1日に1台のｉモード端末から送信される200通目以降のメールを受信したくない。	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限	
一方的に送られてくる広告・宣伝メールを受信したくない。	未承諾広告※メール拒否	
SMSを受信したくない。	迷惑メール対策(SMS拒否設定)	
メール機能を一時的に停止したい。	メール機能停止	
災害発生時に安否情報を登録/確認したい。	「ｉモード災害伝言板」サービス	
必要なメールだけを受信したい。	メール選択受信	P.190、204
特定の相手からのいたずら電話や間違い電話を受けたくない。	迷惑電話ストップサービス	P.263
必要に応じてFOMA端末のソフトウェアを更新したい。	ソフトウェア更新	P.312
ユーザ証明書を利用して、SSLに対応したサイトに接続したい。(FirstPass対応のサイトに限ります)	FirstPass	P.168
外部からFOMA端末にデータやプログラムを取り込む際に、問題を引き起こす可能性がないかどうかを調べたい。	スキャン機能	P.316

カメラ

カメラをご利用になる前に……120
静止画を撮影する……〈静止画撮影〉124
動画を撮影する……〈動画撮影〉127
保存した画像を表示する……128
撮影時の設定を変更する……128
撮影時のカメラを調整する……131
カメラの動作を設定する……134
バーコードリーダーを利用する……〈バーコードリーダー〉137

カメラをご利用になる前に

FOMA端末内蔵のカメラで画像を撮影し、ｉモードメールに添付して送信したり、待受画面などに設定したりすることができます。
"メモリースティック Duo"をご利用になるには、別途"メモリースティック Duo"が必要となります。"メモリースティック Duo"をお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（P.233）

- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

カメラのご利用について

撮影前のご注意

- カメラのレンズに指紋や油脂などがつくと、きれいに撮影できません。撮影前にやわらかい布で拭いてください。
- FOMA端末を直射日光の当たる場所や高い温度になる場所に長時間放置すると、画質が劣化することがあります。
- 電池残量がほとんど残っていない場合、カメラモードになりません。十分に充電してご使用ください。
- FOMA端末に静電気が発生している場合、カメラモードにならない場合があります。

撮影時のご注意

- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所に置きセルフタイマーを使用して撮影してください。
- 直接、太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- カメラは非常に高度な技術を駆使して作られており、常時明るく見える点や線、暗く見える点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラモード中に電池残量がほとんど残っていない状態になると、カメラモードを終了します。

著作権について

お客様がFOMA端末を利用して撮影または録音したものは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

! カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

＊"メモリースティック Duo"をご利用になるには、別途"メモリースティック Duo"が必要となります。（P.233）

カメラモードについて

カメラで撮影するときは、メニューで[エンタテインメント]→[カメラ]または[ムービー]を選び ◉ を押します。カメラモードになり、ディスプレイにカメラからの画像が表示され、セルフタイマーランプが点灯します。
カメラモードを終了する場合は、(PWR/HLD) を押します。

● カメラモード画面表示中に何もボタン操作を行わないと、約2分後にカメラモードは自動的に終了します。

静止画/動画について

項　目	静止画	動　画
ファイル形式	JPEG(Exif形式)	MP4(MobileMP4)
ファイル名	**保存先が[データBOX]の場合** YYYYMMDDhhmmss • 撮影した年月日時分秒が表示されます。2006年7月1日18時2分10秒に撮影した場合は、「20060701180210」と表示されます。 • 連続撮影した静止画は年月日時分秒のあとに番号00～03が付き、「20060701180210_00」と表示されます。 **保存先が[メモリースティック]の場合** DSC0nnnn	**保存先が[データBOX]の場合** YYYYMMDDhhmmss • 撮影した年月日時分秒が表示されます。2006年7月1日18時2分10秒に撮影した場合は、「20060701180210」と表示されます。 **保存先が[メモリースティック]の場合** MOV0nnnn
ファイル番号	NNN-nnnn • 保存先が“メモリースティック Duo”の場合のみ表示されます。ファイル番号はリセットできます。(P.136)	－

• 「NNN」には「100～999」、「nnnn」には「0001～9999」の番号が画像の撮影順に付けられます。
• 日付時刻が未設定の場合、ファイル名が「--------------」と表示されます。

静止画の保存枚数について

SO702iまたは“メモリースティック Duo”に保存できる静止画の枚数は、撮影画質、画像サイズの設定や撮影状態、被写体によって異なります。

■SO702iに保存できる静止画の撮影可能枚数の目安

撮影画質＼画像サイズ	sQCIF (128×96)	QCIF (176×144)	待受 (240×320)	CIF (352×288)	VGA (480×640)	1.2M (960×1280)
ファイン	約692～1,000枚	約435～936枚	約215～462枚	約168～362枚	約95～204枚	約25～53枚
スタンダード	約813～1,000枚	約505～1,000枚	約328～706枚	約263～567枚	約143～307枚	約38～82枚
エコノミー	約890～1,000枚	約603～1,000枚	約479～1,000枚	約398～856枚	約205～442枚	約56～121枚

■“メモリースティック Duo”に保存できる静止画の撮影可能枚数の目安

容量・撮影画質＼画像サイズ		sQCIF (128×96)	QCIF (176×144)	待受 (240×320)	CIF (352×288)	VGA (480×640)	1.2M (960×1280)
16MB	ファイン	約984枚	約492枚	約328枚	約246枚	約141枚	約41枚
	スタンダード	約984枚	約492枚	約492枚	約328枚	約197枚	約62枚
	エコノミー	約984枚	約984枚	約492枚	約492枚	約328枚	約90枚
32MB	ファイン	約1,976枚	約988枚	約659枚	約494枚	約283枚	約83枚
	スタンダード	約1,976枚	約988枚	約988枚	約659枚	約396枚	約124枚
	エコノミー	約1,976枚	約1,976枚	約988枚	約988枚	約659枚	約180枚

動画の撮影時間について

SO702iまたは“メモリースティック Duo”に保存できる動画の撮影時間は、撮影画質、撮影種別、画像サイズ、ファイルサイズ制限の設定や撮影状態、被写体によって異なります。

■SO702iに保存できる動画の撮影可能時間の目安

ファイルサイズ制限	画像サイズ	撮影種別	1回あたりの撮影可能時間				総撮影可能時間			
			撮影画質				撮影画質			
			スーパーファイン	ファイン	スタンダード	エコノミー	スーパーファイン	ファイン	スタンダード	エコノミー
メール添付(小)	―	音声のみ	約2分55秒				約126分5秒			
	待受(320×240)	映像のみ	約5秒	―	―	―	約4分15秒	―	―	―
		映像+音声	約5秒	―	―	―	約3分35秒	―	―	―
	QCIF(176×144)	映像のみ	約10秒	約15秒	約50秒	約2分	約8分35秒	約12分50秒	約37分15秒	約88分50秒
		映像+音声	約10秒	約15秒	約45秒	約1分30秒	約7分50秒	約11分25秒	約32分15秒	約64分30秒
	sQCIF(128×96)	映像のみ	―	約35秒	約1分20秒	約2分10秒	―	約25分45秒	約59分25秒	約93分50秒
		映像+音声	―	約30秒	約1分5秒	約1分30秒	―	約21分30秒	約47分15秒	約66分35秒
メール添付(大)	―	音声のみ	約4分55秒				約129分5秒			
	待受(320×240)	映像のみ	約10秒	―	―	―	約4分20秒	―	―	―
		映像+音声	約5秒	―	―	―	約3分50秒	―	―	―
	QCIF(176×144)	映像のみ	約20秒	約30秒	約1分25秒	約3分30秒	約9分5秒	約13分25秒	約38分30秒	約91分
		映像+音声	約15秒	約25秒	約1分15秒	約2分30秒	約8分10秒	約12分5秒	約33分20秒	約65分50秒
	sQCIF(128×96)	映像のみ	―	約1分	約2分20秒	約3分40秒	―	約26分50秒	約61分5秒	約95分45秒
		映像+音声	―	約50秒	約1分50秒	約2分35秒	―	約22分30秒	約48分30秒	約68分25秒

■*“メモリースティック Duo”に保存できる動画の撮影可能時間の目安

1回あたりの撮影可能時間の目安

- ファイルサイズ制限が[メール添付(小)]、[メール添付(大)]の1回あたりの撮影可能時間は、SO702iに保存できる動画の撮影可能時間の目安と同じです。

ファイルサイズ制限	画像サイズ	撮影種別	容量:16MB				容量:32MB			
			撮影画質				撮影画質			
			スーパーファイン	ファイン	スタンダード	エコノミー	スーパーファイン	ファイン	スタンダード	エコノミー
制限なし	―	音声のみ	約60分				約60分			
	待受(320×240)	映像のみ	約5分40秒	―	―	―	約11分25秒	―	―	―
		映像+音声	約5分30秒	―	―	―	約11分5秒	―	―	―
	QCIF(176×144)	映像のみ	約11分45秒	約17分40秒	約50分	約60分	約23分35秒	約35分20秒	約60分	約60分
		映像+音声	約11分	約16分	約43分5秒	約60分	約22分5秒	約32分5秒	約60分	約60分
	sQCIF(128×96)	映像のみ	―	約34分50秒	約60分	約60分	―	約60分	約60分	約60分
		映像+音声	―	約29分	約60分	約60分	―	約58分5秒	約60分	約60分

総撮影可能時間の目安

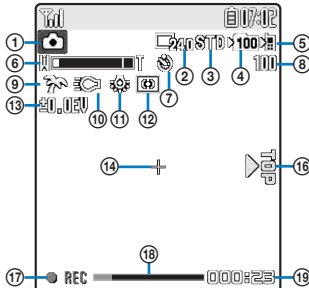
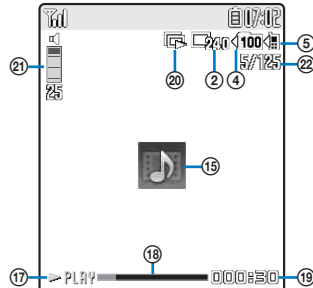
ファイルサイズ制限	画像サイズ	撮影種別	容量:16MB				容量:32MB			
			撮影画質				撮影画質			
			スーパーファイン	ファイン	スタンダード	エコノミー	スーパーファイン	ファイン	スタンダード	エコノミー
メール添付(小)	―	音声のみ	約167分10秒				約331分25秒			
	待受(320×240)	映像のみ	約5分40秒	―	―	―	約11分15秒	―	―	―
		映像+音声	約4分45秒	―	―	―	約9分25秒	―	―	―
	QCIF(176×144)	映像のみ	約11分20秒	約17分5秒	約49分20秒	約117分45秒	約22分35秒	約33分50秒	約97分55秒	約233分30秒
		映像+音声	約10分25秒	約15分10秒	約42分45秒	約85分30秒	約20分40秒	約30分5秒	約84分45秒	約169分30秒
	sQCIF(128×96)	映像のみ	―	約34分10秒	約78分50秒	約124分25秒	―	約67分45秒	約156分15秒	約246分40秒
		映像+音声	―	約28分30秒	約62分40秒	約88分20秒	―	約56分30秒	約124分15秒	約175分5秒
メール添付(大)	―	音声のみ	約168分50秒				約332分45秒			
	待受(320×240)	映像のみ	約5分40秒	―	―	―	約11分10秒	―	―	―
		映像+音声	約5分5秒	―	―	―	約10分	―	―	―
	QCIF(176×144)	映像のみ	約11分50秒	約17分30秒	約50分25秒	約119分	約23分25秒	約34分35秒	約99分20秒	約234分30秒
		映像+音声	約10分45秒	約15分50秒	約43分35秒	約86分5秒	約21分10秒	約31分15秒	約85分55秒	約169分40秒
	sQCIF(128×96)	映像のみ	―	約35分5秒	約79分50秒	約125分10秒	―	約69分10秒	約157分25秒	約246分45秒
		映像+音声	―	約29分25秒	約63分25秒	約89分30秒	―	約58分	約125分	約176分25秒
制限なし	―	音声のみ	約166分25秒				約332分50秒			
	待受(320×240)	映像のみ	約5分40秒	―	―	―	約11分25秒	―	―	―
		映像+音声	約5分30秒	―	―	―	約11分5秒	―	―	―
	QCIF(176×144)	映像のみ	約11分45秒	約17分40秒	約50分	約117分15秒	約23分35秒	約35分20秒	約100分5秒	約234分30秒
		映像+音声	約11分	約16分	約43分5秒	約85分5秒	約22分5秒	約32分5秒	約86分10秒	約170分15秒
	sQCIF(128×96)	映像のみ	―	約34分50秒	約79分	約123分55秒	―	約69分45秒	約158分5秒	約247分50秒
		映像+音声	―	約29分	約63分	約88分35秒	―	約58分5秒	約126分	約177分10秒

*“メモリースティック Duo”をご利用になるには、別途“メモリースティック Duo”が必要となります。(P.233)

カメラモードのアイコン

カメラモード画面には、設定や選択した機能に応じて、以下のようなアイコンが表示されます。

- アイコンやガイド表示は、(表示)で切り替える(標準表示/簡易表示/表示なし)ことができます。[表示なし]に設定していても、操作をしたときは関連するアイコンなどが表示されます。

撮影時

再生時

① 撮影種別
　静止画撮影時は
　動画撮影時(P.134)

② 画像サイズ(P.130)

③ 画質(P.134)

④ 100/100
　保存先/再生元フォルダ番号(静止画のみ)
　• 保存先/再生元が“メモリースティックDuo”の場合に表示されます。

⑤ 保存先/再生元
　/ “メモリースティックDuo”
　/ データBOX

⑥ ズーム倍率(P.131)

⑦ セルフタイマーON(P.130)

⑧ 撮影可能枚数の目安(静止画のみ)
　ファイルサイズ制限(動画のみ)(P.135)

⑨ シーン(P.128)

⑩ フォトライトON(P.129)

⑪ ホワイトバランス(P.133)

⑫ 測光モード(P.132)

⑬ +1.0EV ～ −1.0EV　EV値(P.131)

⑭ スポット測光(P.132)

⑮ / 音声録音中/再生中(動画のみ)

⑯ 保存方向表示(動画のみ)
　• 撮影サイズが[待受(320×240)]の場合に表示されます。

⑰ 動画撮影/再生状態(動画のみ)
　STOP　停止中
　REC　撮影中
　PLAY　再生中
　PAUSE　一時停止中
　FF　早送り再生中
　REW　早戻し再生中

⑱ プログレスバー(動画のみ)

⑲ 動画撮影時は撮影可能時間の目安
　動画再生停止中は総再生時間
　動画再生中は再生経過時間

⑳ スライドショー中/連続再生中

㉑ 音量表示(動画のみ)
　• 音声を出力しない場合は「」が表示されます。

㉒ 再生中画像のフォルダ内の順位/フォルダ内の全件数

静止画を撮影する

カメラで静止画を撮影できます。

- 保存先の空き容量が足りないときや最大保存枚数を超えるときは、メッセージが表示されます。この場合は、保存先を変更したり、不要な画像を削除するなどしてください。
- 動画撮影から静止画撮影に切り替えた場合、次の項目がリセットされます。

項　目	お買い上げ時の設定	項　目	お買い上げ時の設定
セルフタイマー	OFF	ズーム倍率	1倍
ピクチャエフェクト	OFF		

1 **メニューで[エンタテインメント]→[カメラ]を選び ◉ を押す**

カメラモードになります。

2 **被写体を確認し、◉（撮影）を押す**

シャッター音が鳴って静止画が撮影され、保存確認画面が表示されます。

インカメラに切り替える場合

機能メニュー[撮影]→[カメラ切替]→[インカメラ]を選択します。

3 **◉（保存）を押す**

静止画が保存されます。

メールに添付する場合

✉（メール）を押し、メールを作成します。

撮り直す場合

CLR を押し、[はい]を選択します。

インカメラ撮影時に鏡像で保存する場合

ch（鏡像保存）を押します。▶/◀を押すと、正像/鏡像表示を切り替えることができます。

● シャッター音などが鳴り終わる前に電話がかかってくると、画像を保存できないことがあります。

被写体に近づいて撮影する

被写体に近づいて（約7cm）撮影できます。

1 カメラモード画面でマクロ撮影切替スイッチ を「」の方向にスライドする

マクロ撮影モードに切り替わります。

マクロ撮影モードを解除する場合

マクロ撮影切替スイッチ を「」とは反対の方向にスライドします。マクロ撮影モードが解除されます。

2 被写体を確認し、（撮影）を押す

シャッター音が鳴って静止画が撮影され、保存確認画面が表示されます。

3 （保存）を押す

静止画が保存されます。

連続画像を撮影する

連続した4枚の静止画を撮影することができます。

- 連続画像の画像サイズは、[待受（240×320）]に自動的に変更されます。画像サイズは変更できません。
- シーンが[夜景]、[暗闇]のときに撮影モードを[連続撮影]に設定すると、シーンは[AUTO]に変更されます。

1 カメラモード画面で （機能）を押し、[撮影]→[撮影モード]→[連続撮影]を選び を押す

2 （リスト閉）を押す

撮影モードが[連続撮影]に設定され、「 」が表示されます。

3 被写体を確認し、（撮影）を押す

連続撮影音が鳴って連続画像が約0.3秒間隔で撮影され、保存確認画面が表示されます。

4 （保存）を押す

連続した4枚の画像が保存されます。

フレーム付きの画像を撮影する

お買い上げ時に登録されているフレームやダウンロードしたフレームを付けて撮影できます。

・フレームを付けて撮影した画像サイズは、選択したフレームにより決まり、変更できません。

1 **カメラモード画面で ✉（機能）を押し、[撮影]→[撮影モード]→[フレーム撮影]を選び ◉ を押す**

2 **フレームサイズを選び ◉ を押す**

フレーム選択画面が表示されます。

3 **データBOXのマイピクチャからフレームを選び ◉ を押す**

選択したフレームが表示されます。

フレームを確認する場合

フレームにカーソルをあわせ、ch/My（見る）を押します。

4 **✉（リスト閉）を押す**

5 **被写体を確認し、◉（撮影）を押す**

シャッター音が鳴って画像が撮影され、保存確認画面が表示されます。

6 **◉（保存）を押す**

画像が保存されます。

*“メモリースティック Duo”をご利用になるには、別途“メモリースティック Duo”が必要となります。（P.233）

動画を撮影する

カメラで動画を撮影できます。

- 保存先により撮影可能時間が異なります。（P.122）保存先が"メモリースティック Duo"の場合、1件につき最大60分まで録画できます。
- 保存先の空き容量が足りないときや最大保存時間を超えるときは、メッセージが表示されます。この場合は、保存先を変更したり、不要な画像を削除するなどしてください。また、撮影できても最大保存時間まで撮影できないことがあります。
- 静止画撮影から動画撮影に切り替えた場合、次の項目がリセットされます。

項　目	お買い上げ時の設定	項　目	お買い上げ時の設定
撮影モード	通常撮影	シーン※	AUTO
セルフタイマー	OFF	ズーム倍率	1倍
ピクチャエフェクト	OFF		

※ シーンが[夜景]または[暗闇]に設定されている場合にリセットされます。

1 メニューで[エンタテインメント]→[ムービー]を選び ◉ を押す

動画撮影画面が表示されます。

- 画像サイズが[待受（320×240）]の場合は保存方向表示「」が表示されます。

2 被写体を確認し、◉（撮影）を押す

撮影開始音が鳴って動画の撮影が開始されます。「■ STOP」が「● REC」に変わります。

- 撮影中は、画像の下にバーと数字で撮影可能時間の目安が表示され、セルフタイマーランプが点滅します。ただし、フォトライトを[ON]にした場合、セルフタイマーランプは点滅しません。

一時停止する場合

（ポーズ）を押します。撮影一時停止音が鳴り、「⏸ PAUSE」が表示されます。録画を再開する場合は、（再開）を押します。

3 撮影を終了するときは、◉（停止）を押す

撮影終了音が鳴って動画の撮影が終了し、保存確認画面が表示されます。

4 ◉（保存）を押す

動画が保存されます。

撮り直す場合

CLR を押し、[はい]を選択します。

保存前に確認する場合

（再生）を押します。

メールに添付する場合

（メール）を押し、メールを作成します。

- 動画撮影/保存中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、撮影/保存が中止され、電話に出ることができます。通話終了後に保存することもできます。ただし、通話中に電池残量がゼロになると保存が中止されます。十分に充電してご使用ください。
- 動画撮影中にFOMA端末を閉じると撮影が中止されます。撮影時間が約2秒以上の場合は動画が保持され、FOMA端末を開くと、保存確認画面が表示されます。自動保存を[ON]に設定している場合は、自動的に保存されます。
- 動画撮影中は、画像にモザイク状のノイズが入ったり、画像や音声が途切れることがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 動画の音声は、送話口から録音されます。撮影時にボタンなどを操作したり、送話口の近くをふさいだりすると操作音や雑音が録音されることがあります。

保存した画像を表示する

保存した画像を確認できます。

- 操作の詳細は、マイピクチャ(P.226)、ｉモーション(P.229)をご覧ください。

例：静止画を再生する場合

1 カメラモード画面で chMy (再生)を押す

撮影した画像が表示されます。

画像を拡大/等倍表示する場合

chMy (拡大/等倍)を押します。元のサイズに戻す場合は、chMy (等倍/縮小)を押します。

画像を削除する場合

機能メニュー[1件削除]→[はい]を選択します。

メールに添付する場合

機能メニュー[メール添付]を選択し、メールを作成します。

静止画再生後にカメラモード画面に戻る場合

機能メニュー[静止画撮影モード]を選択します。

動画再生後にカメラモード画面に戻る場合

機能メニュー[動画撮影モード]を選択します。

撮影時の設定を変更する

撮影するシーンを切り替える

アウトカメラで撮影するときに、シーンにあわせてカメラの設定を自動調整します。シーンを変更するとホワイトバランス、測光モード、EV値、ピクチャエフェクトの設定はリセットされます。

- 撮影モードを[連続撮影]に設定している場合や動画撮影時は、[夜景]、[暗闇]を選択できません。
- 動画撮影の撮影種別を[音声のみ]に設定している場合は、シーンを設定できません。

1 カメラモード画面で ▼ (シーン)を押す

[AUTO]：自動的に色合いや明るさを調整して撮影します。
[ビーチ＆スノー]：海や湖畔、雪景色などの明るい色をよりあざやかに撮影します。
[人物]：人物の肌の色を、明るく暖かい色調で撮影します。
[パーティー]：室内の照明の雰囲気を活かしながら撮影します。
[夜景]：暗い雰囲気を損なわずに、夜景を撮影します。
[風景]：海や空、木々の色をあざやかに表現し、風景を撮影します。
[スポーツ]：屋外などの明るい場所で動きのある被写体を撮影します。
[暗闇]：暗い場所で感度を上げてできるだけ明るく撮影します。

2 シーンを選び ◉ を押す

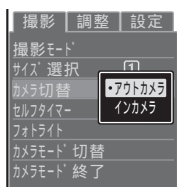
シーンが設定され、シーンの種類に対応したアイコンが表示されます。

- [AUTO]に設定した場合、アイコンは表示されません。

アイコン	シーン	アイコン	シーン	アイコン	シーン	アイコン	シーン
(icon)	ビーチ＆スノー	(icon)	人物	(icon)	パーティー	(icon)	夜景
(icon)	風景	(icon)	スポーツ	(icon)	暗闇		

撮影するカメラを切り替える

撮影するカメラをアウトカメラとインカメラに切り替えることができます。

1 カメラモード画面で ✉（機能）を押し、［撮影］→［カメラ切替］を選び ◉ を押す

- カメラモード画面で ② を押してもカメラ切替画面を表示できます。

2 ［アウトカメラ］/［インカメラ］を選び ◉ を押す

カメラが切り替わります。

フォトライトを点灯する

アウトカメラで暗い場所などで撮影するときには、FOMA端末内蔵のフォトライトを点灯させることができます。

1 カメラモード画面で ▲（ライト）を押す

▲（ライト）を押すたびに、フォトライトの［ON］/［OFF］が切り替わります。
［ON］にするとフォトライトが点灯し、「ライト」が表示されます。

● フォトライトは、暗い場所での撮影を補助するものであり、通常のカメラのストロボのような光量はありません。

セルフタイマーを使う

FOMA端末を持たずに自分自身を撮影する場合やみんなで一緒に撮影する場合に、セルフタイマーを使って撮影できます。シャッターを押してから撮影されるまでの時間も設定できます。

1 カメラモード画面で ✉（機能）を押し、［撮影］→［セルフタイマー］を選び ● を押す

セルフタイマー撮影時間選択画面が表示されます。

2 シャッターを押してから撮影されるまでの時間を選び ● を押す

［10秒］、［5秒］、［2秒］、［OFF］から選択します。
セルフタイマーが設定され、「⏲」が表示されます。

- セルフタイマーを設定しシャッターを押すと、セルフタイマーランプが赤く点滅します。ただし、フォトライトを［ON］に設定した場合は点滅しません。
- セルフタイマー起動中に電話がかかってきたり、FOMA端末を閉じたりすると、撮影が中止されます。
- 撮影後、セルフタイマーは自動的に［OFF］に戻ります。

画像のサイズを選択する

お買い上げ時 静止画：待受（240×320）／動画：QCIF（176×144）

撮影する静止画の画像サイズは6種類から、動画の画像サイズは3種類から選択できます。

- 静止画の撮影モードを［連続撮影］、［フレーム撮影］に設定している場合、画像サイズは選択できません。
- インカメラでは静止画の画像サイズを［CIF（352×288）］、［VGA（480×640）］、［1.2M（960×1280）］に設定して撮影できません。
- 動画の画像サイズを［待受（320×240）］に設定すると、撮影画質が［スーパーファイン］に変更されます。また、撮影画質が［スーパーファイン］のときに画像サイズを［sQCIF（128×96）］に設定すると、撮影画質が［スタンダード］に変更されます。

1 カメラモード画面で ✉（機能）を押し、［撮影］→［サイズ選択］を選び ● を押す

サイズ選択画面が表示されます。

- カメラモード画面で 1 を押してもサイズ選択画面を表示できます。

2 画像サイズを選び ● を押す

画像サイズが設定され、画像サイズの種類に対応したアイコンが表示されます。

静止画

アイコン	サイズ	アイコン	サイズ	アイコン	サイズ
128	sQCIF（128×96）	240	待受（240×320）	480	VGA（480×640）
176	QCIF（176×144）	352	CIF（352×288）	1.2M	1.2M（960×1280）

動画

アイコン	サイズ	アイコン	サイズ	アイコン	サイズ
128	sQCIF（128×96）	176	QCIF（176×144）	320	待受（320×240）

撮影時のカメラを調整する

明るさを補正する

画像の明るさ(露出)を、周囲の状況にあわせて－1.0EV～＋1.0EVの間の7段階に変更できます。(EV(Exposure Value):露出値)

1 カメラモード画面で ✉ (機能)を押し、[調整]→[EV]を選び ● を押す

- カメラモード画面で 7 を押してもEV値選択画面を表示できます。

2 EV値を選び ● を押す

明るさが補正され、設定したEV値のアイコンが表示されます。

● 撮影場所が極端に明るいときや暗いときは、明るさを補正しても変わらないことがあります。

画像のズームを調節する

画像のズームを調節できます。各画像サイズで調節できるズーム倍率は次のとおりです。

画像サイズ	アウトカメラ				インカメラ	
	静止画撮影時		動画撮影時			
	最大倍率	ズーム段階	最大倍率	ズーム段階	最大倍率	ズーム段階
sQCIF(128×96)	約6倍	28段階	約2倍	19段階	約2倍	18段階
QCIF(176×144)	約5倍	27段階	約1倍	14段階	約1倍	13段階
待受(240×320)(静止画)/待受(320×240)(動画)	約3倍	24段階	1倍	－	1倍	－
CIF(352×288)	約3倍	24段階	－	－	－	－
VGA(480×640)	約3倍	24段階	－	－	－	－
1.2M(960×1280)	約3倍	24段階	－	－	－	－

1 カメラモード画面で ◀ ▶ を押す

- ▶ を押すと拡大され、◀ を押すと縮小されます。1秒以上押すと連続して拡大/縮小されます。

ズームが調節され、設定したズーム倍率がバー表示されます。

画面の中央にあわせて明るさを自動調節する

逆光のときや被写体と背景のコントラストが強いときなど、画面中央にあわせて明るさを自動調節できます。

1 カメラモード画面で ✉（機能）を押し、［調整］→［測光モード］を選び ● を押す

測光モード選択画面が表示されます。

- カメラモード画面で 5 を押しても測光モード選択画面を表示できます。

［中央重点］：画面中央付近に重点を置いて周辺も測光するモードです。
［平均］：画面全体を平均的に測光するモードです。
［スポット］：画面中央の狭い範囲のみを測光するモードです。被写体のポイントを画面中央のスポット測光照準「╬」にあわせて撮影してください。

2 測光モードを選び ● を押す

測光モードが設定され、測光モードの種類に対応したアイコンが表示されます。

	中央重点		平均		スポット

画像に特殊効果を加える

画像に特殊効果を加えて撮影できます。

1 カメラモード画面で ✉（機能）を押し、［調整］→［ピクチャエフェクト］を選び ● を押す

ピクチャエフェクト選択画面が表示されます。

- カメラモード画面で 8 を押してもピクチャエフェクト選択画面を表示できます。

［OFF］：ピクチャエフェクトを設定しません。
［ネガ］：画像を写真のネガフィルムのようにします。
［エンボス］：画像を凹凸がある浮き出たようにします。
［セピア］：画像を古い写真のような色合いにします。
［モノトーン］：画像を白黒にします。

2 特殊効果を選び ● を押す

ピクチャエフェクトが設定されます。

● ［エンボス］などピクチャエフェクトの設定や被写体の条件によっては、撮影された動画の動きが粗くなることがあります。

色合いを調節する

撮影時の光の状況により画像の色合いを補正できます。撮影画像が不自然な色合いのときは、撮影環境にあわせたホワイトバランスを設定してください。

1 カメラモード画面で ✉（機能）を押し、［調整］→［ホワイトバランス］を選び ● を押す

ホワイトバランス選択画面が表示されます。

• カメラモード画面で 4 を押してもホワイトバランス選択画面を表示できます。

［AUTO］：色バランスを自動的に調節します。
［電球］　：電球/白熱灯の下での撮影時に使用します。
［蛍光灯］：蛍光灯の下での撮影時に使用します。
［晴天］　：晴れた日の野外での撮影時に使用します。
［曇天］　：曇りの日の野外や日陰での撮影時に使用します。

2 ホワイトバランスの種類を選び ● を押す

ホワイトバランスが設定され、ホワイトバランスの種類に対応したアイコンが表示されます。

• ［AUTO］に設定した場合、アイコンは表示されません。

	電球		蛍光灯		晴天		曇天

カメラの設定を初期状態に戻す

カメラの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。リセットされる項目は次のとおりです。

項　目	お買い上げ時の設定	項　目	お買い上げ時の設定
シーン	AUTO	EV値	±0.0EV
ズーム倍率	1倍	測光モード	中央重点
ピクチャエフェクト	OFF	ホワイトバランス	AUTO

1 カメラモード画面で ✉（機能）を押し、［調整］→［調整リセット］を選び ● を押す

調整リセット確認画面が表示されます。

• カメラモード画面で 0 を押しても調整リセット確認画面を表示できます。

2 ［はい］を選び ● を押す

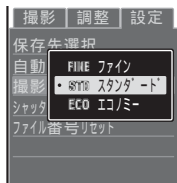
設定がリセットされます。

カメラの動作を設定する

画像の画質を選択する

お買い上げ時	静止画：スタンダード／動画：スタンダード

撮影する画像の画質を選択できます。

1 カメラモード画面で ✉（機能）を押し、[設定]→[撮影画質]を選び ◉ を押す

静止画の場合

[ファイン] ：最も高い画質です。ファイルサイズは大きくなります。
[スタンダード] ：標準的な画質です。
[エコノミー] ：最も低い画質です。ファイルサイズは小さくなります。

動画の場合

[スーパーファイン]：最も高い品質です。ファイルサイズは大きく、撮影時間は最も短くなります。
[ファイン] ：画像の動きがなめらかになる品質です。
[スタンダード] ：標準的な品質です。
[エコノミー] ：最も低い品質です。ファイルサイズは小さく、撮影時間は最も長くなります。

2 画質を選び ◉ を押す

画質が設定され、画質の種類に対応したアイコンが表示されます。

S.FINE	スーパーファイン（動画のみ）	STD	スタンダード
FINE	ファイン	ECO	エコノミー

動画の撮影種別を選択する

お買い上げ時	映像＋音声

動画の撮影種別を3種類から選択できます。

1 カメラモード画面で ✉（機能）を押し、[撮影]→[カメラモード切替]→[動画撮影]を選び ◉ を押す

動画撮影画面に切り替わります。

2 ✉（機能）を押し、[設定]→[撮影種別]を選び ◉ を押す

撮影種別選択画面が表示されます。

[映像＋音声]：映像と音声を撮影します。
[映像のみ] ：映像のみ撮影します。音声は録音されません。
[音声のみ] ：音声のみ撮影します。映像は録画されません。

3 撮影種別を選び ◉ を押す

撮影種別が設定され、撮影種別の種類に対応したアイコンが表示されます。

[アイコン]	映像＋音声	[アイコン]	映像のみ	[アイコン]	音声のみ

カメラ
カメラ動作設定

撮影する動画のファイルサイズを制限する

お買い上げ時 | メール添付(小)

動画のファイルサイズを、ｉモードメールに添付可能なサイズに制限できます。

1 カメラモード画面で ✉ (機能)を押し、[撮影]→[カメラモード切替]→[動画撮影]を選び ● を押す

動画撮影画面に切り替わります。

2 ✉ (機能)を押し、[設定]→[ファイルサイズ制限]を選び ● を押す

ファイルサイズ制限選択画面が表示されます。

[メール添付(小)]：約290Kバイトまで撮影できます。ｉモーションメールとして送信するのに適しています。

[メール添付(大)]：約490Kバイトまで撮影できます。大容量のｉモーションメールとして送信するのに適しています。

[制限なし]：ファイルサイズ制限を設定しません。最大60分まで撮影できます。保存先選択が[メモリースティック]の場合のみ選択できます。

3 ファイルサイズ制限の種類を選び ● を押す

動画のファイルサイズ制限が設定され、ファイルサイズ制限の種類に対応したアイコンが表示されます。

- [制限なし]に設定した場合、アイコンは表示されません。

	メール添付(小)		メール添付(大)

シャッター音を変更する

お買い上げ時 | シャッター音1

静止画の撮影モードを[通常撮影]または[フレーム撮影]に設定しているときのシャッター音を3種類から選択できます。

- シャッター音の音量は固定されています。音量を調節したり、音を消したりすることはできません。また、マナーモードを設定していても、シャッター音は鳴ります。

1 カメラモード画面で ✉ (機能)を押し、[設定]→[シャッター音]を選び ● を押す

シャッター音選択画面が表示されます。

2 シャッター音を選び ● を押す

シャッター音が設定されます。

シャッター音を確認する場合

シャッター音にカーソルをあわせ、 (聞く)を押します。

カメラ

カメラ動作設定

撮影した画像の保存先を選択する

お買い上げ時 データBOX

撮影した画像の保存先を設定できます。

例：静止画の保存先を"メモリースティック Duo"にする場合

1 カメラモード画面で ✉ (機能)を押し、[設定]→[保存先選択]を選び ● を押す

保存先選択画面が表示されます。

[メモリースティック]：" メモリースティック Duo "に保存します。静止画の場合はマイピクチャ、動画の場合は i モーションに保存します。

[データBOX]：FOMA端末のデータBOXに保存します。静止画の場合はマイピクチャから、動画の場合は i モーションから保存するフォルダを選択します。

2 [メモリースティック]を選び ● を押す

画像の保存先が設定され、保存先の種類に対応したアイコンが表示されます。

	" メモリースティック Duo "		データBOX

撮影した画像を自動保存するかどうかを設定する

お買い上げ時 OFF

撮影した画像の保存方法を設定できます。

1 カメラモード画面で ✉ (機能)を押し、[設定]→[自動保存]を選び ● を押す

自動保存選択画面が表示されます。

[ON]　：撮影後、自動的に保存します。

[OFF]：撮影後、保存するかどうかを確認します。

2 [ON]/[OFF]を選び ● を押す

画像の保存方法が設定されます。

" メモリースティック Duo "のファイル番号をリセットする

ファイル番号（P.121）「999-9999」の静止画が" メモリースティック Duo "に保存されると、空き容量があってもそれ以上静止画を保存できなくなります。ファイル番号リセットを行うと、装着している" メモリースティック Duo "の最大ファイル番号までリセットされます。ファイル番号をリセットする場合は、あらかじめリセットしたいファイル番号以上の静止画を削除してください。

- " メモリースティック Duo "に空き容量がない場合は、ファイル番号リセットを行っても保存できません。この場合は、" メモリースティック Duo "を交換するか、" メモリースティック Duo "のデータを削除してください。

1 カメラモード画面で ✉ (機能)を押し、[設定]→[ファイル番号リセット]を選び ● を押す

ファイル番号リセット確認画面が表示されます。

2 [はい]を選び ● を押す

ファイル番号がリセットされます。

*" メモリースティック Duo "をご利用になるには、別途" メモリースティック Duo "が必要となります。（P.233）

バーコードリーダーを利用する

アウトカメラを利用してJANコード、QRコードを読み取ることができます。読み取った文字情報からPhone To(AV Phone To)、Mail To、Web To、ｉアプリTo、ブックマーク登録、電話帳登録、文字表示、文字のコピー/貼付を行うことができます。また、画像やメロディのデータを読み取り、再生や保存をすることもできます。

- JANコード/QRコードを読み取るときは、マクロ撮影切替スイッチ を「」の方向にスライドしてマクロ撮影モード(接写距離約7cm)にしてください。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、サイズ、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れない場合があります。
- JANコードとQRコード以外のバーコード・2次元コードは読み取ることができません。

■**JANコードとは**

幅の異なる縦の線(バー)で数字を表現しているバーコードです。
13桁および8桁のJANコードを読み取ることができます。

「例：4942857123500」

■**QRコードとは**

縦・横方向でデータを表現している2次元コードの1つです。
データとは、英数字・文字列(漢字・カナ・絵文字)・メロディ・静止画です。

- QRコードは、最大16個までつなげて読み取り1つのデータとして保存できます。分割された複数のQRコードの場合、最初のQRコードを読み取ると、次のQRコードを読み取る旨のメッセージが表示されます。メッセージに従い、QRコードを読み取ってください。

「例：FOMA SO702i」

JANコード/QRコードを読み取る

JANコード、QRコードを読み取ってデータを保存できます。また、文字入力中に、JANコード、QRコードの情報をテキストボックスに入力することもできます。(P.274)

1 **メニューで[生活ツール]→[バーコード認識]→[バーコードリーダー]を選び ◉ を押す**

バーコードリーダーが起動し、「」が表示されます。

2 JANコード/QRコードを画面中央に表示し、◉（開始）を押す

読み取り中

JANコード/QRコードの読み取りを開始します。
読み取りが終了すると、終了音が鳴り、読み取ったデータが通常画面で表示されます。

読み取った電話番号などを登録する場合

電話番号などにカーソルをあわせ、機能メニュー[電話帳登録]→[はい]を選択します。[新規登録]→[本体メモリ]/[FOMAカード（UIM）]または[追加登録]→電話帳から項目を追加登録するデータを選択し、各項目を登録します。

- FOMA端末電話帳登録（P.79操作3）またはFOMAカード電話帳登録（P.81操作3）の該当する操作を行ってください。

読み取ったURLをブックマークに登録する場合

URLにカーソルをあわせ、機能メニュー[ブックマーク登録]→[はい]→フォルダを選択します。

3 (iα)（保存）を押す

読み取ったJANコード/QRコードのデータが保存されます。

- 読み取ったQRコードによっては、名前、電話番号、メールアドレスなどを一括して電話帳に登録できます。
- 読み取った文字が文字編集画面で入力できない場合、スペース（空白）に置き換わります。
- 読み取った画像の画像サイズ、ファイルサイズなどによっては、保存できないことがあります。

保存したデータを表示する

読み取ったJANコード、QRコードは、10件まで保存されます。

- データが10件あるとき、新しくJANコード/QRコードを読み取ると、保護されていない古いデータから上書きされます。

1 メニューで[生活ツール]→[バーコード認識]→[保存データ]を選び ◉ を押す

データを削除する場合

データにカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、データを複数選択して (iα)（完了）を押し、[はい]を選択します。すべてのデータを削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

データを保護する場合

データにカーソルをあわせ、機能メニュー[保護設定/解除]→[はい]を選択します。「（アイコン）」が「（保護アイコン）」に変わります。

2 データを選び ◉ を押す

ｉモード/ｉモーション

※ｉモードは、お申し込みが必要な有料サービスです。

ｉモードとは 140
ｉモードメニューを表示する ..... 〈ｉモードメニュー〉146

■サイトを表示する

サイトを表示する 146
サイトの見かたと操作 147
マイメニューに登録する ..... 〈マイメニュー〉151
ｉモードパスワードを変更する ..... 〈ｉモードパスワード変更〉151
インターネットホームページを表示する ..... 〈インターネット接続〉152
ホームページやサイトを登録して素早く表示する ..... 〈ブックマーク〉153
サイトの内容を保存する ..... 〈画面メモ〉156

■サイトから画像やメロディなどをダウンロードする

サイトやメッセージから画像を取得する ..... 〈画像保存〉158
サイトからデータをダウンロードする ..... 〈ダウンロード〉159

■ｉモードの便利な機能

Phone To・Mail To・Web To・ｉアプリTo機能を使う 160

■ｉモードの設定を行う

ｉモードの設定を行う ..... 〈ｉモード設定〉161

■メッセージサービスを利用する

メッセージを受信したときは ..... 〈メッセージ受信〉164
メッセージがあるかどうかを問い合わせる ..... 〈ｉモード問合せ〉165
メッセージを表示する ..... 〈メッセージR/メッセージF〉166

■証明書を利用する

SSL証明書を操作する ..... 〈SSL証明書操作〉168
FirstPassを設定する ..... 〈ユーザ証明書操作〉168
証明書発行接続先を変更する ..... 〈センター接続先選択〉170

■ｉモーションを利用する

ｉモーションとは 171
サイトからｉモーションを取得する ..... 〈ｉモーション取得〉171
ｉモーションを自動再生するかどうかを設定する ..... 〈ｉモーション設定〉172

ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

●サイト（番組）接続

ｉモードメニューからメニューリストを選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。さらにゲームや待受画像をダウンロードして楽しめます。

●インターネット接続

ｉモード端末にホームページアドレス（URL）を直接入力することで、ｉモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。

●ｉモードメール

ｉモード端末どうしをはじめ、インターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが最大全角5,000文字までできます。さらにデコメールや静止画、動画を送受信して楽しいメールのやりとりができます。

サービスの仕組み

- ｉモードは、お申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。
- 新規でFOMAサービスのご契約をいただいた場合は、当日よりすべてのサービスがご利用になれます。
- movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスでご利用いただいていた「マイメニュー」の内容は引継がれます。サイトによって、FOMAに「マイメニュー」が引継がれないサイトもございますので、その場合は、再登録をお願いします。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、ｉMenu内「お知らせ＆ヘルプ」で確認できます。
- ｉモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載しておりません。ご利用料金などにつきましては、ｉモードご契約時にお渡しいたします『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- ｉモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは最新の『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

サイト（番組）接続

簡単なボタン操作でサイトに接続して、IPが提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。たとえば、銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなどさまざまなオンラインサービスがあります。

サイトを表示するには

ｉモードセンターに接続すると、最初にｉMenuが表示されます。ここから各サイト（番組）や「週刊ｉガイド」などへアクセスします。

• サイトの表示方法は（P.146）

メニュー名	機　能
マイメニュー	よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます。（P.151） ｉMenu内の有料サイトなどは自動的に登録されます。登録可能な件数は45件です。
週刊ｉガイド	新着サイトやおすすめサイトなど最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日の毎日更新して掲載します。
メニューリスト	すべてのサイトをジャンル別・地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選んで接続できます。
とくするメニュー	楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報更新されます。（提供：D2コミュニケーションズ）
ｉエリア	今いる場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報などを簡単にご利用になれます。
かんたん検索	「ゲーム」「待受画面」などのカテゴリからキーワード検索などで簡単にサイトを検索できます。
ｉアプリサーチ	ｉアプリを情報料が無料のものや、ゲームができるものなど目的別に紹介しているメニューです。
便利サイトサーチ	メニューリストの中から、日常的に利用できる便利なサイトを利用シーン別にあわせて紹介しているメニューです。
マイボックス	サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスできる会員向けのサービスです。
オプション設定	ｉモードメールの設定やｉモードパスワードの変更などを行います。
お知らせ＆ヘルプ	ドコモからのお知らせや、ｉモードの利用方法やご利用規則を掲載しています。
料金＆お申込	料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申し込みができます。
ENGLISH	ｉMenuを英語表記に変更できます。

※ 画面はイメージです。設定によっては表示が異なる場合があります。

- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- IPが提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- ｉモードアイコンが点滅していても、ｉモードセンターとの通信中以外はパケット通信料はかかりません。
- デュアルネットワークサービスご契約の場合、ｉMenu画面などが一部異なります。

こんなこともできます

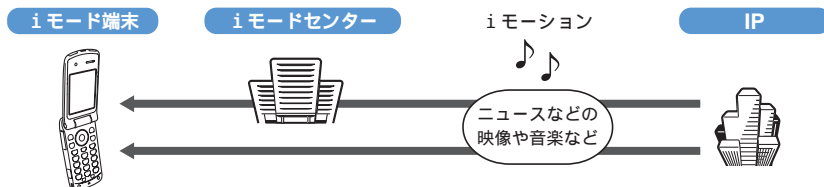
● i チャネル

ニュースや天気などのグラフィカルな情報をドコモまたはIPがｉモード端末に配信するサービスです。定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、(ch) を押すことでチャネル一覧に表示されます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

- 対応機種：ｉチャネル対応機種でご利用いただけます。詳しくは『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

● i モーション

ｉモードのサイトから映像や音をｉモード端末に取得し、再生したり待受画面として楽しむことができます。（P.171）

- ｉモーションを取得するには（P.171）
- ｉモーションを再生するには（P.229）
- ｉモーションを自動再生設定するには（P.172）

●着モーション/着うた®

ｉモードのサイトからｉモーションをｉモード端末に取得し、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなくお好きな歌手などの歌声なども着信音としてご利用いただけます。（一部の対応していないｉモーションは着モーションに設定できません）

- 着モーションを設定するには（P.88）
- 「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

● i アプリ

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード端末をより便利にご活用いただけます。たとえば、ｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のｉアプリでは、必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。

- ｉアプリをダウンロードするには（P.213）
- ｉアプリを実行するには（P.214）
- ｉアプリを自動実行するには（P.217）

● i アプリ待受画面

ｉアプリ待受画面ではｉアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。

- ｉアプリ待受画面を設定するには（P.218）

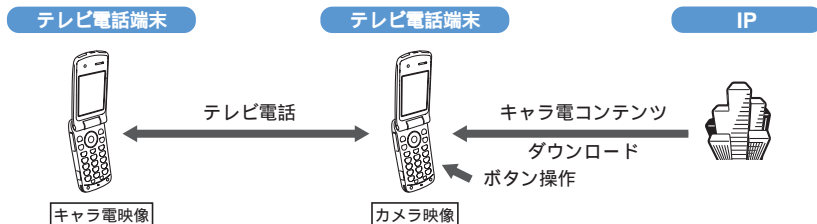
●ｉアプリDX

ｉアプリDXでは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

- ｉアプリDXとは（P.212）

●キャラ電

テレビ電話利用時に相手のテレビ電話端末に自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キャラクタが音に反応して口を動かしたり、ボタン操作でキャラクタを動作させたりできます。お好きなキャラクタをダウンロードできます。

- キャラ電をダウンロードするには（P.159）
- キャラ電の確認（P.232）
- キャラ電を設定するには（P.73、74、232）
- キャラクタの操作方法（P.232）

●赤外線通信機能

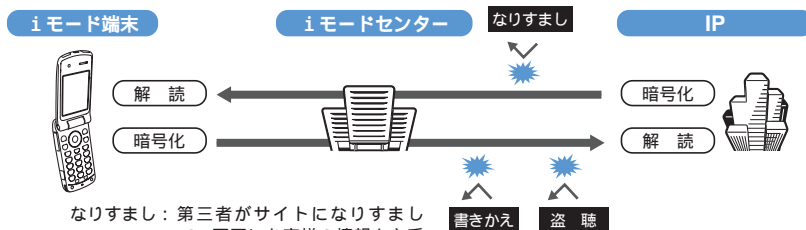
赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと電話帳やメール、ブックマークなどを送受信することができます。※
また、ｉアプリで赤外線通信機能を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使いかたができます。たとえば、携帯電話をテレビのリモコンや会員証などとして利用することが可能です。

※ 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

- 赤外線通信モードにするには（P.242）

●SSL通信

SSLとは認証/暗号技術を使用して、プライバシーを守って安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書きかえを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。SSL通信には、ｉモード端末から特別な操作なしに、端末内のCA証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと2つあります。なお、サイトによって、使用する証明書は異なります。（P.168）

- ｉモード端末に保存されているCA証明書を利用するには（P.168）
- FirstPassのユーザ証明書を利用するには（P.168）

●FOMAカード動作制限機能

お客様情報(電話番号・電話帳(一部)など)を格納しているFOMAカードを、ｉモード端末に挿入して、サイトからダウンロードしたり、メールにて取得したメロディ・静止画・動画などのファイルを動作制限します。また、別のFOMAカードに差し替えたり、または未挿入の状態で電源をONにした場合、取得したファイルの再生・表示を不可にする機能です。

※ カメラ機能によりお客様が撮影した静止画・動画、外部メモリからｉモード端末内に保存したファイルについては、本機能の対象外となります。

※ 着信音や待受画像設定など、ｉモード端末に設定していた場合、本機能により設定がリセットされます。

●ｉメロディ

サイトから最新の曲やお好みの曲をｉモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。(P.159)

●ｉアニメ

サイトからお好みのアニメーション画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画面や着信画面に表示できます。(P.158)

●Flash®

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像を利用した画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画面に設定することもできます。

Flash画像によっては、お客様のｉモード端末の端末情報データを参照できるものがあります。利用する登録データには次のものがあります。

- 電池残量
- 受信レベル
- 時刻情報
- 電源のON/OFF
- 着信音量設定
- バイリンガル設定
- 端末種別
- 機種情報

●メッセージサービス

メッセージサービスは、欲しい情報(メッセージ)が自動的にお客様のｉモード端末に届くサービスです。メッセージサービスにはメッセージR(リクエスト)とメッセージF(フリー)があります。

メッセージR	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージF	パケット通信料無料で届けられるメッセージです。

• メッセージサービスの受信方法は(P.164)

• メッセージFの設定について、2004年10月1日以降にFOMAの新規ご契約と同時にｉモードをお申し込みの場合は、メッセージF設定の初期設定が「受信する」となっております。受信を希望されない場合は、メッセージF設定をお客様ご自身で「受信しない」設定にご変更いただく必要がございますので、ご了承ください。

　※ 上記の場合以外のお客様がメッセージFをご利用になるには、あらかじめオプション設定からの受信設定が必要です。初期設定では、「受信しない」設定になっております。

• 電源が入っていないとき、圏外などで受信できないときは、メッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。

• ｉモードセンターでのメッセージの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管件数、最大保管期間を超えた場合は、最も古いメッセージから順に削除されます。

	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

• ｉモードセンターに保管されたメッセージは、ｉモード問合せ(P.165)により受信できます。

●トクだねニュース便

メッセージR機能を利用し、ニュースや天気などの情報をｉモード端末にドコモが配信するサービスです。

トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニューに登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見ることができます。

• メッセージRの画面の見かたは(P.166)

ｉモードパスワード

有料サイトの申し込みやマイメニューの登録・解除、ｉモードメールの設定などを行うときには「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますので、お客様独自の4桁の数字に変更してください。（P.151）
ｉモードパスワードは他の人に知られないように十分ご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力することにより、インターネットに接続し、ｉモード対応のインターネットホームページを表示できます。

- 表示方法は（P.152）

- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。ｉモード対応のインターネットホームページとは、ｉモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。詳しくはP.152をご覧ください。
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。
- URLが256文字を超えるインターネットホームページは表示できない場合があります。

ｉモードのご使用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部、あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージ、画面メモ、ｉアプリ、ｉモーション）やブックマークなどの登録内容は、ｉモード端末の故障、修理やその他の取り扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ｉモード端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリ・ｉモーションにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画・動画・メロディ）、画面メモおよびメッセージR/Fなどを表示・再生できません。
- FOMAカードにより表示・再生が制限されているファイルを待受画面や着信音などに設定している場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容はお買い上げ時の状態に戻ります。

ｉモードメニューを表示する

1 待受画面で (ｉモード)を押す

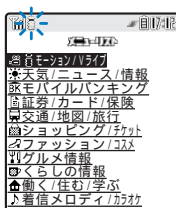
メニュー名	機　能
ｉMenu	ｉモードセンターに接続します。（P.146）
ブックマーク	お気に入りのサイトやインターネットホームページを表示します。（P.153）
画面メモ	FOMA端末に保存したサイトなどの画面を表示します。（P.156）
インターネット	インターネットに接続します。（P.152）
ｉチャネル	チャネル一覧を表示します。（P.223）
メッセージ	受信したメッセージR/メッセージFの一覧を表示します。（P.166）
ｉモード問合せ	ｉモードセンターにメール、メッセージR、メッセージFが保管されていないか問い合わせます。（P.165、191）
ｉモード設定	ｉモードに関するFOMA端末の機能を設定します。（P.91、101、161など）

サイト表示中にｉMenuを表示する場合

機能メニュー［ｉMenu］を選択します。

サイトを表示する

IP（情報サービス提供者）が提供するさまざまなサイトを見ることができます。（別途申し込みが必要な場合があります）

1 ｉモードメニューで［ｉMenu］→［メニューリスト］を選び を押す

2 サイトを選び を押す

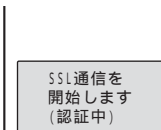
目的のサイトに接続します。

- 接続先のサイトによっては、ご利用になるために、「携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号」の送信が必要な場合があります。
  送信される「携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
  送信される「携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。

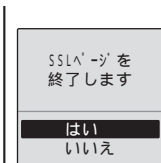
SSLページを表示する

通常サイトの表示と同様の操作で、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示できます。

- SSLページを表示する場合は、あらかじめ日付時刻設定で日時を設定してください。

SSL通信を
開始します
（認証中）

SSLサイトを取得する場合、左の画面が表示されます。SSLサイトを表示すると、「🔒」が表示されます。

SSLサイト表示中に証明書を表示する場合

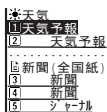
　機能メニュー［証明書表示］を選択します。

SSLサイトから通常のサイトへ移動する場合は、左の画面が表示されます。通常サイトを表示すると、「🔒」が消えます。

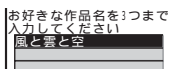
- 接続するサイトが安全でない可能性がある場合、確認メッセージが表示されることがあります。［はい］を選択するとSSLサイトへ接続し、［いいえ］を選択するとSSLサイトには接続しません。
- サーバー証明書の不正などの問題がある場合、SSLサイトは表示できないことがあります。

サイトの見かたと操作

リンク先や項目を選択する

サイト利用時には、リンク先の画面を表示させたり、文字を入力したり（テキストボックス）、複数の選択肢の中から項目を選択する（ラジオボタン、チェックボックス）場合があります。

■リンク

リンク先を選び、目的の画面を表示します。

■テキストボックス

テキストボックスを選び、文字を入力します。

- 入力できる文字モードと文字数は、テキストボックスにより異なります。
- iモードパスワードなどを入力した場合、「＊＊＊＊」で表示されることがあります。

■ラジオボタン

1つの項目を選択します。選択すると、「○」が「◉」に変わります。

■チェックボックス

複数の項目を選択します。選択すると、「☐」が「☑」に変わります。

チェックボックスを外す場合

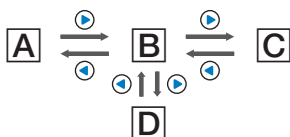
選択したチェックボックスにカーソルをあわせ、◉ を押します。

前のページに戻る/進む

FOMA端末は、直前に表示していたサイトの画面データを最新の画面から最大20画面キャッシュに記憶しています。
記憶した画面は、ｉモードを終了すると削除されます。ガイド表示に左右矢印が表示されている場合は、◀ ▶ で通信を行わずにキャッシュに記憶された画面を表示できます。ただし、キャッシュサイズをオーバーしていたり、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示するときは通信を行います。

- サイトなどで入力した文字や設定は、キャッシュに記憶されません。
- キャッシュとは、表示した画面データを一時的に記憶する端末内の場所です。

◀：1つ前の画面を記憶しています。◀ を押すと、1つ前の画面に戻ります。
▶：次の画面を記憶しています。▶ を押すと、次の画面に進みます。

例：A→B→C→B→Dの順でサイトを表示した場合

左のようにA→B→Cの順にサイトを表示し、Bに戻ったあとでDを表示するとB→Cの履歴は削除され、B→Dの履歴が記憶されます。

情報を再読み込みする

サイトの情報が正常に受信できなかった場合や、刻々と内容が変わるサイトの情報を、最新の情報に更新します。

1 サイトを表示中に ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [再読込]を選び ◉ を押す

サイト画面の表示が更新されます。

URLを表示する

表示中のサイト画面のURLを表示します。URLは半角256文字（「http://」を含む）まで表示できます。

1 サイトを表示中に ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [URL表示]を選び ◉ を押す

サイト画面のURLが表示されます。

URLをメールで送信する

表示中のサイト画面のURLをメールで送信できます。

1 サイトを表示中に ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [メール作成]を選び ◉ を押す

メールの本文中にURLが入力されます。

3 メールを作成し、送信する

- iモードメール作成・送信（P.181操作2～5）と同じ操作を行ってください。

文字を正しく表示する

サイトの文字が正しく表示されていないときは、変換して再表示できます。

1 **サイトを表示中に ✉（機能）を押す**

機能メニューが表示されます。

2 **［文字コード変換］→［変換］/［自動選択］を選び ◉ を押す**

［変換］　：文字コードを順番に変換し再表示します。正しく表示されないときは、操作を繰り返してください。［文字コード変換］→［変換］を4回繰り返すと元の表示に戻ります。
［自動選択］：文字コードを自動選択して変換し表示します。

文字コードを変換して再表示します。

- 文字コードを変換しても正しく表示できない場合があります。また、正しく表示されているときに変換すると、正しく表示できない場合があります。

Flashとは

Flashとは、絵や音楽を利用したアニメーション技術です。Flash画像によりサイトの表現力がさらに豊かになります。また、Flash画像を待受画面などに設定できます。

- Flash画像を利用したサイトでは、操作は同じですが、表示が異なる場合があります。
- ◉（選択）が表示されている場合でも、操作できないことがあります。
- Flash画像再生中に、約30秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。Flash画像を再度動作する場合は、機能メニュー［リトライ］を選択してください。
- Flash画像によっては効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合は、効果音設定を［OFF］に設定してください。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。
- Flash画像によっては画像保存したり、画面メモに保存しても画像の一部が保存されないなど、サイトでの見えかたと異なる場合があります。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
- Flash画像によっては、再生中にFOMA端末を振動させるものがあります。バイブレータを［OFF］にしていても振動しますのでご注意ください。
- Flash画像には、お客様のｉモード端末の登録データを利用するものがあります。登録データを利用するには、ｉモード設定の登録データ利用設定を［利用する］に設定してください。（P.163）お買い上げ時は、［利用する］に設定されています。なお、Flash画像が利用する登録データには次のものがあります。
  - 電池残量　- 受信レベル　- 時刻情報　- 電源のON/OFF
  - 着信音量設定　- バイリンガル設定　- 端末種別　- 機種情報

ｉモードを終了/切断する

1 **ｉモード中に PWR/HLD を押し、［はい］を選び ◉ を押す**

ｉモードが切断され、「」が消えます。

ｉモード/ｉモーション　サイトの見かたと操作

マイメニューに登録する

よく利用するサイトをマイメニューに登録すると、次回からそのサイトに簡単に接続できます。マイメニューは45件まで登録できます。

- マイメニューに登録できるのはｉモードのサイトだけです。インターネットホームページを登録する場合はブックマークに登録してください。

1 サイトを表示中に[マイメニュー登録]を選び ◉ を押す

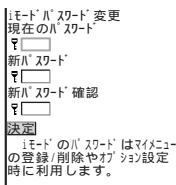
- [マイメニュー登録]の位置やメニュー構成は各サイトによって異なります。

2 [ｉモードパスワード]にｉモードパスワードを入力する

入力したパスワードは「＊＊＊＊」で表示されます。

3 [決定]を選び ◉ を押す

マイメニューへ登録されます。

● 有料サイトに申し込むと、自動的にマイメニューに登録されます。

ｉモードパスワードを変更する

マイメニューの登録/削除、メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み/解約、メールを設定するときは「ｉモードパスワード」が必要となります。お買い上げ時、ｉモードパスワードは「0000」に設定されていますので、お客様独自のｉモードパスワードに変更してください。
なお、ｉモードパスワードは他の人に知られないよう十分ご注意ください。

- ｉモードパスワードを忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。

1 ｉモードメニューで[ｉMenu]→[オプション設定]→[ｉモードパスワード変更]を選び ◉ を押す

ｉﾓｰﾄﾞﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ変更
現在のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ確認
決定
※ｉﾓｰﾄﾞのﾊﾟｽﾜｰﾄﾞはﾏｲﾒﾆｭｰの登録/削除やｵﾌﾟｼｮﾝ設定時に利用します。

2 [現在のパスワード]に現在のｉモードパスワードを入力する

入力したパスワードは「＊＊＊＊」で表示されます。

3 [新パスワード]に新しいパスワードを入力する

4 [新パスワード確認]に新しいパスワードを入力する

5 [決定]を選び ◉ を押す

ｉモードパスワードが変更されます。

インターネットホームページを表示する

ｉモード端末からインターネットに接続し、ｉモード対応のホームページを見ることができます。

- ｉモード対応のホームページ以外は、正しく表示できない場合があります。

1 **ｉモードメニューで[インターネット]→[URL入力]を選び ◉ を押す**

URL入力画面が表示されます。

- 以前にURLを入力した場合は、前回入力したURLが表示されます。
- URLの先頭の「http://」まではあらかじめ入力済みの状態で表示されます。

2 **(編集)を押し、URLを入力する**

「http://」を含み半角256文字以内で入力します。

3 **◉ (接続)を押す**

入力したURLのサイトに接続します。

- 表示中の操作は、ｉモードのサイトの場合と同じです。

URL履歴を使って表示する

URLを入力して表示したサイトを、URL履歴として50件まで記録します。URL履歴からサイトに直接接続できます。

- URL履歴が50件を超えると、古い履歴から順番に上書きされます。

1 **ｉモードメニューで[インターネット]→[URL履歴]を選び ◉ を押す**

URL履歴画面が表示されます。

URL履歴を削除する場合

URL履歴にカーソルをあわせ、機能メニュー[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー[選択削除]を選択し、URL履歴を複数選択して (完了)を押し、[はい]を選択します。すべてのURL履歴を削除する場合は、機能メニュー[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 **URL履歴を選び ◉ を押す**

URL履歴内容表示画面が表示されます。

URLをコピーする場合

(コピー)を押します。

3 **◉ (接続)を押す**

URL履歴のサイトに接続します。

ホームページやサイトを登録して素早く表示する

よく見るサイトのURLをブックマークとして200件まで登録できます。ブックマークからサイトに直接接続できます。

- ブックマークにはｉモードのサイトとインターネットホームページのどちらも登録できます。ただし、サイトやインターネットホームページによっては、登録できない場合があります。
- サイトなどで入力した文字や設定は、ブックマークに登録されません。

ブックマークに登録する

- 「http://」を含み半角256文字までのURLを登録できます。

1 サイトを表示中に （機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [ブックマーク登録]→フォルダを選び を押す

選択したフォルダにブックマークが登録されます。

最大件数保存されている場合

ブックマークを上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。上書きする場合は、[はい]を選択し、上書きするブックマークを選択します。

● タイトルは全角12文字/半角24文字まで登録できます。タイトルの文字数がそれ以上ある場合は超えた部分が削除されます。タイトルがないときはURLが表示されます。

ホームページやサイトを表示する

ブックマークを使ってサイトに接続します。

1 ｉモードメニューで[ブックマーク]を選び を押す

ブックマークフォルダ一覧が表示されます。

- フォルダの種類は次のアイコンで確認できます。

(黄)	お買い上げ時に用意されているフォルダ	(青)	お客様が作成したフォルダ

2 フォルダを選び を押す

ブックマーク一覧画面が表示されます。

3 ブックマークを選び （接続）を押す

選択したブックマークのサイトに接続します。

サイト表示中に別のサイトに接続する場合

機能メニュー[ブックマーク操作]→フォルダ→ブックマークを選択します。

URLを確認する場合

ブックマークにカーソルをあわせ、 （確認）を押します。

ブックマークのURLをコピーする場合

ブックマークにカーソルをあわせ、 （確認）を押して （コピー）を押します。

タイトルを変更する場合

ブックマークにカーソルをあわせ、機能メニュー[タイトル変更]を選択します。全角12文字、半角24文字以内で入力します。

フォルダを追加/削除する

ブックマークを保存するフォルダを作成したり削除したりできます。ブックマークは、最大10個のフォルダで管理できます。また、フォルダの名称も変更できます。

- ブックマークフォルダ一覧画面の1番上のフォルダ(お買い上げ時：[ブックマーク])は削除できません。

例：フォルダを追加する場合

1 **iモードメニューで[ブックマーク]を選び ◉ を押し、 ✉ (機能)を押す**

機能メニューが表示されます。

2 **[フォルダ操作]→[フォルダ作成]を選び ◉ を押し、フォルダ名を入力する**

全角8文字、半角17文字以内で入力します。
フォルダが追加されます。

フォルダ名を変更する場合

フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー[フォルダ操作]→[フォルダ名変更]を選択します。全角8文字、半角17文字以内で入力します。

フォルダを削除する場合

フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー[フォルダ操作]→[フォルダ削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

別のフォルダへ移動する

ブックマークは3とおりの方法で別のフォルダへ移動できます。

例：1件ずつ移動する場合

1 **iモードメニューで[ブックマーク]→フォルダを選び ◉ を押す**

フォルダ内をすべて移動する場合

機能メニュー[移動]→[フォルダ内全件移動]→[はい]→フォルダを選択します。

複数選択して移動する場合

機能メニュー[移動]→[選択移動]を選択し、ブックマークを複数選択して iα (完了)を押し、[はい]→フォルダを選択します。

2 **ブックマークを選び ✉ (機能)を押す**

機能メニューが表示されます。

3 **[移動]→[1件移動]→[はい]を選び ◉ を押す**

移動先フォルダ選択画面が表示されます。

4 **フォルダを選び ◉ を押す**

選択したブックマークが別のフォルダへ移動されます。

削除する

ブックマークは4とおりの方法で削除できます。

例：1件ずつ削除する場合

1 **iモードメニューで[ブックマーク]を選び◉を押す**

すべて削除する場合

機能メニュー[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 **フォルダを選び◉を押す**

フォルダ内をすべて削除する場合

機能メニュー[削除]→[フォルダ内全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

複数選択して削除する場合

機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、ブックマークを複数選択して(iα)(完了)を押し、[はい]を選択します。

3 **ブックマークを選び(✉)(機能)を押す**

機能メニューが表示されます。

4 **[削除]→[1件削除]→[はい]を選び◉を押す**

選択したブックマークが削除されます。

サイトの内容を保存する

お好みのサイト画面などを画面メモとして保存できます。保存した画面は簡単に呼び出すこともできます。

- 画面メモは1件あたり100Kバイトまで、最大100件保存できます。保存可能件数は画面のデータ量により10～100件と変動します。
- サイトなどで入力した文字や設定は、画面メモに保存されません。

画面メモを保存する

1 サイトを表示中に (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [画面メモ保存]を選び を押す

画面メモが保存されます。

メモリの空き容量が不足している場合

画面メモを上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。上書きする場合は、[はい]を選択し、不要な画面メモを選択して (完了)を押し、[はい]を選択します。

最大件数保存されている場合

画面メモを上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。上書きする場合は、[はい]を選択し、上書きする画面メモを選択します。

画面メモを表示する

保存した画面メモを表示します。画面メモの状態は、次のアイコンで確認できます。

	通常の画面メモ		保護設定されている画面メモ

1 iモードメニューで[画面メモ]を選び を押す

画面メモ一覧画面が表示されます。

2 画面メモを選び を押す

画面メモが表示されます。

URLを確認する場合

画面メモにカーソルをあわせ、機能メニュー[URL表示]を選択します。

タイトルを変更する場合

画面メモにカーソルをあわせ、機能メニュー[タイトル変更]を選択します。全角8文字、半角17文字以内で入力します。

● Flash画像やGIFアニメを再度動作する場合は、機能メニュー[リトライ]を選択してください。

保護する

画面メモは上書きされないように保護できます。保護できる件数は最大50件(500Kバイトまで)です。

1 画面メモ一覧で画面メモを選び ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

保護設定を解除する場合

保護設定されている画面メモにカーソルをあわせ、✉ (機能)を押します。

2 [保護設定/解除]→[はい]を選び ◉ を押す

画面メモが保護設定され、「□」が「□」に変わります。

削除する

画面メモは3とおりの方法で削除できます。

例：1件ずつ削除する場合

1 iモードメニューで[画面メモ]を選び ◉ を押す

すべて削除する場合

機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

複数選択して削除する場合

機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、画面メモを複数選択して iα (完了)を押し、[はい]を選択します。

2 画面メモを選び ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

3 [削除]→[1件削除]→[はい]を選び ◉ を押す

選択した画面メモが削除されます。

サイトやメッセージから画像を取得する

サイトに表示されている画像や背景画像、画面メモ、メッセージ、メールからお好みの画像を取り込み、保存できます。（ｉアニメ対応）
取り込んだGIF画像・JPEG画像は、待受画面・発着信画像・メニューアイコンなどに、Flash画像は待受画面・発着信画像などに設定できます。また、フレームやスタンプは、カメラ機能などで利用できます。

■取得可能な画像について

形　式	最大保存サイズ	保存可能件数	制限事項
GIF	500Kバイト	93〜1,000件	• 画像サイズが640×480ドットを超えるGIF画像、320×240ドットを超えるｉアニメは保存できません。
JPEG	1,235Kバイト		• JPEG画像によっては保存できないことがあります。
Flash	100Kバイト		−

• 画像の保存件数は、保存する画像のデータ量により異なります。

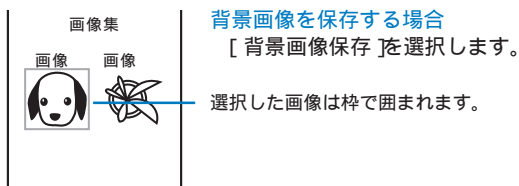
例：サイト画面に表示されている画像を保存する場合

1 サイトを表示中に ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [画像保存]→画像を選び ◉ を押す

背景画像を保存する場合
[背景画像保存]を選択します。

選択した画像は枠で囲まれます。

3 フォルダを選び ◉ を押す

選択したフォルダに画像が保存され、待受画面設定確認画面が表示されます。

メモリの空き容量が不足しているまたは最大件数保存されている場合
メモリ不足または最大件数登録している旨の画面が表示されます。保存する場合は、[削除ファイル選択]→フォルダ→データを選択し、ⓘ（完了）を押し、[はい]を選択します。

4 [はい]/[いいえ]を選び ◉ を押す

[はい]を選択すると、待受画面の画像に設定されます。

● 画像は「SO@Planet」からもダウンロードできます。
[ｉMenu]→[メニューリスト]→[ケータイ電話メーカー]→[SO@Planet]

サイトからデータをダウンロードする

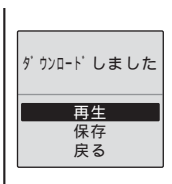
サイトからｉメロディ、キャラ電、デコメールテンプレート、着せかえメニュー、辞書データなどをダウンロードすることができます。

■ダウンロード可能なファイルについて

種　類	形　式	最大保存サイズ	保存可能件数	制限事項
メロディ	SMF、MFi	100Kバイト	10～200件	• ダウンロードしたメロディは、正しく再生できないことがあります。
キャラ電	―	100Kバイト	5～50件	―
デコメールテンプレート	―	20Kバイト	50件	―
着せかえメニュー	―	400Kバイト	8件	―
辞書データ	―	100Kバイト	20件	―

• 保存件数は、保存するデータ量により異なります。

例：サイトからｉメロディをダウンロードする場合

1 **サイトを表示中にｉメロディを選び ◉ を押す**

ｉメロディがダウンロードされます。

保存する前にｉメロディを確認する場合
[再生]を選択します。

保存しない場合
[戻る]を選択します。

2 **[保存]→フォルダを選び ◉ を押す**

選択したフォルダにダウンロードしたメロディが保存されます。

キャラ電をダウンロードする場合
サイトを表示中にキャラ電を選択し、[保存]を選択します。

着せかえメニューをダウンロードする場合
サイトを表示中に着せかえメニューを選択し、[保存]を選択します。着せかえメニューに設定する場合は、設定確認画面で[はい]を選択します。

辞書データをダウンロードする場合
サイトを表示中に辞書データを選択し、[保存]を選択します。

メモリの空き容量が不足している場合
データを上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。上書きする場合は、不要なデータを選択します。（P.242）

● お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除した場合は、「SO@Planet」からダウンロードできます。
[ｉMenu]→[メニューリスト]→[ケータイ電話メーカー]→[SO@Planet]

Phone To・Mail To・Web To・ｉアプリTo機能を使う

サイト、メッセージ、メールの本文、ｉモーションのテロップ、ｉアプリ、ｉチャネルのチャネル一覧などで反転して表示されている情報を利用して電話をかけたり、メールを作成したり、インターネットホームページを表示したり、ｉアプリを起動したり、赤外線通信を行ったりできます。

- サイト、メール、メッセージ、ｉモーション、ソフト、ｉチャネルなどによっては、表示されている電話番号/メールアドレス/URL/ｉアプリのリンク/赤外線通信を行う項目を選択できず、機能を利用できない場合があります。

表示中の画面から電話をかける

表示中の画面に電話番号がある場合、その画面から直接電話をかけることができます。（Phone To、AV Phone To機能）

1 画面中の電話番号を選び ◉ を押す

発信確認画面が表示されます。

2 [はい]→[音声電話]/[テレビ電話]を選び ◉ を押す

選択した電話番号に電話がかかります。

表示中の画面からメールを作成・送信する

表示中の画面にメールアドレスがある場合、その画面から直接メールを作成・送信できます。（Mail To機能）

1 画面中のメールアドレスを選び ◉ を押す

メール編集画面が表示されます。
宛先には選択したメールアドレスが入力されています。

2 メールを作成し、送信する

- ｉモードメール作成・送信（P.181操作3～5）と同じ操作を行ってください。

表示中の画面からサイトに接続する

表示中の画面にURLがある場合、その画面から直接サイトに接続できます。（Web To機能）

1 画面中のリンク（URL）を選び ◉ を押す

リンク先のサイトに接続します。

表示中の画面からｉアプリを起動する

表示中の画面にｉアプリのリンクがある場合、その画面から直接ｉアプリのソフトを起動できます。また、赤外線通信を利用してソフトを起動することもできます。（ｉアプリTo機能）

- あらかじめｉアプリToで起動するソフトをダウンロードしてください。
- ｉアプリTo設定（P.215）を［許可しない］に設定している場合は、起動できません。

1 画面中のｉアプリのリンクを選び ◉ を押す

起動確認画面が表示されます。

2 ［はい］を選び ◉ を押す

ソフトが起動します。

表示中の画面から赤外線通信を行う

表示中の画面に赤外線通信を行う項目がある場合、その画面から直接赤外線通信をすることができます。

1 画面中の赤外線通信を行う項目を選び ◉ を押す

赤外線通信確認画面が表示されます。

2 ［はい］を選び ◉ を押す

赤外線通信を開始します。

ｉモードの設定を行う

接続待ち時間を設定する

お買い上げ時 | 60秒間

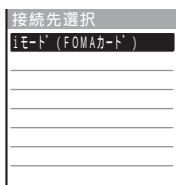
ｉモードセンターが混み合っていてデータの送受信ができないときなど、自動的に接続を切断するまでの時間を設定します。

1 ｉモードメニューで［ｉモード設定］→［共通設定］→［接続待ち時間設定］を選び ◉ を押す

［60秒間］：データ送受信ができない状態が60秒間続くと、自動的に接続を切断します。
［90秒間］：データ送受信ができない状態が90秒間続くと、自動的に接続を切断します。
［無制限］：ｉモードセンターとの切断時間を設定しません。（ただし、電波状態などにより、切断される場合があります）

2 接続待ち時間を選び ◉ を押す

接続待ち時間が設定されます。

ｉモードから接続先を変更する（ISP接続通信）

お買い上げ時　ｉモード（FOMAカード）

※ **ドコモのｉモードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。**

ｉモード（ドコモ）以外のサービスを受けるときに使う接続先を10件まで設定できます。接続先を［ｉモード（FOMAカード）］以外に変更すると、ｉモードを利用できなくなります。

- ［接続先名称］、［接続先番号］、［接続先アドレス］は必ず入力してください。

1 ｉモードメニューで［ｉモード設定］→［共通設定］→［接続先選択］を選び ◉ を押す

接続先の内容を修正する場合

接続先にカーソルをあわせ、機能メニュー［修正］を選択し、端末暗証番号を入力します。各項目を修正してください。

接続先を削除する場合

接続先にカーソルをあわせ、機能メニュー［1件削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

2 ⓘ（新規）を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 端末暗証番号を入力し、◉（OK）を押す

［接続先名称］：接続先の名称を、全角8文字、半角16文字以内で入力します。
［接続先番号］：接続先を、半角99文字以内で入力します。
［接続先アドレス］/［接続先アドレス2］
：接続先アドレスを、半角30文字以内で入力します。

4 各項目を入力する

5 ⓘ（完了）を押す

入力した接続先が保存されます。

6 接続先を選び ◉ を押す

接続先が変更されます。

● 接続先を［ｉモード（FOMAカード）］以外に設定した場合のパケット通信は、パケ・ホーダイの対象になりません。あらかじめご了承ください。

Flash画像で登録データを利用するかどうかを設定する

お買い上げ時 利用する

サイトや画面メモでFlash画像を再生時に、登録データ(P.150)を利用するかどうかを設定できます。

1 **ｉモードメニューで[ｉモード設定]→[登録データ利用設定]を選び ◉ を押す**

2 **[利用する]/[利用しない]を選び ◉ を押す**

登録データ利用設定が設定されます。

画像を表示しないようにする

お買い上げ時 ON

サイトや画面メモ、メッセージの内容を表示するときに、画像を表示するかどうかを設定できます。

1 **ｉモードメニューで[ｉモード設定]→[画像表示]を選び ◉ を押す**

2 **[ON]/[OFF]を選び ◉ を押す**

画像表示設定が設定されます。
[OFF]に設定すると、画像の代わりに「🔍」が表示されます。

- 画像表示を[ON]に設定していても、画像が正しく表示されない場合があります。
- 画像表示を[OFF]に設定するとFlash画像も表示されません。

サイトの文字を自動判別して表示する

お買い上げ時 OFF

サイトの文字コードを自動的に判別するように設定できます。

1 **ｉモードメニューで[ｉモード設定]→[文字自動判別]を選び ◉ を押す**

2 **[ON]/[OFF]を選び ◉ を押す**

文字自動判別が設定されます。

- 文字自動判別を[ON]に設定しても、一部のサイトでは正しく表示できない場合があります。

メッセージを受信したときは

待受画面を表示しているときにメッセージを受信すると、自動的にメッセージの内容が表示されます。メッセージR、メッセージFそれぞれ20件までFOMA端末に保存できます。

メッセージを受信中は、「R」または「F」が点滅します。

メッセージの受信が終了すると、「R」または「F」が表示され、着信ランプが点滅して着信音が鳴り、受信したメッセージの件数が表示されます。
約15秒経過すると受信したメッセージの内容が自動的に表示されます。何も操作しないで約15秒経過すると受信前の画面に戻ります。

- 自動表示されたメッセージは、未読のメッセージのまま保存されます。

- メッセージが20件保存されているときに新しいメッセージを受信すると、保護されていない古い既読メッセージから順番に上書きされます。
- メッセージを自動表示しないように設定することもできます。（P.165）
- 「R」、「F」が表示されているときは、ｉモードセンターにメッセージが残っています。（センターに保管されているときでも「R」、「F」が表示されないことがあります）
  また、ｉモードセンターで保管した件数が満杯になったときは「R」、「F」が表示されます。この場合は、未読メッセージの確認、不要なメッセージの削除、保護メッセージの解除を行ってからｉモード問合せを行ってください。
- 次のようなときに送られてきたメッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
  - テレビ電話中
  - 電源OFF時
  - ｉモード圏外時
  - セルフモード設定中
  - 赤外線通信中
  - FirstPassセンター接続中

メッセージを自動的に表示する

お買い上げ時 | メッセージR優先

待受画面を表示しているときにメッセージを受信すると、その内容を自動的に表示できます。また、メッセージRとメッセージFのどちらを優先して表示するか選択することもできます。

1 **iモードメニューで[iモード設定]→[メッセージ自動表示]を選び ◉ を押す**

[メッセージR優先]：メッセージR、メッセージFを同時に受信した場合、メッセージRを優先して自動表示します。
[メッセージRのみ]：メッセージRのみ自動表示します。
[メッセージF優先]：メッセージR、メッセージFを同時に受信した場合、メッセージFを優先して自動表示します。
[メッセージFのみ]：メッセージFのみ自動表示します。
[表示なし]：自動表示しません。

2 **自動表示の方法を選び ◉ を押す**

自動表示が設定されます。

メッセージがあるかどうかを問い合わせる

iモードサービス圏外にいたり、電源を切っていたときにiモードセンターにメッセージが届いているかどうかを問い合わせることができます。

- 電波状態によっては問い合わせできない場合があります。

1 **待受画面で ✉（メール）を1秒以上押す**

iモードセンターに接続し、問い合わせ結果が表示されます。

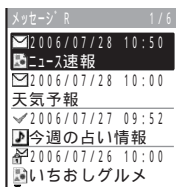
メッセージを確認する場合

[メッセージR]または[メッセージF]を選択します。

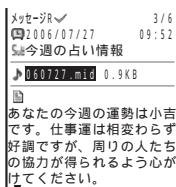
● 問い合わせを行う項目は選択できます。（P.204）

メッセージを表示する

受信したメッセージの内容を表示します。

1 iモードメニューで[メッセージ]→[メッセージR]/[メッセージF]を選び ◉ を押す

- 1行目の右端にカーソルがあたっているメッセージの順位/全件数が表示されます。
- メッセージの状態・種別は、次のアイコンで確認できます。

	未読メッセージ		メロディあり
	既読メッセージ		画像あり
	保護された既読メッセージ		

2 メッセージを選び ◉ を押す

メッセージが表示され、「」が「」に変わります。

- 1行目の右端に順位/全件数が表示されます。
- メッセージは、次のアイコンで確認できます。その他のアイコンは、操作1と同じです。

メッセージの項目

	メッセージの受信日時		本文
	題名		

添付ファイルの種類

	画像未取得	(橙)	メロディあり(MFi形式)
	挿入画像取得失敗	(橙)	無効なメロディあり(MFi形式)
	無効な画像あり 画像あり(FOMAカード未挿入時、受信したときと異なるFOMAカード挿入時)	(緑)	メロディあり(SMF形式) (FOMAカード未挿入時)
		(橙)	メロディあり(MFi形式) (FOMAカード未挿入時)
(緑)	メロディあり(SMF形式)		

- 添付ファイルの操作については、P.194をご覧ください。

前後のメッセージを表示する場合

◀ で前のメッセージ、▶ で次のメッセージを表示できます。

取得できなかった画像をもう一度読み込む場合

機能メニュー[画像再読込]を選択します。

保護する

メッセージR、メッセージFは上書きされないように保護できます。

- 未読メッセージは保護設定できません。

例：メッセージRを保護設定する場合

1 ｉモードメニューで[メッセージ]→[メッセージR]を選び ◉ を押す

メッセージFを保護する場合

ｉモードメニューで[メッセージ]→[メッセージF]を選択します。

2 メッセージを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

保護設定を解除する場合

保護設定されているメッセージにカーソルをあわせ、✉（機能）を押します。

3 [保護設定/解除]→[はい]を選び ◉ を押す

メッセージが保護設定され、「✓」が「🔒」に変わります。

削除する

メッセージは4とおりの方法で削除できます。

例：メッセージRを1件ずつ削除する場合

1 ｉモードメニューで[メッセージ]→[メッセージR]を選び ◉ を押す

メッセージFを削除する場合

ｉモードメニューで[メッセージ]→[メッセージF]を選択します。

すべて削除する場合

機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

既読メッセージをすべて削除する場合

機能メニュー[削除]→[既読のみ削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

複数選択して削除する場合

機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、メッセージを複数選択して ⓘα（完了）を押し、[はい]を選択します。

2 メッセージを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

3 [削除]→[1件削除]→[はい]を選び ◉ を押す

選択したメッセージが削除されます。

SSL証明書を操作する

お買い上げ時　CA証明書・ドコモ証明書1：有効

SSLサイトに接続する際に必要な証明書の有効/無効を設定します。

1　iモードメニューで[iモード設定]→[SSL証明書]を選び ◉ を押す

[CA証明書]　：認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時のFOMA端末内に保存されています。

[ドコモ証明書]：FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード(緑色)内に保存されています。

[ユーザ証明書]：[ユーザ証明書操作]でFirstPassセンターからダウンロードした証明書です。FOMAカード(緑色)内に保存されます。

証明書を確認する場合

証明書にカーソルをあわせ、◉ を押します。

2　証明書を選び (設定)を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

3　端末暗証番号を入力し、◉ (OK)を押す

有効/無効設定画面が表示されます。

4　[有効]/[無効]を選び ◉ を押す

SSL証明書が設定されます。
[無効]に設定すると、「SSL」が「SSL」に変わります。証明書が必要なSSLページに接続すると、SSL通信が中断されます。

FirstPassを設定する

FirstPassセンターからユーザ証明書の発行やダウンロードができます。
ユーザ証明書は、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書は緑色のFOMAカードに保存され、FirstPassに対応しているサイトで利用できます。

- 青色のFOMAカードではご利用になれません。
- FirstPassセンターに接続する場合、日付時刻の設定を行ってください。(P.40)
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。

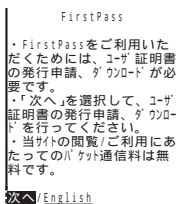
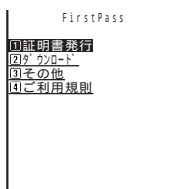
1　iモードメニューで[iモード設定]→[ユーザ証明書操作]を選び ◉ を押す

FirstPass

・FirstPassをご利用いただくためには、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが必要です。
・「次へ」を選択して、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞを行ってください。
・当ｻｲﾄの閲覧/ご利用にあたってのﾊﾟｹｯﾄ通信料は無料です。

次へ/English

2 [次へ]を選び ◉ を押す

FirstPass

1 証明書発行
2 ダウンロード
3 その他
4 ご利用規則

3 [証明書発行]→[実行]を選び ◉ を押す

発行された証明書を失効させる場合

[その他]→[証明書失効]→[はい]を選択し、PIN2コードを入力して[実行]→[次へ]→[実行]を選択します。

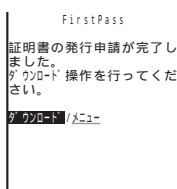
4 PIN2コードを入力し、◉ (OK)を押す

- 15秒以内にPIN2コードを入力しないと発行申請は中止されます。

5 [ダウンロード]→[実行]を選び ◉ を押す

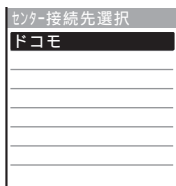
FirstPass

証明書の発行申請が完了しました。
ダウンロード操作を行ってください。

ダウンロード/メニュー

ユーザ証明書がダウンロードされ、SSL証明書の一覧に追加されます。(P.168)

FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
- FirstPass対応サイトに接続したときのパケット通信は、パケ・ホーダイの対象となります。ただし、パソコンと接続してデータ通信を行う場合は、パケ・ホーダイの対象外となります。
- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付しあい、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、添付のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。
- ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。(P.105)
  PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他の人に使用されないよう十分にご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、当社は、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いかねます。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、当社および認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書発行接続先を変更する

お買い上げ時 ドコモ

※ 通常は設定を変更する必要はありません。

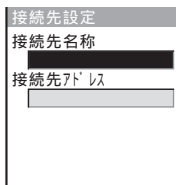
FirstPass以外のサービスを受けるときに、接続先を1件設定できます。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

- ｉモード接続中は設定できません。

1 ｉモードメニューで[ｉモード設定]→[センター接続先選択]を選び ◉ を押す

接続先の内容を編集する場合

接続先にカーソルをあわせ、機能メニュー[編集]を選択し、端末暗証番号を入力します。各項目を修正してください。

- お買い上げ時に登録されている接続先([ドコモ])は編集できません。

接続先の内容をお買い上げ時に戻す場合

機能メニュー[初期化]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 (新規)を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 端末暗証番号を入力し、◉ (OK)を押す

[接続先名称] ：接続先の名称を、半角99文字以内で入力します。
[接続先アドレス]：接続先アドレスを、半角100文字以内で入力します。

4 各項目を入力する

5 (完了)を押す

入力した接続先が保存されます。

6 接続先を選び ◉ を押す

接続先が変更されます。

ｉモーションとは

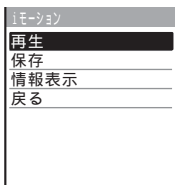
ｉモーションとは、映像と音が含まれる動画データです。FOMA端末で再生したり、保存して待受画面などに設定できます。
ｉモーションには、大きく分けて次の2つのようなタイプがありますが、SO702iは標準タイプのｉモーションにのみ対応しています。（ストリーミングタイプのｉモーションを取得することはできません）

種　類		説　明
タイプ	再生形式	
標準タイプ （保存可※）	データ取得中に再生 （最大500Kバイト）	ｉモーションのデータを取得しながら再生します。
	データ取得後に再生 （最大500Kバイト）	ｉモーションのデータをすべて取得したあとに再生します。
ストリーミングタイプ （保存不可）	データ取得中に再生 （最大2Mバイト）	ｉモーションのデータを取得しながら自動的に再生します。再生が終わったｉモーションのデータは削除されます。 • SO702iでは対応していません。

※ ｉモーションによっては、保存できないものがあります。

サイトからｉモーションを取得する

- ｉモーションは1件あたり500Kバイトまで、最大100件保存できます。保存可能件数はｉモーションのデータ量により3～100件と変動します。

1 サイトを表示中にｉモーションを選び ◉ を押す

ｉモーションがFOMA端末に取得されます。
［自動再生設定］が［ON］に設定されている場合、取得したあとに自動的にｉモーションが再生されます。（取得しながら再生できるｉモーションの場合は、取得中にｉモーションが再生されます）

- 再生中の操作は、データBOXのｉモーションと同じです。（P.230）
- データ取得中の再生を途中で停止しても、データの取得は継続されます。

2 ［再生］を選び ◉ を押す

保存する場合
［保存］を選択し、保存するフォルダを選択します。

詳細情報を表示する場合
［情報表示］を選択します。

テロップ中にリンクが設定されている場合
再生を終了したり中断すると、確認画面が表示され、Phone To/AV Phone To、Mail To、Web Toを利用できます。

- 複数のリンク項目があるときは、1つのリンク項目が有効になります。有効になるリンク項目は、ｉモーションによって異なります。

- ｉモーションによっては、データを取得しても正しく再生/保存できないことがあります。
- 電波状態、回線状況、回線速度によっては、データ取得中の再生が途中で止まったり、画像が乱れたりすることがあります。
- ｉモーションの取得/再生/保存中に音声電話がかかってくると、取得/再生/保存が中止され、電話を受けることができます。また、めざまし時計/スケジュールアラームが起動すると取得/再生/保存が中止されます。ｉモーションのタイプによっては操作終了後に取得/再生/保存することもできます。ただし、電池残量がゼロになると取得/再生/保存が中止されます。十分に充電してご使用ください。
- ASF形式のｉモーションは取得、再生できません。

ｉモーションを自動再生するかどうかを設定する

お買い上げ時　ON

ｉモーションを取得中または取得後に自動再生するかどうかを設定します。

1 **ｉモードメニューで[ｉモード設定]→[ｉモーション設定]→[自動再生設定]を選び◉を押す**

2 [ON]/[OFF]**を選び、◉を押す**

[ON]　：ｉモーションを取得中または取得後に自動再生します。
[OFF]：ｉモーションを取得中または取得後に自動再生せず、取得完了画面を表示します。再生する場合、取得完了画面で[再生]を選択します。

自動再生設定が設定されます。

メール

FOMA端末のメール機能について 174
ｉモードメールとは 175
メールメニューを表示する ....〈メールメニュー〉181

■ ｉモードメール/デコメールを作成する

ｉモードメールを作成して送信する ....〈ｉモードメール作成・送信〉181
デコメールを作成して送信する ....〈デコメール作成・送信〉183
テンプレートを利用してメールを送信する 186
ファイルを添付する ....〈ファイル添付〉187
ｉモードメールを保存しておき、あとで送信する ....〈ｉモードメール保存〉188

■ ｉモードメールを受ける・操作する

ｉモードメールを受信したときは ....〈メール自動受信〉189
ｉモードメールを選択して受信する ....〈メール選択受信〉190
ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる ....〈ｉモード問合せ〉191
ｉモードメールに返事を出す ....〈ｉモードメール返信〉191
ｉモードメールを他の宛先に転送する ....〈ｉモードメール転送〉192
メールアドレス/電話番号を電話帳に登録する 193
ｉモードメールから添付ファイルを再生・保存する 194

■ メールBOXを操作する

受信メール/送信メール/保存メールを表示する 196

■ メールの設定を行う

FOMA端末のメール機能を設定する ....〈メール設定〉202

■ SMS（ショートメッセージ）を使う

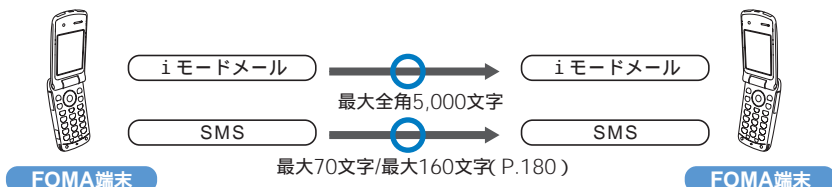
SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する ....〈SMS作成・送信〉208
SMS（ショートメッセージ）を受信したときは ....〈SMS受信〉209
SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせる ....〈SMS問合せ〉209
SMS（ショートメッセージ）の設定を行う ....〈SMS設定〉210

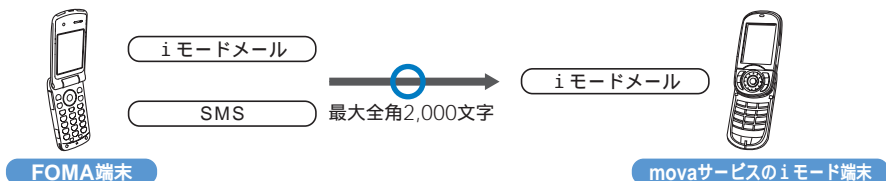
FOMA端末のメール機能について

FOMA端末では、ｉモードメール、SMSの2種類のメール機能を利用できます。ｉモードメールをご利用いただくには、ｉモードのご契約が必要です。

メール機能の送受信について

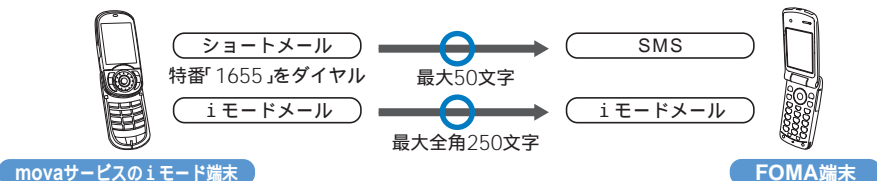
■**FOMA端末→FOMA端末**

FOMA端末からFOMA端末へのメッセージ送信には、ｉモードメール、SMSを利用できます。

■**FOMA端末→movaサービスのｉモード端末**

FOMA端末からmovaサービスのｉモード端末へのメッセージ送信には、ｉモードメール、SMSを利用できます。FOMA端末から送信したSMSは、movaサービスのｉモード端末ではｉモードメールとして受信されます。

※ movaサービスのｉモード端末の設定により異なります。

- SMS送達通知（P.210）を設定している場合、movaサービスのｉモード端末へSMSを送信できません。

■**movaサービスのｉモード端末→FOMA端末**

movaサービスのｉモード端末からFOMA端末へのメッセージ送信には、ｉモードメール、ショートメール※を利用できます。movaサービスのｉモード端末から送信したショートメールは、FOMA端末ではSMSとして受信されます。

※ ショートメールとは、ドコモの携帯電話間で文字メッセージをやりとりできるサービスです。

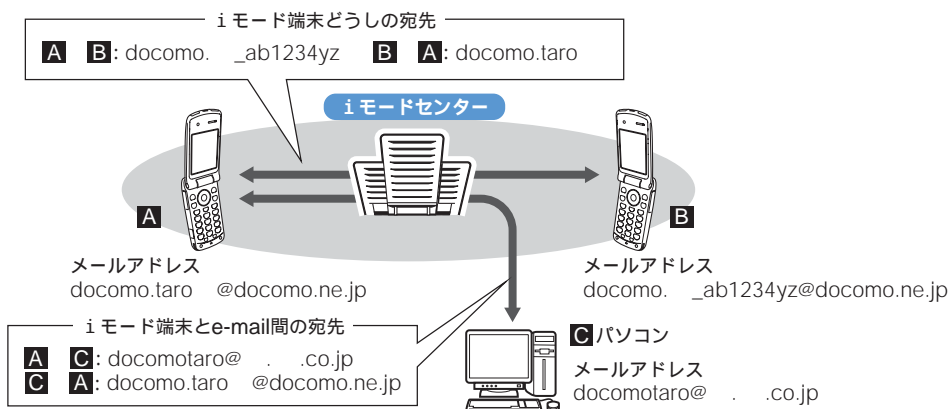
ｉモードメールとは

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末(mova含む)間はもちろん、インターネットを経由してe-mailとのメールのやりとりができます。
ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にｉモードをご契約の場合
@マークの前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモードご契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。

(例)abc1234～789xyz@docomo.ne.jp

<お客様のメールアドレスの確認方法>
[ｉMenu]→[8オプション設定]→[□メール設定]→[アドレス確認]

- ｉモード端末(mova含む)間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
- パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。

- メールの送信方法は(P.181)
- メールの受信方法は(P.189)

●メール選択受信

ｉモードセンターに保管されているメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除することができます。(P.190、204)

メール設定を行う

下記の各種設定を行うことができます。

<設定方法>
[ｉMenu]→[8オプション設定]→[□メール設定]→【各設定】

- 詳細はｉモードご契約時にお渡しいたします『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

●メールアドレス変更【メールアドレス設定(アドレス変更)】

たとえば「docomo.taro_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分を、お好みのアドレスに変更できます。

●メールアドレス確認【メールアドレス設定(アドレス確認)】

現在設定されているメールアドレスを確認できます。

●シークレットコード登録【メールアドレス設定(その他設定)→シークレットコード登録】

電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

●メールアドレスリセット【メールアドレス設定(その他設定)→アドレスリセット】

メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にすることができます。

●迷惑メール対策

以下のいずれかの方法でメールの受信/拒否設定を行うと、メールの受信を制限できます。

① 受信/拒否設定【メール受信設定(迷惑メール対策)→受信/拒否設定】

- ドコモ・au・ボーダフォン・TU-KA・ウィルコムのうち、指定する会社からのメールを受信できます。また、上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインまたはアドレスから受信できます。そして、インターネットからの携帯・PHSドメインになりすましたメールを拒否することもできます。

② SMS拒否設定【メール受信設定(迷惑メール対策)→SMS拒否設定】

- 受信するSMSを制限することができ、「SMS一括拒否」「非通知SMS拒否」「国際SMS拒否」「非通知SMSと国際SMSの拒否」の4つから選択できます。また、設定の状況を確認できます。

③ ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限【メール受信設定(その他設定)→ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限】

- 1日に1台のｉモード端末(mova含む)から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

④ 未承諾広告※メール拒否【メール受信設定(その他設定)→未承諾広告※メール拒否】

- 受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません。(送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※(全角6文字)と記載することが法律で義務づけられています)

●メールサイズ制限【メール受信設定(メールサイズ制限)】

あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限できます。

●設定状況確認【メール受信設定(設定状況確認)】

現在設定されているメール受信/拒否などの設定状況を確認できます。

●メール機能停止【メール機能停止】

メール機能を利用されない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止を行うことができます。

送受信できる文字数

ｉモードメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字（漢字、ひらがな、絵文字など）	半角文字（英字、数字、カタカナなど）
題名	15文字	30文字
メールアドレス	－	50文字
本文	5,000文字	10,000文字

- ｉモードメールの本文は全角5,000文字（10,000バイト）まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。
- 本文が受信可能な文字数を超えた場合、最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
- movaサービスへｉモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは最大全角2,000文字までです。また、ｉショット・ｉモーションメールはURLの記載されたメールとして送信され、それ以外の添付ファイルは削除されます。
- 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- ｉモード端末（mova含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。

メールを受信できないとき

ｉモードセンターに届いたメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末の電源が入っていない場合やｉモード圏外などで受信できないときは、メールはｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターで保管しているときは、一定の時間をおいて最大3回まで再送します。
また、メール選択受信設定により、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを選んで受信することができます。

- ｉモードセンターでのメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

	最大保管件数	最大保管期間
ｉモードメール	207～1,000件（約2Mバイトまで）	720時間

- 保管期間を過ぎたメールは自動的に削除されます。
- 最大保管件数は、メールのデータ量により異なります。保管件数を超えた場合は、ｉモードセンターではメールを受信せず送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときｉモード端末には「」が表示されます。
- ｉモードセンターに保管されているメールは、ｉモード問合せやメール選択受信により受信できます。また、新しいメールが届いたときは、保管されている他のメール、メッセージもあわせて受信できます。
- ｉモード端末でメールを受信するとｉモードセンターに保管されていたメールは削除されます。受信したメールはｉモード端末に保存されます。（P.189）
- 極端に容量の大きいメールはｉモードセンターで受け付けないことがあります。

こんなこともできます

●ファイル添付メール

メロディ添付メール

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます。（メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されているメロディファイルは送信できません）

- 送信するには（P.187）
- 受信したときは（P.194）

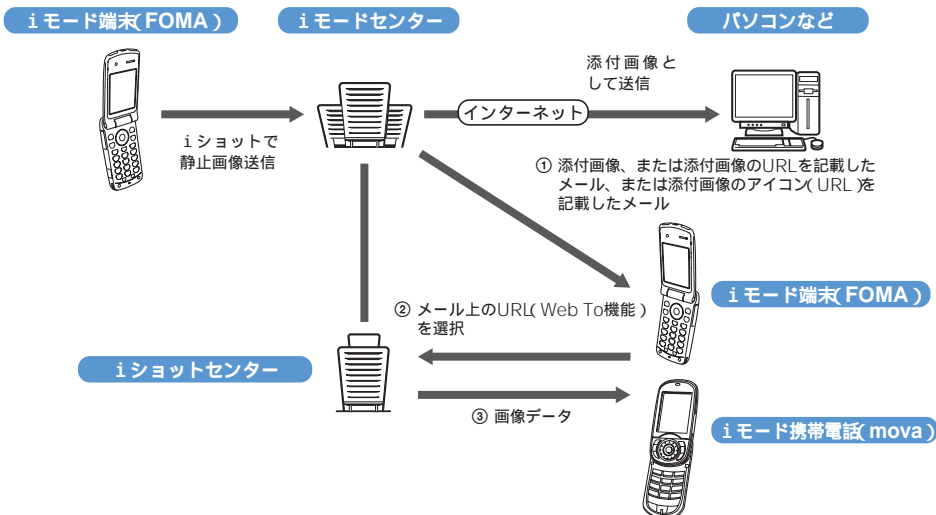
画像添付メール

サイト、インターネットホームページ、または外部メモリから取得した静止画ファイルをｉモードメールに添付して送受信できます。（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません）

- 送信するには（P.187）
- 受信したときは（P.194）

●ｉショット

カメラ機能付き端末で撮影した静止画を添付ファイルとしてｉモード端末（mova含む）およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます。受信側には添付ファイル形式または、画像閲覧用URL（またはアイコン）および画像の保存期限が記載されたメールとして送信され、そのURLを選択することで画像を取得できます。
movaへ送信できるメール本文は最大全角184文字（369バイト）で、複数ファイルを添付した場合添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。

- 送信するには（P.187）
- 受信したときは（P.194）

※ 添付画像のURLを記載したメールを受信した場合

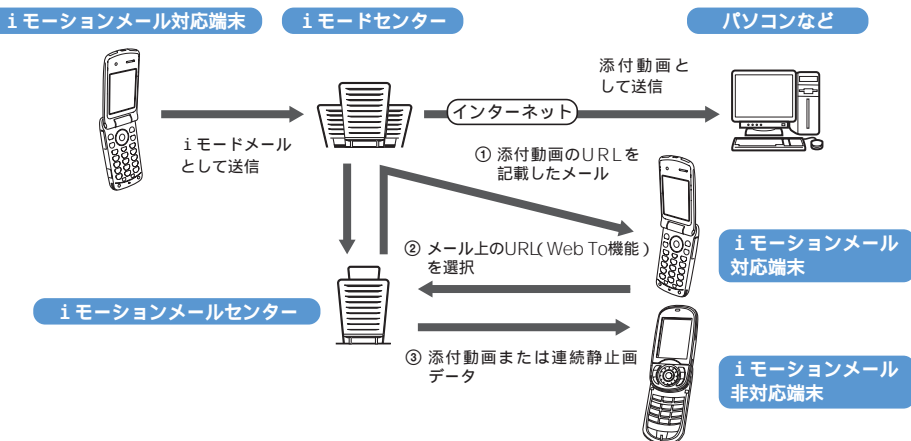
- ｉショットセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間経過後自動的に削除されます。
- ｉモード端末が送信できるのは最大500Kバイトまでの静止画となります。また、20Kバイトより大きい画像を添付してｉモード端末に送信した場合は、受信側では自動的にサイズの圧縮された画像を取得します。

●ｉモーションメール

ｉモーションメール対応端末で撮影した動画やサイトから取得した動画をｉモーションメール対応端末およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます。（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません）

- ｉモーションメールを送信するには（P.187）
- ｉモーションメールを受信したときは（P.194）

サービスのしくみ

ｉモーションメールに添付された動画ファイルはｉモーションメールセンターに送信され、そこで保存されます。（送信先がパソコンなどの場合は、直接添付ファイルとして送信されます）
ｉモーションメール対応端末で受信した場合、メール本文中に表示されているURLを選択して動画を取得できます。
ｉモーションメール非対応端末へ送信した場合は、ｉモーションが連続静止画に変換され、URLの記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを選択し、連続静止画を取得します。

- ｉモーションメールセンターでは最大10日間まで画像を保管し、保管期間経過後自動的に削除します。
- ｉモーションメール対応端末が受信できるのは最大500Kバイトまでの動画となります。また、取得した動画はｉモーションメール対応端末の画面にあわせて画像サイズを自動的に変換します。

●デコメール

ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信できます。（パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります）
デコメールを非対応端末へ送信した場合は、URLが記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを選択し、デコメールを閲覧できます。

- デコメール編集方法（P.183）
- デコメール送信方法（P.183）
- 対応機種：デコメール対応機種でご利用いただけます。詳しくは、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- デコメール閲覧用のURLの記載されたメールを転送したり、そのURLを直接入力してもデコメールは閲覧できません。

●メール同報送信

同じｉモードメールを、一度に複数の宛先（最大5件）に送信できます。（P.182、205）

- パケット通信料は、1通のみ送信した場合と同じです。（ただし、追加した宛先の情報量についてはパケット通信料が増えます）

●Cc、Bcc送受信

パソコンと同じように、ｉモードメール編集時に宛先をTo、Cc、Bccから選択できます。ただし、Toが1件もない場合は、メールを送信できません。（P.182）

SMS(ショートメッセージ)について

ｉモード契約をしなくてもFOMA端末間でメッセージをやりとりできます。

- 送信方法は(P.208)
- 受信方法は(P.209)
- 問い合わせ方法は(P.209)
- ドコモ以外の海外通信事業者とお客様との間で送受信を行う場合については、ドコモのホームページをご覧ください。

送受信できる文字数

SMSで送受信できる文字数は次のとおりです。送信文字種の設定(P.210)により最大文字数が異なります。

項　目	送信文字種[日本語]	送信文字種[英語]
宛先	半角数字20文字(ご契約の携帯電話番号) (「＋」はカウントされません)	
本文	全角・半角を問わず70文字	半角160文字

SMS(ショートメッセージ)を受信できないとき

SMSセンターに届いたSMSは、すぐにお客様のFOMA端末に送信します。ただし、お客様のFOMA端末の電源が入っていないときや圏外などで受信できないときは、SMSはSMSセンターに保管されます。

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。送信者が保管期間を設定することもできます。(P.210)保管期間が超過したSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、SMS問合せにより受信できます。(P.209)
- FOMA端末でSMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。受信したSMSはFOMA端末に保存されます。

メールメニューを表示する

1 待受画面で ✉（メール）を押す

（全体イメージ）

メニュー名	機　能
受信メール	受信したメールの表示、返信、転送などを行います。（P.196）
送信メール	送信したメールの表示、転送、編集などを行います。（P.196）
保存メール	送信せずに保存したメールや送信に失敗したメールの表示などを行います。（P.196）
新規メール作成	新しくｉモードメールを作成して送信します。（P.181）
SMS作成	新しくSMSを作成して送信します。（P.208）
ｉモード問合せ	ｉモードセンターに保管されているメール、メッセージR、メッセージFを取得します。（P.165、191）
SMS問合せ	SMSセンターに保管されているSMSを取得します。（P.209）
メール選択受信	ｉモードセンターに保管されているメールを選択して受信します。（P.190）
メール設定	FOMA端末のｉモードメール、SMSに関する設定を行います。（P.101、202、210など）

ｉモードメールを作成して送信する

送信したメールは[送信メール]に保存されます。

- 電波状態により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。

1 メールメニューで[新規メール作成]を選び ● を押す

2 [To]に宛先を入力する

半角50文字以内で入力します。

3 [Sub]に題名を入力する

全角15文字、半角30文字以内で入力します。

4 [本文]に本文を入力する

全角5,000文字、半角10,000文字以内で入力します。

5 （送信）を押す

メールが送信されます。

● 保存メールが50件保存されているときや保存メールの空き容量が少ないときは、新しいメールの作成、保存メールの編集はできません。
● 送信メールが500件保存されているときや空き容量が少ないときにメールを送信すると、保護されていない古い送信済みメールから順番に上書きされます。
● 複数の宛先に送信したときに送信に成功した宛先と失敗した宛先がある場合、同じメールが送信済みメールとして[送信メール]に、未送信/送信失敗メールとして[保存メール]に保存されます。
● 送信に成功していても電波状態によっては、「送信できませんでした」とエラーメッセージが表示され、[保存メール]に保存される場合があります。

宛先を追加する

宛先を追加して、同じ内容のｉモードメールを一度に最大5人の相手に送信できます。宛先種別をTo、Cc、Bccから選択できます。

1 メール編集画面で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [宛先追加]→宛先種別(To/Cc/Bcc)を選び ● を押す

選択した宛先([To]/[Cc]/[Bcc])が追加されます。

3 追加された[To]/[Cc]/[Bcc]に宛先を入力する

宛先を削除する場合
宛先にカーソルをあわせ、機能メニュー[宛先削除]→[はい]を選択します。

宛先種別を変更する場合
宛先にカーソルをあわせ、機能メニュー[宛先種別変更]→宛先種別(To/Cc/Bcc)を選択します。

4 メールを作成し、送信する

- ｉモードメール作成・送信(P.181操作3～5)と同じ操作を行ってください。

● To、Ccに入力したメールアドレスは受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては表示されない場合があります。

一括メールリストから宛先を入力する

一括メールリスト(P.205)に登録した複数の相手にメールを送信できます。

1 メール編集画面で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [一括メールリスト]→メールリストを選び ● を押す

リストのメンバーが宛先に入力されます。

メールリストから宛先を個別に選択する場合
一括メールリスト画面で (個別)を押し、メンバーを選択します。

3 メールを作成し、送信する

- ｉモードメール作成・送信(P.181操作3～5)と同じ操作を行ってください。

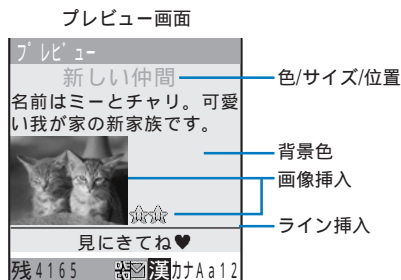
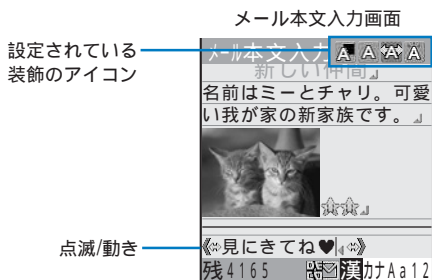
デコメールを作成して送信する

iモードメール本文に装飾(デコレーション)を行ったデコメールを作成して送信できます。
- 相手の機種によっては、正しく受信できなかったり、表示できない場合があります。

メール本文入力画面

設定されている装飾のアイコン

点滅/動き

プレビュー画面

1 メールメニューで[新規メール作成]を選び ◉ を押す

メール編集画面が表示されます。

2 宛先、題名を入力する

- iモードメール作成・送信(P.181操作2〜3)と同じ操作を行ってください。

3 [📄]に装飾する

✉(機能)を押して機能メニューからデコレーションを選択し、クロスデコパレットで装飾を設定してください。装飾できる項目および装飾後にメール本文入力画面のタイトル行に表示されるアイコンは次のとおりです。

機能メニュー		項　目	アイコン	内　容
指定範囲デコレーション		―	―	入力した本文の文字の範囲を指定してデコレーションします。[色/サイズ]、[点滅/動き/位置]を続けてデコレーションできます。(P.185)
デコレーション		―	―	デコレーションを指定して本文の文字を入力します。(P.184)
	色/サイズ	色		文字、ラインの色を20色から選択します。絵文字の色も変更されます。
		サイズ		文字のサイズを大/中/小の3種類から選択します。
	点滅/動き/位置	点滅		文字を点滅して表示します。
		動き		文字を右から左へテロップ表示します。
				文字を左右にスウィング表示します。
		位置		文字、画像の位置を左揃えにします。
				文字、画像の位置を中央揃えにします。
				文字、画像の位置を右揃えにします。
	画像挿入	―	―	画像をデータBOXのマイピクチャから挿入します。(10,000バイトまで)
	ライン挿入	―	―	[色/サイズ]で設定した色のラインを挿入します。
	背景色	―	―	背景の色を20色から選択します。

デコレーションをすべて解除する場合

機能メニュー[デコレーション]→[全解除]を選択します。

デコレーションを確認する場合

機能メニュー[プレビュー]を選択します。

4 (送信)を押す

作成したデコメールをテンプレートとして保存する場合

機能メニュー[テンプレート保存]→[はい]を選択します。テンプレート一覧に保存されます。

- 装飾した文字を削除しても、装飾データが残り、本文の入力文字数が少なくなる場合があります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、 を1秒以上押した場合は、装飾データも含めて文字が削除されます。
- 点滅、動き、アニメーションなどは、一定時間が経過すると自動的に停止します。
- デコメールの背景色によっては、画像やｉモーション取得先URLの文字色と重なり、URLが見えない場合があります。

装飾を指定して本文を入力する

1 本文入力画面で (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

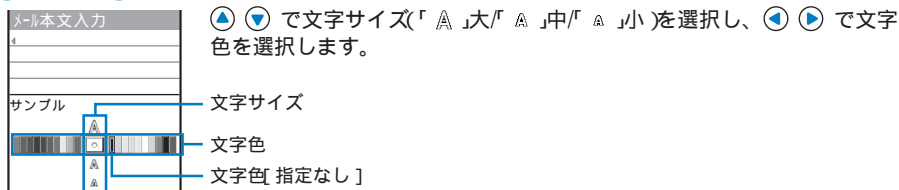
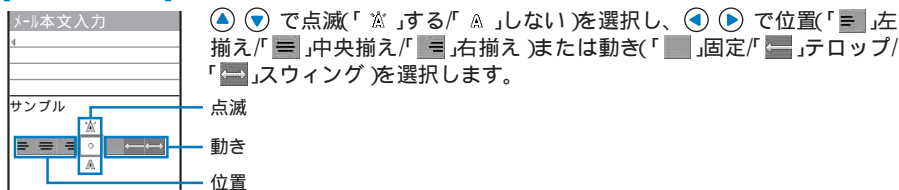
2 [デコレーション]→装飾を選び を押す

クロスデコパレットが表示されます。

[色/サイズ]を選択した場合

で文字サイズ(「A」大/「A」中/「A」小)を選択し、 で文字色を選択します。

[点滅/動き/位置]を選択した場合

で点滅(「A」する/「A」しない)を選択し、 で位置(「」左揃え/「」中央揃え/「」右揃え)または動き(「」固定/「」テロップ/「」スウィング)を選択します。

[画像挿入]を選択した場合

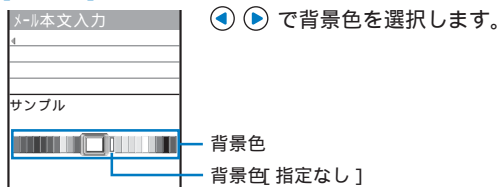
データBOXのマイピクチャから画像を選択します。

- ファイルサイズが10,000バイト以下および画像サイズが[CIF(352×288)]以下のGIF画像/JPEG画像を選択できます。ファイル制限がある画像、フレーム画像などは選択できません。
- 画像を確認する場合は、画像にカーソルをあわせ、 (見る)を押します。

[ライン挿入]を選択した場合

カーソルがある行にラインを挿入します。

[背景色]を選択した場合

で背景色を選択します。

3 本文を入力する

全角5,000文字、半角10,000文字以内で入力します。

- 本文に入力できる文字数は、装飾により少なくなることがあります。

本文を入力して装飾を指定する

1 本文入力画面で ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [指定範囲デコレーション]を選び ◉ を押す

3 装飾の始点を選び ◉ を押す

装飾する最初の文字が確定します。

4 装飾の終点を選び ◉ を押す

装飾する範囲が確定し、クロスデコパレットが表示されます。

5 文字のサイズ/色を選び ◉ を押す

▲ ▼ で文字サイズ(大/中/小)を選択し、◀ ▶ で文字色を選択します。

- 文字サイズ/色を設定しない場合は、◉ を押してください。

6 文字の点滅/動き/位置を選び ◉ を押す

▲ ▼ で点滅(する/しない)を選択し、◀ ▶ で位置(左揃え/中央揃え/右揃え)または動き(固定/テロップ/スウィング)を選択します。

- 文字の点滅/動き/位置を設定しない場合は、◉ を押してください。

テンプレートを利用してメールを送信する

テンプレートとは、本文の装飾があらかじめ指定されているデコメール用の雛形です。テンプレートを利用することにより、簡単にデコメールを作成・送信できます。
テンプレートは、サイトからダウンロードしたり、作成/受信/送信したデコメールをテンプレートとして最大50件保存できます。（P.184）

・お買い上げ時に登録されているテンプレートは編集できません。

1 メールメニューで[メール設定]→[テンプレート一覧]を選び ◉ を押す

テンプレートを確認する場合
テンプレートを選択します。

タイトルを変更する場合
テンプレートにカーソルをあわせ、機能メニュー[タイトル変更]を選択します。全角15文字、半角30文字以内で入力します。

テンプレートを削除する場合
テンプレートにカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、テンプレートを複数選択して (iα)（完了）を押し、[はい]を選択します。すべてのテンプレートを削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

テンプレートを編集する場合
テンプレートにカーソルをあわせ、(ch MY)（編集）を押します。

2 テンプレートを選び (iα)（メール）を押す

メール編集画面が表示されます。

3 メールを作成し、送信する

・デコメール作成・送信（P.183操作2～4）と同じ操作を行ってください。

● メール送信できない画像が含まれたテンプレートを設定すると、画像が削除される場合があります。
● 作成/受信/送信したデコメールに添付ファイルがある場合、添付ファイルを削除してテンプレートとして保存します。

ファイルを添付する

ｉモードメールに静止画やメロディを添付して送信できます。また、動画/ｉモーションを添付して、ｉモーションメールとして送信できます。

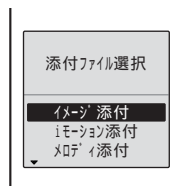
■添付可能なファイルについて

種　類	形　式	サイズ制限	添付可能件数	制限事項
画像	JPEG、GIF	10,000バイト以下	合計10件（本文とあわせて10,000バイトまで）	• GIF画像は、movaサービスのｉモード端末では受信できません。
メロディ	SMF	10,000バイト以下		• SO702i以外の携帯電話には正しく送信できないことがあります。 • movaサービスのｉモード端末では受信できません。
画像	JPEG	10,001バイト～500Kバイト	どちらか1件	• 500Kバイトを超える場合、500Kバイト以下に自動的に変換して送信します。 • ｉモード端末に送信した場合、ｉショットセンターで「ｉモード対応端末に適したサイズ」に変換されます。
動画/ｉモーション	MP4	500Kバイト以下		• 500Kバイトを超える場合、500Kバイト以下に自動的に変換して送信します。 • 受信側の機種によって、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示されることがあります。 • ｉモーションによっては添付できないことがあります。

• メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは添付できません。

1 メール編集画面で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [添付ファイル追加]を選び ◉ を押す

添付ﾌｧｲﾙ選択
ｲﾒｰｼﾞ添付
iﾓｰｼｮﾝ添付
ﾒﾛﾃﾞｨ添付

[イメージ添付]　：画像を添付します。
[ｉモーション添付]：動画/ｉモーションを添付します。
[メロディ添付]　：メロディを添付します。
[カメラ起動]　：カメラを起動して、画像/動画を撮影して添付します。

3 ファイルの種類→フォルダ→ファイルを選び ◉ を押す

ファイルが添付され、「」「」「♪」「」が表示されます。

画像/動画/メロディを確認する場合

ファイルにカーソルをあわせ、ch（見る/再生/聞く）を押します。

[カメラ起動]を選択した場合

[カメラ]/[ムービー]を選択し、撮影します。（P.124、127）

• 画像サイズが[VGA（480×640）]以下の静止画、[待受（320×240）]以下の動画を撮影できます。

4 メールを作成し、送信する

• ｉモードメール作成・送信（P.181操作2～5）と同じ操作を行ってください。
• メール本文に入力できる文字数は、添付したファイルのデータ量により異なります。

- 10,000バイトを超えるJPEG画像もしくはｉモーションを添付すると、本文に入力できる文字数が全角100文字分（半角200文字分）少なくなります。本文をデコレーションしている場合は、全角200文字分（半角400文字分）少なくなります。
- movaサービスのｉモード端末に送信する場合は、JPEG画像またはｉモーションを1件のみ添付できます。相手には画像取得用のURLが付いたメールとして送信されます。複数のファイルを添付したり、対応していないファイルを添付すると、添付ファイルは削除され、相手には本文のみ送信されます。

添付したファイルを削除する

1 メール編集画面でファイルを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [添付ファイル削除]→[はい]を選び ● を押す

添付したファイルが削除されます。

ｉモードメールを保存しておき、あとで送信する

作成したメールをすぐに送信しない場合は、[保存メール]に保存できます。

1 メール編集画面で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [保存]を選び ● を押す

作成したメールが未送信メールとして[保存メール]に保存されます。

保存したメールを修正する場合

メールメニューで[保存メール]→[保存BOX]→メールを選択します。

ｉモードメールを受信したときは

お客様宛のメールがｉモードセンターへ送られると、自動的にFOMA端末に受信されます。

メールを受信中は「✉」が点滅します。

メールの受信が終了すると、「✉」が表示され、着信ランプが点滅して着信音が鳴り、受信したメールの件数が表示されます。
約15秒経過すると受信前の画面に戻ります。

• 待受画面に戻ると、「✉」(新着メールあり)の通知情報アイコンが表示されます。◉(リンク)を押し「✉」を選択すると、受信メール画面が表示されます。

● 受信メールが1,000件保存されているときや空き容量が少ないときに新しいメールを受信すると、保護されていない古い既読メールから順番に上書きされます。

● 複数のメールを同時に受信したときは、最後の受信メールの着信音・着信画像・着信ランプが優先されます。

● 次のようなときに送られてきたメールはｉモードセンターに保管されます。

- テレビ電話中
- 電源OFF時
- ｉモード圏外時
- セルフモード設定中
- 赤外線通信中
- FirstPassセンター接続中

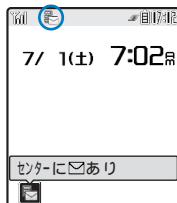
● 「」が表示されているときは、ｉモードセンターにメールが残っています。(ｉモードセンターに保管されているときでも「」が表示されないことがあります)
また、ｉモードセンターで保管した件数が満杯になったときは「」が表示されます。この場合は、未読メールの確認、不要な受信メールの削除、保護受信メールの解除を行ってからｉモード問合せを行ってください。

● ｉモードメールでは、メロディや画像を添付ファイルとして受信できます。ｉモードメールに対応していない添付ファイルは、ｉモードセンターで削除されます。添付ファイルが削除された場合、[添付ファイル削除]のメッセージが追加されます。

● 受信メールのデータ量(文字数、添付ファイル)がｉMenuのオプション設定のメールサイズ制限で設定した文字数(データ量)を超える場合、添付ファイルはｉモードセンターで削除され受信できません。

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。

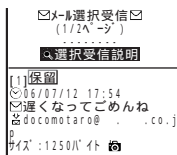
- メール選択受信を利用する場合は、メール選択受信設定を[ON]に設定してください。[ON]に設定すると、自動的にｉモードメールを受信できません。(P.204)
- メール選択受信設定を[ON]に設定している場合、メール着信音は鳴りません。また、マナーモードやバイブレータを設定している場合も振動しません。

メールを受信すると、「 」(センターに✉あり)の通知情報アイコンが表示されます。

メールを確認する場合

待受画面で◉(リンク)を押して「 」を選択し、[はい]を選択します。
ｉモードセンターに接続します。

ｉモードメールを選択受信する

ｉモードセンターに接続し、メールを選択して受信します。

1 メールメニューで[メール選択受信]を選び◉を押す

ｉモードセンターに接続され、保管されているｉモードメールを一覧表示します。

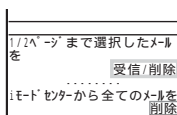
[受信]：選択したｉモードメールを受信します。
[削除]：選択したｉモードメールを削除します。
[保留]：選択したｉモードメールをｉモードセンターに保管したままにします。

- 添付ファイルがある場合は、以下のアイコンが表示されます。

	静止画ファイル添付あり	♪	メロディ添付あり
	ｉモーション添付あり		

2 受信するメールの[保留]を選び◉を押す

3 [受信]を選び◉を押す

4 [受信/削除]を選び◉を押す

すべてのメールを削除する場合

[ｉモードセンターから全てのメールを]の下の[削除]を選択します。

5 [決定]を選び◉を押す

選択したメールが受信されます。

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる

ｉモードサービス圏外にいたり、電源を切っていたときにｉモードセンターにｉモードメールが届いているかどうかを問い合わせることができます。

- 電波状態によっては問い合わせできない場合があります。

1 待受画面で ✉（メール）を1秒以上押す

ｉモードセンターに接続し、問い合わせ結果が表示されます。

メールを確認する場合

［メール］を選択します。

ｉモードメールに返事を出す

受信したメールに返信メールを送ることができます。

- 受信したメールやSMSによっては返信できない場合があります。

1 受信メール一覧でメールを選び ｉα（引用返信）を押す

メール編集画面が表示されます。
宛先には返信用のメールアドレス、題名には「Re:受信メールの題名」、本文には「＞受信メールの本文」が入力されています。

- 題名が「Re:」を含めて全角15文字、半角30文字を超える文字は削除されます。

本文を引用せずに返信する場合

メールにカーソルをあわせ、chMY（返信）を押します。

同報メールに返信する場合

メールを選択し、ｉα（引用返信）または chMY（返信）を押し、［送信者への送信］/［全員への送信］を選択します。

2 メールを作成し、送信する

- ｉモードメール作成・送信（P.181操作3～5）と同じ操作を行ってください。

メールが返信され、「↩」が表示されます。

● 添付ファイル、メールの本文に含まれるメロディやｉアプリToのリンク、デコメール内の再配布不可の画像は引用されません。

iモードメールを他の宛先に転送する

受信メールを他の人に転送できます。添付ファイルも転送されます。

例：受信メールを転送する場合

1 受信メール一覧でメールを選び ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [転送]を選び ◉ を押す

メール編集画面が表示されます。
題名には「Fw:受信メールの題名」、本文には「受信メールの本文」が入力されています。

- 題名が「Fw:」を含めて全角15文字、半角30文字を超える文字は削除されます。

3 メールを作成し、送信する

- iモードメール作成・送信(P.181操作2～5)と同じ操作を行ってください。

メールが転送され、「↳」が表示されます。

● メールの本文に含まれるメロディやiアプリToのリンク、デコメール内の再配布不可の画像は転送されません。また、10,000バイトを超える画像が添付されているメールで画像を未取得の場合は、画像は転送されません。

メールアドレス/電話番号を電話帳に登録する

送信元/宛先のメールアドレスを電話帳に登録する

受信メールの送信元や宛先、送信メールや保存メールの宛先のメールアドレスを、電話帳に登録できます。

例：受信メールの送信元をFOMA端末電話帳に新規登録する場合

1 受信メール一覧でメールを選び ◉ を押し、✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [メールアドレス登録]を選び ◉ を押す

登録方法選択画面が表示されます。

3 [新規登録]を選び ◉ を押す

保存先選択画面が表示されます。

[追加登録]を選択した場合

電話帳から項目を追加登録するデータを選択します。

メールアドレスが複数ある場合

メールアドレス→[新規登録]/[追加登録]を選択します。

4 [本体メモリ]を選び ◉ を押す

電話帳編集画面が表示されます。

FOMAカード電話帳に登録する場合

[FOMAカード（UIM）]を選択します。

5 各項目を登録する

- FOMA端末電話帳登録（P.79操作3）またはFOMAカード電話帳登録（P.81操作3）の該当する操作を行ってください。

6 ⓘα（完了）を押す

登録した内容がFOMA端末電話帳に登録されます。

表示中の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する

サイトや受信メール/送信メールの本文に表示されているメールアドレスや電話番号を、電話帳に登録できます。

- サイトによっては、表示されている電話番号/メールアドレスを登録できない場合があります。

例：受信メールの本文の電話番号をFOMA端末電話帳に新規登録する場合

1 受信メール一覧でメールを選び ◉ を押し、電話番号を選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [電話帳登録]を選び ◉ を押す

登録方法選択画面が表示されます。

3 [新規登録]を選び ◉ を押す

保存先選択画面が表示されます。

[追加登録]を選択した場合

電話帳から項目を追加登録するデータを選択します。

4 [本体メモリ]を選び ◉ を押す

電話帳編集画面が表示されます。

FOMAカード電話帳に登録する場合

[FOMAカード（UIM）]を選択します。

5 各項目を登録する

- FOMA端末電話帳登録（P.79操作3）またはFOMAカード電話帳登録（P.81操作3）の該当する操作を行ってください。

6 ⓘα（完了）を押す

登録した内容がFOMA端末電話帳に登録されます。

ｉモードメールから添付ファイルを再生・保存する

ｉモードメールやメッセージに添付または貼付けられている画像、メロディ、動画/ｉモーションを再生・保存・削除できます。

■再生/保存可能な添付ファイルについて

種　類	形　式	最大保存サイズ	保存可能件数	制限/補足事項
画像	JPEG	100Kバイト	93～1,000件	画像によっては受信できても正しく表示できないことがあります。
動画/ｉモーション	MP4	500Kバイト	3～100件	本文にｉモーション閲覧のためURLが記載されています。ｉモーションメールセンターに保存されたｉモーション閲覧用URL1件につき50回まで取得できます。50回を超えた場合は、ｉモーションを取得できなくなります。
メロディ	SMF、MFi	100Kバイト	10～200件	SO702i以外の携帯電話から送信されたメロディは、正しく再生できないことがあります。

- 保存件数は、保存するデータ量により異なります。

例：受信メールに添付されたファイルを保存する場合

1 受信メール一覧でメールを選び ◉ を押す

2 添付ファイルを選び ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

動画/ｉモーションの場合

本文中のURL→[はい]を選択して動画/ｉモーションを取得します。「サイトからｉモーションを取得する」(P.171操作1～2)の該当する操作を行ってください。

3 [添付ファイル保存]→フォルダを選び ◉ を押す

選択したフォルダにファイルが保存されます。

添付ファイルを再生する場合

添付ファイルにカーソルをあわせ、◉ を押します。

メッセージに貼付けられているメロディを再生する場合

[メロディ再生]を選択します。

メッセージに貼付けられているメロディを保存する場合

[メロディ保存]→フォルダを選択します。

メロディタイトルを確認する場合

[メロディタイトル確認]を選択します。

挿入画像の詳細を表示する場合

[挿入画像詳細表示]→画像を選択します。詳細情報が表示されます。

挿入画像を保存する場合

[挿入画像選択保存]→画像→フォルダを選択します。

メモリの空き容量が不足している場合

データを上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。上書きする場合は、不要なデータを選択します。(P.242)

● ｉモードメールに添付された10,000バイトを超えるJPEG画像は、自動的に取得され、マイピクチャの[ｉモード]フォルダに保存されます。自動的に取得できなかった場合は、ｉモードメール中の「📷」を選択することにより、画像を取得できます。また、機能メニュー[URL表示]を選択してURLを確認することもできます。

添付ファイルを削除する

ｉモードメールに添付されている画像、メロディを削除します。

- 本文中に表示されるｉアプリToのリンクは削除できません。
- 10,000バイトを超える画像は、マイピクチャの[ｉモード]フォルダから削除してください。

例：受信メールに添付されたファイルを削除する場合

1 受信メール一覧でメールを選び ◉ を押す

2 添付ファイルを選び ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

3 [添付ファイル削除]→[はい]を選び ◉ を押す

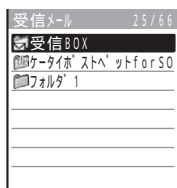
添付ファイルが削除されます。

受信メール/送信メール/保存メールを表示する

保存してある受信メール/送信メール/保存メールは、いつでも表示できます。受信したメールは[受信メール]に、送信したメールは[送信メール]に保存されています。また、送信せずに保存したメールや送信に失敗したメールは[保存メール]に保存されています。

- 受信メール/送信メール/保存メールは、[受信メール]に最大1,000件、[送信メール]に最大500件、[保存メール]に最大50件保存できます。保存可能件数はメールのデータ量により[受信メール]に200～1,000件、[送信メール]に50～500件、[保存メール]に10～50件と変動します。
- FOMAカード内のSMSの場合、操作できない機能メニューがあります。

1 メールメニューで[受信メール]/[送信メール]/[保存メール]を選び ◉ を押す

受信メールの場合

- 1行目の右端にカーソルがあたっているフォルダの保存件数/全件数が表示されます。
- フォルダの状態は、次のアイコンで確認できます。アイコンの横にフォルダ名が表示されます。

（黄）	お買い上げ時に用意されているフォルダ • 未読メールがある場合は「」（黄）が表示されます。
（青）	お客様が作成したフォルダ • 未読メールがある場合は「」（青）が表示されます。
	メール連動型ｉアプリが作成したフォルダ • 未読メールがある場合は「」が表示されます。

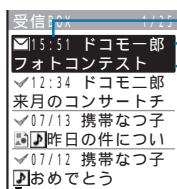
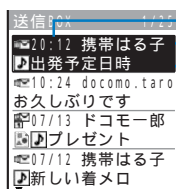
FOMAカード内のSMS一覧画面を表示する場合

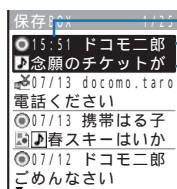
（FOMAカード）を押します。

2 フォルダを選び ◉ を押す

受信メール一覧/送信メール一覧/保存メール一覧が表示されます。

受信メールの場合

受信日時
送信元
題名

送信メールの場合

送信日時
宛先
題名

保存メールの場合

保存日時
宛先
題名

- 1行目の左端にフォルダ名、右端にフォルダ内の順位/フォルダ内の全件数が表示されます。
- 受信日時/送信日時/保存日時は、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
- SMSの場合、題名の代わりに本文の先頭が表示されます。
- メールの状態・種別、添付ファイルの種類は、次のアイコンで確認できます。

メールの状態

	未読メール		保護された返信済みメール
	既読メール		保護された転送済みメール
	返信済みメール		送信済みメール
	転送済みメール		保護された送信済みメール
	保護された既読メール		未送信/送信失敗メール

メールの種別

	SMS		返信不可メール（受信メールのみ）
	FOMAカード内のSMS（受信メール/送信メールのみ）		メール連動型ｉアプリで利用されるメール

添付ファイルの種類

	10,000バイトを超える画像あり		メロディあり
	画像あり		ｉアプリToあり
	動画あり（送信メール/保存メールのみ）		

メールアドレスまたは電話番号を表示する場合

電話帳に登録されている場合は、メールアドレス/電話番号の代わりに名前が表示されます。
を押すと、名前とメールアドレス/電話番号の表示を一時的に切り替えることができます。

3 メールを選び を押す

受信メールの場合

送信メールの場合

送信 1/25
2006/07/14 20:12
To 携帯はる子
Sub 出発予定日時
いよいよ出発だね。待ち合わせ時間は16日午後5時45分です。
060714.mid 0.9KB
- END -

- 1行目の右端にフォルダ内の順位/フォルダ内の全件数が表示されます。
- メールは、次のアイコンで確認できます。その他のアイコンは、操作2と同じです。

メールの項目

	メールの受信日時/送信日時/保存日時	To	宛先（To）のメールアドレス
Sub	題名	Cc	宛先（Cc）のメールアドレス
	本文	Bcc	宛先（Bcc）のメールアドレス
From	送信元のメールアドレス		送達通知メール

添付ファイルの種類

	貼付データ無効（複数データ貼付の場合）		無効な10,000バイトを超える画像あり
	画像取得失敗		無効な画像あり
♪（緑）	メロディあり（SMF形式）		無効な動画あり（送信メール/保存メールのみ）
♪（橙）	メロディあり（MFi形式）	（緑）	無効なメロディあり（SMF形式）

前後のメールを表示する場合

で前のメール、で次のメールを表示できます。

フォルダを追加/削除する

受信メール/送信メールは、[受信BOX]/[送信BOX]以外にそれぞれ最大20個のフォルダを作成して管理できます。さらに、メール連動型ｉアプリのフォルダは、[受信メール]/[送信メール]/[保存メール]にそれぞれ最大5個作成できます。また、フォルダの名称を変更したり、フォルダを並べ替えることもできます。

- [受信BOX]、[送信BOX]、[保存BOX]、保護設定されたメールがあるフォルダ、メール連動型ｉアプリのソフトに対応したメールフォルダは、削除できません。また、メール連動型ｉアプリのソフトがない場合は、フォルダを削除できますが、受信メール、送信メール、保存メール一覧内に作成されたフォルダもすべて削除されます。
- [受信BOX]、[送信BOX]、[保存BOX]、メール連動型ｉアプリのフォルダはフォルダ名を変更できません。

例：受信メールのフォルダを追加する場合

1 メールメニューで[受信メール]を選び ◉ を押し、✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [フォルダ操作]→[フォルダ作成]を選び ◉ を押し、フォルダ名を入力する

全角8文字、半角17文字以内で入力します。
フォルダが追加されます。

フォルダ名を変更する場合

フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー[フォルダ操作]→[フォルダ名変更]を選択します。全角8文字、半角17文字以内で入力します。

フォルダを並べ替える場合

機能メニュー[フォルダ操作]→[フォルダ並べ替え]→フォルダ→移動先を選択し、(iα)(完了)を押します。

フォルダを削除する場合

フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー[フォルダ操作]→[フォルダ削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

● メール連動型ｉアプリをダウンロードした場合、[受信メール]、[送信メール]、[保存メール]にメール連動型ｉアプリ用フォルダが自動的に作成されます。

別のフォルダへ移動する

受信メールまたは送信メールは3とおりの方法で別のフォルダへ移動できます。

例：受信メールを1件ずつ移動する場合

1 メールメニューで[受信メール]→フォルダを選び ◉ を押す

フォルダ内をすべて移動する場合

機能メニュー[移動]→[フォルダ内全件移動]→[はい]→フォルダを選択します。

複数選択して移動する場合

機能メニュー[移動]→[選択移動]を選択し、メールを複数選択して (完了)を押し、[はい]→フォルダを選択します。

2 メールを選び ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

3 [移動]→[1件移動]→[はい]を選び ◉ を押す

移動先フォルダ選択画面が表示されます。

4 フォルダを選び ◉ を押す

選択したメールが別のフォルダへ移動されます。

保護する

受信メールまたは送信メールは上書きされないように保護できます。保護できる件数は、受信メールが500件、送信メールが250件です。

- 未読メール、未送信/送信失敗メールは保護設定できません。

例：受信メールを保護設定する場合

1 受信メール一覧でメールを選び ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

保護設定を解除する場合

保護設定されているメールにカーソルをあわせ、✉ (機能)を押します。

2 [保護設定/解除]→[はい]を選び ◉ を押す

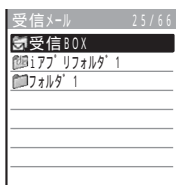
メールが保護設定され、「」「」「」が表示されます。

削除する

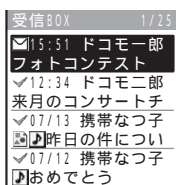
受信メールまたは送信メールは6とおりの方法で削除できます。

1件削除	フォルダ内のメールを1件削除します。
選択削除	フォルダ内の複数のメールを選択して削除します。一度に30件まで選択できます。
既読のみ削除（受信メールのみ）	すべての既読メールを削除します。
フォルダ内全件削除	フォルダ内のすべてのメールを削除します。
フォルダ内既読削除（受信メールのみ）	フォルダ内のすべての既読メールを削除します。
全件削除	すべての受信メール/送信メールを削除します。

例：受信メールを1件ずつ削除する場合

1 メールメニューで[受信メール]を選び ◉ を押す

すべて削除する場合
機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

既読メールをすべて削除する場合
機能メニュー[削除]→[既読のみ削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 フォルダを選び ◉ を押す

フォルダ内の既読メールをすべて削除する場合
機能メニュー[削除]→[フォルダ内既読削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

フォルダ内をすべて削除する場合
機能メニュー[削除]→[フォルダ内全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

複数選択して削除する場合
機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、メールを複数選択して (完了)を押し、[はい]を選択します。

3 メールを選び (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

4 [削除]→[1件削除]→[はい]を選び ◉ を押す

選択したメールが削除されます。

ｉアプリメールを通常メールで表示する

ｉアプリメールを、通常のメールと同じように表示できます。また、メール連動型ｉアプリのソフトを削除した場合、メール連動型ｉアプリのフォルダに保存されているメールを通常メールとして表示できます。

例：受信ｉアプリメールを表示する場合

1 メールメニューで[受信メール]を選び ◉ を押す

2 メール連動型ｉアプリのフォルダを選び (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

3 [通常メール表示]を選び ◉ を押す

ｉアプリメールが通常メールモードで表示されます。

保存件数を確認する

保存されているメールの件数を、フォルダごとに確認できます。

例：受信メールの保存件数を確認する場合

1 メールメニューで[受信メール]を選び ◉ を押す

2 フォルダを選び ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

3 [件数確認]を選び ◉ を押す

選択したフォルダと受信メール全体の保存件数が表示されます。

受信メールの場合

✉	未読メールの件数	✓	既読メールの件数
🔒	保護された既読メールの件数		

送信メールの場合

✉	送信済みメールの件数	🔒	保護された送信済みメールの件数

保存メールの場合

選択したフォルダと保存メール全体の件数が表示されます。

一覧を並べ替える

受信メールまたは送信メールはフォルダ内のメールを一時的に並べ替えて表示できます。

例：受信メールを並べ替える場合

1 受信メール一覧で ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [ソート]→並び順を選び ◉ を押す

受信メールの場合

[日付順] ：受信した日時の新しい順に並べ替えます。
[From順]：送信元のメールアドレス順に並べ替えます。
[題名順] ：題名の50音順に並べ替えます。

送信メールの場合

[日付順] ：送信した日時の新しい順に並べ替えます。
[To順] ：宛先のメールアドレス順に並べ替えます。
[題名順] ：題名の50音順に並べ替えます。

選択した並び順でメールが表示されます。

- [題名順]の場合、全角/半角の文字が混在しているなどの理由により、50音順と一致しないことがあります。
- [題名順]の場合、SMSはメール一覧で本文の先頭が表示されるため、50音順と一致しないことがあります。

FOMA端末のメール機能を設定する

メールを自動的にフォルダに振り分ける

受信メールは条件を登録して自動的にフォルダに振り分けることができます。振分条件は30件まで登録できます。

1 メールメニューで[メール設定]→[受信振分条件]を選び ◉ を押す

振分条件を削除する場合

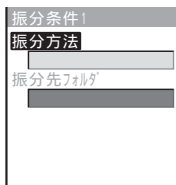
振分条件指定欄にカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、振分条件を複数選択して (完了)を押し、[はい]を選択します。すべての振分条件を削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

振分条件を並べ替える場合

機能メニュー[並べ替え]→振分条件→移動先を選択し、 (完了)を押します。

編集を中止する場合

機能メニュー[編集中止]を選択します。

2 振分条件指定欄を選び ◉ を押す

3 [振分方法]に振分方法を選択する

[メールアドレス指定]：メールアドレスを指定します。メールアドレスは@以降も入力してください。ただし、メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合、電話番号のみを入力してください。

[グループ指定]：グループを指定します。

[題名指定]：題名の一部を、全角15文字、半角30文字以内で指定します。

[指定なし]：指定した条件に一致しないメールが振り分けられます。

4 [振分先フォルダ]に振り分けるフォルダを選択する

フォルダを指定しない場合

[受信BOX]に振り分けられます。

5 (完了)を押す

振分条件が登録されます。

● メールが複数の振分条件に当てはまる場合は、リストの上位の番号の振分条件が優先されます。また、振分条件に[指定なし]を設定すると、設定した番号より下の振分条件は無効になり、[指定なし]を指定したフォルダに振り分けられます。
● 振分条件が設定されているフォルダを削除すると、振分先のフォルダが[受信BOX]になります。
● 振分条件に設定したグループにシークレット登録したデータが含まれる場合、その相手からメールを受信すると[受信BOX]に保存されます。振分条件を有効にする場合は、シークレット表示を[ON]に設定してください。
● 通常のメールをメール連動型ｉアプリフォルダにも自動振り分けすることができます。メール連動型ｉアプリメールは、対応するメール連動型ｉアプリのフォルダに自動的に振り分けられます。この場合、振分条件による振り分けより優先されます。
● 振分条件設定前に受信したメールは、自動的に振り分けられません。

メールに署名を付ける

あらかじめ署名を登録しておくと、メール本文の最後に貼付けることができます。

署名を登録する

メールに貼付ける署名を作成し、登録します。

1 メールメニューで[メール設定]→[署名編集]を選び ◉ を押す

署名編集画面が表示されます。
• すでに署名を登録している場合は、登録内容が表示されます。

2 ◉ (編集)を押し、署名を入力する

全角40文字、半角80文字以内で入力します。

3 iα (完了)を押す

署名が登録されます。

署名を自動的に付ける

お買い上げ時 | 自動

メールを作成するときに、登録した署名を自動的に貼付けることができます。

1 メールメニューで[メール設定]→[署名設定]を選び ◉ を押す

2 [自動]/[なし]を選び ◉ を押す

署名設定が設定されます。

● 署名設定を[なし]に設定していても、手動で署名を貼付けられます。この場合は、本文入力画面で機能メニュー[署名貼付]を選択します。
● 署名設定を[自動]に設定していても、メールを引用返信や転送する場合は署名が貼付けられません。

ｉモード問合せの内容を設定する

お買い上げ時 | メール・メッセージR・メッセージF：有効

ｉモードセンターへ問い合わせをしたときに、メール、メッセージR、メッセージFの中から受信する項目を設定できます。

例：メールの問合せ設定をする場合

1 **メールメニューで[メール設定]→[共通設定]→[ｉモード問合せ設定]を選び ◉ を押す**

2 **[メール]→ｉモード問合せの[有効]/[無効]を選択する**

問合せ項目が設定されます。

メールを選択して受信できるようにする

お買い上げ時 | OFF

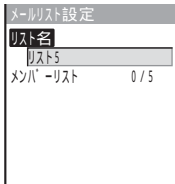
ｉモードメールを選択受信するかどうかを設定できます。

- メール選択受信設定を[ON]に設定しても、「ｉモード問合せ」を利用するとすべてのメールを受信します。メールを受信したくない場合は、ｉモード問合せ設定でメールを[無効]に設定してください。（P.204）

1 **メールメニューで[メール設定]→[メール選択受信設定]を選び ◉ を押す**

メール選択受信設定画面が表示されます。

[ON]　：送られてきたメールはｉモードセンターに保管され、受信されません。受信する場合は、選択受信してください。（P.190）

[OFF]：送られてきたメールはFOMA端末に自動受信されます。

2 **[ON]/[OFF]を選び ◉ を押す**

メール選択受信設定が設定されます。

一括メールリストを作成する

一括メールリストに複数のメールアドレスを登録しておくと、登録した複数の相手に同時にメールを送信できます。
一括メールリストは10件まで登録できます。1件のメールリストには、メールアドレスを5件まで登録できます。

1 **メールメニューで[メール設定]→[一括メールリスト]→メールリストを選び ◉ を押す**

2 **[リスト名]にリスト名を入力する**

全角8文字、半角16文字以内で入力します。

3 **[メンバーリスト]を選び ◉ を押す**

メンバーを削除する場合

メンバー欄にカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。すべてのメンバーを削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

4 **メンバー欄に宛先を入力する**

5 **(完了)を押す**

メンバーリストが設定されます。

6 **(完了)を押す**

一括メールリストが設定されます。

一括メールリストを削除する場合

一括メールリスト画面でメールリストにカーソルをあわせ、機能メニュー[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー[選択削除]を選択し、メールリストを複数選択して (完了)を押し、[はい]を選択します。すべてのメールリストを削除する場合は、機能メニュー[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

● 一括メールリストにメンバーを登録したあとで電話帳の内容を変更しても、一括メールリストに登録済みの内容は連動して変更されません。

メロディを自動的に再生する

お買い上げ時 | 自動再生する

メールやメッセージの内容を表示したときに、メロディを自動的に再生できます。

1 メールメニューで[メール設定]→[共通設定]→[開封時自動演奏]を選び ◉ を押す

2 [自動再生する]/[しない]を選び ◉ を押す

開封時の自動演奏が設定されます。

- 複数のメロディが添付されている場合は、添付されている順番に再生されます。MFi形式のメロディは最後に再生されます。
- マナーモード設定中、メッセージの自動表示中は、自動再生されません。

マルチタスク中の受信の動作を設定する

お買い上げ時 | 通知優先

FOMA端末の操作中にメール、SMS、メッセージR/Fを受信したときに、受信中画面や受信結果画面を表示するかどうかを設定します。

1 メールメニューで[メール設定]→[共通設定]→[マルチタスク中受信設定]を選び ◉ を押す

[通知優先]：受信中画面および受信結果画面を表示します。

[操作優先]：受信中画面および受信結果画面を表示しません。受信中は「」→「」が表示され、受信後に「」「」「」を表示します。

2 [通知優先]/[操作優先]を選び ◉ を押す

マルチタスク中の受信の動作が設定されます。

- 音声電話発着信/通話中、テレビ電話発着信/通話中、静止画撮影中、動画撮影/再生中、ｉアプリ実行中は、設定にかかわらず[操作優先]で受信します。

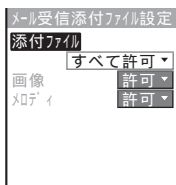
添付ファイルの受信を許可する

お買い上げ時　添付ファイル：すべて許可／画像・メロディ：許可

ｉモードメールに添付されている画像やメロディを受信するかどうかを設定します。

1 **メールメニューで[メール設定]→[メール受信添付ファイル設定]を選び ◉ を押す**

2 **[添付ファイル]に[すべて許可]/[指定許可]/[すべて拒否]を選択する**

メール受信添付ファイル設定
添付ファイル
すべて許可
画像　許可
メロディ　許可

[すべて許可]：添付ファイルの受信をすべて許可します。

[指定許可]：画像とメロディそれぞれについて[許可]/[拒否]を設定します。[拒否]したファイルは、ｉモードセンターで削除され受信できません。

[すべて拒否]：添付ファイルの受信をすべて拒否します。[拒否]したファイルは、ｉモードセンターで削除され受信できません。

3 **(完了)を押す**

メール受信添付ファイルが設定されます。

送受信ランキングを削除する

よくメールを送ったり、受けたりする相手は、送信ランキング、受信ランキングにそれぞれ20件まで自動的に登録され、メール作成時に宛先に選択できます。送信ランキング、受信ランキングは一括で削除できます。

例：受信ランキングを削除する場合

1 **メールメニューで[メール設定]→[受信ランキングオールクリア]を選び ◉ を押す**

送信ランキングを削除する場合

メールメニューで[メール設定]→[送信ランキングオールクリア]を選択します。

2 **[オールクリア実行]を選び ◉ を押す**

受信ランキングがすべて削除されます。

SMS(ショートメッセージ)を作成して送信する

iモードのご契約にかかわらず、FOMA端末間で文字メッセージを送受信できます。

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 発信者番号通知設定を[通知しない]に設定していても、SMSを送信した相手には発信者番号が通知されます。
- 電波状態や送信する文字の種類により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。

1 メールメニューで[SMS作成]を選び ◉ を押す

2 [To]に宛先(電話番号)を入力する

宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合

「+」(0 を1秒以上押す)「国番号」「相手先の携帯電話番号」の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力してください。また、「010」「国番号」「相手先の携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。(受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください)

3 [📄]に本文を入力する

SMS設定で送信文字種を[日本語]に設定した場合は、全角・半角を問わず70文字以内で入力します。
[英語]に設定した場合は、半角160文字(`。「」、・゛゜を除く)以内で入力します。記号(|^{}[]~¥)を入力すると送信できる文字数が少なくなります。

4 (送信)を押す

SMSが送信されます。

SMSを送信せずに保存する場合

機能メニュー[保存]を選択します。[保存メール]に保存されます。

● マルチナンバーをご契約されている場合、通常発信番号設定を[基本契約番号]に設定してください。

SMS(ショートメッセージ)を受信したときは

SMSが送られると、自動的にFOMA端末に受信されます。受信SMSはｉモードメールとあわせて[受信メール]に最大1,000件保存できます。

SMSを受信中は「✉」が点滅します。

SMSの受信が終了すると、「S」が表示され、着信ランプが点滅して着信音が鳴り、受信したSMSの件数が表示されます。
約15秒経過すると受信前の画面に戻ります。

- 待受画面に戻ると、「✉」(新着メールあり)の通知情報アイコンが表示されます。◉(リンク)を押し「✉」を選択すると、受信メール画面が表示されます。

● 受信したSMSは、返信・転送できます。(P.191、192)

SMS(ショートメッセージ)があるかどうかを問い合わせる

ｉモードサービス圏外にいたり、電源を切っていたときにSMSセンターにSMSが届いているかどうかを問い合わせることができます。

- 電波状態によっては問い合わせできない場合があります。

1 メールメニューで[SMS問合せ]を選び ◉ を押す

SMSセンターに接続し、SMSが保管されていれば受信します。

● SMS問合せを行っても、受信するまでに時間がかかる場合があります。

SMS(ショートメッセージ)の設定を行う

お買い上げ時	送信文字種：日本語／SMS送達通知：無効／SMS有効期限：3日／SMSC指定：ドコモ／Type of Number：International／アドレス：81903101652

※ **通常は、SMSC指定、Type of Number、アドレスの設定を変更する必要はありません。**

1 メールメニューで[メール設定]→[SMS設定]を選び ◉ を押す

[送信文字種]：送信するメッセージを日本語にするか英語にするかを選択します。文字種により送信できる文字数が異なります。

[SMS送達通知]：SMSを送信するときに、送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。

[SMS有効期限]：送信したSMSを相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を選択します。

[SMSC指定]：ドコモ以外のSMSサービスを受けるときに設定します。

[Type of Number]：[SMSC指定]に[その他]を選択した場合、[International]/[Unknown]を選択します。

- [アドレス]に入力したアドレスに「*」「#」が含まれている場合は、[Unknown]を選択してください。

[アドレス]：[SMSC指定]に[その他]を選択した場合、アドレスを入力します。半角数字20文字まで入力できます。

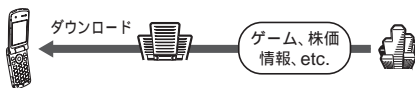
2 各項目を設定する

3 (完了)を押す

ｉアプリ

ｉアプリとは 212
サイトからｉアプリをダウンロードする 213
ｉアプリを実行する〈ｉアプリ実行〉214
ｉアプリを自動実行する〈自動起動/自動起動設定〉217
ｉアプリ待受画面を設定する〈ｉアプリ待受画面〉218
ｉアプリを管理する 218
ｉアプリのさまざまな機能を利用する 220

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）を便利に活用いただけます。たとえば、ｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のｉアプリでは、必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。また、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるｉアプリもあります。

- ｉアプリをダウンロードするには（P.213）
- ｉアプリを実行するには（P.214）
- ｉアプリを自動実行するには（P.217）
- ソフトによっては、ｉモード端末の携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号を利用する場合があります。
- ソフトによっては、実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。

■ 登録データを利用する

ｉアプリのソフトには、お客様のｉモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）を参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像保存

ｉアプリDXとは

ｉアプリDXでは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用できます。

■ 登録データを利用する

ｉアプリDXのソフトには、通常のｉアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）に加えて、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- 電話帳参照
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- メールメニューの利用
- ｉモードメール作成画面利用
- 最新のリダイヤル参照
- 最新の着信履歴参照
- 最新の未読メール参照
- 着信音保存
- 着信音変更（電話、テレビ電話、メール、メッセージ）
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像保存
- 画面設定の変更（待受画面、電話発着信、メール送受信、メッセージR/F受信）

- ｉアプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定にかかわらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。
- ｉアプリDXを起動するには日付時刻設定が必要です。

メール連動型ｉアプリとは

メール連動型ｉアプリは、ｉアプリDXの一種で、ｉモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用できます。

- メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは正しく表示できない場合があります。

こんなこともできます

● ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面では、ｉアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。（P.218）

- ｉアプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

● ｉアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。（P.217）

● カメラ撮影

ソフトからｉモード端末のカメラを使って撮影できます。（P.220）

- カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

● 赤外線通信

ソフトから、赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動して、より広がった使いかたができます。（P.220）

- 赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

● 赤外線リモコン

ソフトから、赤外線リモコンに対応した家電機器など、各種機器を操作できます。（P.245）
たとえばプリインストールされている「Gガイド番組表リモコン」では、テレビ番組表と連動したテレビリモコンとして利用できます。（P.216）

- 赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

サイトからｉアプリをダウンロードする

- ｉアプリのソフトは最大100件保存できます。保存可能件数はｉアプリのデータ量により10～100件と変動します。
- 電波状態などの理由によりダウンロードに失敗した場合は、そのソフトは未登録となります。
- メール連動型ｉアプリをダウンロードするときに、メール連動型ｉアプリのメールフォルダが5個ある場合、同じメールフォルダを利用するソフトがすでにある場合は、ソフトをダウンロードできません。

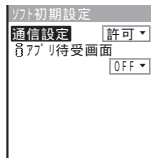
1 サイトを表示中にソフトを選び ◉ を押す

ソフトがダウンロードされます。

ダウンロード確認画面が表示される場合
［はい］を選択します。

2 フォルダを選び ◉ を押す

選択したフォルダにダウンロードしたソフトが保存されます。

3 ソフト初期設定を行う

- ソフトによっては、変更できない項目があります。

ソフト起動時に自動的に通信する場合
［通信設定］→［許可］を選択します。

- 設定した内容は、個別設定の通信設定・待受画面通信設定に反映されます。（P.215）

ｉアプリ待受画面に設定する場合
［ｉアプリ待受画面］→［ON］を選択します。

4 ⓘ（完了）を押す

ソフトを実行するかどうかを確認する画面が表示されます。

5 ［はい］を選び ◉ を押す

ダウンロードしたソフトが起動します。

● お買い上げ時に登録されているソフトを削除した場合は、「SO@Planet」からダウンロードできます。
[ｉMenu]→[メニューリスト]→[ケータイ電話メーカー]→[SO@Planet]

● ダウンロードするときに「携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号を送信します」と表示されることがあります。ダウンロードする場合は[はい]を選択します。この場合、お客様の「携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号」は、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。

● ダウンロードするときに「ｉアプリDXは登録データを利用することがあります」と表示されることがあります。利用される登録データは、[説明]を押して確認できます。ダウンロードする場合は[ダウンロードする]を選択します。この場合、お客様の登録データがｉアプリに利用されます。

● メール連動型ｉアプリをダウンロードした場合、送信メール、受信メール、保存メール一覧にメール連動型ｉアプリ用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名がつき、変更できません。

● メール連動型ｉアプリをダウンロードするときに、利用するメールフォルダのみが残っている場合は、そのフォルダを利用できます。フォルダ名がダウンロードしたｉアプリ名と異なる場合は、ダウンロードしたｉアプリ名に変更されます。フォルダを利用しない場合は、フォルダを削除して新規フォルダを作成できます。ただし、新規フォルダを作成しない場合はメール連動型ｉアプリをダウンロードできません。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る

お買い上げ時 | 表示しない

サイトからｉアプリのソフトをダウンロードするときにソフト情報を表示できます。

1 メニューで[ｉアプリ]→[ｉアプリ設定]→[ソフト情報表示]を選び ◉ を押す

2 [表示する]/[表示しない]を選び ◉ を押す

ソフト情報表示が設定されます。

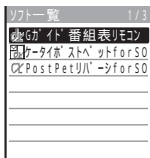
ｉアプリを実行する

ｉアプリのソフトを手動で実行します。

1 待受画面で (ｉアプリ) (ｉモード)を1秒以上押す

ｉアプリフォルダ一覧画面が表示されます。
- フォルダの種類は次のアイコンで確認できます。

(黄)	お買い上げ時に用意されているフォルダ
(青)	お客様が作成したフォルダ

2 フォルダを選び ◉ を押す

ｉアプリソフト一覧画面が表示されます。
- 1行目の右端にフォルダ内の順位/フォルダ内の全件数が表示されます。
- ｉアプリのソフトの種類は、次のアイコンの組み合わせで確認できます。

(アイコン)	ｉアプリ待受画面対応ソフト
(アイコン)	ｉアプリDX待受画面対応ソフト
(アイコン)	メール連動型ｉアプリ待受画面対応ソフト
(アイコン)	ｉアプリ待受画面非対応ソフト
(アイコン)	ｉアプリDX待受画面非対応ソフト
(アイコン)	メール連動型ｉアプリ待受画面非対応ソフト
(アイコン)	ｉアプリ待受画面設定中ソフト
(アイコン)	ｉアプリDX待受画面設定中ソフト
(アイコン)	メール連動型ｉアプリ待受画面設定中ソフト
SSL	SSLサイトからダウンロードしたソフト
(アイコン)	自動起動が設定されているソフト

3 ソフトを選び ◉ を押す

ソフトが起動し、「(アイコン)」または「(アイコン)」が表示されます。

ｉアプリを終了する場合
(終話キー)を押して[はい]を選択します。

情報を確認する場合
ソフトにカーソルをあわせ、機能メニュー[ソフト情報表示]を選択します。
- 表示される項目は、ソフトによって異なることがあります。
- ソフト情報表示に表示されるｉアプリのソフト名は変更できません。

証明書を表示する場合
ソフトにカーソルをあわせ、機能メニュー[証明書表示]を選択します。

● ｉアプリ実行中の音は、電話着信の着信音量で鳴ります。[STEP DOWN]、[STEP UP]を設定した場合は、レベル3で音が鳴ります。

● ｉアプリのソフトによっては、実行中に通信を行う場合があります。あらかじめ設定することによって、接続を行わないようにすることもできます。(P.215)

● サイトからすぐに起動するソフトがあります。このとき、ソフトはダウンロードされていますが、保存はされていません。また、ダウンロードにより保存できないソフトもあります。

● サイトからすぐに起動するソフトは、実行中に通信設定が必要な場合があります。

● ソフト実行中にめざまし時計/スケジュールアラームのアラーム時刻になった場合は、ソフトを中断します。アラーム終了画面で PWR または CLR を押すと元の画面に戻ります。

● ソフト実行中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときは、ソフトを中断して応答することができます。通話を終了すると元の画面に戻ります。なお、ｉアプリからの通信中にテレビ電話がかかってきたときは着信できません。

● ソフト実行中にメール・メッセージを受信した場合、「✉」「R」「F」が表示されます。
また、メール選択受信設定を[ON]に設定している場合は「✉」が表示されます。待受画面を表示すると、「✉」(センターに✉あり)が表示されます。メールを確認する場合は、メール選択受信を行ってください。(P.190)

● ｉアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどが自動的にインターネットを経由しサーバーに送信される可能性があります。
※ ｉアプリで利用する画像とは、カメラ連携(連動)のｉアプリからカメラを起動して撮影した画像、ｉアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像、ｉアプリがサイトやインターネットホームページ経由で取得した画像、ｉアプリがデータBOXから取得した画像などです。

● ｉアプリには指定されたソフトを起動するソフトがあり、一覧に戻ることなくソフトを楽しむことができます。起動するソフトが指定されていない場合は、ソフトを選択する必要があります。また、起動するソフトが指定されていても、ソフト一覧にない場合はダウンロードする必要があります。

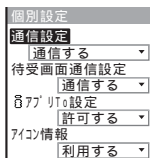
● 3Dポリゴン※エンジン搭載により、ｉアプリで立体画像を表示できます。
※ 多角形(三角形や四角形など)を組み合わせることにより、立体的で奥行きがある画像を表現します。

ｉアプリの動作条件を設定する

• 保存されているソフトによって、変更できない項目があります。

1 ｉアプリソフト一覧画面でソフトを選び ✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [個別設定] を選び ● を押す

[通信設定]：
通信を利用するソフトを起動したときに、通信するかどうか、起動ごとに確認するかを設定します。

[待受画面通信設定]：
通信を利用するソフトをｉアプリ待受画面に設定中に、通信するかどうかを設定します。

[ｉアプリTo設定]：
表示されているｉアプリのリンクからソフトを起動するかどうかを設定します。

[アイコン情報]：
アイコン情報(メール、メッセージ、電波受信レベル、電池残量、マナーモード)を利用するかどうかを設定します。

[着信音/画像変更]：
着信音や画像の変更を許可するかどうか、変更ごとに確認するかを設定します。

[電話帳/履歴参照]：
電話帳、リダイヤル、着信履歴、未読メールの参照を許可するかどうかを設定します。

3 各項目を設定する

● 通信設定、待受画面通信設定を[通信しない]に設定すると、ソフトが起動しない場合やタイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。

● 通信設定、待受画面通信設定を[通信する]に設定すると、ｉアプリが自動的にネットワークに接続します。ネットワークに接続したときはパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

● アイコン情報を[利用する]に設定すると、アイコン情報がお客様の「携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号」と同様にインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。

● 個別設定の設定によっては、ｉアプリからのネットワーク接続やアイコン情報(未読メール、電池残量など)の利用ができなくなります。

お買い上げ時に登録されているソフト

お買い上げ時に登録されているソフトは、次のように設定されています。

項　目		お買い上げ時
待受画面設定		設定なし
自動起動設定	ユーザ設定	OFF
	ソフト設定	無効
通信設定		通信する
待受画面通信設定		通信する
ｉアプリTo設定		許可する
アイコン情報		利用する
着信音/画像変更		許可する
電話帳/履歴参照		許可する

●Gガイド番組表リモコン

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

テレビ番組表とテレビリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利アプリです。
いつでもどこでも知りたい時間のテレビ番組情報を簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始/終了時間・Gコード®などを知ることができます。
気になった番組があったら、すぐにお友達に番組のタイトルや放送スケジュールなどをメールでお知らせできる「おすすめメール」機能があります。
また、お使いのテレビのリモコン操作ができます。（一部対応していない機種もあります）

- 初めて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 詳しくは『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

●ケータイポストペット for SO

©SCN

あなたのペットがメールを運んでくれるメール連動型ｉアプリです。10種類の中から選択したペットを飼うことができます。相手がポストペットを利用している場合は、お友達のペットがあなたのFOMA端末にメールを運んできます。
自分や相手のペットの世話をしたり、おやつをあげることができます。ペットには寿命がありますので、大切に育てましょう。

- 相手のペットの世話をすると、自動的に相手にひみつ日記を送ります。（パケット通信料が発生します）

- ペットの種類や名前は、一度決定すると変更できません。
- ペットで送る場合は、相手がポストペットを使っていることを確認してから送信してください。ポストマンで送ると、通常メールとして送信できます。また、ペットが配達中などで部屋にいない場合も、ポストマンが代わりにメールを運びます。
- あまり世話をしないと家出をしてしまいます。一度家出をしてしまうとペットは帰ってきません。新しいペットを飼い直してください。
- メールを届けに行ったペットはまれに迷子になりますが、しばらくすると帰ってきます。ご安心ください。

●PostPetリバーシ for SO

©SCN

PostPetのモモの顔をモチーフにした碁を使って楽しむｉアプリです。
相手の色の碁を自分の碁ではさんでひっくり返していき、最後に碁の合計数が多い方が勝ちとなります。3段階の難易度から選択して遊べます。

ｉアプリを自動実行する

自動起動するかどうかを設定する

お買い上げ時 許可する

ソフトを自動的に起動するかどうかを設定できます。

1 メニューで[ｉアプリ]→[ｉアプリ設定]→[自動起動]を選び ◉ を押す

2 [許可する]/[許可しない]を選び ◉ を押す

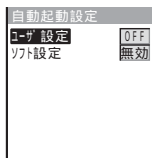
自動起動するかどうかが設定されます。

起動日時を設定する

ソフトは自動的に起動できます。ソフトごとに起動日時、曜日の条件を設定したり、ソフトの自動起動機能を使用するかどうかを設定できます。

1 ｉアプリソフト一覧画面でソフトを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [自動起動設定]を選び ◉ を押す

[ユーザ設定]：
ソフトごとの起動日時や曜日を設定します。

[ソフト設定]：
ソフトの自動起動機能で自動起動するかどうかを設定します。

3 [ユーザ設定]を選び ◉ を押す

4 [形式]に自動起動時間の形式を選択する

[OFF]：
起動時間を設定しません。

[日時]：
指定した日時に自動起動します。

[毎日]：
毎日指定した時刻に自動起動します。

[毎週]：
毎週指定した曜日の指定した時刻に自動起動します。

5 日付/時刻/曜日を入力する

- 操作4で選択した形式にあわせて日付/時刻/曜日を入力してください。

6 ｉ✉（完了）を押す

7 [ソフト設定]を選び ◉ を押す

ソフト設定画面が表示されます。

8 [設定]にソフトの自動起動機能の[有効]/[無効]を選択する

自動起動設定が設定されます。

● 以下の場合は自動起動できません。
- 電源OFF時
- 通話中、通信中
- 日付時刻を設定していないとき
- 他の機能を起動しているとき
- 同じ時刻にめざまし時計/スケジュールアラームを設定しているとき
- オールロック設定中、PIMロック設定中

ｉアプリ待受画面を設定する

ｉアプリ待受画面には、対応しているソフトを1つのみ設定できます。ｉアプリ待受画面に対応しているソフトとは、「[icon]/[icon]/[icon]」が表示されるものです。

- 通信を利用するソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状態などにより正しく動作しない場合があります。
- ｉアプリ待受画面を設定すると、待受画面設定（P.95）の画像も変更されます。

1 ｉアプリソフト一覧画面でソフトを選び（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［待受画面設定］→［はい］を選び を押す

ｉアプリ待受画面が設定され、アイコン表示（P.214）が変わります。

ｉアプリ待受画面に設定したソフトを操作する場合

ｉアプリ待受画面で を押します。

- ｉアプリの待受画面を設定している場合は、電源を入れたときにｉアプリ待受画面を起動するかどうかの確認メッセージが表示されます。起動しない場合は［いいえ］を選択します。［はい］を選択するか、しばらくそのままにしておくと、ｉアプリ待受画面が起動します。
- ｉアプリ待受画面からWeb Toはご利用になれません。
- ｉアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生した場合、エラー発生時刻などが待受エラー履歴で確認できます。

ｉアプリ待受画面を解除する

ｉアプリ待受画面の設定を解除して、通常の待受画面に戻します。

1 ｉアプリソフト一覧画面でソフトを選び（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［待受画面設定］→［解除する］を選び を押す

［終了する］：
ｉアプリ待受画面を解除せずに、ｉアプリ待受画面を一度終了して再表示します。

［解除する］：
ｉアプリ待受画面を解除します。

ｉアプリ待受画面が解除されます。

ｉアプリを管理する

バージョンアップする

ダウンロードしたソフトの新しいバージョンがサイトにある場合は、保存したソフトをバージョンアップできます。

1 ｉアプリソフト一覧画面でソフトを選び（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［バージョンアップ］→［はい］を選び を押す

新しいバージョンのソフトのダウンロードが開始されます。

- ソフトによっては起動時に自動でバージョンアップすることができます。
- バージョンアップ時にネットワークに接続したときはパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

フォルダを追加/削除する

ソフトを保存するフォルダを作成したり削除したりできます。ソフトは最大10個のフォルダで管理できます。また、フォルダの名称も変更できます。

- ｉアプリフォルダ一覧画面の1番上のフォルダ（お買い上げ時：［ソフト一覧］）は削除できません。

例：フォルダを追加する場合

1 待受画面で（ｉモード）を1秒以上押し、（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［フォルダ操作］→［フォルダ作成］を選び を押し、フォルダ名を入力する

全角8文字、半角17文字以内で入力します。
フォルダが追加されます。

フォルダ名を変更する場合

フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー［フォルダ操作］→［フォルダ名変更］を選択します。全角8文字、半角17文字以内で入力します。

フォルダを削除する場合

フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー［フォルダ操作］→［フォルダ削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

別のフォルダへ移動する

ソフトは3とおりの方法で別のフォルダへ移動できます。

例： ソフトを1件ずつ移動する場合

1 待受画面で（iモード）を1秒以上押し、フォルダを選び を押す

フォルダ内をすべて移動する場合
機能メニュー[移動]→[フォルダ内全件移動]→[はい]→フォルダを選択します。

複数選択して移動する場合
機能メニュー[移動]→[選択移動]を選択し、ソフトを複数選択して（完了）を押し、[はい]→フォルダを選択します。

2 ソフトを選び（機能）を押す
機能メニューが表示されます。

3 [移動]→[1件移動]→[はい]を選び を押す
移動先フォルダ選択画面が表示されます。

4 フォルダを選び を押す
選択したソフトが別のフォルダへ移動します。

削除する

ソフトは4とおりの方法で削除できます。

例： 1件ずつ削除する場合

1 待受画面で（iモード）を1秒以上押す

すべて削除する場合
機能メニュー[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 フォルダを選び を押す

フォルダ内をすべて削除する場合
機能メニュー[削除]→[フォルダ内全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

複数選択して削除する場合
機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、ソフトを複数選択して（完了）を押し、[はい]を選択します。

3 ソフトを選び（機能）を押す
機能メニューが表示されます。

4 [削除]→[1件削除]→[はい]を選び を押す
選択したソフトが削除されます。

● メール連動型iアプリを削除する場合やメール連動型iアプリを含むソフトを全件削除する場合、自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するかどうかを選択できます。ただし、同時に削除するときにメール連動型iアプリのフォルダ内に保護設定されているメールがある場合は、ソフトもフォルダも削除できません。また、ソフトのみ削除しフォルダを残した場合は、機能メニューからメール本文のみ見ることができます。（P.200）

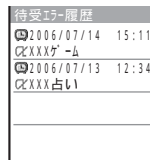
エラー履歴やトレース結果を見る

iアプリ待受画面のエラー履歴や、iアプリのトレース機能で出力された結果を表示できます。

待受エラー履歴	iアプリ待受画面がエラーなどで解除された場合に、エラー発生時刻などの履歴を10件まで表示します。
セキュリティエラー履歴	iアプリが登録データを利用できないなどの理由でセキュリティエラーで終了した場合に、エラーの発生時刻などの履歴を10件まで表示します。
トレース結果	トレース機能に対応したiアプリが終了した場合に、トレース結果を最大16件まで表示します。
自動起動エラー履歴	自動起動に対応したiアプリが起動に失敗した場合に、エラー発生時刻などの履歴を10件まで表示します。

例： [待受エラー履歴]を表示する場合

1 メニューで[iアプリ]→[iアプリ実行情報]を選び を押す

2 [待受エラー履歴]を選び を押す

セキュリティエラー履歴を表示する場合
[セキュリティエラー履歴]を選択します。

トレース結果を表示する場合
[トレース結果]を選択します。

自動起動エラー履歴を表示する場合
[自動起動エラー履歴]を選択します。

エラー履歴やトレース結果を削除する場合
（削除）を押し、[はい]を選択します。

● iアプリ作成者の方へ
ソフト作成中に正常動作しないときは、トレース結果が参考になる場合があります。

ｉアプリのさまざまな機能を利用する

ｉアプリからカメラ機能を利用する

起動中のソフトからカメラ機能(P.124)を利用できます。
- 撮影した画像はソフトで利用・保存されます。
- 設定できる項目やカメラの起動方法はソフトによって異なります。

1 ソフト実行中にカメラ機能を起動する
カメラモードの画面になります。

2 被写体を確認し、◉（撮影）を押す
画像が撮影されます。

ｉアプリからバーコードリーダーを利用する

起動中のソフトからバーコードリーダー(P.137)を利用できます。
- バーコードリーダーの起動方法はソフトによって異なります。
- JANコード/QRコードを読み取るときは、マクロ撮影切替スイッチを「🌷」の方向にスライドしてマクロ撮影モード(接写距離約7cm)にしてください。(P.125)
- 読み込んだデータはソフトで利用される場合があります。

1 ソフト実行中にバーコードリーダーを起動する
バーコード認識画面が表示されます。

2 JANコード/QRコードを確認し、◉（開始）を押す
JANコード/QRコードが読み取られます。

ｉアプリから赤外線通信を利用する

起動中のソフトから赤外線通信(P.242)を利用できます。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。
- 赤外線通信の起動方法はソフトによって異なります。

1 ソフト実行中に赤外線通信を起動する

2 [はい]を選び◉を押す
赤外線通信を開始します。

iチャネル

iチャネルとは.......... 222
iチャネルを表示する.......... 223

ｉチャネルとは

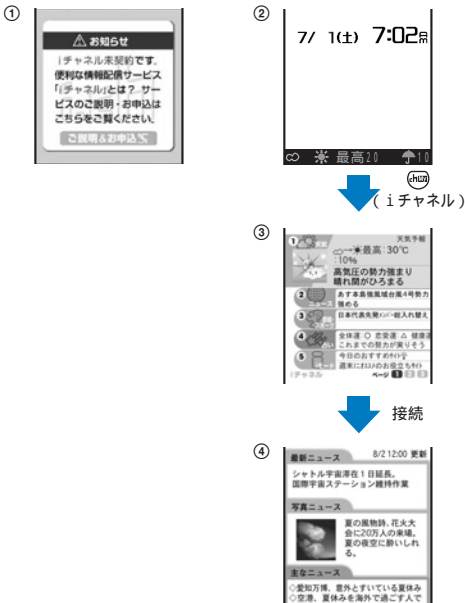
ニュースや天気などのグラフィカルな情報をドコモまたはIP(情報サービス提供者)がｉチャネル対応端末に配信するサービスです。
定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、(ch) を押すことでチャネル一覧に表示されます。(P.223) さらに、チャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

- ｉチャネルのご利用にあたっての注意事項および利用方法の詳細などについては、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

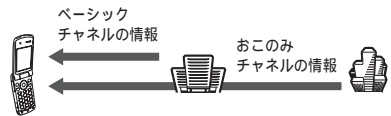
未契約

①
契約後

②
(ch)（ｉチャネル）

③
接続

④
① ｉチャネルをご契約いただいていない場合
② ｉチャネルをご契約いただいたあと、情報を受信したタイミング、もしくはチャネル一覧を表示したタイミングで、待受画面に自動的にテロップが流れます。
③ (ch)（ｉチャネル）を押すとチャネル一覧が表示されます。各チャネルごとにテロップで流れていた情報などを一覧で見ることができます。
④ 各チャネルを選択するとそれぞれの詳細情報画面が閲覧できます。
※ 各画像はイメージです。実際の画面とは異なります。

チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますのでｉチャネルの利用開始時からすぐに利用することができます。「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料はｉチャネルのサービス利用料に含まれます。「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP(情報サービス提供者)が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、ｉチャネルのサービス利用料には含まれません。なお、待受画面にテロップとして流すことができるのは、「ベーシックチャネル」の情報のみとなります。

- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたり情報料がかかるものがあります。
- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたりチャネルを提供するIP(情報サービス提供者)に対し別途お申し込みが必要になるものがあります。
- 「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する際は、ｉチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。

ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。(お申し込みにはｉモード契約が必要です)

- 操作方法は(P.223)
- 対応機種：701i/702i/902i/902iSシリーズ、P851i、D851iWM

●おためしサービス

ｉモードをご契約の上、ｉチャネル対応端末を利用しているお客様で、ｉチャネル対応端末を利用している契約者回線についてｉチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料で「ベーシックチャネル」を利用できます。なお、チャネル一覧から詳細情報を閲覧される際にかかるパケット通信料は、お客様のご負担となります。

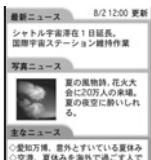
- おためしサービスのご利用にあたっての注意事項および利用方法の詳細などについては、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

おためしサービスは、原則としてFOMAカードを挿入してｉチャネル対応端末の利用を開始した際、一定期間経過後に自動的に開始されます。自動的に開始しない場合は、(ch) を押すことで開始できます。
おためしサービスを利用できるのは、1つのご契約者回線につき1回のみです。
おためしサービスは開始後一定期間経過すると、自動的に終了します。また、途中で終了したい場合の操作方法については、『ｉモード操作ガイド』をご参照ください。

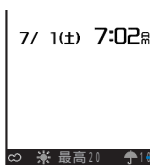
ｉチャネルを表示する

1 待受画面で ch (ｉチャネル)を押す

チャネル一覧が表示されます。

2 チャネルを選び ◉ を押す

- ご利用の状況により、チャネル一覧を表示したタイミングで情報を受信する場合があります。

ｉチャネルを受信したときは

7/ 1(土) 7:02

テロップ

情報を受信すると、待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。

チャネル一覧を表示する場合

ch (ｉチャネル)を押します。

- ｉチャネルを受信すると、「」→「」が点滅します。情報を受信しても、着信音、バイブレータ、着信ランプは動作しません。
- テロップ表示の表示速度を設定したり、表示しないように設定することもできます。(P.95)
- 他のｉチャネル対応端末へFOMAカードを差し替えた場合、テロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、ch (ｉチャネル)を押して最新の情報を受信すると、テロップが自動的に流れるようになります。
- 接続先変更を行った場合、テロップが表示されなくなり、情報が自動更新されないことがあります。最新の情報を受信する場合は、ch (ｉチャネル)を押してチャネル一覧を表示してください。テロップも自動的に流れるようになります。
- ｉチャネルの接続先は、接続先選択で変更できます。(P.162)通常は変更する必要はありません。
- FOMA端末の電源がOFFまたは圏外など電波状態がよくない場合は、情報を受信できないことがあります。ch (ｉチャネル)を押し、情報を受信すると、待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。
- 以下の場合はテロップが表示されません。
  - オールロック設定中
  - PIMロック設定中
  - 公共モード(ドライブモード)中
  - FOMAカードを挿入していないとき
  - ｉチャネルサービス、ｉモードサービスを解約した場合(ｉチャネルサービス解約前にｉモードサービスを解約した場合はテロップが表示されたままになります)

データ表示/編集/管理

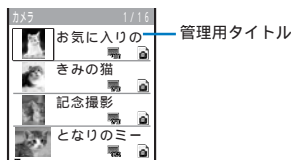
■静止画を使いこなす
保存した画像を表示する ……〈マイピクチャ〉226
静止画を編集する ……〈静止画編集〉227
■動画を使いこなす
動画/ｉモーションを再生する ……〈ｉモーション〉229
動画を編集する ……〈動画編集〉230
■キャラ電を使いこなす
キャラ電とは ……〈キャラ電〉231
■メロディを使いこなす
メロディを再生する ……〈メロディ〉232
■“メモリースティック Duo”を使いこなす
“メモリースティック Duo”について …… 233
“メモリースティック Duo”のデータを表示する …… 233
“メモリースティック Duo”のフォルダ構成 …… 234
“メモリースティック Duo”で利用できるデータ …… 235
FOMA端末から“メモリースティック Duo”にコピー/移動する …… 236
“メモリースティック Duo”からFOMA端末にコピー/移動する …… 236
“メモリースティック Duo”を管理する …… 237
■FOMAカードを使いこなす
FOMA端末からFOMAカードにコピーする …… 237
FOMAカードからFOMA端末にコピーする …… 237
■データBOXを使いこなす
データBOXを管理する ……〈データBOX〉238
FOMA端末のメモリ使用量を確認する ……〈本体情報〉242
■赤外線通信を使いこなす
赤外線通信について ……〈赤外線通信〉242
赤外線通信で利用できるデータ …… 243
赤外線通信を使ってデータを受信する ……〈赤外線受信〉244
赤外線通信を使ってデータを送信する ……〈赤外線送信〉244
赤外線リモコン機能を利用する …… 245

保存した画像を表示する

FOMA端末のデータBOXや“メモリースティック Duo ”のマイピクチャに保存されている画像を表示します。

1 **待受画面で ▲ (📁)を押し、[マイピクチャ]を選び ◉ を押す**

マイピクチャのフォルダ一覧が表示されます。

2 **フォルダを選び ◉ を押す**

マイピクチャのファイル一覧が表示されます。

- 1行目の左端にフォルダ名、右端にフォルダ内の順位/フォルダ内の全件数が表示されます。
- 画像の種類・サイズ、取得元は、次のアイコンで確認できます。

種類・サイズ

アイコン	種　類	サイズ
	JPEG画像	sQCIF(128×96)
		QCIF(176×144)
		待受(240×320)
		CIF(352×288)
		VGA(480×640)
		1.2M(960×1280)
		1.9M(1600×1200)
		3.1M(2048×1536)
		その他
	フレーム画像	−
	スタンプ画像	−
	GIF画像	−
	Flash画像	−

- FOMA端末外への出力が禁止されている画像は、アイコンの右上に「⊘」が表示されます。

取得元

アイコン	取得元
	お買い上げ時に登録されている画像
	サイトやｉモードメール、ｉアプリから取得した画像
	FOMA端末のカメラで撮影した画像
	バーコードリーダーで取り込んだ画像、“メモリースティック Duo ”から移動/コピーした画像、赤外線通信で受信した画像、パソコンなどから取り込んだ画像

保存日時を表示する場合

#⃣ を押すと管理用タイトルと保存日時の表示を一時的に切り替えることができます。

3 **画像を選び ◉ を押す**

選択した画像が表示されます。

画面からアイコン表示やガイド表示を消す場合

iα (表示)を押します。iα (表示)を押すと、標準表示/簡易表示/表示なしを切り替えることができます。

前後の画像を表示する場合

◀ で前の画像、▶ で次の画像を表示できます。

JPEG画像、GIF画像を拡大/等倍表示する場合

ch (拡大/等倍)を押します。元のサイズに戻す場合は、ch (等倍/縮小)を押します。

Flash画像を再度動作させる場合

ch (リトライ)を押します。

JPEG画像の表示方向を変更する場合

機能メニュー[画面切替]→[縦画面]/[横画面]を選択します。

ｉモードメールに添付する場合

機能メニュー[メール添付]を選択します。(P.187)

待受画面などに設定する場合

機能メニュー[画面設定]→画面の種類を選択します。

カメラを起動する場合

機能メニュー[静止画撮影モード]を選択します。

- “メモリースティック Duo ”のファイル一覧や画像は、表示に時間がかかる場合があります。
- 撮影した画像をパソコンなどで編集すると、画像の縮小表示が青い画像として表示される場合があります。
- 画像が表示できない場合は、「🖻」が表示されます。

 ＊“メモリースティック Duo ”をご利用になるには、別途“メモリースティック Duo ”が必要となります。(P.233)

スライドショーで表示する

お買い上げ時	間隔：3秒／画像方向：縦

マイピクチャに保存されているJPEG画像を、自動的に切り替えて表示できます。

1 マイピクチャのファイル一覧で ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [スライドショー]を選び ◉ を押す

3 [間隔]に画像を表示している時間を選択する

- 画像表示間隔は、画像を表示している時間の目安です。表示する画像サイズにより、表示間隔が異なる場合があります。

4 [画像方向]に画像の表示方向を選択する

5 i (開始)を押す

スライドショーが開始されます。

スライドショーを停止する場合

✉ (停止)を押します。

静止画を編集する

マイピクチャに保存したJPEG画像にスタンプを押したり、フレームを付けたりして編集できます。

- お買い上げ時に登録されている画像、FOMA端末外への出力が禁止されている画像は編集できません。
- SO702i以外で撮影した画像は、編集できないことがあります。
- 画像を編集して保存すると、画像の種類によっては保存に時間がかかることがあります。
- 画像の編集を繰り返し行うと、画像が劣化することがあります。

フレームを貼付ける

画像サイズが[sQCIF(128×96)]、[QCIF(176×144)]、[待受(240×320)]、[CIF(352×288)]の画像にフレームを貼付けることができます。

例： フレームを貼付けて上書き保存する場合

1 マイピクチャのファイル一覧で画像を選び ◉ を押し、✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [静止画編集]→[フレーム]→フォルダ→フレームを選び ◉ を押す

フレームを確認する場合

フレームにカーソルをあわせ、ch (見る)を押します。

3 ◉ (保存)を押し、[上書保存]を選び ◉ を押す

フレームを貼付けた画像が上書き保存されます。

新しい画像として保存する場合

[新規保存]→保存先を選択します。

スタンプを貼付ける

画像サイズが[sQCIF(128×96)]、[QCIF(176×144)]、[待受(240×320)]、[CIF(352×288)]の画像にスタンプを貼付けることができます。

例： スタンプを貼付けて上書き保存する場合

1 マイピクチャのファイル一覧で画像を選び ◉ を押し、✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [静止画編集]→[画像スタンプ]を選び ◉ を押す

3 フォルダ→スタンプを選び ◉ を押す

スタンプを確認する場合

スタンプにカーソルをあわせ、ch (見る)を押します。

4 ▲▼/◀▶ で位置を調節し、◉ (貼付)を押す

同じスタンプを追加する場合

操作4を繰り返します。

別のスタンプを貼付ける場合

ch (再選択)を押し、もう一度操作3～4を行います。

5 i (確定)を押す

6 ◉ (保存)を押し、[上書保存]を選び ◉ を押す

スタンプを貼付けた画像が上書き保存されます。

新しい画像として保存する場合

[新規保存]→保存先を選択します。

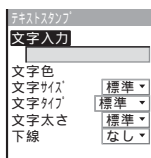
文字を貼付ける

画像サイズが[sQCIF(128×96)]、[QCIF(176×144)]、[待受(240×320)]、[CIF(352×288)]の画像に文字を貼付けることができます。貼付ける文字のタイプや文字色を指定することもできます。

例： 文字を貼付けて上書き保存する場合

1 マイピクチャのファイル一覧で画像を選び ◉ を押し、✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [静止画編集]→[テキストスタンプ]を選び ◉ を押す

3 [文字入力]に貼付ける文字を入力する

全角10文字、半角20文字以内で入力します。

4 [文字色]に貼付ける文字の色を選択する

5 [文字サイズ]に貼付ける文字のサイズを選択する

6 [文字タイプ]に貼付ける文字の種類を選択する

7 [文字太さ]に貼付ける文字の太さを選択する

8 [下線]に[なし]/[あり]を選択する

9 iα（確定）を押す

10 ▲▼/◀▶ で位置を調節し、◉（貼付）を押す

同じテキストスタンプを追加する場合
操作10を繰り返します。

別のテキストスタンプを貼付ける場合
ch（再編集）を押し、もう一度操作3〜10を行います。

11 iα（確定）を押す

12 ◉（保存）を押し、[上書保存]を選び ◉ を押す

文字を貼付けた画像が上書き保存されます。

新しい画像として保存する場合
[新規保存]→保存先を選択します。

画像の一部をズームして切出す

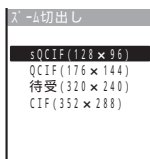
画像の一部分をズームした状態で範囲を指定し、[sQCIF(128×96)]、[QCIF(176×144)]、[待受(320×240)]、[CIF(352×288)]のサイズに切出すことができます。

- 画像サイズが[sQCIF(128×96)]の場合は、切出しできません。

例： 画像を切出して上書き保存する場合

1 マイピクチャのファイル一覧で画像を選び ◉ を押し、✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [静止画編集]→[ズーム切出し]→切出す画像サイズを選び ◉ を押す

- 薄く表示されている画像サイズには切出しできません。

3 iα（ズーム(T)）/ ch（ズーム(W)）を押す

- iα（ズーム(T)）を押すと拡大され、ch（ズーム(W)）を押すと縮小されます。

ズームが調節され、設定したズーム倍率がバー表示されます。

4 ▲▼/◀▶ で切出す範囲を選択し、◉（確定）を押す

画像が指定したサイズに切出されます。

5 ◉（保存）を押し、[上書保存]を選び ◉ を押す

切出した画像が上書き保存されます。

新しい画像として保存する場合
[新規保存]→保存先を選択します。

 *"メモリースティック Duo"をご利用になるには、別途"メモリースティック Duo"が必要となります。(P.233)

回転する

画像サイズが[sQCIF(128×96)]、[QCIF(176×144)]、[待受(240×320)]、[CIF(352×288)]、[VGA(480×640)]の画像を回転できます。

例： 画像を回転して上書き保存する場合

1 マイピクチャのファイル一覧で画像を選び ◉ を押し、✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [静止画編集]→[回転]を選び ◉ を押す

3 i✆(回転)を押し、◉(確定)を押す

i✆(回転)を押すたびに、画像が90°ずつ時計回りに回転します。

4 ◉(保存)を押し、[上書保存]を選び ◉ を押す

回転した画像が上書き保存されます。

新しい画像として保存する場合

[新規保存]→保存先を選択します。

画像サイズを変換する

画像サイズを[sQCIF(128×96)]、[QCIF(176×144)]、[待受(240×320)]、[CIF(352×288)]のサイズに変換できます。

例： 画像サイズを変換して上書き保存する場合

1 マイピクチャのファイル一覧で画像を選び ◉ を押し、✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [静止画編集]→[サイズ変換]→変換する画像サイズを選び ◉ を押す

- 薄く表示されている画像サイズには変換できません。

3 ◉ [保存]を押し、[上書保存]を選び ◉ を押す

サイズを変換した画像が上書き保存されます。

新しい画像として保存する場合

[新規保存]→保存先を選択します。

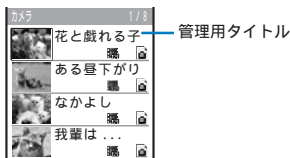
動画/ｉモーションを再生する

お買い上げ時	連続再生－画像方向：縦 音量調節：25

FOMA端末のデータBOXや"メモリースティック Duo"のｉモーションに保存されている動画/ｉモーション(MP4ファイルのみ)を再生します。

1 待受画面で ▲(📁)を押し、[ｉモーション]を選び ◉ を押す

ｉモーションのフォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選び ◉ を押す

ｉモーションのファイル一覧が表示されます。

- 1行目の左端にフォルダ名、右端にフォルダ内の順位/フォルダ内の全件数が表示されます。
- 動画/ｉモーションの種類・サイズ、再生制限、取得元は、次のアイコンで確認できます。

種類・サイズ

アイコン	種　類	サイズ
(アイコン)	映像と音声が含まれる動画/ｉモーション	sQCIF(128×96)
(アイコン)		QCIF(176×144)
(アイコン)		待受(320×240)
(アイコン)		その他
(アイコン)	映像のみの動画/ｉモーション	sQCIF(128×96)
(アイコン)		QCIF(176×144)
(アイコン)		待受(320×240)
(アイコン)		その他
(アイコン)	音声のみの動画/ｉモーション	－

- FOMA端末外への出力が禁止されている動画/ｉモーションは、アイコンの右上に「⊘」が表示されます。

再生制限

アイコン	再生制限
(アイコン)	再生制限ありの動画/ｉモーション
(アイコン)	再生期限切れの動画/ｉモーション

取得元

アイコン	取得元
(アイコン)	お買い上げ時に登録されている動画/ｉモーション
(アイコン)	サイトやｉモードメール、ｉアプリから取得した動画/ｉモーション
(アイコン)	FOMA端末のカメラで撮影した動画/ｉモーション
(アイコン)	"メモリースティック Duo"から移動/コピーした動画/ｉモーション、赤外線通信で受信した動画/ｉモーション、パソコンなどから取り込んだ動画/ｉモーション

フォルダ内の動画を連続再生する場合

機能メニュー[連続再生]を選択し、[画像方向]に[横]/[縦]を選択し、i✆(開始)を押します。一覧表示されているファイルが順番に再生されます。停止するときは ✉(停止)を押します。

保存日時を表示する場合

#✆ を押すと管理用タイトルと保存日時の表示を一時的に切り替えることができます。

3 動画/ｉモーションを選び ◉ を押す

選択した動画/ｉモーションが表示されます。

画面からアイコン表示やガイド表示を消す場合
　(表示)を押します。(表示)を押すと、標準表示/簡易表示/表示なしを切り替えることができます。

画像サイズが[sQCIF(128×96)]、[QCIF(176×144)]の画像を拡大/等倍表示する場合
　(拡大/等倍)を押します。

前後の動画/ｉモーションを表示する場合
　◀ で前の動画/ｉモーション、▶ で次の動画/ｉモーションを表示できます。

表示方向を変更する場合
　機能メニュー[画面切替]→[縦画面]/[横画面]を選択します。

ｉモードメールに添付する場合
　機能メニュー[メール添付]を選択します。(P.187)

待受画面に設定する場合
　機能メニュー[待受画面設定]を選択します。

カメラを起動する場合
　機能メニュー[動画撮影モード]を選択します。

4 ◉ (再生)を押す

選択した動画/ｉモーションが再生されます。

操作方法

操　作	ボタン操作
再生	◉ (再生)を押します。
一時停止	◉ (ポーズ)を押します。
停止	✉ (停止)を押します。
音量調節	▲ ▼ を押します。
早送り	再生中に ▶ を押します。▶ を押している間だけ早送りすることもできます。
早戻し	再生中に ◀ を押します。◀ を押している間だけ早戻しすることもできます。
コマ送り	一時停止中に ▶ を押します。

- "メモリースティック Duo"のファイル一覧や動画/ｉモーションは、表示に時間がかかる場合があります。
- 電池パックを外した状態または空の状態でFOMA端末をしばらく放置すると、日付時刻がリセットされ、再生期限が決められている動画/ｉモーションが再生できなくなります。
- 動画/ｉモーションは、詳細情報の[着信音設定可否]、[着信画面設定可否]が「可」になってる場合に着信音、着信画像に設定できます。ただし、次の動画/ｉモーションは設定できません。
  - 赤外線通信やデータリンクソフトなどでパソコンに保存して、もう一度FOMA端末に戻したもの
  - "メモリースティック Duo"からFOMA端末に保存したもの(FOMA端末から保存したものを、もう一度FOMA端末に戻した場合も含む)

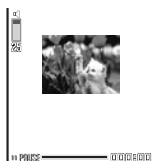
動画を編集する

FOMA端末で撮影した動画を編集できます。

静止画として切出す

動画を一時停止させた画像を、静止画として保存します。

1 ｉモーションのファイル一覧で動画を選び ◉ を押し、✉ (機能)を押す
　機能メニューが表示されます。

2 [動画編集]→[静止画切出し]を選び ◉ を押す

コマ送りする場合
　▶ を押します。

3 ◉ (再生)を押し、切出す位置で ◉ (ポーズ)を押し、(切出し)を押す

4 [はい]を選び ◉ を押す

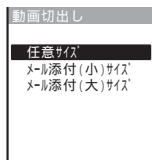
5 ◉ (保存)を押し、[はい]→保存先を選び ◉ を押す
　切出した静止画がマイピクチャに保存されます。

動画を切出す

動画の一部を、範囲やサイズを指定して切出します。

例：サイズを指定して動画を切出して上書き保存する場合

1 ｉモーションのファイル一覧で動画を選び ◉ を押し、✉ (機能)を押す
　機能メニューが表示されます。

2 [動画編集]→[動画切出し]を選び ◉ を押す

[任意サイズ]：
　開始位置と終了位置を指定して切出します。

[メール添付(小)サイズ]：
　開始位置を指定して、最大290Kバイトまでを自動的に切出します。

[メール添付(大)サイズ]：
　開始位置を指定して、最大490Kバイトまでを自動的に切出します。

＊"メモリースティック Duo"をご利用になるには、別途"メモリースティック Duo"が必要となります。(P.233)

3 **[メール添付(小)サイズ]/[メール添付(大)サイズ]を選び ◉ を押す**

コマ送りする場合
▶ を押します。

4 **◉ (再生)を押し、切出しを開始する位置で ◉ (ポーズ)を押し、(iα) (始点)を押す**

[任意サイズ]を選択した場合
◉ (再生)を押し、切出しを終了する位置で ◉ (ポーズ)を押して (chUM) (終点)を押します。

5 **[はい]を選び ◉ を押す**

6 **◉ (保存)を押し、[上書保存]を選び ◉ を押す**

切出した動画が上書き保存されます。

新しい動画として保存する場合
[新規保存]→保存先を選択します。

画像サイズを変換する

画像サイズが[待受(320×240)]の動画を画像サイズ[QCIF(176×144)]に変換します。

例： 画像サイズを変換して上書き保存する場合

1 **ｉモーションのファイル一覧で動画を選び ◉ を押し、(✉) (機能)を押す**

機能メニューが表示されます。

2 **[動画編集]→[サイズ変換]を選び ◉ を押す**

3 **[はい]を選び ◉ を押す**

4 **◉ (保存)を押し、[上書保存]を選び ◉ を押す**

サイズ変換された動画が上書き保存されます。

新しい動画として保存する場合
[新規保存]→保存先を選択します。

- "メモリースティック Duo"の動画/ｉモーションは、変換に時間がかかる場合があります。
- ファイルサイズが500Kバイトを超える動画/ｉモーションの画像サイズを変換した場合、メール添付可能なサイズに動画の一部を切出すことがあります。

キャラ電とは

キャラ電とは、テレビ電話を利用するときに、自分の画像の代わりに送信するキャラクタです。テレビ電話中にダイヤルボタンを押してキャラクタを動かしたり、キャラクタによっては、送話口からの音声に反応して口を動かすものもあります。

■ お買い上げ時に登録されているキャラ電

ブンブン(Dimo)　　コモモ

©BVIG　　©SCN

■ お買い上げ時に登録されているキャラ電のアクション一覧

ブンブン(Dimo)

全体アクション

1：喜ぶ	2：反省	3：あっかんべ
4：LOVE	5：寝る	6：酔っぱらい
7：ラッパー	8：悲しみ	9：ムンクの叫び

コモモ

全体アクション

1：ばんざーい	2：イヤイヤ	3：ガックリ…
4：うれし～い!!	5：じたばた	6：うわ～っ!!
7：おじぎ	8：ダンス	9：歩き

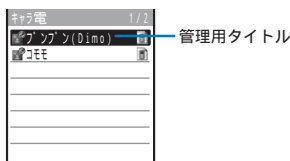
パーツアクション

11：拍手♪	12：いかりのこうげき	13：よろこびのまい
14：ン～、なんでやねん	15：おすわり	16：うつぶせ
17：寝る	18：ダッシュ!!	19：ひみつ

- お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除した場合は、「SO@Planet」からダウンロードできます。
[ｉMenu]→[メニューリスト]→[ケータイ電話メーカー]→[SO@Planet]

キャラ電を表示して操作する

データBOXのキャラ電に保存されているキャラ電を表示します。

1 待受画面で ▲（📁）を押し、［キャラ電］を選び ● を押す

キャラ電のファイル一覧が表示されます。

- 1行目の右端にファイル一覧内の順位/全件数が表示されます。
- キャラ電にはファイル制限があり、キャラ電のアイコンの右上に「⊘」が表示されます。
- キャラ電の取得元は、次のアイコンで確認できます。

アイコン	取得元
📄	お買い上げ時に登録されているキャラ電
📄	サイトから取得したキャラ電

テレビ電話をかける場合

キャラ電にカーソルをあわせ、機能メニュー［キャラ電発信］を選択し、電話番号を入力して (ch) （テレビ電話）を押します。

テレビ電話の代替画像に設定する場合

キャラ電にカーソルをあわせ、機能メニュー［代替画像設定］を選択します。

2 キャラ電を選び ● を押す

アクションモードアイコン

©SCN

操作方法

操　作	ボタン操作
アクションを中止する	(クリア) を押します。
アクションモードを切り替える	(ch) （切替）を押します。押すたびに全体アクションとパーツアクションが切り替わります。 （全体アクション）：全身が動きます。 （パーツアクション）：体の一部が動きます。
アクション一覧を表示する	(iα) （一覧）を押します。アクションを選択するとアクションを確認できます。アクションにカーソルをあわせ、(iα) （詳細）を押すとアクション名を表示します。
他のキャラ電を表示する	機能メニュー［キャラ電設定］→［キャラ電切替］→キャラ電を選択します。
キャラ電を削除する	機能メニュー［1件削除］→［はい］を選択します。

● 操作できるアクションはキャラ電によって異なります。キャラ電によっては、アクションがないものもあります。

メロディを再生する

FOMA端末のデータBOXや"メモリースティック Duo"のメロディに保存されているメロディを再生します。

1 待受画面で ▲（📁）を押し、［メロディ］を選び ● を押す

メロディのフォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選び ● を押す

メロディのファイル一覧が表示されます。

- 1行目の左端にフォルダ名、右端にフォルダ内の順位/フォルダ内の全件数が表示されます。
- FOMA端末外への出力が禁止されているメロディは、アイコンの右上に「⊘」が表示されます。
- メロディの取得元は、次のアイコンで確認できます。

アイコン	取得元
📄	お買い上げ時に登録されているメロディ
📄	サイトやｉモードメール、ｉアプリから取得したメロディ
📄	バーコードリーダーで取り込んだメロディ、"メモリースティック Duo"から移動/コピーしたメロディ、赤外線通信で受信したメロディ、パソコンなどから取り込んだメロディ

再生範囲が指定されているメロディを再生する場合

メロディにカーソルをあわせ、機能メニュー［ポイント再生］を選択します。

ｉモードメールに添付する場合

メロディにカーソルをあわせ、機能メニュー［メール添付］を選択します。（P.187）

3 メロディを選び ● を押す

選択したメロディが再生され、着信ランプが点滅します。

再生を停止する場合

●（停止）を押します。

再生中に前/次のメロディを再生する場合

◀/▶ を押します。

音量を調節する場合

▲ ▼ を押します。

● バイブレータ（P.89）の設定にかかわらず、メロディ再生中にメロディに連動してバイブレータが振動することがあります。

*"メモリースティック Duo"をご利用になるには、別途"メモリースティック Duo"が必要となります。（P.233）

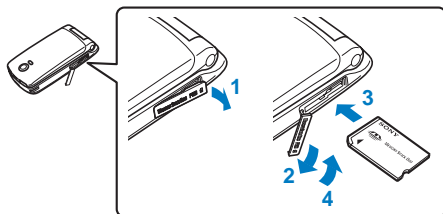
“メモリースティックDuo”について

FOMA端末内の電話帳やメール、ブックマークなどのデータを“メモリースティックDuo”に保存したり、“メモリースティックDuo”内のデータをFOMA端末内に取り込むことができます。また、FOMA端末から“メモリースティックDuo”内のデータを閲覧できます。
“メモリースティックDuo”をご利用になるには、別途“メモリースティックDuo”が必要となります。“メモリースティックDuo”をお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

- 他の機器から“メモリースティックDuo”に保存したデータは、FOMA端末で表示/再生できない場合があります。また、FOMA端末から“メモリースティックDuo”に保存したデータは、他の機器で表示/再生できない場合があります。
- FOMA端末では2Gバイトまでの“メモリースティックDuo”で動作確認を行っています。これを超える“メモリースティックDuo”での動作は保証していません。(2006年5月現在)
  最新の対応状況は次の方法でご確認いただけます。
  FOMA端末から ：［iMenu］→［メニューリスト］→［ケータイ電話メーカー］→［SO@Planet］
  パソコンから ：ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ
  http://www.SonyEricsson.co.jp/memorystick/
- アクセス中(データ読み込み中/保存中など)にはFOMA端末から“メモリースティックDuo”を取り出さないでください。故障などの原因となります。
- “メモリースティックDuo”に保存したデータは別にバックアップを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、保存したデータが消失または変化しても当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

パソコンなどでフォーマットした“メモリースティックDuo”は、FOMA端末では使用できません。必ずFOMA端末でフォーマットしてください。(P.237)

“メモリースティックDuo”の取付けかた/取外しかた

■ 取付けかた

1 **挿入口のカバーを開ける**

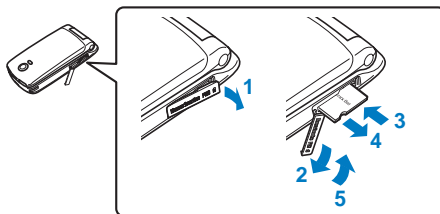
2 **挿入口のカバーを矢印の方向に回す**

3 **“メモリースティックDuo”を挿入口に差し込む**

- 「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

“メモリースティックDuo”のデータを読み込み、画面に「▯」が表示されます。

4 **挿入口のカバーを閉じる**

■ 取外しかた

1 **挿入口のカバーを開ける**

2 **挿入口のカバーを矢印の方向に回す**

3 **“メモリースティックDuo”を軽く押す**

“メモリースティックDuo”が少し出てきます。画面から「▯」が消えます。

4 **“メモリースティックDuo”を取り出す**

5 **挿入口のカバーを閉じる**

“メモリースティックDuo”のデータを表示する

“メモリースティックDuo”内のデータを表示して確認できます。

1 **メニューで［エンタテインメント］→［メモリースティック］を選び ◉ を押す**

メモリースティックのカテゴリ一覧が表示されます。

FOMA端末のデータBOXを表示する場合
(本体切替)を押します。

2 **カテゴリを選び ◉ を押す**

- カテゴリ/データ表示中の操作については、各機能の説明を参照してください。ただし、“メモリースティックDuo”ではできない操作もあります。
  - マイピクチャ(P.226)
  - iモーション(P.229)
  - メロディ(P.232)
  - 電話帳(P.83)
  - テキストメモ(P.257)
  - スケジュール(P.252)
  - 受信メール、送信/保存メール(P.196)
  - ブックマーク(P.153)

3 **データを選び ◉ を押す**

選択したデータの内容が表示されます。

“ メモリースティック Duo ”のフォルダ構成

■ パソコンなどで表示した場合

FOMA端末のデータを“ メモリースティック Duo ”にコピーすると、対応するフォルダが自動的に作成されます。

※ データ通信で受信した「＊.VBM」ファイルもブックマークファイルとして扱われます。

- 「nnn」には「100」～「999」の番号が小さい方からフォルダの作成順に付けられます。
- 「nnnn」には「0001」～「9999」の番号が小さい方からファイルの作成順に付けられます。
- パソコン上でフォルダ名の変更や削除をすると“ メモリースティック Duo ”のデータを正しく表示できなくなります。
- “ メモリースティック Duo ”で認識できるファイル名は、ドライブ名およびパスを含んで255バイトまでです。
- “ メモリースティック Duo ”のデータを編集するとファイル名「$SO702i」のファイルが作成される場合があります。同じフォルダに同名のファイルがあると上書きされます。

■“ メモリースティック Duo ”に保存できる最大ファイル数の目安

“ メモリースティック Duo ”に保存できるファイル数は、ご利用になる“ メモリースティック Duo ”の容量によって異なります。ただし、ファイルの容量によって保存可能ファイル数は異なります。

ファイル		フォルダ		最大保存可能ファイル数	
				16MB	32MB
静止画	JPEG画像（DCF規格）	DCIM		約984枚（P.121）	約1,976枚（P.121）
	JPEG画像（DCF規格外）、GIF画像	STILL		983件	1,975件
動画/ｉモーション		MOVIE		983件	1,975件
メロディ		RINGER		983件	1,975件
メール	送信メール/保存メール	MESSAGE	OUTBOX	982件	1,974件
			SAVEBOX	981件	1,973件
	受信メール		INBOX	982件	1,974件
電話帳		NAMECARD		983件	1,975件
テキストメモ		MEMO		983件	1,975件
スケジュール		CALENDAR		983件	1,975件
ブックマーク		BOOKMARK		983件	1,975件

- 保存可能ファイル数は、空の状態に保存した場合の目安です。
- “ メモリースティック Duo ”の使用容量は機能メニュー［M.S.Duo情報表示］で確認できます。

 ＊“ メモリースティック Duo ”をご利用になるには、別途“ メモリースティック Duo ”が必要となります。（P.233）

“メモリースティック Duo”で利用できるデータ

- データ量によっては、保存に時間がかかる場合があります。
- “メモリースティック Duo”から保存したデータは、正しく表示/再生できない場合があります。

カテゴリ	FOMA端末から保存の可否			“メモリースティック Duo”から保存の可否			FOMA端末から保存できないデータなど	“メモリースティック Duo”から保存できないデータなど
	1件	選択	全件	1件	選択	全件		
電話帳	○	×	○	○※	×	×	• 指定キャラ電、指定電話着信音、指定メール着信音、指定電話ランプ色、指定メールランプ色は保存できません。 • 1件保存時は、グループ番号、グループ名は保存できません。また、シークレット登録は[OFF]にして保存します。 • 全件保存時は、電話番号表示を先頭データとして保存します。また、画像M.S.保存設定を[画像保存しない]に設定している場合、指定発着信画像は保存されません。 • FOMAカード電話帳はコピーできません。	• 先頭データを電話番号表示として保存します。 • メモリ番号は、空いている最小のメモリ番号から順に保存します。 • 100Kバイトを超えるGIF画像/JPEG画像は保存できません。 • 画像サイズが[待受(240×320)]を超えるGIF画像/JPEG画像は保存できません。
テキストメモ	○	×	○	○※	×	×	−	−
スケジュール	○	×	○	○※	×	×	• 1件保存時は、シークレット登録は[OFF]にして保存します。	−
受信メール 送信/保存メール	○	×	○	○※	×	×	• フォルダ名、ｉアプリToのリンクは保存できません。 • 10,000バイトを超える静止画が添付されているメールは、添付ファイルを削除して保存します。 • 保護されているメールは、通常のメールとして保存します。 • ｉアプリメールは、通常のメールとして保存します。 • SMS送達通知メールは保存できません。	−
ブックマーク	○	×	○	○※	×	×	• フォルダ名は保存できません。	−
メロディ	○	○	○	○	○	○	−	• 200Kバイトを超えるメロディは保存できません。
マイピクチャ	○	○	○	○	○	○	• フレーム画像、スタンプ画像、Flash画像は保存できません。	• 500Kバイトを超えるGIF画像、1,235Kバイトを超えるJPEG画像は保存できません。 • 画像サイズが640×480ドットを超えるGIF画像、320×240ドットを超えるｉアニメ、一部のJPEG画像は保存できません。
ｉモーション	○	○	○	○	○	○	• 再生制限のある動画/ｉモーションは保存できません。	• 500Kバイトを超える動画/ｉモーションは保存できません。

※ 電話帳、テキストメモ、スケジュール、受信メール、送信/保存メール、ブックマークを“メモリースティック Duo”からFOMA端末にコピーする場合、“メモリースティック Duo”上のファイル単位となります。“メモリースティック Duo”上の1ファイルには複数件のデータが含まれることがあります。

- FOMA端末外への出力が禁止されているファイルはコピー/移動できません。

FOMA端末から“メモリースティック Duo”にコピー/移動する

FOMA端末から“メモリースティック Duo”にFOMA端末電話帳、テキストメモ、スケジュール、メール、ブックマーク、メロディ、画像、動画/ｉモーションをコピーできます。また、メロディや画像、動画/ｉモーションは“メモリースティック Duo”に移動することもできます。

- 電話帳、テキストメモ、スケジュール、メール、ブックマークのデータをコピー/移動時は圏外と同じ状態になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。

例：データを1件ずつコピーする場合

1 データを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

複数選択してコピーする場合
　機能メニュー[M.S.保存]→[選択保存]を選択し、データを複数選択して ｉα（完了）を押し、[はい]を選択します。

すべてコピーする場合
　機能メニュー[M.S.保存]→[フォルダ内全件保存]→[はい]を選択します。

1件移動する場合
　機能メニュー[移動]→[1件移動]→[メモリースティック]を選択します。

複数選択して移動する場合
　機能メニュー[移動]→[選択移動]→[メモリースティック]を選択し、データを複数選択して ｉα（完了）を押し、[はい]を選択します。

すべて移動する場合
　機能メニュー[移動]→[フォルダ内全件移動]→[メモリースティック]を選択します。

2 [M.S.保存]→[1件保存]→[はい]を選び ◉ を押す

選択したデータがコピーされます。

“メモリースティック Duo”からFOMA端末にコピー/移動する

“メモリースティック Duo”に保存した電話帳、テキストメモ、スケジュール、メール、ブックマーク、メロディ、画像、動画/ｉモーションをFOMA端末にコピーできます。また、メロディや画像、動画/ｉモーションはFOMA端末に移動することもできます。
コピー/移動したデータは、それぞれのカテゴリの[データ交換]フォルダに保存されます。

電話帳、テキストメモ、スケジュール、メール、ブックマークのデータを保存する

- 電話帳、テキストメモ、スケジュール、メール、ブックマークのデータを保存時は圏外と同じ状態になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。

例：データを追加保存する場合

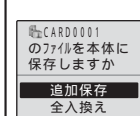
1 メモリースティックのカテゴリ一覧でカテゴリを選び ◉ を押す

2 データを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

3 [本体へ保存]を選び ◉ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

4 端末暗証番号を入力し、◉（OK）を押す

[追加保存]：
　登録されているデータにコピーしたデータを新規に追加します。

[全入換え]：
　登録されているデータがコピーしたデータですべて上書きされます。登録されているデータを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。

5 [追加保存]を選び ◉ を押す

選択したデータがコピーされます。

メロディ、静止画、ｉモーションを保存する

例：データを1件ずつコピーする場合

1 メモリースティックのカテゴリ一覧でカテゴリを選び ◉ を押す

2 データを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

複数選択して保存する場合
　機能メニュー[本体へ保存]→[選択保存]を選択し、データを複数選択して ｉα（完了）を押し、[はい]を選択します。

すべて保存する場合
　機能メニュー[本体へ保存]→[フォルダ内全件保存]→[はい]を選択します。

1件移動する場合
　機能メニュー[本体へ移動]→[1件移動]を選択します。

複数選択して移動する場合
　機能メニュー[本体へ移動]→[選択移動]を選択し、データを複数選択して ｉα（完了）を押し、[はい]を選択します。

すべて移動する場合
　機能メニュー[本体へ移動]→[フォルダ内全件移動]を選択します。

3 [本体へ保存]→[1件保存]→[はい]を選び ◉ を押す

選択したデータがコピーされます。

- SO702i以外のメモリースティック Duo対応機器で作成したデータは、正しくコピー/移動できない場合があります。
- データがFOMA端末にコピー/移動できる件数を超える場合は、コピー/移動できる件数のみコピー/移動し、超えたデータはコピー/移動されません。FOMA端末の空き容量により保存件数が異なります。

＊“メモリースティック Duo”をご利用になるには、別途“メモリースティック Duo”が必要となります。（P.233）

“メモリースティック Duo”を管理する

“メモリースティック Duo”をフォーマットする

FOMA端末で使用する“メモリースティック Duo”をフォーマットします。

- すでにデータが書き込まれている“メモリースティック Duo”をフォーマットすると、そのデータは削除されてしまいます。誤って大切なデータを削除することがないようにご注意ください。

1 メモリースティックのカテゴリ一覧で ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [フォーマット]を選び ● を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 端末暗証番号を入力し、● (OK)を押す

4 [はい]を選び ● を押す

“メモリースティック Duo”がフォーマットされます。

“メモリースティック Duo”の使用状況を確認する

- 表示されるデータ量や“メモリースティック Duo”の全容量は、あくまでも目安であり正確なものではありません。

1 メモリースティックのカテゴリ一覧で ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [M.S.Duo情報表示]を選び ● を押す

メモリースティック情報	(単位：KB)
全容量	15,776
使用容量	9,045
ﾏｲﾋﾟｸﾁｬ	2,535
iﾓｰｼｮﾝ	1,555
ﾒﾛﾃﾞｨ	685
電話帳	1,933

単位を切り替える場合

iα (単位切替)を押します。KBとMBの表示を一時的に切り替えることができます。

FOMA端末からFOMAカードにコピーする

FOMA端末からFOMAカードに、FOMA端末の電話帳を50件まで、SMSを20件までコピーできます。

- FOMA端末電話帳からFOMAカード電話帳にコピーできるのは、「名前」「フリガナ」「1つ目の電話番号」「1つ目のメールアドレス」です。フリガナの半角カタカナは全角カタカナに変換されます。電話番号の途中にある「+」は削除されます。
- FOMAカード電話帳に同じグループ名がある場合は、そのグループに保存されます。同じグループ名がない場合は、グループ⓪に保存されます。
- SMSの送達通知メールはコピーできません。

例：FOMA端末電話帳からFOMAカード電話帳にコピーする場合

1 FOMA端末電話帳でデータを選び ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

複数選択してコピーする場合

機能メニュー[FOMAカードへコピー]→[選択コピー]を選択し、データを複数選択して iα (完了)を押し、[はい]を選択します。

すべてコピーする場合

機能メニュー[FOMAカードへコピー]→[全件コピー]→[はい]を選択し、端末暗証番号を入力します。

SMSをコピーする場合

メール一覧でメールにカーソルをあわせ、機能メニュー[FOMAカードへコピー]→[はい]を選択します。

2 [FOMAカードへコピー]→[1件コピー]→[はい]を選び ● を押す

選択したデータがコピーされます。

FOMAカードからFOMA端末にコピーする

FOMAカードからFOMA端末に、FOMAカードの電話帳やSMSをコピーできます。

- FOMAカード電話帳からFOMA端末電話帳にコピーする場合、フリガナの全角カタカナは半角カタカナに変換されます。
- FOMA端末電話帳に同じグループ名がある場合は、そのグループに保存されます。同じグループ名がない場合は、グループ⓪に保存されます。

例：FOMAカード電話帳からFOMA端末電話帳にコピーする場合

1 FOMAカード電話帳でデータを選び ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

複数選択してコピーする場合

機能メニュー[本体メモリへコピー]→[選択コピー]を選択し、データを複数選択して iα (完了)を押し、[はい]を選択します。

すべてコピーする場合

機能メニュー[本体メモリへコピー]→[全件コピー]→[はい]を選択し、端末暗証番号を入力します。

SMSをコピーする場合

メール一覧でメールにカーソルをあわせ、機能メニュー[本体メモリへコピー]→[はい]→フォルダを選択します。

2 [本体メモリへコピー]→[1件コピー]→[はい]を選び ● を押す

選択したデータがコピーされます。

＊M.S.は“メモリースティック Duo”の略です。

データBOXを管理する

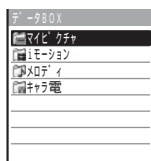
ダウンロードしたデータやカメラで撮影したデータなどFOMA端末で扱うデータは、データBOXでマイピクチャ、ｉモーション、メロディ、キャラ電のカテゴリ別に保存され、いつでも再生できます。

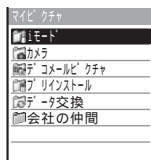
- カテゴリによって、操作できないことがあります。

■ データBOXの保存データ

カテゴリ	フォルダ名	データの内容
マイピクチャ	ｉモード	サイトやｉモードメール、ｉアプリから取得した画像
	カメラ	FOMA端末のカメラで撮影した画像
	デコメールピクチャ	デコメール作成時に使用できる画像
	プリインストール	お買い上げ時に登録されている画像
	データ交換	バーコードリーダーで取り込んだ画像、"メモリースティック Duo"から移動/コピーした画像、赤外線通信で受信した画像、パソコンなどから取り込んだ画像
ｉモーション	ｉモード	サイトやｉモードメール、ｉアプリから取得した動画
	カメラ	FOMA端末のカメラで撮影した動画
	プリインストール	お買い上げ時に登録されている動画
	データ交換	"メモリースティック Duo"から移動/コピーした動画、赤外線通信で受信した動画、パソコンなどから取り込んだ動画
メロディ	ｉモード	サイトやｉモードメール、ｉアプリから取得したメロディ
	プリインストール	お買い上げ時に登録されているメロディ
	データ交換	バーコードリーダーで取り込んだメロディ、"メモリースティック Duo"から移動/コピーしたメロディ、赤外線通信で受信したメロディ、パソコンなどから取り込んだメロディ
キャラ電	―	お買い上げ時に登録されているキャラ電、サイトから取得したキャラ電

例：マイピクチャの[プリインストール]フォルダのファイル一覧を表示する場合

1 待受画面で ▲（📁）を押す

"メモリースティック Duo"のデータを表示する場合
（M.S.切替）を押します。

2 [マイピクチャ]を選び ● を押す

マイピクチャのフォルダ一覧が表示されます。

- フォルダの状態は、次のアイコンで確認できます。アイコンの横にフォルダ名が表示されます。

(黄)		お買い上げ時に用意されているフォルダ
		ｉモード
		カメラ
		デコメールピクチャ
		プリインストール
		データ交換
(青)		お客様が作成したフォルダ

3 [プリインストール]を選び ● を押す

©SCN

ファイル一覧が表示されます。

保存日時を表示する場合
を押すと管理用タイトルと保存日時の表示を一時的に切り替えることができます。

＊"メモリースティック Duo"をご利用になるには、別途"メモリースティック Duo"が必要となります。（P.233）

フォルダを追加/削除する

データを保存するフォルダを作成したり削除したりできます。カテゴリごとに最大10個まで追加できます。また、フォルダの名称も変更できます。

- ［ i モード］、［カメラ］、［プリインストール］、［デコメールピクチャ］、［データ交換］フォルダは、削除したりフォルダ名を変更したりできません。

1 カテゴリのフォルダ一覧で (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

フォルダ名を変更する場合

フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー［フォルダ操作］→［フォルダ名変更］を選択します。全角8文字、半角17文字以内で入力します。

フォルダを削除する場合

フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー［フォルダ操作］→［フォルダ削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー［フォルダ操作］→［フォルダ選択削除］を選択して端末暗証番号を入力し、フォルダを複数選択して (完了)を押し、［はい］を選択します。すべてのフォルダを削除する場合は、機能メニュー［フォルダ操作］→［フォルダ全削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

2 ［フォルダ操作］→［フォルダ作成］を選び を押し、フォルダ名を入力する

全角8文字、半角17文字以内で入力します。
フォルダが追加されます。

別のフォルダへ移動する

データは3とおりの方法で別のフォルダや“メモリースティック Duo”へ移動できます。

- 取得元がプリインストールのデータやキャラ電は移動できません。

1 データBOXでカテゴリ→フォルダを選び を押す

複数選択して移動する場合

機能メニュー［移動］→［選択移動］→移動先を選択し、データを複数選択して (完了)を押し、［はい］→フォルダを選択します。

フォルダ内をすべて移動する場合

機能メニュー［移動］→［フォルダ内全件移動］→移動先→フォルダを選択します。

2 データを選び (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

3 ［移動］→［1件移動］を選び を押す

移動先選択画面が表示されます。

［本体メモリ］：
FOMA端末のフォルダへ移動します。

［メモリースティック］：
“メモリースティック Duo”のフォルダへ移動します。

［取得元へ戻す］：
取得元のフォルダへ戻します。

4 ［本体メモリ］→フォルダを選び を押す

選択したデータが別のフォルダへ移動されます。

削除する

データは3とおりの方法で削除できます。

- キャラ電以外のお買い上げ時に登録されているデータは削除できません。

1 データBOXでカテゴリ→フォルダを選び を押す

フォルダ内をすべて削除する場合

機能メニュー［削除］→［フォルダ内全件削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

複数選択して削除する場合

機能メニュー［削除］→［選択削除］を選択し、データを複数選択して (完了)を押し、［はい］を選択します。

2 データを選び (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

3 ［削除］→［1件削除］→［はい］を選び を押す

選択したデータが削除されます。

一覧を並べ替える

フォルダ内のデータを一時的に並べ替えて表示できます。

1 データBOXでカテゴリ→フォルダを選び を押し、 (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［ソート］→並び順を選び を押す

［タイトル順］：
管理用タイトルの50音順に並べ替えます。

［日付順］：
保存した日時の新しい順に並べ替えます。

［サイズ順］：
ファイルサイズの大きい順に並べ替えます。

［取得元(アイコン)］：
取得元が「プリインストール」→「 i モード」→「カメラ」→「データ交換」の順に並べ替えます。

選択した並び順でデータが表示されます。

- ［タイトル順］の場合、全角/半角の文字が混在しているなどの理由により、50音順と一致しないことがあります。

一覧の表示方法を設定する

お買い上げ時 | 4画面

マイピクチャ、iモーションのファイル一覧の表示方法を3種類から選択できます。設定した表示方法は、すべてのフォルダに反映されます。

4画面　9画面　リスト

4枚単位で表示　9枚単位で表示　リスト形式で表示

1 データBOXでカテゴリ→フォルダを選び ● を押し、✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [一覧表示切替]→表示方法を選び ● を押す

ファイル一覧の表示方法が設定されます。

データBOX/データの情報を表示する

データBOXの情報を表示する

1 データBOXで ✉(情報表示)を押す

単位を切り替える場合

(iα)(単位切替)を押します。KBとMBの表示を一時的に切り替えます。

データBOXのフォルダの情報を表示する

1 データBOXでカテゴリを選び ● を押し、✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [フォルダ情報表示]を選び ● を押す

単位を切り替える場合

(iα)(単位切替)を押します。KBとMBの表示を一時的に切り替えます。

データの情報を表示/編集する

データの管理用タイトルやファイル名を変更したり、ファイル制限を設定することができます。管理用タイトルは、ファイル一覧に表示されます。

- お買い上げ時に登録されているデータの詳細情報は編集できません。

1 データBOXでカテゴリ→フォルダを選び ● を押し、データを選び (iα)(詳細情報)を押す

データの詳細情報が表示されます。

2 (iα)(編集)を押す

3 [管理用タイトル]にタイトルを入力する

全角18文字、半角36文字以内で入力します。

管理用タイトルをリセットする場合

(CH)(タイトルリセット)を押します。

- オリジナルタイトルが表示されるデータのみ管理用タイトルをリセットできます。

4 [ファイル名]にファイル名を入力する

半角英数字36文字以内で入力します。

- 半角記号の " * / : < > ? ¥ | は使用できません。また、「.」はファイル名の先頭に入力できません。

5 [ファイル制限]に[あり]/[なし]を選択する

[あり]:

ファイル制限を設定します。メールに添付して送信した場合、送信先のFOMA端末では送信/転送できなくなります。

[なし]:

ファイル制限を設定しません。

6 (iα)(完了)を押す

 *"メモリースティック Duo"をご利用になるには、別途"メモリースティック Duo"が必要となります。(P.233)

■ 表示項目と編集可能項目一覧

◎：編集可　○：表示のみ　－：表示されない

表示項目	マイピクチャ			動画/iモーション	メロディ	キャラ電	内　容
	JPEG画像	GIF画像	Flash画像				
管理用タイトル	◎	◎	◎	◎	◎	◎	FOMA端末で表示するタイトル
ファイル名	◎	◎	○	◎	◎	○	メール添付時に表示されるファイル名
オリジナルタイトル	－	－	－	○	○	○	オリジナルタイトル
ファイル種別	○	○	－	○	○	－	ファイルの種別
ファイル制限	◎	◎	○	◎	◎	○	メールに添付して送信した場合、送信先のFOMA端末で送信/転送できるかどうか • サイトなどから取得したｉモーション、メロディは変更できないことがあります。 • フレーム画像、スタンプ画像は変更できません。
表示サイズ	○	○	－	○	－	○	データの表示サイズ • 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）では表示されません。
ファイルサイズ	○	○	○	○	○	○	データのファイルサイズ
メール添付時ファイルサイズ	○	－	－	－	－	－	Exif形式のファイルのサムネイルを除いたファイルサイズ
故障時移行可否	○	○	○	－	○	－	お客様のFOMA端末を修理する際、お客様のデータをドコモ指定の故障取扱窓口において移行できるかどうか • 万一、お客様のデータを移行できない場合およびデータの消失、変化に関し、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
再生制限	－	－	－	○	－	－	再生制限 回数制限：「あとYY回（YY/XX）」（YY：残り再生回数、XX：全再生回数） 再生期限：「再生期限日時まで」 再生期間：「再生開始可能日時～再生期限日時」
着信音設定可否	－	－	－	○	－	－	着信音設定の可/不可
着信画面設定可否	－	－	－	○	－	－	着信画面設定の可/不可
作成者	－	－	－	○	－	－	ファイルの著作者情報
コピーライト	－	－	－	○	－	－	ファイルの著作権情報
説明	－	－	－	○	－	－	ファイルの説明
ビデオ	－	－	－	○	－	－	映像のあり/なし/非対応
オーディオ	－	－	－	○	－	－	音声の種別/なし/非対応
テキスト	－	－	－	○	－	－	テキストのあり/なし
取得元	○	○	○	○	○	○	ファイルの取得元
保存日時	○	○	○	○	○	○	ファイルの保存日時
作成日時	○	○	－	○	○	○	ファイルの作成日時
記録時間	－	－	－	○	－	－	記録時間
設定状況	○	○	○	○	○	○	設定されている待受画面や着信音などの種類
撮影日時	○	－	－	－	－	－	撮影日時
加工日時	○	－	－	－	－	－	加工日時
絞り値	○	－	－	－	－	－	レンズを通る光量を示す値（F4/F2.8）※
シャッタースピード	○	－	－	－	－	－	CMOSに光を貯蓄する時間※
EV補正	○	－	－	－	－	－	EV補正※
ISO値	○	－	－	－	－	－	光量に対する感度を示す数値（フィルムのISO感度と同等）※
測光方式	○	－	－	－	－	－	測光方式※

※ お買い上げ時に登録されている画像では表示されません。
- 項目の情報がない場合は、「不明」または空欄で表示されます。
- データによっては、表中で「◎：編集可」となっている項目でも、変更できない場合があります。
- ファイル制限の設定にかかわらず、FOMA端末で撮影した静止画/動画、およびデータ転送や“メモリースティック Duo”から取得した画像、動画/ｉモーション、メロディは、メール添付やデータ転送ができます。
- “メモリースティック Duo”に保存されているデータの詳細情報は、FOMA端末で表示する内容と異なる場合があります。

FOMA端末のメモリ使用量を確認する

FOMA端末のメモリ使用状況を表示します。データBOXのカテゴリ別の使用量とｉアプリの使用量を確認できます。

- 表示されるデータ量は、あくまでも目安であり正確なものではありません。

1 メニューで[設定]→[管理]→[本体情報]を選び ◉ を押す

単位を切り替える場合

(単位切替)を押します。KBとMBの表示を一時的に切り替えることができます。

2 項目を選び ◉ を押す

● ｉアプリ以外のお買い上げ時に登録されているデータは、データ量に含まれません。

メモリの空き容量が不足したときは

データBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディ、キャラ電、またはｉアプリにデータやソフトを保存またはダウンロードするときに、メモリの空き容量が不足している場合は、同じカテゴリから不要なデータを選択して削除し、保存領域を確保してから保存します。

例：ソフトをダウンロードするときにメモリの空き容量が不足した場合

1 ソフトをダウンロードする

メモリの空き容量が不足している旨の画面が表示されます。

[削除データ選択]：
不要なソフトを削除して、ダウンロードを継続します。

[ダウンロード中止]：
ダウンロードを中止します。

2 [削除データ選択]を選び ◉ を押す

3 フォルダ→ソフトを選び ◉ を押す

選択したソフトを解除する場合

◉(解除)を押します。

4 (削除)を押し、[はい]を選び ◉ を押す

選択したソフトを削除してダウンロードを開始します。

● お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除しても保存領域は増加しません。

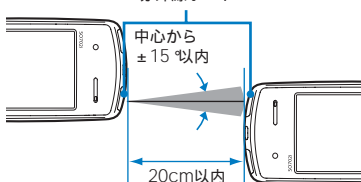
赤外線通信について

赤外線通信機能を搭載した携帯電話などと電話帳、スケジュール、テキストメモ、ブックマーク、メール、画像、動画、メロディを送受信することができます。全件送受信するときは、通信相手と取り決めた数字4桁の認証パスワードが必要になります。
また、ｉアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使いかたができます。

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。
- FOMA端末の赤外線通信は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。ただし、相手機器がIrMCバージョン1.1に準拠していても、アプリケーションによっては正しく送受信できないデータがあります。
- 通話中、ｉモード通信中、パケット通信中、64Kデータ通信中、オールロック設定中、PIMロック設定中、セルフモード設定中は、赤外線通信できません。
- 赤外線通信中は、圏外と同じ状態になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。

赤外線通信を行うには

- 赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。また、データの送受信が終わるまで相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。
- 直射日光があたる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、その影響により正常に通信できない場合があります。

データ表示／編集／管理　本体情報

赤外線通信で利用できるデータ

赤外線通信機能を搭載した携帯電話などと電話番号表示、電話帳、スケジュール、テキストメモ、ブックマーク、メール、画像、動画、メロディを送受信できます。

- データ量によっては、通信や保存に時間がかかる場合があります。
- 受信したデータがFOMA端末に保存できる件数を超える場合は、受信できる件数のみ保存し、超えたデータは保存されません。ただし、受信メールの1件保存の場合は、保護されていない古い受信メールから上書きされます。
- 赤外線通信で受信したデータは、正しく表示/再生できない場合があります。

データの種類		受信の可否		送信の可否		受信データの保存先	送受信できない項目など
		1件	全件	1件	全件		
電話番号表示		×	－	○	－	FOMA端末電話帳※1	• 付加番号1、付加番号2、画像は送受信できません。 • シークレット登録は[OFF]にして送信します。 • 全件送受信時は、電話番号表示も送受信されます。（お客様の電話番号を除く）
FOMA端末電話帳		○	○	○	○	FOMA端末電話帳※1	• 指定発着信画像、指定キャラ電、指定電話着信音、指定メール着信音、指定電話ランプ色、指定メールランプ色は送受信できません。 • 1件送受信時は、グループ番号、グループ名、メモリ番号は送受信できません。また、シークレット登録は[OFF]にして送受信します。 • 全件受信時に[全入換え]を選択した場合、1件目の電話帳データを電話番号表示として受信します。
FOMAカード電話帳		○	○	×	×	FOMA端末電話帳※1	• 受信時は、FOMA端末電話帳に保存されます。 • 1件受信時は、グループ名は受信できません。
スケジュール		○	○	○	○	スケジュール※2	• 繰り返しの休日ON/OFFは送信できません。 • 1件送受信時は、シークレット登録は[OFF]にして送受信します。
テキストメモ		○	○	○	○	テキストメモ※3	－
ブックマーク		○	○	○	○	ブックマーク※4	• フォルダ名は送受信できません。
メール	受信メール	○	○	○	○	[受信メール]※5	• フォルダ名、ｉアプリToのリンクは送受信できません。 • 10,000バイトを超える静止画が添付されているメールは、添付ファイルを削除して送受信します。 • 保護されているメールは、通常のメールとして送受信します。 • ｉアプリメールは、通常のメールとして送受信します。 • SMS送達通知メールは送受信できません。
	送信メール					[送信メール]※5	
	保存メール					[保存メール]※5	
JPEG画像・GIF画像		○	×	○	×	マイピクチャの[データ交換]フォルダ※4	• 500Kバイトを超えるGIF画像、1,235Kバイトを超えるJPEG画像は受信できません。 • 画像サイズが640×480ドットを超えるGIF画像、320×240ドットを超えるｉアニメ、一部のJPEG画像は受信できません。 • フレーム画像、スタンプ画像、Flash画像は送受信できません。
動画/ｉモーション		○	×	○	×	ｉモーションの[データ交換]フォルダ※4	• 500Kバイトを超える動画/ｉモーション、再生制限のある動画/ｉモーションは受信できません。
メロディ		○	×	○	×	メロディの[データ交換]フォルダ※4	• 200Kバイトを超えるメロディは受信できません。

- ブックマークやメールのデータを送受信した場合、相手の機種によっては、フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。
- FOMA端末外への出力が禁止されているファイルは送受信できません。

※1　最も小さい空きメモリ番号に保存されます。　※2　開始日時順に保存されます。　※3　作成日時順に保存されます。
※4　一覧の先頭に保存されます。　※5　受信/送信/保存日時順に保存されます。

赤外線通信を使ってデータを受信する

データを1件受信する

1 メニューで[生活ツール]→[赤外線受信]→[受信]を選び ◉ を押す

「📶」が「EXT」に変わり、赤外線通信確認画面が表示されます。

2 [はい]を選び ◉ を押す

赤外線通信が起動し、データの通信を開始します。
保存確認画面が表示されます。

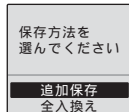
3 [はい]を選び ◉ を押す

データを全件受信する

- あらかじめ通信相手と数字4桁の認証パスワードを取り決めておく必要があります。

例： 受信したデータを追加保存する場合

1 メニューで[生活ツール]→[赤外線受信]→[全件受信]を選び ◉ を押す

「📶」が「EXT」に変わります。

[追加保存]：
登録されているデータに受信したデータを新規に追加します。

[全入換え]：
登録されているデータが受信したデータですべて上書きされます。登録されているデータを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。登録していたデータはすべて削除されるのでご注意ください。

2 [追加保存]を選び ◉ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 端末暗証番号を入力し、◉（OK）を押す

認証パスワード入力画面が表示されます。

4 認証パスワードを入力する

赤外線通信確認画面が表示されます。

5 [はい]を選び ◉ を押す

赤外線通信が起動し、データの通信を開始し追加保存されます。

受信を中止する場合
✉（中止）を押します。

赤外線通信を使ってデータを送信する

データを1件送信する

1 送信するデータを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [赤外線送信]を選び ◉ を押す

「📶」が「EXT」に変わり、赤外線通信確認画面が表示されます。

電話帳/テキストメモの場合
データにカーソルをあわせ、機能メニュー[赤外線送信]→[赤外線送信]を選択します。

3 [はい]を選び ◉ を押す

赤外線通信が起動し、データの通信を開始します。

データを全件送信する

- あらかじめ通信相手と数字4桁の認証パスワードを取り決めておく必要があります。

1 送信するデータのフォルダ一覧で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [赤外線全件送信]を選び ◉ を押す

「📶」が「EXT」に変わり、端末暗証番号入力画面が表示されます。

電話帳/テキストメモの場合
データ一覧で機能メニュー[赤外線送信]→[赤外線全件送信]を選択します。

スケジュールの場合
カレンダー表示画面で機能メニュー[赤外線全件送信]を選択します。

3 端末暗証番号を入力し、◉（OK）を押す

認証パスワード入力画面が表示されます。

4 認証パスワードを入力する

赤外線通信確認画面が表示されます。

5 [はい]を選び ◉ を押す

赤外線通信が起動し、データの通信を開始します。

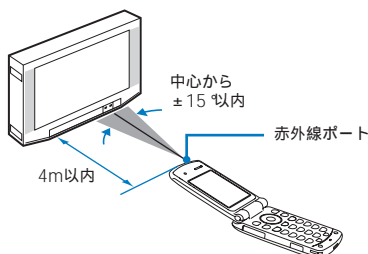
送信を中止する場合
✉（中止）を押します。

赤外線リモコン機能を利用する

サイトから赤外線リモコン機能のソフトをダウンロードしてFOMA端末に保存すると、FOMA端末をテレビやビデオデッキなどのリモコンとして使用できます。

- 赤外線リモコン機能を利用する場合は、機器に対応したソフトをダウンロードする必要があります。また、該当するソフトを使用しても、機器によっては操作できない場合があります。
- 赤外線リモコンのボタン操作は、利用するソフトによって異なります。

■ 赤外線リモコン操作

FOMA端末の赤外線ポートをテレビやビデオデッキなどのリモコン受信部の正面に向けて、4m以内の距離から操作してください。ただし、対応機器や周囲の明るさによって通信に影響がある場合があります。

その他の便利な機能

マルチアクセスについて ……〈マルチアクセス〉248
マルチタスクについて ……〈マルチタスク〉249
指定した時刻にアラームで知らせる ……〈めざまし時計〉250
スケジュールを登録する ……〈スケジュール〉251
よく使う機能を手早く実行する ……〈マイセレクト〉254
相手の声や自分の声を録音する ……〈音声メモ〉254
通話時間・料金を確認する ……〈通話時間表示・通話料金表示〉255
通話料金の上限を設定して知らせる ……〈料金上限値通知設定〉255
電卓として使う ……〈電卓〉256
メモを入力する ……〈テキストメモ〉256
各種機能の設定画面を表示する ……〈アプリケーション設定〉257
EV-Linkを利用する ……〈EV-Link〉257
スイッチ付イヤホンマイクの使いかた ……〈スイッチ付イヤホンマイク〉258
イヤホンをつないで自動で電話を受ける ……〈自動着信設定〉259
各種機能の設定を初期状態に戻す ……〈設定リセット〉259
登録データを一括して削除する ……〈データ一括削除〉259
リセット一覧 …… 260

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSを同時に使用できる機能です。

- マルチアクセスの組み合わせパターンについては、P.295をご覧ください。

音声電話	1回線
ｉモード、ｉアプリ、ｉモードメール、パソコンをつないだパケット通信	1回線
SMS(ショートメッセージ)	1回線

- マルチアクセス中は、それぞれの通信回線について料金がかかります。
- テレビ電話または64Kデータ通信を利用時は、マルチアクセスを使用できません。ただし、SMSは同時に受信できます。

マルチアクセスで行える主な操作

音声電話中に他の通信を開始する

例： 音声電話中にｉモードに接続する場合

1 音声電話中に (MENU)を押す

パソコンをつないでパケット通信をする場合

パソコン側からの操作によりパケット通信で接続します。(P.270)

2 [ｉモード]→[ｉMenu]→[メニューリスト]を選び を押す

電話がつながったまま、ｉモードに接続されます。

メールを送信する場合

[メール]→[新規メール作成]を選択し、メールを作成して送信します。

画面を切り替える場合

(MENU)を押し、 を押してタスクアイコンを選択します。

音声電話中にメールを受信する

電話がつながったままメールを受信します。

- 通話中にｉモードメール、SMS、メッセージR/Fを受信した場合は、着信音、着信ランプ、バイブレータは動作しません。

ｉモード中・パケット通信中に音声電話をかける

例： ｉモード中に音声電話をかける場合

1 ｉモード中やパケット通信中に (MENU)を押し、 を押す

メニュー画面が表示されます。

2 「 」(待受画面)を選び を押す

待受画面が表示されます。

3 電話番号を入力し、 を押す

ｉモードやパケット通信中のまま、音声電話をかけます。

通話中に画面を切り替える場合

(MENU)を押し、 を押してタスクアイコンを選択します。

- ｉモード中にテレビ電話をかけると、ｉモード接続を切断し、テレビ電話の発信を行います。

ｉモード中・パケット通信中に音声電話を受ける

1 電話がかかってきたら を押す

音声電話がかかってくると、電話着信画面が表示されます。ｉモードやパケット通信中のまま、音声電話を受けます。

通話中に画面を切り替える場合

(MENU)を押し、 を押してタスクアイコンを選択します。

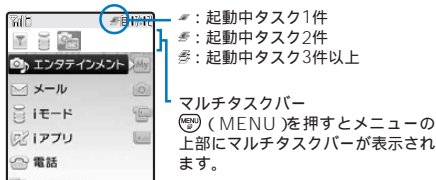
マルチタスクについて

マルチタスクとは、複数の機能を同時に実行し、画面を切り替えて操作できる機能です。

- マルチタスクの組み合わせパターンについては、P.296をご覧ください。

マルチタスク中の画面の見かた

：起動中タスク1件
：起動中タスク2件
：起動中タスク3件以上

マルチタスクバー
(MENU)を押すとメニューの上部にマルチタスクバーが表示されます。

■ タスクアイコン

アイコン	機能名	アイコン	機能名
	待受画面		ｉチャネル
	電話 ダイヤル入力		メッセージ
	マイセレクト		ｉアプリ
	カメラ/ビューア		電話番号表示
	ムービー/ビューア		電話帳
	メモリースティック		履歴
	メール		伝言メモ
	メールBOX		バーコード認識
	新規メール作成		めざまし時計
	SMS作成		めざまし時計アラーム
	メール受信 ｉモード問合せ SMS受信 SMS問合せ		スケジュール スケジュールアラーム
	メール設定		テキストメモ
	メール/ｉモード共通設定 ｉモード設定 設定 本体情報 文字入力設定		電卓 データBOX
	ｉモード		NWサービス

- タスクアイコンは着せかえメニューの設定によってデザインが異なる場合があります。

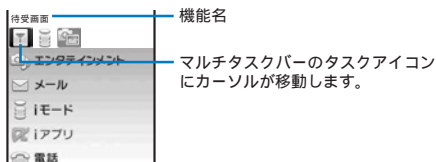
新しい機能を実行する

1 各機能を実行中に (MENU)を押す

2 メニューから新しい機能を選び を押す

機能を切り替える

複数の機能を実行しているときは、操作する機能の画面に切り替えることができます。

1 (MENU)を押し、 を押す

2 でタスクアイコンを選び、 を押す

選択した機能の画面に切り替わります。

実行中の機能をすべて終了する

1 (MENU)を押し、 を押す

2 (全終了)を押す

3 [はい]を選び を押す

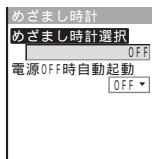
実行中のすべての機能が終了します。

- 複数の機能を実行している場合、 を押すと表示されている機能が終了します。

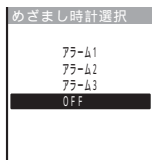
指定した時刻にアラームで知らせる

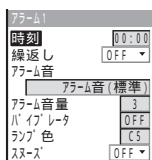
お買い上げ時	めざまし時計選択・電源OFF時自動起動：OFF／時刻：00:00／繰り返し；OFF／アラーム音：アラーム音(標準)／アラーム音量：3／バイブレータ：OFF／ランプ色：C5:ランプ色5／スヌーズ：OFF

セットした時刻に約1分間アラームが動作します。毎日同じ時刻に動作するように設定できます。

1 メニューで[生活ツール]→[めざまし時計]を選び ◉ を押す

[めざまし時計選択]：
動作するめざまし時計を1件選択し、動作の詳細を設定します。3件まで設定可能ですが、動作するのは選択した1件のみとなります。

[電源OFF時自動起動]：
電源OFF時のめざまし時計の動作を設定します。

2 [めざまし時計選択]を選び ◉ を押す

めざまし時計を動作しない場合
[OFF]を選択します。

3 動作するアラームを選び ◉ を押す

4 [時刻]にアラームを鳴らす時刻を入力する

24時間制で入力します。

5 [繰返し]に繰り返し方法を選択する

[OFF]：
アラームを繰り返しません。

[毎日]：
毎日繰り返します。

[曜日]：
毎週同じ曜日に繰り返します。繰り返す曜日を選択し、(iα)（確定）を押します。

6 [アラーム音]にデータBOXのメロディ/ｉモーションからアラーム音を選択する

- メロディからSMF形式/MFi形式のメロディ、ｉモーションから画像サイズが[sQCIF(128×96)]、[QCIF(176×144)]の映像と音声が含まれるｉモーション/音声のみのｉモーションを設定できます。ｉモーションによっては設定できないことがあります。

アラーム音を鳴らさない場合
［サイレント］を選択します。

アラーム音を確認する場合
アラーム音にカーソルをあわせ、(chu)（聞く/再生）を押します。

7 [アラーム音量]に音量を設定する

[OFF]、[1～5]から選択します。

[OFF]に設定する場合
レベル1で ▼ を押します。

8 [バイブレータ]に振動パターンを選択する

[パターン1]：
振動/停止を繰り返します。

[パターン2]：
長めの振動/停止を繰り返します。

[メロディ連動]：
アラーム音にあわせて振動します。アラーム音を[サイレント]に設定している場合や、連動できないメロディを設定している場合は、[パターン1]で振動します。

[OFF]：
バイブレータを設定しません。

振動を確認する場合
パターンにカーソルをあわせ、(iα)（確認）を押します。

9 [ランプ色]にランプ色を選択する

12色のランプ色、[C13:ALL]（12色が順番に点滅）から選択します。
カーソルをあわせると、着信ランプが点滅します。

10 [スヌーズ]に[ON]/[OFF]を選択する

[ON]：
アラーム動作を繰り返します。

[OFF]：
アラーム動作を繰り返しません。

11 (iα)（完了）を押す

めざまし時計が設定され、待受画面に「⏰」が表示されます。

12 [電源OFF時自動起動]に[ON]/[OFF]を選択する

[ON]：
電源OFF時にアラーム時刻になると、自動的に電源が入り、めざまし時計が動作します。

[OFF]：
電源OFF時にアラーム時刻になると、めざまし時計が動作しません。

- めざまし時計とスケジュールアラームを同じ時刻に設定した場合は、スケジュールアラームが優先されます。

アラーム時刻になると

約1分間着信ランプが点滅しアラーム音が鳴ります。

アラームを止める場合
いずれかのボタンを押します。

アラーム音を止めなかった場合
めざまし時計終了画面が表示されます。めざまし時計終了画面の表示を消す場合は または を押してください。

スヌーズが[ON]に設定されている場合
アラームが約1分間動作したあと、5分おきに6回までアラームが動作します。スヌーズを停止するときは、 を押します。

- アラーム音に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合、ｉモーションの映像が表示されます。
- 音声電話通話中にアラーム時刻になると、アラーム音(標準)が受話口から鳴ります。バイブレータは振動しません。
- 他の動作中にアラーム時刻になると、通話または待受状態になったときに動作する場合があります。
- アラーム動作中、スヌーズ動作中に他の機能が起動すると、アラームは停止してめざまし時計終了画面を表示します。
- PIN1コード入力設定を[ON]に設定し、めざまし時計の電源OFF時自動起動を[ON]に設定している場合、アラーム時刻になると自動的に電源がONになり、アラームが動作してPIN1コード入力画面が表示されます。アラーム音にFOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを設定している場合は、お買い上げ時のメロディが鳴ります。
- 電池パックを外した状態または空の状態でFOMA端末をしばらく放置すると、日付時刻がリセットされ、めざまし時計が正しく動作しない場合があります。

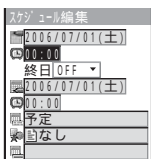
スケジュールを登録する

日付、内容などのスケジュールを300件まで登録して管理できます。スケジュールアラームを設定すると、予定時刻にアラームを動作してお知らせします。

- 「」(内容)は必ず入力してください。

1 メニューで[生活ツール]→[スケジュール]を選び◉を押す

カレンダーが表示されます。

2 開始日付を選び (新規)を押す

選択した日付が自動的に入力されます。

開始日付を修正する場合
[]を選択して修正します。2000/01/01～2050/12/31の範囲で入力します。

3 []に開始時刻を入力する

24時間制で入力します。

終日に設定する場合
[終日]で[ON]を選択します。終日に設定すると、開始時刻、終了日付、終了時刻、アラームは設定できなくなります。

4 []に終了日付を入力する

開始日付～2050/12/31の範囲で入力します。

5 []に終了時刻を入力する

24時間制で入力します。

6 []に内容を入力する

全角128文字、半角256文字以内で入力します。

7 []に分類アイコンを選択する

8 []に要約を入力する

全角20文字、半角40文字以内で入力します。

9 []にアラームの[ON]/[OFF]を選択する

[ON]：
アラームを鳴らします。アラームを開始時刻の何分前に鳴らすかを選択します。開始時刻と同時に鳴らすときは[00分前]を選択します。

[OFF]：
アラームを鳴らしません。

10 []に繰り返し方法を選択する

[OFF]：
スケジュールを繰り返しません。操作12に進みます。

[毎日]：
毎日繰り返します。

[毎週]：
毎週同じ曜日に繰り返します。

[毎月]：
毎月同じ日に繰り返します。

[毎年]：
毎年同じ月日に繰り返します。

繰り返しを[OFF]以外に設定した場合
繰り返しの回数を01～99回の範囲で入力します。

11 [休祝日]に休祝日の[ON]/[OFF]を選択する

[ON]：
休祝日も繰り返します。

[OFF]：
休祝日は繰り返しません。ただし、繰り返しの回数としては数えます。

12 []にシークレット登録の[ON]/[OFF]を選択する

[ON]：
スケジュールをシークレット登録します。スケジュール表示時やスケジュールアラーム時に時刻以外を「⚹」で表示します。

[OFF]：
スケジュールをシークレット登録しません。

シークレット登録した内容を表示する場合
シークレット表示を[ON]に設定します。

13 (完了)を押す

スケジュールが登録されます。アラームを[ON]に設定すると、待受画面に「」が表示されます。
カレンダーでは、スケジュール登録された日付の背景に色が付きます。

- 31日に登録したスケジュールを[毎月]の繰り返しに設定した場合、31日のない月はその月の最終日を繰り返し日とします。うるう年の2月29日を[毎年]の繰り返しに設定した場合も同様です。

スケジュールアラーム時刻になると

約30秒間着信ランプが点滅しアラーム音が鳴り、スケジュールの内容が表示されます。
複数のスケジュールのアラーム開始時刻が重なった場合は、画面右上に「他XXX件」と表示されます。

アラーム音を止める場合
いずれかのボタンを押します。

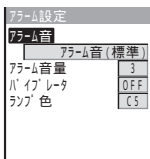
- アラーム音に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合、ｉモーションの映像が表示されます。
- 電源OFF時はスケジュールアラームが動作しません。
- 音声電話通話中にアラーム時刻になると、アラーム音(標準)が受話口から鳴ります。バイブレータは振動しません。
- 他の動作中にアラーム時刻になると、通話または待受状態になったときに動作する場合があります。
- 電池パックを外した状態または空の状態でFOMA端末をしばらく放置すると、日付時刻がリセットされ、スケジュールアラームが正しく動作しない場合があります。

スケジュールアラームの動作を設定する

お買い上げ時	アラーム音：アラーム音(標準)／アラーム音量：3／バイブレータ：OFF／ランプ色：C5:ランプ色5

スケジュールアラームの動作の詳細を設定します。

1 **カレンダーで ✉ (機能)を押す**
機能メニューが表示されます。

2 **[スケジュール設定]→[スケジュールアラーム設定]を選び ◉ を押す**

3 **[アラーム音]にデータBOXのメロディ/ｉモーションからアラーム音を選択する**

- メロディからSMF形式/MFi形式のメロディ、ｉモーションから画像サイズが[sQCIF(128×96)]、[QCIF(176×144)]の映像と音声が含まれるｉモーション/音声のみのｉモーションを設定できます。ｉモーションによっては設定できないことがあります。

アラーム音を鳴らさない場合
[サイレント]を選択します。

アラーム音を確認する場合
アラーム音にカーソルをあわせ、(ch) (聞く/再生)を押します。

4 **[アラーム音量]に音量を設定する**
[OFF]、[1～5]から選択します。

[OFF]に設定する場合
レベル1で ▽ を押します。

5 **[バイブレータ]に振動パターンを選択する**

[パターン1]：
振動/停止を繰り返します。
[パターン2]：
長めの振動/停止を繰り返します。
[メロディ連動]：
アラーム音にあわせて振動します。アラーム音を[サイレント]に設定している場合や、連動できないメロディを設定している場合は、[パターン1]で振動します。
[OFF]：
バイブレータを設定しません。

振動を確認する場合
パターンにカーソルをあわせ、(i) (確認)を押します。

6 **[ランプ色]にランプ色を選択する**
12色のランプ色、[C13:ALL](12色が順番に点滅)から選択します。
カーソルをあわせると、着信ランプが点滅します。

7 **(i) (完了)を押す**
スケジュールアラームの動作が設定されます。

スケジュールを表示する

登録したスケジュールは、カレンダーから確認できます。

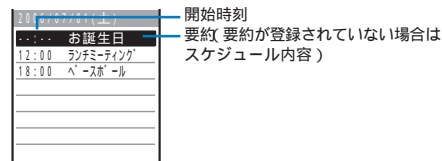
1 **メニューで[生活ツール]→[スケジュール]を選び ◉ を押す**

カレンダーが表示されます。

- (予) を押すと翌月のカレンダーに、(予) を押すと前月のカレンダーに切り替えることができます。

待受画面にカレンダーを設定している場合
待受画面で ◉ (リンク)を押し、カレンダーを選択すると、スケジュールを起動できます。

日付を指定してカレンダーを表示する場合
機能メニュー[日付指定表示]を選択し、日付を入力します。
2000/01/01～2050/12/31の範囲で入力します。

2 **日付を選び ◉ を押す**

スケジュール一覧が表示されます。

- ▷ を押すと翌日に、◁ を押すと前日に切り替えることができます。

3 スケジュールを選び ◉ を押す

スケジュールの詳細が表示されます。

スケジュールを修正する場合

(修正)を押します。

● 繰り返しに2050/12/31を超える繰り返し回数を設定した場合、スケジュールを表示したときに繰り返し最後の日が［2050/12/31まで］と表示されます。

スケジュールを削除する

スケジュールは5とおりの方法で削除できます。

1件削除	スケジュールを1件削除します。繰り返しが設定されているスケジュールは繰り返しも含めて削除します。
選択削除	複数のスケジュールを選択して削除します。一度に30件のスケジュールを日をまたいで選択できます。繰り返しが設定されているスケジュールは繰り返しも含めて削除します。
1日削除	1日分のスケジュールをすべて削除します。繰り返しが設定されているスケジュールは削除できません。
前日以前削除	選択した日付より前のスケジュールをすべて削除します。繰り返しが設定されているスケジュールが選択した日付以降にあると削除できません。
全件削除	すべてのスケジュールを削除します。

例：1件ずつ削除する場合

1 メニューで［生活ツール］→［スケジュール］を選び ◉ を押す

すべて削除する場合

機能メニュー［削除］→［全件削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

前日以前をすべて削除する場合

日付にカーソルをあわせ、機能メニュー［削除］→［前日以前削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

1日分を削除する場合

日付にカーソルをあわせ、機能メニュー［削除］→［1日削除］→［はい］を選択します。

2 日付を選び ◉ を押す

複数選択して削除する場合

機能メニュー［削除］→［選択削除］を選択し、スケジュールを複数選択して (完了)を押し、［はい］を選択します。

3 スケジュールを選び (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

4 ［削除］→［1件削除］→［はい］を選び ◉ を押す

選択したスケジュールが削除されます。

休祝日を設定する

お買い上げ時	当日設定：祝日法で定める祝日／曜日設定：日曜日

特定の日または曜日を休祝日に設定/解除できます。休祝日に設定すると、日付が赤色で表示されます。

当日設定	特定の日を1日単位で休祝日に設定/解除します。1,000件まで設定/解除できます。
曜日設定	曜日単位で休祝日に設定/解除します。
前日以前解除	選択した日付より前の当日設定をすべて解除します。
全解除	設定されているすべての当日設定/曜日設定を解除します。
休祝日リセット	設定されている休祝日の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

例：特定の日を休祝日に設定/解除する場合

1 メニューで［生活ツール］→［スケジュール］を選び ◉ を押す

すべて解除する場合

機能メニュー［スケジュール設定］→［休祝日設定］→［全解除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

前日以前を解除する場合

日付にカーソルをあわせ、機能メニュー［スケジュール設定］→［休祝日設定］→［前日以前解除］→［はい］を選択します。

曜日単位で設定/解除する場合

機能メニュー［スケジュール設定］→［休祝日設定］→［曜日設定］を選択し、曜日を選択して (完了)を押します。

お買い上げ時の状態に戻す場合

機能メニュー［スケジュール設定］→［休祝日設定］→［休祝日リセット］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

2 日付を選び (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

3 ［スケジュール設定］→［休祝日設定］を選び ◉ を押す

休祝日設定画面が表示されます。

4 ［当日設定］→［はい］を選び ◉ を押す

選択した日が休祝日に設定/解除されます。

● 祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律」(平成13年法律第59号)および(平成17年法律第43号)に基づいています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります。(2006年5月現在)
祝日が変更・新設された場合は休祝日を設定してください。

スケジュールの登録件数を確認する

登録されているスケジュールの件数、登録可能な残りの件数、およびシークレット登録されているスケジュールの件数を確認できます。

1 カレンダーで ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [登録件数確認]を選び ● を押す

[残りメモリ]：
登録できるスケジュールの残り件数

[登録メモリ]：
スケジュールの登録件数（シークレット登録件数を含む）

[シークレット登録]：
シークレット登録されている件数（シークレット表示を[ON]に設定しているときのみ表示されます）

よく使う機能を手早く実行する

お買い上げ時	カメラ、着せかえメニュー、バーコード認識、赤外線受信

よくお使いになる機能をマイセレクトに登録しておくと、簡単に呼び出すことができます。
マイセレクトには最大20個の機能を登録できます。

1 待受画面で chMY（ｉチャネル）を1秒以上押し、iα（追加）を押す

登録した機能を削除する場合
待受画面で chMY（ｉチャネル）を1秒以上押し、機能にカーソルをあわせ、機能メニュー[1件削除]→[はい]を選択します。

マイセレクトをお買い上げ時の状態に戻す場合
待受画面で chMY（ｉチャネル）を1秒以上押し、機能メニュー[初期化]→[はい]を選択します。

マイセレクトを並べ替える場合
待受画面で chMY（ｉチャネル）を1秒以上押し、機能メニュー[並べ替え]→機能を選択し、移動先にカーソルをあわせて ●（移動先）を押し、iα（完了）を押します。

2 機能を選び iα（登録）を押す

追加確認画面が表示されます。

3 [はい]を選び ● を押す

選択した機能がマイセレクトに追加されます。

相手の声や自分の声を録音する

音声通話中に相手の声を録音したり、待受中に自分の声を録音したりできます。
音声メモは1件あたり約15秒、3件まで録音できます。

- 音声メモが3件録音されている場合、通話中に音声メモを録音すると古い音声メモに上書きされます。待受中に音声メモを録音しようとすると古い音声メモに上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。

待受中に自分の声を録音する

1 待受画面で メモ を押し、[音声メモ録音]→[はい]を選び ● を押す

録音が始まります。録音終了時に音が鳴ります。

録音を途中で停止する場合
●（停止）を押します。

通話中に相手の声を録音する

1 通話中に メモ を押す

録音が始まります。録音終了時に音が鳴ります。

録音を途中で停止する場合
●（停止）を押します。

- 待受中に音声メモを録音しているときに電話がかかってきたり、メールを受信したり、めざまし時計/スケジュールアラームが起動したりすると、録音を中断して保存します。
- 音声メモを再生/削除する場合は、P.66をご覧ください。

通話時間・料金を確認する

お買い上げ時	通話料金表示－音声通話料金・デジタル通話料金：＊＊＊＊＊＊YEN 通話時間表示－音声通話・デジタル通信：0:00 積算料金表示－積算料金：0YEN／積算料金リセット時：----/--/-- --:-- 積算時間表示－音声電話・デジタル通信：0:00／積算時間リセット日時：----/--/-- --:--

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間/料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

1 メニューで[NWサービス]→[通話料金表示]を選び ◉ を押す

通話料金表示画面が表示されます。

[通話料金表示]：
[音声通話料金]に直前の音声電話、[デジタル通信料金]に直前のテレビ電話、64Kデータ通信の料金が表示されます。かけた場合のみカウントされます。

[通話時間表示]：
[音声通話]に直前の音声電話、[デジタル通信]に直前のテレビ電話、64Kデータ通信の時間が表示されます。かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。

[積算料金表示]：
前回リセット時から現在までの通話料金の累計が表示されます。

[積算時間表示]：
前回リセット時から現在までの通話時間の累計が表示されます。

2 通話情報の項目を選び ◉ を押す

- フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内(104)などに通話した場合、通話料金は「0円」または「＊＊＊＊＊＊円」が表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金(2004年12月から積算)が表示されます。
  ※ 901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金を表示することはできません。(FOMAカードには蓄積されています)
- ｉモード通信やパケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、ｉモードご契約時にお渡しする『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- 前回の音声通話時間やデジタル通信時間が99時間59分59秒を超えた場合や、積算の音声通話時間やデジタル通信時間が9,999時間59分59秒を超えると、「Over」と表示されます。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合は、切り替えるたびにそれぞれ音声通話、デジタル通信の通話時間・通話料金にカウントされます。

積算通話時間と積算通話料金をリセットする

現在まで累積している通話時間・通話料金の表示をリセットできます。リセットすると、再び0からカウントを開始します。

例： 積算通話時間をリセットする場合

1 メニューで[NWサービス]→[通話料金表示]→[積算リセット]を選び ◉ を押す

2 [積算時間]を選び ◉ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

積算通話料金をリセットする場合
[積算料金]を選択し、PIN2コードを入力して[はい]を選択します。

3 端末暗証番号を入力し、◉ (OK)を押す

リセット確認画面が表示されます。

4 [はい]を選び ◉ を押す

通話時間がリセットされ、リセット日時が更新されます。

積算料金を自動でリセットする

お買い上げ時	OFF

毎月1日の0時に積算通話料金を自動でリセットできます。

1 メニューで[NWサービス]→[通話料金表示]→[積算料金自動リセット]を選び ◉ を押す

PIN2コード入力画面が表示されます。

2 PIN2コードを入力し、◉ (OK)を押す

積算料金自動リセット画面が表示されます。

3 [ON]/[OFF]を選び ◉ を押す

積算料金自動リセットが設定されます。

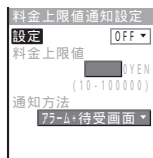
通話料金の上限を設定して知らせる

お買い上げ時	設定：OFF／料金上限値：－／ 通知方法：アラーム＋待受画面

通話料金の上限値を設定し、積算通話料金がその上限値を超えたときに、アイコンやアラーム音でお知らせすることができます。

1 メニューで[NWサービス]→[通話料金表示]→[料金上限値通知設定]を選び ◉ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、◉（OK）を押す

3 ［設定］に料金上限値通知の［ON］/［OFF］を選択する

4 ［料金上限値］に通話料金の上限値を入力する

10～100,000YEN（10YENきざみ）の範囲で入力します。

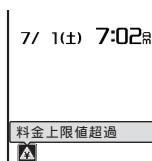
5 ［通知方法］にお知らせ方法を選択する

［アラーム＋待受画面］：
待受画面にアイコンを表示し、同時にアラーム音でお知らせします。

［待受画面］：
待受画面にアイコンを表示してお知らせします。

6 （完了）を押す

料金上限値通知設定が設定されます。

通話料金が上限値を超えると

通話中または通信中に設定した料金の上限値を超えると、待受画面に「」（料金上限値超過）の通知情報アイコンが表示されます。
通知方法を［アラーム＋待受画面］に設定しているときは、待受画面に戻ったときにアラーム音も鳴ります。

通話料金を確認する場合
待受画面で◉（リンク）を押し、「」を選択します。

- 通話料金上限通知アラーム音は、電話着信の音量で鳴ります。［3］以上、［STEP DOWN］、［STEP UP］を設定した場合は、レベル2で音が鳴ります。

上限を知らせるアイコンを消去する

通知情報アイコン「」を消去します。

1 メニューで［NWサービス］→［通話料金表示］→［上限値通知アイコン消去］を選び◉を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、◉（OK）を押す

料金上限値通知アイコン消去確認画面が表示されます。

3 ［はい］を選び◉を押す

「」が消えます。

電卓として使う

FOMA端末で、四則計算（たし算、ひき算、かけ算、わり算）の計算ができます。

例：64×5を計算する場合

1 メニューで［生活ツール］→［電卓］を選び◉を押す

2 数字と演算子を入力して計算する

6 4 ▲ 5 # の順に押します。

0～9	0 ～ 9
たす（＋）	▶
ひく（－）	◀
かける（×）	▲
わる（÷）	▼
小数点（．）	＊
計算の実行（＝）	# または◉
数字の取消（C）/ 計算結果の消去（AC）	CLR

- 入力または表示できる数字は9桁までです。10桁目以降は切り捨てて表示されます。（「.（小数点）」、「－（マイナス）」は含みません）
- 計算結果が10桁以上になる場合や計算できない数値を入力した場合（0のわり算など）は、「0E」と表示されます。
- 最初に負数がくる場合のみ負数計算ができます。

メモを入力する

必要な情報をテキストメモに登録できます。テキストメモは10件まで登録できます。

- ［内容］を入力すると、（完了）が表示され登録できます。

1 メニューで［生活ツール］→［テキストメモ］を選び◉を押し、（新規）を押す

2 ［内容］にメモの内容を入力する

全角256文字、半角512文字以内で入力します。

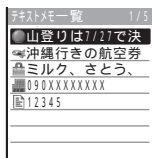
3 ［分類］に分類アイコンを選択する

4 （完了）を押す

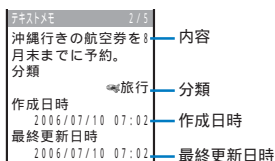
メモが登録されます。

メモを表示する

登録したメモの内容を確認できます。

1 メニューで[生活ツール]→[テキストメモ]を選び◉を押す

メモの[内容]をコピーする場合
メモにカーソルをあわせ、機能メニュー[テキストメモコピー]→[はい]を選択します。

メモを削除する場合
メモにカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。メモを複数選択して削除する場合は、機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、メモを複数選択して (完了)を押し、[はい]を選択します。
すべてのメモを削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

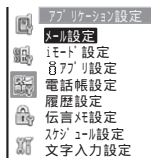
2 メモを選び◉を押す

メモが表示されます。

メモを修正する場合
(修正)を押します。

各種機能の設定画面を表示する

各機能の設定画面を直接表示し、各項目を設定できます。設定内容の詳細はそれぞれのページをご覧ください。

画面表示	設定内容
メール設定	iモードメール、SMSに関する機能を設定します。(P.202、210など)
iモード設定	iモードに関する機能を設定します。(P.91、161など)
iアプリ設定	ソフトの自動起動、ダウンロード時のソフト情報表示などを設定します。(P.214、217)
電話帳設定	電話帳の表示形式、文字サイズなどを設定します。(P.84)
履歴設定	リダイヤルや着信履歴の表示/非表示などを設定します。(P.113)
伝言メモ設定	伝言メモのON/OFF、伝言メモの応答時間、テレビ伝言メモの応答/録画画像などを設定します。(P.65)
スケジュール設定	休祝日、スケジュールアラームの動作などを設定します。(P.252、253)
文字入力設定	文字入力に関する機能を設定します。(P.273、275など)

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]を選び◉を押す

2 機能を選び◉を押す
各機能の設定画面が表示されます。

EV-Linkを利用する

EV-Linkとはメール(E-mail)と音声通話(Voice)を自由に使えるようにLinkさせる機能です。電話の履歴に対してメールで返信したり、メールに対して電話で返信したりすることが簡単にできます。

履歴の相手にメールを送信する

相手の電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されている場合、リダイヤル、着信履歴から簡単にメールを送信できます。

1 履歴を選び(機能)を押す
機能メニューが表示されます。

2 [メールで返信]を選び◉を押す
メール編集画面が表示されます。
宛先には選択したメールアドレスが入力されています。

メールアドレスが複数登録されている場合
メールアドレスを選択します。

3 メールを作成し、送信する

- iモードメール作成・送信(P.181操作3〜5)と同じ操作を行ってください。

メールの相手に電話をかける

相手のメールアドレスと電話番号が電話帳に登録されている場合、メールから簡単に音声電話やテレビ電話をかけることができます。

1 受信メール一覧でメールを選び ◉ を押し、✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［電話で返信］を選び ◉ を押す

3 ☎ を押す

電話がかかります。

テレビ電話をかける場合

ch（テレビ電話）を押します。

電話番号が複数登録されている場合

電話番号を選択し、☎ または ch（テレビ電話）を押します。

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続すると、スイッチを押すだけで音声電話やテレビ電話を受けたり、音声電話をかけたりできます。また、イヤホンマイクの動作も設定できます。

- PIMロック設定中は、電話をかけることができません。

- イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下することがあります。
- イヤホンマイクのコードをアンテナ部に近づけると、ノイズが入ることがあります。

スイッチを使って電話をかける

あらかじめ発信メモリ番号（P.258）に登録した電話帳のメモリ番号に登録されている1件目の電話番号に、イヤホンマイクのスイッチを押すだけで音声電話をかけることができます。

1 イヤホンマイクを接続する

- イヤホンマイク端子のカバーを開け、イヤホンマイクの接続プラグを差し込みます。

2 待受画面でイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピピッ」という音が鳴り相手を呼び出します。相手が電話に出たらお話しください。

3 通話が終わったらイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピー」という音が鳴り電話が切れます。

- シークレット登録した電話帳のメモリ番号を発信メモリ番号に設定した場合は、シークレット表示を［ON］に設定しないと、スイッチを押して電話をかけることができません。

スイッチを使って電話を受ける

1 着信したらイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピピッ」という音が鳴り電話がつながります。

2 通話が終わったらイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピー」という音が鳴り電話が切れます。

イヤホンマイクの動作を設定する

お買い上げ時	設定：OFF／発信メモリ番号：999

イヤホンマイクのスイッチで音声電話やテレビ電話を受けるかどうかを設定します。また、スイッチを押して音声電話をかける電話帳のメモリ番号も設定できます。

1 メニューで［設定］→［発着信通話］→［イヤホン設定］→［イヤホンスイッチ設定］を選び ◉ を押す

2 ［設定］にイヤホンマイクのスイッチの［ON］/［OFF］を選択する

［ON］：
イヤホンマイクのスイッチで音声電話の発着信、テレビ電話の着信を行います。

［OFF］：
イヤホンマイクのスイッチを使用しません。

3 ［発信メモリ番号］に音声電話発信時に使用する電話帳のメモリ番号を入力する

000～999の範囲で入力します。

4 i（完了）を押す

イヤホンスイッチ設定が設定されます。

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

お買い上げ時　設定：OFF／応答時間：5秒

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話を自動的に受けるように設定できます。

- 自動着信を［ON］に設定すると、FOMA端末を閉じた状態でも自動的に電話を受けることができます。また、テレビ電話着信時は、代替画像が送信されます。

1 メニューで［設定］→［発着信通話］→［イヤホン設定］→［自動着信設定］を選び ◉ を押す

2 ［設定］に自動着信の［ON］/［OFF］を選択する

3 ［応答時間］に自動で着信するまでの時間を入力する

000～120秒の範囲で入力します。

4 (完了)を押す

自動着信設定が設定されます。

- 伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスと自動着信設定を同時に設定する場合、自動着信設定を優先させるには、自動着信の応答時間を伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスの応答時間・呼び出し時間設定よりも短く設定してください。

各種機能の設定を初期状態に戻す

各機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。設定リセットでリセットされる機能とお買い上げ時の設定については、リセット一覧（P.260）およびメニュー一覧（P.278）をご覧ください。

1 メニューで［設定］→［管理］→［リセット］→［設定リセット］を選び ◉ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、◉（OK）を押す

リセット確認画面が表示されます。

3 ［はい］を選び ◉ を押す

設定がリセットされます。

登録データを一括して削除する

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。データ一括削除でリセットされる機能については、リセット一覧（P.260）およびメニュー一覧（P.278）をご覧ください。

- 次のデータは削除されません。
  - データBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディ、キャラ電にお買い上げ時に登録されているデータ
  - お買い上げ時に登録されているデコメールテンプレート/着せかえデータ
  - ｉチャネル
- お買い上げ時に登録されているｉアプリのソフトの「Gガイド番組表リモコン」、「ケータイポストペット for SO」、「PostPetリバーシ for SO」は削除されます。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除していても、データ一括削除を行うと元に戻ります。
- お買い上げ時に登録されているフォルダは削除されませんが、フォルダ名はお買い上げ時の名前に戻ります。

1 メニューで［設定］→［管理］→［リセット］→［データ一括削除］を選び ◉ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、◉（OK）を押す

データ一括削除確認画面が表示されます。

3 ［はい］を選び ◉ を押す

再起動実行確認画面が表示されます。

4 ［はい］を選び ◉ を押す

FOMA端末が初期化されて再起動します。

リセット一覧

各機能の機能メニューなどから設定した内容で、設定リセットやデータ一括削除でリセットされる項目は次のとおりです。メニュー画面から操作できる機能については、メニュー一覧(P.278)をご覧ください。

○ お買い上げ時の設定に戻る項目

メニュー			お買い上げ時	設定リセット	データ一括削除	参照ページ
メインメニュー		メニュー画面の表示サイズ	通常サイズ	○	○	P.31
電話帳		グループ設定	－		○	P.82
データBOX	マイピクチャ	一覧表示切替	4画面	○	○	P.240
		スライドショー	間隔：3秒、画像方向：縦	○	○	P.227
	iモーション	一覧表示切替	4画面	○	○	P.240
		連続再生	画像方向：縦	○	○	P.229
		音量調節	25	○	○	P.230
メモリースティック(データBOXの設定と共通)						－
カメラ		サイズ選択	静止画：待受(240×320)、動画：QCIF(176×144)	○	○	P.130
		保存先選択	データBOX	○	○	P.136
		自動保存	OFF	○	○	P.136
		撮影画質	スタンダード	○	○	P.134
		シャッター音	シャッター音1	○	○	P.135
		ファイルサイズ制限	メール添付(小)	○	○	P.135
		撮影種別	映像＋音声	○	○	P.134
めざまし時計		アラーム	時刻：00:00、繰り返し：OFF、アラーム音：アラーム音(標準)、アラーム音量：3、バイブレータ：OFF、ランプ色：C5:ランプ色5、スヌーズ：OFF	○	○	P.250
ソフトウェア更新		予約更新の時刻	－		○	P.315

ネットワークサービス

本書では、各ネットワークサービスの概要をFOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。また、マルチナンバーについては『マルチナンバー操作ガイド』をご覧ください。

利用できるネットワークサービス 262
留守番電話サービスを利用する 262
キャッチホンを利用する 263
転送でんわサービスを利用する 263
迷惑電話ストップサービスを利用する 263
番号通知お願いサービスを利用する 264
デュアルネットワークサービスを利用する 264
英語ガイダンスを利用する 264
サービスダイヤルを利用する 264
通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選ぶ ....〈通話中着信動作選択〉265
遠隔操作を設定する ....〈遠隔操作設定〉265
マルチナンバーを利用する 265
サービスを登録して利用する ....〈追加サービス(USSD)登録〉266

利用できるネットワークサービス

本書では、各ネットワークサービスの概要をFOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。また、マルチナンバーについては『マルチナンバー操作ガイド』をご覧ください。

サービス名	お申し込み	月額利用料	参　照
留守番電話サービス	要	有料	P.262
キャッチホン	要	有料	P.263
転送でんわサービス	要	無料	P.263
迷惑電話ストップサービス	要	無料	P.263
発信者番号通知	不要	無料	P.41
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.264
デュアルネットワークサービス	要	有料	P.264
英語ガイダンス	不要	無料	P.264
マルチナンバー	要	有料	P.265
追加サービス(USSD)登録	不要	無料	P.266
公共モード (ドライブモード)	不要	無料	P.60
公共モード(電源OFF)	不要	無料	P.62

- お申し込みが必要なサービスについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録できます。(P.266)
- ネットワークサービスの操作はネットワークサービスセンターに接続して行うため、圏外のときは操作できません。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの「サービスの停止」とは、サービスの契約そのものを解約するものではありません。

留守番電話サービスを利用する

お買い上げ時　件数増加鳴動設定：ON

電波の届かない所にいるときや電源を切っているときに音声電話やテレビ電話※がかかってきた場合、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。
伝言メッセージをお預かりしているときに電話をかける/受けると、待受画面に「📼」(留守番メッセージ)を表示してお知らせします。

- 伝言メッセージの録音/録画時間は1件あたり最長3分、音声電話とテレビ電話それぞれ最大20件で、最長72時間保存されます。※
- 留守番電話サービスセンターに転送されるまでの間は、電話に出ることができます。留守番電話サービスセンターに転送されるまでの時間(呼び出し時間)は変更できます。(P.262)
- 留守番電話サービスは、転送でんわサービスを「開始」に設定した場合、自動的に停止状態になります。

※ テレビ電話については、2006年5月現在本サービスをご利用できません。

■ 留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1　サービスを開始に設定する
ステップ2　電話をかけてきた方が伝言を録音する
ステップ3　伝言メッセージを再生する

1 **メニューで[NWサービス]→[留守番電話]を選び◉を押す**

2 **各項目を設定する**

メニュー項目		機能と操作
留守番サービス開始		[留守番サービス開始]→[開始]/[呼出時間+開始](→[呼出時間])→[はい]→◉ • 呼び出し時間を変更して留守番電話サービスを開始する場合は、[呼出時間+開始]を選択し、呼び出し時間(000〜120秒)を入力します。
留守番呼出時間設定		[留守番呼出時間設定]→[呼出時間]に呼び出し時間(000〜120秒)を入力→ⓘ(完了) • 呼び出し時間を0秒に設定すると、着信動作を行わず留守番電話サービスセンターに接続されます。着信履歴には記録されません。
留守番サービス停止		[留守番サービス停止]→[はい]→◉
留守番設定確認		[留守番設定確認]→◉
留守番メッセージ再生		[留守番メッセージ再生]→[はい]→◉→音声ガイダンスに従って操作 • 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。 • 待受画面で◉(リンク)を押し、「📼」(留守番メッセージ)を選択してもメッセージを再生できます。
留守番サービス設定		[留守番サービス設定]→[はい]→◉→音声ガイダンスに従って操作
メッセージ問合せ		伝言メッセージの有無を留守番電話サービスセンターに確認します。 [メッセージ問合せ]→◉
件数増加鳴動設定		新しい伝言メッセージをお預かりしたときに、着信音を鳴らしてお知らせするかどうかを設定します。 [件数増加鳴動設定]→[ON]/[OFF]→◉
留守番アイコン消去		[留守番アイコン消去]→[はい]→◉
着信通知	着信通知開始	電源OFF時や圏外時の着信をSMSでお知らせします。 [着信通知]→[着信通知開始]→[全着信]/[発番号あり]→「はい」→◉ • [発番号あり]に設定すると、発信者番号通知された着信のみを通知します。 • SMS1件につき最大5件まで着信を通知します。 • SMS一括拒否を設定している場合でも着信を通知します。 • 設定、通知(SMS受信)にかかる料金は無料です。 • 電話帳に登録していても、相手の発信者番号が通知され、電話帳に登録した名前は表示されません。
	着信通知停止	[着信通知]→[着信通知停止]→[はい]→◉
	着信通知設定確認	[着信通知]→[着信通知設定確認]→◉

テレビ電話※のサービスについて

● テレビ電話の伝言メッセージをお預かりした場合、SMSでお知らせします。
● 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更する場合は、待受画面で 1 4 1 2 ✆ を押し、音声ガイダンスに従って操作してください。
● AV32Kテレビ電話による留守番電話接続はできません。
● キャラ電で留守番電話に接続された場合、DTMF操作が行えません。機能メニューから[DTMF送出モード]に切り替えてください。(P.73)
※ 2006年5月現在、本サービスはご利用できません。

ネットワークサービス　利用できるネットワークサービス

キャッチホンを利用する

通話中に別の相手から電話がかかってきたことを、通話中着信音「ププ…ププ…」でお知らせします。現在の通話を保留にしたまま、別の相手と通話できます。
テレビ電話通話中はキャッチホンをご利用できません。着信履歴には記録されます。

- キャッチホンを利用するときは、着信動作選択を[通常着信]に設定してください。通話中着信設定の開始/停止操作にかかわらず、キャッチホンを利用できます。

1 メニューで[NWサービス]→[キャッチホン]を選び ◉ を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	機能と操作
キャッチホンサービス開始	[キャッチホンサービス開始]→[はい]→ ◉
キャッチホンサービス停止	[キャッチホンサービス停止]→[はい]→ ◉
キャッチホンサービス設定確認	[キャッチホンサービス設定確認]→ ◉

- 現在の通話を保留にして、かかってきた電話に出る場合は、◉（通話）を押します。◉（呼切替）を押すたびに通話中の相手を切り替えることができます。保留中の通話を終了する場合は、機能メニュー[保留呼切断]を選択します。
- 現在の通話を終了して、かかってきた電話に出る場合は、[HLD] を押し、[通話] を押します。

転送でんわサービスを利用する

電波の届かない所にいるときや電源を切っているときなどにかかってきた電話を、オフィスやご家庭などあらかじめ登録した転送先に転送します。

- 転送先として1件登録できます。
- 電話が転送されるまでの間は、電話に出ることができます。電話が転送されるまでの時間（呼び出し時間）は変更できます。（P.263）
- テレビ電話がかかってきた場合、転送先が3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機でないと切断されます。

■ 転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1	転送先の電話番号を登録する
ステップ2	転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ3	お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4	電話に出ないと自動的に指定した転送先へ転送される
ステップ5	電話をかけた方が転送先と話す

1 メニューで[NWサービス]→[転送でんわ]を選び ◉ を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	機能と操作
転送サービス開始	[転送サービス開始]→[開始]/[設定＋開始]（→[転送先設定]→[呼出時間設定]）→[はい]→ ◉ • 転送先電話番号と呼び出し時間を変更して転送でんわサービスを開始する場合は、[設定＋開始]を選択し、転送先電話番号（26桁以内）と呼び出し時間（000～120秒）を入力します。 • 呼び出し時間を0秒に設定すると、着信動作を行わず転送先に転送されます。着信履歴には記録されません。
転送サービス停止	[転送サービス停止]→[はい]→ ◉
転送先変更	[転送先変更]→転送先電話番号（26桁以内）を入力→[設定]/[設定＋開始]→ ◉
転送先通話中時設定	転送先が通話中の場合に、留守番電話サービスセンターに接続するかどうかを設定します。 [転送先通話中時設定]→[接続しない]/[接続する]→ ◉
転送サービス設定確認	[転送サービス設定確認]→ ◉

- 転送でんわガイダンスの有無を設定する場合は、待受画面で [1] [4] [2] [9] [通話] を押し、音声ガイダンスに従って操作してください。

迷惑電話ストップサービスを利用する

迷惑電話を自動的に着信拒否できます。迷惑電話を登録すると、以降、同じ電話番号から電話がかかってきたときに、着信を拒否するガイダンスを流して通話を終了します。

- 最大30件登録できます。
- 着信拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合、着信拒否の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。
- 登録した電話番号は、確認や問い合わせできません。登録した電話番号はメモなどに控えておくことをおすすめします。
- 登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴にも記録されません。

1 メニューで[NWサービス]→[迷惑電話ストップ]を選び ◉ を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	機能と操作
迷惑電話拒否登録	最後に応答した電話番号を登録します。 [迷惑電話拒否登録]→[はい]→ ◉
番号指定拒否登録	[番号指定拒否登録]→電話番号（22桁以内）を入力→[はい]→ ◉
拒否登録全削除	[拒否登録全削除]→[はい]→ ◉
拒否登録1件削除	最後に登録した電話番号1件のみを削除します。 [拒否登録1件削除]→[はい]→ ◉
拒否登録件数確認	[拒否登録件数確認]→ ◉

番号通知お願いサービスを利用する

発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合、発信者に番号通知を依頼するガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

- 非通知のテレビ電話がかかってきた場合、番号通知お願いの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。

1 **メニューで[NWサービス]→[番号通知お願いサービス]を選び ◉ を押す**

2 **各項目を設定する**

メニュー項目	機能と操作
番号通知お願い開始	[番号通知お願い開始]→[はい]→ ◉ • 番号通知お願いサービスを「開始」に設定しているときに非通知設定の音声電話がかかってきた場合、着信音は鳴りません。着信履歴にも記録されません。
番号通知お願い停止	[番号通知お願い停止]→[はい]→ ◉
番号通知お願い確認	[番号通知お願い確認]→ ◉

デュアルネットワークサービスを利用する

デュアルネットワークサービスを利用すると、1つの電話番号でFOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

1 **メニューで[NWサービス]→[デュアルネットワーク]を選び ◉ を押す**

2 **各項目を設定する**

メニュー項目	機能と操作
デュアルネットワーク切替	FOMA端末が利用できるように、デュアルネットワークサービスを切り替えます。 [デュアルネットワーク切替]→ネットワーク暗証番号を入力→[はい]→ ◉
デュアルネットワーク状態確認	[デュアルネットワーク状態確認]→ ◉

英語ガイダンスを利用する

発着信時の音声ガイダンス、留守番電話サービスや転送でんわサービスなどの各種ネットワークサービス設定時の音声ガイダンスを、英語に設定できます。
発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の設定より優先されます。

1 **メニューで[NWサービス]→[英語ガイダンス]を選び ◉ を押す**

2 **各項目を設定する**

メニュー項目	機能と操作
ガイダンス設定	[ガイダンス設定]→ガイダンス設定対象([発信+着信]/[発信]/[着信])→発信時ガイダンス言語([日本語]/[英語])→着信時ガイダンス言語([日本語]/[日本語+英語]/[英語+日本語])→ ◉ ● ガイダンス設定対象 • [発信+着信]：発信時に自分が聞くガイダンスと着信時に相手が聞くガイダンスの両方を設定します。 • [発信]：発信時に自分が聞くガイダンスを設定します。 • [着信]：着信時に相手が聞くガイダンスを設定します。
ガイダンス設定確認	[ガイダンス設定確認]→ ◉

サービスダイヤルを利用する

ドコモ故障窓口や、ドコモ総合案内・受付へ電話をかけます。

- お使いのFOMAカードによっては、ドコモ故障窓口とドコモ総合案内・受付の項目番号が異なる場合や表示されない場合があります。

1 **メニューで[NWサービス]→[サービスダイヤル]を選び ◉ を押す**

2 **問い合わせ先を選択する**

メニュー項目	機能と操作
ドコモ故障問合せ	ドコモの故障お問い合わせ先に電話をかけます。 [ドコモ故障問合せ]→[はい]→ ◉
ドコモ総合案内・受付	DoCoMo インフォメーションセンターに電話をかけます。 [ドコモ総合案内・受付]→[はい]→ ◉

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選ぶ

お買い上げ時　通常着信

音声電話通話中に別の電話がかかってきたときに、留守番電話や転送でんわなどで対応します。かかってきたときの動作を選択します。

- 通話中に電話がかかってきた場合は、着信履歴に記録されます。

1 メニューで[NWサービス]→[着信動作選択]を選び ◉ を押す

2 着信動作を選択する

メニュー項目	機能と操作
通常着信	電話を受けたり、留守番電話サービスセンターや転送でんわサービスで登録した転送先に手動で転送したりできます。 [通常着信]→◉
留守番電話	留守番電話サービスで応答します。 [留守番電話]→◉
転送でんわ	あらかじめ登録されている転送先に転送します。 [転送でんわ]→◉
着信拒否	着信を拒否します。 [着信拒否]→◉

通話中着信設定を開始/停止する

着信動作選択で選択した対応を開始/停止します。

1 メニューで[NWサービス]→[通話中着信設定]を選び ◉ を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	機能と操作
通話中着信設定開始	[通話中着信設定開始]→[はい]→◉
通話中着信設定停止	[通話中着信設定停止]→[はい]→◉
通話中着信設定確認	[通話中着信設定確認]→◉

遠隔操作を設定する

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるように設定します。

1 メニューで[NWサービス]→[遠隔操作設定]を選び ◉ を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	機能と操作
遠隔操作開始	[遠隔操作開始]→[はい]→◉
遠隔操作停止	[遠隔操作停止]→[はい]→◉
遠隔操作設定確認	[遠隔操作設定確認]→◉

マルチナンバーを利用する

お買い上げ時　電話番号設定－マルチナンバー発信：OFF／名前：基本契約番号・付加番号1・付加番号2／着信音：着信音1

基本契約番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用になれます。

1 メニューで[NWサービス]→[マルチナンバー]を選び ◉ を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	機能と操作
通常発信番号設定	電話をかけるときに使用する電話番号を設定します。 [通常発信番号設定]→[基本契約番号]/[付加番号1]/[付加番号2]→[はい]→◉
通常発信番号確認	[通常発信番号確認]→◉
電話番号設定	基本契約番号、付加番号1、付加番号2の名前、電話番号、着信音を設定します。 [マルチナンバー発信]→[ON]/[OFF]→[NAME]に名前（全角10文字、半角20文字以内）を入力→[1st No.]/[2nd No.]に電話番号（26桁以内）を入力→[♪]に着信音を選択→ iα（完了） ● マルチナンバー発信 [ON]に設定すると、ここで登録した電話番号が発信メニューに表示され、選択できるようになります。 ● 基本契約番号 名前を設定できます。 ● 付加番号1、付加番号2 名前、電話番号、着信音を設定できます。着信音にはメロディからSMF形式/MFi形式のメロディ、ｉモーションから音声のみのｉモーションを設定できます。ｉモーションによっては設定できないことがあります。着信音を鳴らさない場合は[サイレント]を選択します。

- マルチナンバー未契約の場合、マルチナンバー発信を[OFF]にしてご利用ください。
- マルチナンバー発信を[ON]に設定し発信メニューで選択した電話番号が表示されます。

- 電話がかかってきたときは、着信した電話番号と名前が表示されます。

- FOMAカードを差し替えた場合、付加番号の名前、電話番号が消去されます。再度付加番号の名前、電話番号を設定してください。
- 電話をかけるときに発信メニューで使用する電話番号を手動で選択できます。（P.49）
- リダイヤル、着信履歴を利用して電話をかけた場合、リダイヤル/着信履歴に記録されている電話番号で発信します。

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときに、サービスをメニューに10件まで登録できます。

1 **メニューで[NWサービス]→[追加サービス]→[USSDコマンド追加]を選び ● を押す**

2 **各項目を設定する**

項　目	機能と操作
新しいサービスを登録	[未登録]→ iα (編集)→[サービス名]にサービス名称(全角10文字、半角20文字以内)を入力→[USSD]にUSSDコマンド(20桁以内)を入力→ iα (完了)
サービスを1件削除	サービスにカーソルをあわせる→機能メニュー[1件削除]→[はい]→ ●
サービスをすべて削除	機能メニュー[全件削除]→端末暗証番号を入力→[はい]→ ●
登録したサービスを利用	サービスにカーソルをあわせる→ ●

応答メッセージを登録する

1 **メニューで[NWサービス]→[追加サービス]→[応答ワーディング追加]を選び ● を押す**

2 **各項目を設定する**

項　目	機能と操作
新しい応答メッセージを登録	[未登録]→ iα (編集)→[応答ワーディング]に応答メッセージ(全角10文字、半角20文字以内)を入力→[USSD]にUSSDコマンド(20桁以内)を入力→ iα (完了)
応答メッセージを1件削除	応答メッセージにカーソルをあわせる→機能メニュー[1件削除]→[はい]→ ●
応答メッセージをすべて削除	機能メニュー[全件削除]→端末暗証番号を入力→[はい]→ ●

データ通信

データ通信についての詳細は付属のCD-ROM内の「データ通信マニュアル」(PDF形式)をご覧ください。「データ通信マニュアル」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます。(別途通信料がかかります)
詳細はアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

データ通信について 268
データ通信の準備と流れ 270
AT**コマンド** 270

データ通信について

FOMA端末で利用できるデータ通信は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。

- FOMA端末はRemote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion Ⅱ」や「musea」に接続してデータ通信を行う場合、「sigmarion Ⅱ」/「musea」をアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料がかかる通信形態です。（受信最大384Kbps、送信最大64Kbps）
パケット通信は、FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってパソコンと接続し、各種設定を行うと利用できます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」など、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントをご利用ください。また、FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスし、データの送受信をすることもできます。

- パケット通信は、データ量の多い通信を行うと、通信料が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料がかかる通信形態です。（通信速度64Kbps）
64Kデータ通信は、FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってパソコンと接続し、各種設定を行うと利用できます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」などのFOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントをご利用ください。

- 64Kデータ通信は、長時間通信を行うと、通信料が高額になりますのでご注意ください。

データ転送

赤外線やFOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってデータを送受信する、課金が発生しない通信形態です。赤外線通信では、FOMA端末またはパソコンなど赤外線通信機能を持つ機器とデータを送受信することができます。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料金

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」をご利用いただけます。
「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS 64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザー認証

接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証

パソコンのインターネットブラウザでFirstPass対応サイトを利用するときのアクセス認証で、FirstPass（ユーザー証明書）が必要な場合、付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳細はCD-ROM内の［FirstPassPCSoft］フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます。（別途通信料がかかります）
詳細はアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

■ FirstPass PCソフトの動作環境

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
OS	Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP（各日本語版）（Windows 98には対応していません）
必要メモリ※	32MB以上（Windows XPの場合128MB以上）
ハードディスク容量※	10MB以上の空き容量
インターネットブラウザ	Microsoft Internet Explorer 5.5以上（Windows XPの場合Microsoft Internet Explorer 6.0以上）

※ 必要メモリおよびハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うためには、以下の条件が必要になります。
- FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用できるパソコンであること
- FOMAパケット通信、64Kデータ通信に対応したPDAであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先がFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑している、または電波状態が悪い場合は通信ができないことがあります。

■ 用語解説

● **管理者権限**
Windows XP、Windows 2000 Professionalのシステムのすべてにアクセスできる権限。1台のパソコンに最低1人は管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、管理者権限を持たないユーザーは、通信設定ファイル（ドライバ）のインストールができません。管理者権限の設定については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。

● APN（Access Point Name）
パケット通信で接続先のインターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別する文字列。たとえば「mopera U」の場合は、「mopera.net」がAPNです。

● cid（Context Identifier）
パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末へ書き込むときの登録番号。FOMA端末では、1から10までの10件を登録できます。

FOMA端末のお買い上げ時のcid登録

登録番号（cid）	接続先（APN）
1	mopera.ne.jp（mopera）
2	未設定
3	mopera.net（mopera U）
4～10	未設定

● DNS（Domain Name System）
ドメインネーム（例：nttdocomo.co.jp）をコンピュータで使うIPアドレスに変換するシステム。

● IrDA（Infrared Data Association）
赤外線通信に関する規格を制定している組織の名称。

● IrMC（Ir Mobile Communications）
携帯電話どうしやPDA（携帯情報端末）間でデータを転送する目的で作られた規格。IrMCに準拠した赤外線端子を持つ携帯電話どうしやPDAとの間で、電話番号やスケジュールをやりとりできます。

● OBEX（Object Exchange）
データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応した携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データを送受信できます。

● QoS（Quality of Service）
サービスの品質。通信時にユーザーの意図どおりに回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。

● W-TCP
FOMAネットワークでパケット通信を行うときに、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータ。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

データ通信の準備と流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

■ 通信設定ファイル(ドライバ)・FOMA PC設定ソフトの動作環境

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC/AT互換機
OS※2	Windows 98、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP(各日本語版)
必要メモリ※3	Windows 98、Windows Me：32MB以上 Windows 2000 Professional：64MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク容量※3	5MB以上の空き容量

※1 USBポート(USB仕様1.1/2.0に準拠)が必要です。

※2 OSアップグレードからの動作は保証しかねます。

※3 必要メモリおよびハードディスク容量は、FOMA PC設定ソフトに関する動作環境です。なお、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

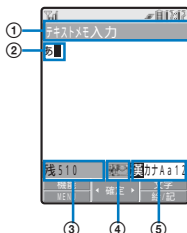
ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の機能の設定や変更を行うためのコマンド(命令)です。
ATコマンドの詳細は付属のCD-ROM内の「データ通信マニュアル」(PDF形式)をご覧ください。

文字入力について

文字入力の概要を説明します。

- 入力できる漢字はJIS第一水準、第二水準などあわせて6,355文字です。
- 複雑な漢字は一部変形もしくは省略しています。

■ 文字入力画面の見かた

※画面はイメージです。

① 文字入力中の機能名が表示されます。
② 入力した文字が表示されます。
③ 入力可能な文字のバイト数が表示されます。半角文字は1バイト、全角文字は2バイトになります。SMSの場合は文字数が表示されます。メール作成中は、入力可能な文字数を超えると「－（マイナス）」が表示されます。入力可能な文字数より10,000文字を超えた場合は、「－9999」と表示されます。また、「約」が表示されることがあります。
④ デコメールの編集中に「」が表示されます。
⑤ 文字モード/絵文字・記号モードが表示されます。
- 編集する項目によって入力できる文字モード/絵文字・記号モードは異なります。

文字モード	
半　角	全　角
[漢]：漢字・ひらがな※	[漢]：漢字・ひらがな
[ｶﾅ]：半角カタカナ	[カ]：全角カタカナ
[Aa]：半角英字	[Ａ]：全角英字
[12]：半角数字	[１]：全角数字

※「漢字・ひらがなモード」は、半角に設定している場合でも全角になります。

絵文字・記号モード
[ ]：絵文字/記号ランキング
[絵]：絵文字
[記]：全角記号
[ｷｺﾞｳ]：半角記号

■ 文字モード/絵文字・記号モードを切り替える

文字モード「半角」の場合

（文字）を押すたびに[漢]→[ｶﾅ]→[Aa]→[12]の順に切り替わります。

文字モード「全角」の場合

（文字）を押すたびに[漢]→[カ]→[Ａ]→[１]の順に切り替わります。

絵文字・記号モードの場合

（絵/記）を押すたびに[ ]→[絵]→[記]→[ｷｺﾞｳ]の順に切り替わります。

■ 全角/半角を切り替える

機能メニュー[全角/半角切替]を選択します。

■ 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力する

最初の文字を入力したあとでカーソルを移動します。

■ 文字を削除する

削除する文字にカーソルをあわせ、CLR を押します。

- CLR を短く押すと、カーソル位置の文字が削除されます。カーソルが文末にあるときは、最後の文字が削除されます。
- CLR を1秒以上押すと、カーソル以降の文字がすべて削除されます。カーソルが文末にあるときは、すべての文字が削除されます。

■ 文字を挿入する

挿入する場所にカーソルをあわせ、入力します。カーソル以降の文字は、挿入した文字の後ろに移動します。

■ 文節の区切りを変更する

目的の漢字に変換できないときは、変換の範囲を変更します。◀ ▶ でカーソルを動かすと、カーソル位置に応じて表示される語句候補リスト/変換候補が変わります。

■ 元に戻す

操作を間違えたときは、機能メニュー[元に戻す]を選択すると、最後の操作を無効にして1つ前の状態に復旧できます。

- [元に戻す]でやり直せるのは、次の操作です。
  - 入力文字の確定（●）
  - 切取、貼付（P.275）
  - 区点コード入力（P.275）
  - 文字の削除（CLR）
  - 電話帳やマイデータなどの引用（P.274）
  - [元に戻す]

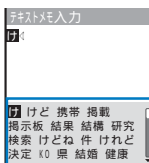
文字を入力する

予測変換方式で入力する

例：「健闘」と入力する場合

1 文字入力画面で文字モードを確認する

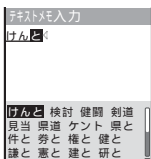
「漢字・ひらがなモード」になっているのを確認します。

2 2ABCカ を4回押す

最初の文字「け」が入力され、「け」から予測される語句候補がリスト表示されます。

- 2ABCカ を1秒以上押すと、「か→き→く→け→こ→か…」と 2ABCカ に割り当てられた文字が連続して切り替わります。

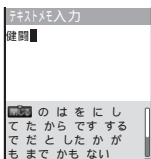
前の文字に戻る場合

ボタンを押し過ぎて目的の文字を行き過ぎてしまったときは、#゛゜ を押します。1回押すごとに1つ前の文字に戻ります。

3 0 を3回、4 を5回押す

「んと」が入力され、「けんと」から予測される語句候補がリスト表示されます。

一時的に通常変換する場合

(変換)を押すと、通常変換による変換候補が表示されます。

4 [健闘]を選び ◉ を押す

「健闘」が入力されます。語句候補リストには、「健闘」の続きとして予測される語句が表示されます。

5 [閉じる]を選び ◉ を押す

語句候補リストが閉じ、「健闘」が確定します。

- 語句候補リストから選択した語句は、次から語句候補リストに優先的に表示されます。

通常変換方式で入力する

例：「健闘」と入力する場合

1 変換方法を[通常変換]に切り替える

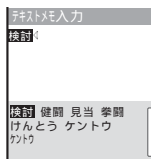
- 変換方法を切り替える(P.273)と同じ操作を行ってください。

2 文字入力画面で文字モードを確認する

「漢字・ひらがなモード」になっているのを確認します。

3 文字を入力する

2 ×4回 …「け」
0 ×3回 …「ん」
4 ×5回 …「と」
1 ×3回 …「う」

4 ▼ を押す

最初の変換候補が表示されます。

確定する場合

◉(選択)を押します。

5 [健闘]を選び ◉ を押す

「健闘」が確定します。

変換を中止する場合

(中止)を押します。

- 通常変換で入力した語句は自動的に予測変換の辞書に登録され、次から語句候補リストに表示されます。

変換方法を切り替える

お買い上げ時 予測変換

文字モードが「漢字・ひらがなモード」のときの変換方法を、予測変換と通常変換から選択します。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[予測変換切替]を選び ◉ を押す

[予測変換]：
文字を入力すると、その文字から予測される語句が、語句候補リストに表示されます。FOMA端末が「先読み」してくれる変換方法です。

[通常変換]：
語句のよみをすべて入力してから変換します。従来の変換方法です。

2 変換方法を選び ◉ を押す

選択した変換方法が設定されます。

- 文字入力画面で変換方法を切り替える場合は、機能メニュー[文字入力設定]→[予測変換切替]を選択します。

定型文を入力する

定型文についてはP.288をご覧ください。

- 編集する項目によって入力できる定型文は異なります。入力できないカテゴリは、選択できません。

1 文字入力画面で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [定型文入力]→カテゴリ→定型文を選び ◉ を押す

選択した定型文が入力されます。

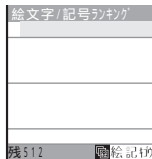
定型文を確認する場合

定型文にカーソルをあわせ、iα（確認）を押します。

絵文字・記号を入力する

入力した絵文字・記号は、入力回数順に絵文字/記号ランキングに表示され、文字入力時に選択できます。
絵文字と記号についてはP.286をご覧ください。

例：複数の絵文字をまとめて入力する場合

1 文字入力画面で chat（絵/記）を押す

chat（絵/記）を押すたびに絵文字・記号モードが[ ]→[絵]→[記]→[ｶﾅ]の順に切り替わります。

絵文字・記号を1つだけ入力する場合

目的の絵文字・記号にカーソルをあわせ、◉ を押します。

2 chat（絵/記）→ iα（連続）を押し、絵文字を選び ◉ を押す

画面の上部に、選択した絵文字が表示されます。次の絵文字を選択するときは、目的の絵文字にカーソルをあわせ、◉ を押します。

選択を解除する場合

CLR を押します。画面上部に表示された絵文字のうち、最後の絵文字の選択が解除されます。CLR を1秒以上押すと、すべての絵文字の選択が解除されます。

3 iα（確定）を押す

選択した絵文字がまとめて入力されます。

定型文を修正/登録する

お買い上げ時 | 定型文一覧(P.288)をご覧ください。

お買い上げ時に登録されている定型文を、用途にあわせて修正したり、新規に登録したりすることができます。

例：「インターネット」に登録されている「.co.jp」を修正する場合

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[定型文編集]を選び ◉ を押す

定型文編集画面が表示されます。

2 [インターネット]→[.co.jp]を選び ◉ を押す

定型文をお買い上げ時の状態に戻す場合

定型文にカーソルをあわせ、機能メニュー[リセット]→[1件リセット]→[はい]を選択します。カテゴリ内の定型文をすべて元に戻す場合は、機能メニュー[リセット]→[カテゴリ内リセット]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。すべての定型文を元に戻す場合は、定型文編集画面で iα（全件リセット）を押し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

定型文を削除する場合

定型文にカーソルをあわせ、機能メニュー[1件削除]→[はい]を選択します。

3 iα（修正）を押し、修正する

全角64文字、半角128文字以内で入力します。
定型文が修正されます。

電話帳などを引用して入力する

メールの本文やサイトなどの文字入力画面で、電話帳や電話番号表示（マイデータ）の登録内容、バーコードリーダーで読み取った文字を引用して入力できます。

例：電話帳から引用する場合

1 文字入力画面で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [電話帳引用]を選び ◉ を押す

電話帳が表示されます。

電話番号表示を引用する場合

[マイデータ引用]を選択します。

バーコードリーダーでJANコード/QRコードのデータを読み取って引用する場合

[バーコードリーダー]を選択します。

3 名前→引用する内容を選び ◉ を押す

選択した内容が文字入力画面に入力されます。

- 選択した項目の文字数が、入力できる文字数を超える場合、超えた文字は削除されます。

文字の切取・コピーと貼付

入力済みの文字を切取ったり、コピーしたりして、別の入力画面に貼付けることができます。ｉモードで文字を入力するときや、メール作成時にご活用ください。
切取/コピーした文字情報は、クリップボードに保存されます。貼付を行うと、このクリップボードの文字情報が貼付けられます。クリップボードの内容は、何回でも貼付けることができます。

- クリップボードとは、切取/コピーした内容を保存するメモリ領域のことです。保存できるのは1件のみで、新しく切取/コピーすると上書きされます。
- クリップボードの内容は、電源を切ったり、設定リセットを行ったりすると削除されます。
- 貼付を行う際、貼付先の画面に入力できない文字は、半角スペースに置き換えられます。また、入力できる文字数を超える場合は、超えた文字は削除されます。

■ 切取機能

選択した文字情報を切取って、クリップボードに保存します。（選択した文字情報は、元の画面から削除されます）

機能メニュー	内　容
切取	選択した文字を切取ります。

■ コピー機能

選択した文字情報をコピーして、クリップボードに保存します。（選択した文字情報は、元の画面から削除されません）

機能メニュー	内　容
コピー	選択した文字をコピーします。
電話番号コピー	電話番号をコピーします。
項目コピー	電話番号やメールアドレスなどを項目単位でコピーします。
テキストメモコピー	テキストメモの内容をコピーします。

■ 貼付機能

クリップボードの内容を貼付けます。

機能メニュー	内　容
貼付	コピー/切取した内容を貼付けます。

文字をコピー/切取する

1 文字入力画面で ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [コピー]を選び ◉ を押す

切取する場合
[切取]を選択します。

3 コピーの始点を選び ◉ を押す

コピーする最初の文字が確定します。

すべての文字を選択する場合
i✆ (全選択)を押します。

4 コピーの終点を選び ◉ を押す

コピーする範囲が確定し、クリップボードに保存されます。

文字を貼付する

1 文字入力画面で貼付ける位置を選び ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [貼付]を選び ◉ を押す

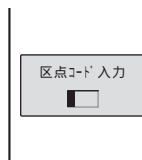
コピー/切取した内容が貼付けられます。

区点コードで入力する

区点コード一覧表にある文字・数字・記号を4桁の区点コードを使って入力できます。
区点コードについてはP.291をご覧ください。

1 文字入力画面で ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [区点コード入力]を選び ◉ を押す

3 区点コードを入力する

入力した区点コードに対応する文字が入力されます。

よく使う語句を登録する

よく使う語句をあらかじめ「予測辞書」または「通常辞書」に登録できます。登録した語句は、文字変換のときに語句候補リスト/変換候補に優先的に表示されます。

予測辞書	予測変換のときに語句候補リストに優先的に表示する語句を登録します。300件まで登録できます。
通常辞書	通常変換のときに変換候補に優先的に表示する語句を登録します。200件まで登録できます。

- 通常辞書に登録した語句は、自動的に予測辞書にも登録されます。逆の場合は登録されません。
- 登録した語句を削除する場合は、それぞれの辞書から削除してください。

例：予測辞書に登録する場合

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[予測辞書編集]を選び ◉ を押す

予測辞書画面が表示されます。

通常辞書に登録する場合
[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[通常辞書編集]を選択します。

語句を削除する場合
語句にカーソルをあわせ、機能メニュー[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー[選択削除]を選択し、語句を複数選択して i✆ (完了)を押し、[はい]を選択します。すべての語句を削除する場合は、機能メニュー[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

語句を編集する場合
語句にカーソルをあわせ、◉ を押します。

2 (i α)(新規)を押す

3 よみ欄によみを入力する

ひらがなで16文字以内で入力します。

4 語句欄に語句を入力する

全角16文字、半角32文字以内で入力します。

5 (i α)(完了)を押す

入力した語句が予測辞書に登録されます。

学習情報を初期状態に戻す

FOMA端末の辞書には学習機能があります。学習機能とは、語句の使用頻度などを記憶しておき、よく使う語句を語句候補リスト/変換候補に優先表示する機能のことです。
学習情報をリセットすると、この優先順位がお買い上げ時の状態に戻ります。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[学習情報リセット]を選び ◉ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、◉(OK)を押す

リセット確認画面が表示されます。

3 [はい]を選び ◉ を押す

学習情報がリセットされます。

ダウンロードした辞書を使用する

iモードから辞書を20件までダウンロードして使用できます。ダウンロードした辞書を有効にすると、その辞書に登録されている語句が語句候補リストに表示されます。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[辞書フォルダ]を選び ◉ を押す

詳細情報を表示する場合
辞書にカーソルをあわせ、機能メニュー[辞書情報表示]を選択します。

名前を変更する場合
辞書にカーソルをあわせ、機能メニュー[辞書名編集]を選択します。全角8文字、半角17文字以内で入力します。

辞書を削除する場合
辞書にカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、辞書を複数選択して (i α)(完了)を押し、[はい]を選択します。すべての辞書を削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 辞書を選び ◉(設定)を押す

有効/無効設定画面が表示されます。

3 [有効]/[無効]を選び ◉ を押す

[有効]に設定すると、辞書が有効になり、「▤」(グレー)が「▤」(緑)に変わります。

- 有効にした辞書が多い場合、すべての語句が語句候補リストに表示されないことがあります。
- 辞書は「SO@Planet」からダウンロードできます。
[iMenu]→[メニューリスト]→[ケータイ電話メーカー]→[SO@Planet]

ダウンロードした辞書を並べ替える

ダウンロードした辞書が複数ある場合は、辞書の並び順を替えて、よく使う辞書の語句を優先的に表示できます。

1 辞書フォルダ画面で ✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [並べ替え]を選び ◉ を押す

3 辞書を選び ◉ を押す

並べ替え画面が表示されます。

4 移動先を選び ◉(移動先)を押す

5 (i α)(完了)を押す

検索の優先順位が設定されます。

付録/外部機器連携/困ったときには

メニュー一覧 …… 278
ダイヤルボタンの文字割り当て一覧 …… 285
記号・特殊文字一覧 …… 286
絵文字一覧 …… 286
顔文字一覧 …… 287
定型文一覧 …… 288
プリインストール画像一覧 …… 289
デコメールテンプレート一覧 …… 290
区点コード一覧 …… 291
マルチアクセスの組み合わせ …… 295
マルチタスクの組み合わせ …… 296
FOMA端末から利用できるサービス …… 297
デュアルスタイルについて …… 298
オプション・関連機器のご紹介 …… 299
■ 外部機器との連携
データリンクソフトのご紹介 …… 300
動画再生ソフトのご紹介 …… 301
■ 音楽再生
パソコンで作成した音楽データなどを再生する …… 301
■ 困ったときには
故障かな？と思ったらまずチェック …… 302
こんな表示がでたら …… 304
保証とアフターサービス …… 310
ソフトウェアを更新する …… 〈ソフトウェア更新〉312
障害を引き起こすデータから携帯電話を守る …… 〈スキャン機能〉316
主な仕様 …… 319
FOMA端末の保存・登録・保護件数 …… 320
携帯電話の比吸収率（SAR）について …… 321
輸出管理規制について …… 321

メニュー一覧

- メニュー画面でメニュー名の次にある数字を入力すると、機能を実行できます。

■通常モード

○ お買い上げ時の設定に戻る項目

● 削除される項目

メニュー				お買い上げ時	設定リセット	データ一括削除	参照ページ
エンタテインメント［1］	マイセレクト［11］			カメラ、着せかえメニュー、バーコード認識、赤外線受信	○	○	P.254
	カメラ［12］			－			P.124
	ムービー［13］			－			P.127
	メモリースティック［14］			－			P.233
メール［2］	メールBOX［21］	受信メール		－		●	P.196
		送信メール		－		●	
		保存メール		－		●	
	新規メール作成［22］			－			P.181
	SMS作成［23］			－			P.208
	ｉモード問合せ［24］			－			P.165､191
	SMS問合せ［25］			－			P.209
	メール選択受信［26］			－			P.190
	メール設定［27］	テンプレート一覧		－		●※1	P.186
		共通設定	開封時自動演奏	自動再生する	○	○	P.206
			ｉモード問合せ設定	メール・メッセージR・メッセージF：有効	○	○	P.204
			接続待ち時間設定	60秒間	○	○	P.161
			接続先選択	ｉモード（FOMAカード）	○	○※2	P.162
			マルチタスク中受信設定	通知優先	○	○	P.206
		署名編集		－		●	P.203
		署名設定		自動	○	○	P.203
		一括メールリスト		リスト名：リスト0～9、メンバーリスト：なし		●	P.205
		文字サイズ		中	○	○	P.101
		受信振分条件		振分方法・振分先フォルダ：なし		●	P.202
		SMS設定	送信文字種	日本語			P.210
			SMS送達通知	無効			
			SMS有効期限	3日			
			SMSC指定	ドコモ			
			Type of Number	International			
			アドレス	81903101652			
		メール選択受信設定		OFF	○	○	P.204
		メール受信添付ファイル設定	添付ファイル	すべて許可	○	○	P.207
			画像	許可			
			メロディ	許可			
		受信ランキングオールクリア		－		●	P.207
		送信ランキングオールクリア		－		●	P.207

※1 お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
※2 お客様が追加した接続先は削除されます。

メニュー				お買い上げ時	設定リセット	データ一括削除	参照ページ
iモード [3]	i Menu			−			P.146
	ブックマーク			−		●	P.153
	画面メモ			−		●	P.156
	インターネット	URL入力		−		●	P.152
		URL履歴		−		●	P.152
	iチャネル			−			P.223
	メッセージ	メッセージR		−		●	P.166
		メッセージF		−		●	
	iモード問合せ			−			P.165、191
	iモード設定	共通設定([メール]→[メール設定]→[共通設定]参照)					−
		文字サイズ		中	○	○	P.101
		画像表示		ON	○	○	P.163
		文字自動判別		OFF	○	○	P.163
		登録データ利用設定		利用する	○	○	P.163
		iモーション設定	自動再生設定	ON	○	○	P.172
		効果音設定		3	○	○	P.91
		メッセージ自動表示		メッセージR優先	○	○	P.165
		SSL証明書	CA証明書	有効	○	○	P.168
			ドコモ証明書1	有効	○	○	
			ドコモ証明書2	−			
		ユーザ証明書操作		−			P.168
		センター接続先選択		ドコモ	○	○※3	P.170
iアプリ [4]	iアプリ一覧			−		●	P.214
	iアプリ設定	自動起動		許可する	○	○	P.217
		ソフト情報表示		表示しない	○	○	P.214
	iアプリ実行情報	待受エラー履歴		−		●	P.219
		セキュリティエラー履歴		−		●	
		トレース結果		−		●	
		自動起動エラー履歴		−		●	
電話 [5]	電話番号表示 [51]			−		●	P.41
	電話帳 [52]			−		●	P.79
	履歴 [53]			−		●	P.47、58
	伝言メモ [54]	伝言メモ再生		−		●	P.66
		テレビ伝言メモ再生		−		●	P.66
		伝言メモ設定	設定	OFF	○	○	P.65
			応答時間	8秒	○	○	
			テレビ伝言メモ応答画像	テレビ電話動作中	○	○	
			テレビ伝言メモ録画画像	テレビ電話動作中	○	○	
		音声メモ録音		−			P.254
		音声メモ再生		−			P.66
生活ツール [6]	バーコード認識 [61]	バーコードリーダー		−			P.137
		保存データ		−		●	P.138
	赤外線受信 [62]	受信		−			P.244
		全件受信		−			P.244
	めざまし時計 [63]	めざまし時計選択		OFF	○	○	P.250
		電源OFF時自動起動		OFF	○	○	
	スケジュール [64]			−		●	P.251
	テキストメモ [65]			−		●	P.256
	電卓 [66]			−			P.256

※3 お客様が追加した接続先は削除されます。

メニュー				お買い上げ時	設定リセット	データ一括削除	参照ページ
データBOX [7]	マイピクチャ			－		●※4	P.226
	ｉモーション			－		●※4	P.229
	メロディ			－		●※4	P.232
	キャラ電			－		●※4	P.232
設定 [8]	画面設定	待受画面設定	待受画面	着せかえ	○	○	P.95
			テロップ表示設定	標準	○	○	
			カレンダー/時計表示	カレンダー/時計種類：デジタル時計小、文字色：黒、時計表示形式：12h	○	○	
			ソフトキー表示	ON	○	○	
		照明設定	明るさ調節	3	○	○	P.98
			ボタンライト調節	1	○	○	
			常時点灯設定	充電時・インターネット中：OFF、テレビ電話中・静止画撮影中・動画撮影中・動画再生中：ON	○	○	
		省電力モード		3分	○	○	P.99
		メニュー設定	モード切替	通常モード	○	○	P.100
			アイコン設定	エンタテインメント・メール・ｉモード・ｉアプリ・電話・生活ツール・データBOX・設定・NWサービス：着せかえ	○	○	
		着せかえメニュー		Clear white	○	●※4	P.99
		アニメーション設定	電話発信画像	音声発着信中	○	○	P.97
			テレビ電話発信画像	テレビ電話発着信中	○	○	
			メール送信画像	パケット通信	○	○	
			問合せ画像	パケット通信	○	○	
		文字サイズ	電話帳	大	○	○	P.101
			履歴	大	○	○	
			メール	中	○	○	
			インターネット	中	○	○	
	発着信通話	着信設定	電話着信	着信音：着信音1、着信音量：3、着信画像：音声発着信中、バイブレータ：OFF、ランプ色：C1:ランプ色1	○	○	P.88
			テレビ電話着信	電話着信に連動：OFF、着信音：着信音1、着信音量：3、着信画像：テレビ電話発着信中、バイブレータ：OFF、ランプ色：C1:ランプ色1	○	○	
			メール着信	着信音：着信音1、着信音量：3、着信画像：メール受信完了、バイブレータ：OFF、ランプ色：C1:ランプ色1 鳴動時間： 1回再生：OFF、鳴動時間：4秒	○	○	
			メッセージR着信 メッセージF着信	メール着信に連動：ON、着信音：着信音1、着信音量：3、着信画像：メール受信完了、バイブレータ：OFF、ランプ色：C1:ランプ色1 鳴動時間： 1回再生：OFF、鳴動時間：4秒	○	○	

※4　お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。

メニュー				お買い上げ時	設定リセット	データ一括削除	参照ページ
設定[8]	発着信通話	不在お知らせ		ON	○	○	P.101
		テレビ電話設定	テレビ電話画面設定	相手大自分小	○	○	P.74
			送信画像設定	自画像送信：ON、 代替画像：ブンブン（Dimo）	○	○	P.74
			送信画質設定	標準	○	○	P.75
			音声自動再発信	OFF	○	○	P.75
			ハンズフリー	ON	○	○	P.75
		発着信表示設定	電話帳指定画像表示	ON	○	○	P.97
			名前表示	ON	○	○	
		発着信補助	サブアドレス設定	ON	○	○	P.52
			プレフィックス設定	−		○	P.50
			国際ダイヤル設定	自動付加設定：自動付加 国際電話設定： 名称：World Call、番号：009130010 国番号設定： 国名称：日本、国番号：+81		○	P.51
			エニーキーアンサー	ON	○	○	P.56
			着信呼出動作設定	設定：OFF、開始時間：4秒、時間内着信履歴表示：OFF	○	○	P.115
		通話設定	受話音量	3	○	○	P.91
			再接続アラーム音	高音	○	○	P.53
			クローズ動作設定	終話	○	○	P.57
		通話品質	音声通話品質アラーム	OFF	○	○	P.92
			ノイズキャンセラ	ON	○	○	P.53
		イヤホン設定	自動着信設定	設定：OFF、応答時間：5秒後	○	○	P.259
			イヤホン切替	イヤホン+スピーカー	○	○	P.92
			イヤホンスイッチ設定	設定：OFF、発信メモリ番号：999	○	○	P.258
		セルフモード		OFF	○	○	P.111
	アプリケーション設定	メール設定（[メール]→[メール設定]参照）					−
		ｉモード設定（[ｉモード]→[ｉモード設定]参照）					−
		ｉアプリ設定（[ｉアプリ]→[ｉアプリ設定]参照）					−
		電話帳設定	表示形式設定	あかさたな順	○	○	P.84
			文字サイズ	大	○	○	
			画像表示設定	画像表示する	○	○	
			画像M.S.保存設定	画像保存する	○	○	
		履歴設定	履歴表示設定	ON	○	○	P.113
			文字サイズ	大	○	○	P.101
		伝言メモ設定（[電話]→[伝言メモ]→[伝言メモ設定]参照）					−
		スケジュール設定	休祝日設定	当日設定：祝日法で定める祝日、曜日設定：日曜日	○	○	P.253
			スケジュールアラーム設定	アラーム音：アラーム音（標準）、アラーム音量：3、バイブレータ：OFF、ランプ色：C5:ランプ色5	○	○	P.252
		文字入力設定	通常辞書編集	−		●	P.275
			予測辞書編集	−		●	
			辞書フォルダ	−		●	P.276
			予測変換切替	予測変換	○	○	P.273
			定型文編集	定型文一覧（P.288）	○	○	P.274
			学習情報リセット	−		○	P.276

メニュー				お買い上げ時	設定リセット	データ一括削除	参照ページ
設定[8]	ロック/セキュリティ	オールロック		OFF			P.109
		遠隔ロック設定	設定	OFF	○	○	P.109
			指定時間	3分	○	○	
			着信回数	5回	○	○	
			番号リスト	–		○	
		PIMロック		OFF			P.111
		シークレット表示		OFF	○	○	P.113
		ダイヤル発信制限		OFF	○	○	P.112
		着信許可/拒否	設定	OFF	○	○	P.114
			番号リスト	–		○	
			グループリスト	–		○	
		登録外着信拒否		OFF	○	○	P.116
		非通知着信拒否	発番号非通知	OFF	○	○	P.115
			公衆電話	OFF	○	○	
			通知不可能	OFF	○	○	
	管理	日付時刻設定	日付	----/--/--(–)		○	P.40
			時刻	--:--			
		バイリンガル		Japanese			P.102
		マナーモード設定	設定	OFF	○	○	P.94
			モード選択	マナーモード	○	○	
			オリジナルマナーモード	バイブレータ：OFF、電話着信音量：SD（STEP DOWN）、メール着信音量・アラーム音量：3、ボタン確認音量：1、充電確認音・電池警告音：ON、ささやき通話：OFF	○	○	
		暗証番号変更		0000		○	P.106
		FOMAカード設定	PIN1コード入力設定	OFF			P.106
			PIN1コード変更	0000			P.107
			PIN2コード変更	0000			
		スキャン機能	パターンデータ更新	–			P.317
			自動更新設定	–			P.317
			スキャン機能設定	有効	○	○	P.316
			バージョン表示	–			P.318
		ソフトウェア更新		–			P.312
		電池残量		–			P.38
		本体音設定	ボタン確認音量	1	○	○	P.90
			ステレオ・3Dサウンド	OFF	○	○	
			充電確認音	ON	○	○	
		本体情報		–			P.242
		リセット	設定リセット	–			P.259
			データ一括削除	–			P.259
		初期設定	日付時刻設定	日付：----/--/--(–)、時刻：--:--		○	P.39
			暗証番号変更	0000		○	
			ボタン確認音量	1	○	○	
			文字サイズ	電話帳・履歴：大、メール・インターネット：中	○	○	

メニュー				お買い上げ時	設定リセット	データ一括削除	参照ページ
NWサービス[9]	留守番電話	留守番サービス開始		–			P.262
		留守番呼出時間設定		–			
		留守番サービス停止		–			
		留守番設定確認		–			
		留守番メッセージ再生		–			
		留守番サービス設定		–			
		メッセージ問合せ		–			
		件数増加鳴動設定		ON	○	○	
		留守番アイコン消去		–			
		着信通知	着信通知開始	–			
			着信通知停止	–			
			着信通知設定確認	–			
	キャッチホン	キャッチホンサービス開始		–			P.263
		キャッチホンサービス停止		–			
		キャッチホンサービス設定確認		–			
	転送でんわ	転送サービス開始		–			P.263
		転送サービス停止		–			
		転送先変更		–			
		転送先通話中時設定		–			
		転送サービス設定確認		–			
	迷惑電話ストップ	迷惑電話拒否登録		–			P.263
		番号指定拒否登録		–			
		拒否登録全削除		–			
		拒否登録1件削除		–			
		拒否登録件数確認		–			
	発信者番号通知	発信者番号通知設定		通知しない			P.41
		発信者番号通知確認		–			
	番号通知お願いサービス	番号通知お願い開始		–			P.264
		番号通知お願い停止		–			
		番号通知お願い確認		–			
	通話料金表示	通話料金表示	音声通話料金	＊＊＊＊＊＊YEN			P.255
			デジタル通信料金	＊＊＊＊＊＊YEN			
		通話時間表示	音声通話	0:00			
			デジタル通信	0:00			
		積算料金表示	積算料金	0YEN			
			積算料金リセット日時	----/--/-- --:--		○	
		積算時間表示	音声電話	0:00		○	
			デジタル通信	0:00		○	
			積算時間リセット日時	----/--/-- --:--		○	
		積算リセット		–			P.255
		積算料金自動リセット		OFF	○	○	P.255
		料金上限値通知設定	設定	OFF	○	○	P.255
			料金上限値	–	○	○	
			通知方法	アラーム＋待受画面	○	○	
		上限値通知アイコン消去		–			P.256
	通話中着信設定	通話中着信設定開始		–			P.265
		通話中着信設定停止		–			
		通話中着信設定確認		–			
	着信動作選択			通常着信	○	○	P.265
	遠隔操作設定	遠隔操作開始		–			P.265
		遠隔操作停止		–			
		遠隔操作設定確認		–			
	デュアルネットワーク	デュアルネットワーク切替		–			P.264
		デュアルネットワーク状態確認		–			

メニュー				お買い上げ時	設定リセット	データ一括削除	参照ページ
NWサービス [9]	英語ガイダンス	ガイダンス設定		−			P.264
		ガイダンス設定確認		−			
	サービスダイヤル	ドコモ故障問合せ		−			P.264
		ドコモ総合案内・受付		−			
	追加サービス	USSDコマンド追加		サービス名：未登録、USSD：−		○	P.266
		応答ワーディング追加		応答ワーディング：未登録、USSD：−		○	
	マルチナンバー	通常発信番号設定		−			P.265
		通常発信番号確認		−			
		電話番号設定	マルチナンバー発信	OFF	○	○	
			基本契約番号	名前：基本契約番号		○	
			付加番号1	名前：付加番号1		○	
				電話番号：−		○	
				着信音：着信音1	○	○	
			付加番号2	名前：付加番号2		○	
				電話番号：−		○	
				着信音：着信音1	○	○	
	テレビ電話切替通知	切替通知開始		−			P.76
		切替通知停止		−			
		切替通知設定確認		−			

■シンプルモード

メニュー			参照ページ
電話 [1]	電話帳 [11]		P.79
	履歴 [12]		P.47、58
	伝言メモ [13]	伝言メモ設定 [131]	P.65
		伝言メモ再生 [132]	P.66
		テレビ伝言メモ再生 [133]	P.66
	電話番号表示 [14]		P.41
メール [2]	受信メール [21]		P.196
	送信メール [22]		P.196
	保存メール [23]		P.196
	新規メール作成 [24]		P.181
	ｉモード問合せ [25]		P.165、191
ｉモード [3]	ｉMenu [31]		P.146
	ブックマーク [32]		P.153
	画面メモ [33]		P.156
	ｉチャネル [34]		P.223
カメラ [4]	撮る [41]		P.124
	見る [42]		P.226
設定/ツール [5]	待受画面設定 [51]		P.95
	着信設定 [52]	電話着信 [521]	P.88
		メール着信 [522]	P.88
	めざまし時計 [53]		P.250
	電卓 [54]		P.256
	通話料金・時間 [55]		P.255、256
	留守番電話 [56]		P.262
通常メニュー [6]			P.278

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧

文字モード ボタン	漢字・ひらがなモード	カナモード	英字モード	数字モード
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	. @／：－～ ~ 1	1
2	かきくけこ	カキクケコヵヶ	ABCabc2	2
3	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno6	6
7	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs7	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz9	9
0	わをんゎ□、 。ー・！？	ワヲンヮ□、。 ー・！？「」	□！？－，’；() ”_～ ~ & ¥ 0	0
*	、。ー・！？	゛゜、。ー・！？「」	！？－，’；() ” _～ ~ & ¥	＊
#	文字の割り当てを逆順で表示（文字確定前）/改行（文字確定後）			#
◀	カーソル左移動			
▶	カーソル右移動/半角スペース（空白）の挿入（カーソル以後に文字がない場合のみ）			

- □はスペース（空白）を表します。スペース（空白）には全角/半角があり、文字と同じようにカウントされます。
- ■は全角モード時のみ表示されます。
- 青字は半角モード時のみ表示されます。
- ボタンを1回押すたびに、同じボタンに割り当てられた次の文字へ移動します。ボタンを押し続けると、連続して移動できます。
- 文字の確定後に # を押すと、改行され「↵」が表示されます。全角1文字としてカウントされます。
- 文字の確定前に * を押すと、その文字に濁点/半濁点を付けたり、大文字と小文字を切り替えます。
- 英字モードの場合、直前に入力した文字や * を押して変換した文字の大文字/小文字の状態が継続されます。

記号・特殊文字一覧

- ■は、ｉモード対応以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると正しく表示されない場合があります。

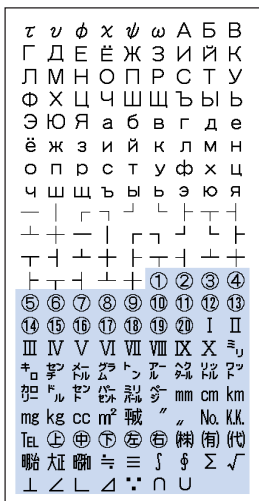
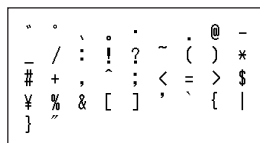
■全角記号

　、。，．・：；？
！゛゜´｀¨＾￣＿
ヽヾゝゞ〃仝々〆〇
ー―‐／＼～∥｜…
‥‘’“”（）〔〕
［］｛｝〈〉《》「
」『』【】＋－±×
÷＝≠＜＞≦≧∞∴
♂♀°′″℃￥＄￠
￡％＃＆＊＠§☆★
○●◎◇◆□■△▲
▽▼※〒→←↑↓〓
∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧
∨￢⇒⇔∀∃∠⊥⌒
∂∇≡≒≪≫√∽∝
∵∫∬Å‰♯♭♪†
‡¶◯ΑΒΓΔΕΖ
ΗΘΙΚΛΜΝΞΟ
ΠΡΣΤΥΦΧΨΩ
αβγδεζηθι
κλμνξοπρσ

τυφχψωАБВ
ГДЕЁЖЗИЙК
ЛМНОПРСТУ
ФХЦЧШЩЪЫЬ
ЭЮЯабвгде
ёжзийклмн
опрстуфхц
чшщъыьэюя
─│┌┐┘└├┬┤
┴┼━┃┏┓┛┗┣
┳┫┻╋┠┯┨┷┿
┝┰┥┸╂①②③④
⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬
⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡ
ⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ㍉
㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗
㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞
㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍
℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹
㍾㍽㍼≒≡∫∮∑√
⊥∠∟⊿∵∩∪

■半角記号

ﾞ ﾟ ､ ｡ ･ 　 . @ -
_ / : ! ? ~ ( ) *
+ , ^ ; < = > $
¥ % & [ ] ' ` { |
} "

絵文字一覧

- 絵文字は、ｉモード対応以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると正しく表示されません。
- 「絵文字2」は、相手のｉモード対応携帯電話の機種によっては、正しく表示されない場合があります。

■絵文字1

■絵文字2

顔文字一覧

「漢字・ひらがなモード」で以下のよみを入力すると、顔文字が入力されます。

- 顔文字の表示は、実際の表示と異なる場合があります。

※「かお」以外は、予測変換入力時のみ表示されます。

よみ	顔文字	よみ	顔文字	よみ	顔文字	よみ	顔文字	よみ	顔文字	よみ	顔文字
あいたっ	(>_<)	がーん	(￣□￣;)!!	かお※	(￣ω￣)	すみません	m(__)m	にこにこ	:-)	ぺこり	_(._.)_
あくび	＼(~o~)／		(;□;)!!		(o・v・o)	たのしい	(^-^)		:->		<m(__)m>
	＼(ΘoΘ)ノ		(●д●)		(￣▽￣)		(^o^)	にやり	(￣ー￣)		_(^_^)_
あせ	(^_^;)	かお※	m(__)m		(°_°)		(^^)	ねてる	(-_-)zzz	ほーい	(^0^)
	^_^;		(^0^)		(x_x;)		(*^.^*)	はーい	(^-^)/		(^0^)/
	(^^;		o(^-^)o		^/^		(^-^;)	ばいばい	(^^)/~~~	ほし	(☆o☆)
	(-_-;		(*_*)		(^0_0^)	たら	(-o-;		(^_^)/~	ぽりぽり	(^^ゞ
	(;^_^A		(^_^;)		(..)	ちゅっ	(^・^)Chu♪		(*^o^*)/~		f^_^;
あら	(/--)/		(^o^)		(._.)_		Chu!(^3^)-☆		(;_;)/~~~	むにゃむにゃ	(￣~￣)ξ
いっぷく	(-.-)y-~		(T_T)		(^^ゞ		(^ε^)		(^.^)/~~~	めがね	(@_@)
	(>.<)y-~		(>_<)	かんぱい	(^^)／▽☆▽＼(^^)	つっこみ	ヾ(^_^)	はずかしい	(o^-^o)	めもめも	φ(..)
	(￣^￣)y-~~		(ToT)	きす	:-*	てれ	(*^^*)		(*^^*)	よしよし	(T_T)＼(-_-)
うぃんく	(^_-)		(●^o^●)	きゃー	o(≧▽≦o)	どきっ	(◎o◎)	ぱちぱち	(^o^)//"""""""	らじゃ	(^^ゞ
うーん	(#+_+)		(^_^)		(o≧▽≦)o	どてっ	(o_ _)o	ばんざい	＼(^0^)／		(≧▽≦)ゞ
うひょひょ	(o`∀´o)		)^o^(	きゃはは	(≧▽≦)/	ながれぼし	★彡		＼(~o~)／	りょうかい	(^^ゞ
	(`∇´)		(-_-;)	ぐー	(o^-')b	なく	(T_T)	びくっ	(*_*)		(≧▽≦)ゞ
うん	(--)(__)		(;_;)		(^-^)b		(;_;)		(@_@)	わーい	(^0^)
えーん	(ToT)		(@_@)	ぐーぐー	(-.-)Zzz		(T.T)		(+_+)		(^u^)
えっ	(@_@;)		(^_-)	くすん	(;_		(T^T)		(*_*;		(^o^)
	(@д@)		(+_+)	くたばる	(>_<)	なぜ	(?_?)	ひやあせ	(^o^;		(^v^)
えと	(+o+)		(^^)		(*_*)		(?д?)		(^-^;		(●^o^●)
えへへ	(o^v^o)		(-_-)		(+_+)	にげろー	ε=┏(;￣▽￣)┛		(^-^;)		)^o^(
おいおい	ヾ(^_^)		^_^;	さあ	┐(´~`;)┌	にこにこ	(^o^)		(^.^;		＼(^0^)／
おお	(ノ°0°)ノ		>^_^<	さかな	()<<		(*^_^*)	ふぁいと	p(^^)q		♪d(⌒○⌒)b♪
おーい	(^0^)/		(._.)	さざえ	8(*^^*)8		(^_^)		p(^-^)q		(^○^)
	(^o^)/		^^;	じーっ	(;¬_¬)		(*^▽^*)	ぶい	(^^)v		o(^ワ^)o
	(^^)/		(__)	しくしく	(T_T)		(*^o^*)		(^_^)v		(*^□^*)
	(^_^)/		(>ε<)		(;_;)		(o^-^o)		(￣▽￣)v		ヽ(´▽`)ノ
おこる	(>_<)		(>д<)		(;0;)		(^.^)		v(^^)v		(*´▽`*)
	(-_-#)		(-.-)		(:_;)		(=^_^=)		v(^-^)v		(^◇^)
	(-_-メ)		(^.^)		(;_:)		=^ェ^=		(^0^)v	わーん	o(T□T)o
	(`ε´)		(o^-^o)		('_')		8->	ふっ	ヽ(´ー`)ノ	わくわく	o(^-^)o
おねがい	(>人<)		(´・ω・`)		(;_;		(#^.^#)	ぷんぷん	:-<		o(^^)o
おりゃ	(ノ>д<)ノ		_(._.)_		(/_;)		<^!^>	ぺこり	m(__)m		o(^o^)o
	(ノ°0°)ノ		(´Д`)	じと	(-.-)		:)		(__)	わたしかな	σ(^_^;)?

定型文一覧

カテゴリ	定型文	
0インターネット	0 .co.jp	5 .go.jp
	1 .ne.jp	6 @docomo.ne.jp
	2 .com	7 http://
	3 .or.jp	8 https://
	4 .ac.jp	9 www.
1顔文字1	0 ^^;	5 (>_<)
	1 (^.^)	6 (^^ゞ
	2 >^_^<	7 (@_@)
	3 (;_;)	8 m(__)m
	4 (+_+)	9 (^-^)ノ~~
2顔文字2	0 o(^ワ^)o	5 *￣0￣)ノ
	1 (o^-')b	6 (￣^￣)y-~~
	2 ＼(~δ~)／	7 (o`∀´o)
	3 (ρ_—)o	8 (`□´)
	4 (￣▽￣)v	9 (￥△￥;)
3顔文字3	0 (≧ε≦)	5 (^・^)Chu♪
	1 (≧▽≦)ゞ	6 ι(◎д◎)ノ〟
	2 (;□;)!!	7 ε=┏(;￣▽￣)┛
	3 (u_u)o〃	8 ♪d(⌒O⌒)b♪
	4 =^ェ^=	9 ヘ(^-^)乂(^o^)ノ
4あいさつ	0 おはようございます	5 お疲れさまでした
	1 おやすみなさい	6 お世話になっております
	2 昨日は、どうもありがとうございました	7 こんにちは
	3 行ってきます	8 こんばんは
	4 いってらっしゃい	9 よろしくお願い致します
5ビジネス	0 直行します	5 本日の会議は中止となりました
	1 直帰します	6 出欠をご連絡ください
	2 休暇をとります	7 次の指示を待ってください
	3 半休します	8 携帯の電源を切ります
	4 電車遅延のため、遅れます	9 メールで連絡してください
6プライベート	0 遊びに行こう	5 先に行きます
	1 飲みにいきませんか?	6 先に帰ります
	2 遅れます	7 時間です
	3 変更します	8 何してるの?
	4 中止です	9 どこにいるの?
7返事	0 OKです	5 今忙しい
	1 NGです	6 後で連絡を入れます
	2 ありがとう	7 保留です
	3 ごめんなさい	8 キャンセルです
	4 待ってて!	9 時間がありません
8自由定型文		

プリインストール画像一覧

お買い上げ時に登録されている画像は次のとおりです。

■マイピクチャ

●プリインストール

Colorful bars

Pink pearls

Shade light

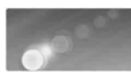
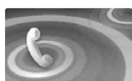
モモ＆コモモ

©SCN

Simple patterns

Sweet flowers

Noble scenery

Wild Forest

● [Wild Forest]は時間帯・電波状態・電池残量に連動して色やイメージが変わります。

● デコメールピクチャ

©SCN

©BVIG

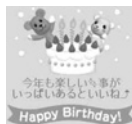
■ i モーション

● プリインストール

デコメールテンプレート一覧

イッテラッシャイ！

©SCN

おめでとう！

©SCN

ありがとう！

©SCN

遅刻します

©SCN

ごめんなさい

©SCN

げんき？

飲み会のお誘い

Love Love

ブンブン1

©BVIG

ブンブン2

©BVIG

ブンブン3

©BVIG

区点コード一覧

区点コード一覧は、4桁の区点コードを「区点1～3桁目」と「区点4桁目」の組み合わせで表しています。

例：★（区点コード「0190」）を入力したい場合は、区点コード一覧で★の位置を確認し、同じ行の「区点1～3桁目」の数字（ここでは「019」）と同じ列の「区点4桁目」の数字（ここでは「0」）を組み合わせて、区点コード（「0190」）を決定します。

※ 区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ～の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る〜れ										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	競	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

マルチアクセスの組み合わせ

実行中の動作ごとに、発生/実行する処理が動作できるかどうかを記載します。

- FOMA端末の状態によっては、次の表に従わない場合があります。

現在の状態	発生/実行する処理														
	音声電話		テレビ電話		iモード	iモードメール		SMS		64Kデータ通信		パケット通信		ソフトウェア更新	スキャン機能
	発信	着信	発信	着信		送信	受信	送信	受信	送信	受信	送信	受信		
音声電話通話中	○ ※1	○ ※2	×	○ ※3	○	○	○	○	○	×	× ※4	○	○	×	×
テレビ電話中	×	× ※5	×	× ※5	×	×	×	×	○	×	× ※4	×	×	×	×
iモード中	○	○	○ ※6	× ※4	×	○	○	○	○	× ※7	× ※4	× ※7	×	×	×
iモードメール送受信中	○	○	○ ※6	× ※4	○	×	○ ※8	○ ※8	○ ※8	×	× ※4	×	×	×	×
SMS送受信中	○	○	○	○	○	○ ※8	○ ※8	○ ※8	○ ※8	○	○	○	○	○	×
64Kデータ通信中	×	× ※4	×	× ※4	×	×	×	×	○	×	× ※4	×	×	×	×
パケット通信中	○	○	×	× ※4	×	×	×	○	○	×	× ※4	×	×	×	×
ソフトウェア更新中	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	× ※4	×	×	×	×
スキャン機能通信中	×	○ ※6	×	× ※4	×	×	×	×	○	×	× ※4	×	×	×	×

○　実行可能

×　実行不可能

※1 キャッチホンご契約時、通話中に別の相手に電話をかけることができます。

※2 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンをご契約時に着信できます。未契約の場合、着信せず着信履歴も記録されません。
キャッチホンご契約時、通話中の電話を保留してかかってきた別の電話を受けることができます。
留守番電話サービス、転送でんわサービスご契約時、通話中の電話を終了してかかってきた別の電話を受けることができます。（P.265）

※3 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンをご契約時に着信できます。未契約の場合、着信せず着信履歴も記録されません。
通話中の電話を継続するか、通話中の電話を終了してかかってきた電話を受けるかを選択できます。（P.265）

※4 着信動作は行わず、着信履歴には不在着信として残ります。

※5 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンをご契約時に着信履歴が記録されます。

※6 現在の通信動作を切断してから、発着信を行います。

※7 iアプリでiモード通信している場合は、通信を切断してから発信を行います。

※8 送信どうし、受信どうしは、実行することができません。

マルチタスクの組み合わせ

メインメニューから起動できる機能について、起動できるかどうかを記載します。

- 各機能の状態によっては、次の表に従わない場合があります。
- ■はメインメニューから直接起動できない機能です。

現在起動中の機能＼これから起動する機能		電話		データ通信		エンタテインメント				メール※1						iモード		iアプリ		電話				ツール						データBOX	設定		NWサービス
		音声電話通話	テレビ電話	64Kデータ通信	パケット通信	マイセレクト	カメラ	ムービー	メモリースティック	メールBOX	新規メール作成	SMS作成	iモード問合せ	SMS問合せ	メール設定	iモードメニュー	サイト表示※2	iアプリメニュー	iアプリ実行	電話番号表示	電話帳	履歴	伝言メモ	バーコードリーダー	赤外線受信	めざまし時計	スケジュール	テキストメモ	電卓	データBOX	設定	ソフトウェア更新	NWサービス
電話	音声電話通話中	マルチアクセスの組み合わせ(P.295)参照				○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×※3	×
	テレビ電話中					×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×※3	×
データ通信	64Kデータ通信中					×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×※3	×
	パケット通信中					○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○
エンタテインメント	マイセレクト	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○
	カメラ	○	○	○	○	○	●※4	●※4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○
	ムービー	○	○	○	○	○	●※4	●※4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○
	メモリースティック	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	●	×	×	○
メール※1	メールBOX	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○
	新規メール作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○
	SMS作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○
	iモード問合せ	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○※5	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○
	SMS問合せ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○※5	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○
	メール設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○※6	○※6	○※6	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○
iモード	iモードメニュー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○
	サイト表示中※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※7	×	★	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○
iアプリ	iアプリメニュー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※7	●	●	●	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○
	iアプリ実行中	○※8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※7	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○
電話	電話番号表示	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○
	電話帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○
	履歴	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○
	伝言メモ	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○
ツール	バーコードリーダー	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	×	○	○	○	○	○	×	×	○
	赤外線受信	×※9	×※9	×※9	×※9	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	めざまし時計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	●	○	○	○	○	×	×	○
	スケジュール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	●	○	○	○	×	×	○
	テキストメモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	●	○	○	×	×	○
	電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	●	○	×	×	○
データBOX	データBOX	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	●	×	×	○
設定	設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○
	ソフトウェア更新中	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
NWサービス	NWサービス	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×

○ 起動可能
● 起動可能(起動している機能を終了後に新しい機能を起動)
★ 起動可否選択(起動している機能を終了後に新しい機能を起動、または新しい機能の起動を中止し起動している機能に切替を選択)
× 起動不可能

※1 メール選択受信のマルチタスクの組み合わせは、次の機能を参照してください。
　メール選択受信設定が[ON]の場合　：「サイト表示」または「サイト表示中」を参照
　メール選択受信設定が[OFF]の場合　：「メール設定」を参照

※2 サイト表示のほかに、画面メモ、メッセージR/F、ｉチャネル表示なども含みます。

※3 予約起動の場合は、通話終了後に起動します。

※4 起動中のカメラ/ムービーで撮影した画像を保存していない場合は、「★」の動作になります。

※5 メール選択受信は起動できません。

※6 [共通設定]起動中は、起動できません。

※7 [共通設定]は起動できません。

※8 新しい機能を起動した場合、実行中のｉアプリへは切り替えできません。

※9 通信を行っていない場合は、「●」の動作になります。

FOMA端末から利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払い通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）　午前8時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に通話料と1通話ごとに取り扱い手数料90円（税込94.5円）がかかります。（2006年5月現在）
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは、一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください。（2006年5月現在）
- 携帯電話から110番・118番・119番通報の際は発信場所が特定できませんので、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話/携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外、および電源を切っているときでも、発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。（一般電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます）

デュアルスタイルについて

デュアルスタイルとは、FOMA端末の表裏両面を着せかえるパネルです。
付属のフロントカバー SO01、リアカバー SO02を、別売りのデュアルスタイル SO01に取り替えることができます。デュアルスタイル（リアカバー）の取付けかた/取外しかたについてはP.35をご覧ください。

- デュアルスタイルとマッチしたデザインを楽しめる着せかえメニューを「SO@Planet」からダウンロードして設定できます。（P.99）

デュアルスタイル（フロントカバー）の取付けかた/取外しかた

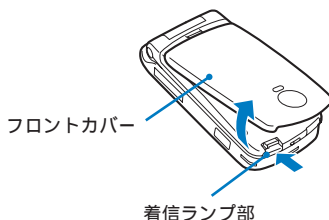
デュアルスタイル（フロントカバー）の取付け/取外しは、必ずFOMA端末の電源を切ってFOMA端末を閉じてから行ってください。

- 力を入れすぎたり、下記以外の方法でフロントカバーの取付け/取外しを行ったりすると破損するおそれがあります。

■取外しかた

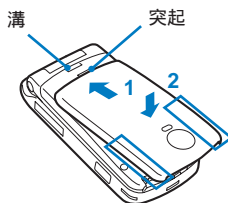
1 着信ランプ部を押す

押す際はフロントカバーが飛び出さないように手を添えてください。

2 フロントカバーに指をかけ、矢印の方向に持ち上げて取外す

■取付けかた

1 フロントカバーの突起部をFOMA端末の溝にあわせる

2 フロントカバーのもう一方を矢印の方向に「カチッ」と音がするまではめ込む

フロントカバーの両サイド（図の囲み部分）を数回押して確実に取付けてください。

- デュアルスタイルを取外した状態でFOMA端末を使用すると、強度が低下し、破損や故障の原因となります。
- FOMA端末とデュアルスタイルの間にほこりなどが入った場合は、デュアルスタイルを外して柔らかい布で拭き取ってください。
- デュアルスタイル SO01については、一部取り扱っていない店舗がございます。あらかじめご了承ください。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプション機器の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- キャリングケースS 01
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01/P02
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- イヤホンジャック変換アダプタ P001
- スイッチ付イヤホンマイク P001/P002※
- ステレオイヤホンセット P001※
- イヤホンターミナル P001※

※ イヤホンジャック変換アダプタが必要です。

- 車内ホルダ 01
- 車載ハンズフリーキット 01※
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01

※ FOMA SO702iと接続するには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。

- 電池パック SO01
- FOMA ACアダプタ 01
- FOMA DCアダプタ 01
- FOMA 海外兼用 ACアダプタ 01
- 卓上ホルダ SO02
- FOMA 乾電池アダプタ 01

- フロントカバー SO01
- リアカバー SO02
- FOMA USB接続ケーブル
- FOMA室内用補助アンテナ
- デュアルスタイル SO01

データリンクソフトのご紹介

「FOMA SOシリーズ データリンクソフト」を使って、電話帳、メール、ブックマーク、スケジュールなどのデータを、FOMA端末とパソコンの間で転送できます。FOMA USB接続ケーブル(別売)でFOMA端末とパソコンを接続するか、“ メモリースティック Duo ”を使用します。

■ダウンロード

データリンクソフトや専用ドライバは、http://www.SonyEricsson.co.jp/so702i/SOdatalink/よりダウンロードいただけます。

ダウンロード方法、転送可能データ、動作環境、操作方法、制限事項など詳細については、上記ホームページ、またはデータリンクソフトのヘルプをご覧ください。

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。
- ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。

■対応OS

Windows Me/Windows 2000 Professional/Windows XP

※ 上記のOSが動作するPC/AT互換機

■データリンクソフトのご使用にあたって

●著作権について
本ソフトウェアはフリーウェアとして無料配布を行っておりますが、著作権はソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社に帰属します。

●免責事項について
ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社は、本ソフトウェアの不稼動、稼動不良を含む法律上の瑕疵担保責任、その他の保証責任を負わないものとします。また、ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社は、本ソフトウェアの商品性、またはお客様の特定の目的に対する適合性について、いかなる保証も行わないこととします。

データリンクソフトのお問い合わせ先

ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ(株)お客様ご相談センター

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

ナビダイヤル：**0570-00-2516**
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯/PHSから：**0466-31-2516**

営業時間：10:00−18:00（平日）
10:00−17:00（土日・祝日・年末年始）

*“ メモリースティック Duo ”をご利用になるには、別途“ メモリースティック Duo ”が必要となります。（P.233）

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4形式のファイル）を再生するには、アップルコンピュータ（株）のQuickTime Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3＋3GPP）が必要です。
QuickTimeは下記のホームページよりダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードには、インターネットと接続しているパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては、別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページをご覧ください。

パソコンで作成した音楽データなどを再生する

お客様が購入したCDの楽曲などをｉモーション形式に変換して、FOMA端末で再生します。
FOMA端末本体やパソコンなどを利用して"メモリースティック Duo"（P.233）に保存したｉモーションを、本体内蔵のスピーカーや平型ステレオイヤホンセット（別売）などを使用して音楽プレーヤーのように楽しむことができます。
"メモリースティック Duo"をご利用になるには、別途"メモリースティック Duo"が必要となります。"メモリースティック Duo"をお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

- "メモリースティック Duo"内に保存した楽曲は、個人使用の範囲内で使用することができます。ご利用にあたっては、著作権など第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分にご配慮ください。
- "メモリースティック Duo"内に保存した楽曲は、パソコンなど他の媒体に複製または移し替えをしないでください。

1 市販の変換用ソフトウェアなどを使ってファイルをAAC形式に変換してパソコンに保存する

ソフトウェアの使用方法などについては、ソフトウェア提供各社にお問い合わせください。

2 変換したファイルを"メモリースティック Duo"にコピーする

変換したファイルは、"メモリースティック Duo"のリーダー/ライターを搭載したパソコンを利用してコピーします。
ファイル名の拡張子を「.3gp」に変更し、"メモリースティック Duo"の［MOBILE］→［DOCOMO］→［MOVIE］フォルダに保存してください。

- "メモリースティック Duo"のフォルダ構成については、P.234をご覧ください。"メモリースティック Duo"内に［MOVIE］フォルダがない場合は、パソコン上でフォルダを作成してください。

3 "メモリースティック Duo"をFOMA端末に挿入して再生する

- ｉモーションの再生操作については、P.229をご覧ください。

故障かな？と思ったらまずチェック

まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要がある場合はソフトウェアを更新してください。(P.312)

状　況	原因と対処
FOMA端末の電源が入らない (FOMA端末が使えない)	• 電池パックは正しく取付けられていますか。(P.35) • 電池切れになっていませんか。(P.38)
電源ボタンを押しても警告音が鳴り、電源が切れる	• 電池残量がありません。充電してください。(P.37)
ダイヤルしたが話中音(ツーツー)が鳴り、つながらない	• 「圏外」の表示が出ていませんか。(P.29) • 市外局番を忘れていませんか。(P.44) • 発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。(P.44)
「圏外」の表示が出て話中音(ツーツー)が鳴る	• サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。(P.29)
ダイヤルボタンを押しても発信できない	• セルフモードを設定していませんか。(P.111) • ダイヤル発信制限を設定していませんか。(P.112)
真っ暗な画面が表示され何も操作できない	• 電源が入っていますか。(P.39) • 省電力モードを設定していませんか。(P.99)
設定した待受画面ではなく真っ暗な画面になっている	• 省電力モードを設定していませんか。(P.99)
画面に「オールロック中」と表示されている	• 端末暗証番号を入力してオールロックを解除してください。(P.109)
日付が英語で表示されている	• バイリンガルを英語表示([English])に設定していませんか。(P.102)
着信できない、または着信音が鳴らない	• 公共モード(ドライブモード)を設定していませんか。(P.60) • 着信音量を[OFF]に設定していませんか。(P.88) • マナーモードを設定してませんか。(P.93) • オールロックを設定していませんか。(P.109) • セルフモードを設定していませんか。(P.111) • 着信許可/拒否を設定していませんか。(P.114) • 非通知着信拒否を設定していませんか。(P.115) • 着信呼出動作設定を設定していませんか。(P.115) • 登録外着信拒否を設定していませんか。(P.116) • 留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼び出し時間を0秒に設定していませんか。(P.262、263) • 番号通知お願いサービスを設定していませんか。(P.264) • デュアルネットワークサービスでmovaを有効にしていませんか。(P.264)
メール着信音やアラーム音は鳴るが、電話がかかってきたときの着信音が鳴らない	• 着信呼出動作設定の[開始時間]を長い時間(99秒など)に設定していませんか。短い時間に設定してください。(P.115)
メール着信音は鳴っているが、新着メールを受信していない	• 留守番電話サービスの[件数増加鳴動設定]を設定していませんか。伝言メッセージの件数が増えた場合、着信音でお知らせします。(P.262)

状　況	原因と対処
電話がかかってきたときに設定した画像と違う画像が表示される	• 音声電話/テレビ電話の着信画像が複数設定されている場合、次の優先順位で画像が表示されます。（P.80、83、89） 1. 電話帳登録の指定発着信画像 2. グループ設定の指定発着信画像 3. 着信設定の着信画像 ただし、着信画像、着信音に映像と音声が含まれるｉモーションを設定している場合、優先順位が異なることがあります。
電話がかかってきたときに設定した着信音と違う着信音が鳴る	• 音声電話/テレビ電話の着信音が複数設定されている場合、次の優先順位で着信音が鳴ります。（P.80、83、88、265） 1. 電話番号設定の着信音（マルチナンバーの付加番号に電話がかかってきた場合） 2. 電話帳登録の指定電話着信音 3. グループ設定の指定電話着信音 4. 着信設定の着信音 ただし、着信音、着信画像に映像と音声が含まれるｉモーションを設定している場合、優先順位が異なることがあります。
メールを受信したときに設定した着信音と違う着信音が鳴る	• メールの着信音が複数設定されている場合、次の優先順位で着信音が鳴ります。（P.80、83、88） 1. 電話帳登録の指定メール着信音 2. グループ設定の指定メール着信音 3. 着信設定の着信音 ただし、着信音、着信画像に映像と音声が含まれるｉモーションを設定している場合、優先順位が異なることがあります。
電話がかかってきたときやメールを受信したときに設定した色と違う色で着信ランプが動作する	• 音声電話/テレビ電話/メールの着信ランプが複数設定されている場合、次の優先順位で着信ランプが点滅します。（P.80、83、89） 1. 電話帳登録の指定ランプ色 2. グループ設定の指定ランプ色 3. 着信設定のランプ色
一定周期で着信ランプが点滅している	• 不在お知らせを「ON」に設定していませんか。（P.101）
充電ランプが点灯したままになっている	• 常時点灯設定の［充電時］を［ON］に設定していませんか。（P.98） この設定の場合、充電完了までに時間がかかることがありますが故障ではありません。 • 省電力モードを［OFF］に設定していませんか。（P.99） この設定の場合、充電完了までに時間がかかることがありますが故障ではありません。 • 充電中にテレビ電話、データ通信、ｉアプリなどを使用していませんか。 この場合、充電完了までに時間がかかることがありますが故障ではありません。
ボタン確認音が鳴らない	• ボタン確認音量を［OFF］に設定していませんか。（P.90） • マナーモードを設定していませんか。（P.93）
ボタンを押したときの画面の反応が遅い	• 端末内に大量のデータが保存されているときなどに起こる場合があります。
積算通話料金が増えない	• FOMAカードの積算通話料金の上限値（約1,677万円）に達していると増えません。リセットすることにより、0円に戻ります。（P.255）

こんな表示がでたら

- メッセージと共に、3桁の数字が表示される場合があります。一部の数字は、端末で表示させているドコモの独自のコードとなります。

あ

移動できませんでした

- エラーが発生したため、移動できませんでした。

遠隔操作可能なサービスは未契約です

- 留守番電話サービス、転送でんわサービスなど遠隔操作可能なサービスをご契約されていません。遠隔操作をご利用になるにはお申し込みが必要です。

応答がありませんでした(408)

- サイトからの応答がないため、通信が中断されました。しばらく待って操作し直してください。

か

書込みに失敗しました　この後読出し専用になります

- "メモリースティック Duo"が消耗すると書き込みや削除ができなくなる場合があります。新しい"メモリースティック Duo"を使用してください。

画像に誤りがあり正しく動作しません

- メモリ不足などによりFlash画像の再生ができません。

カメラエラーが発生しました　アプリケーションを終了します

- エラーが発生したため、画像を保存しカメラを終了します。カメラを続けてご利用になる場合は、再度起動してください。

カメラエラーが発生しました　画像を保存してアプリケーションを終了します

- エラーが発生したため、画像を保存しカメラを終了します。カメラを続けてご利用になる場合は、再度起動してください。

カメラエラーが発生しました　代替画像へ切替ます

- エラーが発生したため、代替画像に切り替えます。再度、カメラ画像に切り替えてください。(P.69)

着せかえデータが不正です

- 着せかえメニューデータにエラーがあるため、ダウンロードできません。

規定のアクセス回数を超えたため参照できません(491)

- 10,000バイトを超える静止画の取得時に、規定のアクセス回数を超えました。

起動中の機能が多いため起動できません

- マルチタスクで起動している機能が多いため、選択した機能を起動できません。起動中の機能を終了してから操作し直してください。(P.249)

起動中の機能が多いため実行できません　他の機能を終了後再度実行してください

- メモリが不足しているため、選択した機能を起動できません。起動中の機能を終了してから操作し直してください。(P.249)

起動に失敗しました

- サーバーからソフトのチェックができないため、起動できません。

キャラ電データが不正です

- キャラ電データにエラーがあるため、ダウンロードまたは保存できません。

圏外です

- サービスエリア外、または電波の届かない場所にいるため、iモードのサービスをご利用になれません。「圏外」が消える場所まで移動してください。(P.29)

現在この機能は利用できません

- 選択した機能が、現在動作中の機能と同時に利用できません。(P.249)

現在メニューは表示できません

- メニューを表示できない機能が実行中のため、メニューを表示できません。

更新できませんでした

- エラーが発生したため、パターンデータを更新できませんでした。

このカードは認識できません

- 正しいFOMAカードが挿入されているか確認してください。(P.33)
- FOMAカードにエラーがあります。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。

このサイトとのSSL通信は無効です

- 証明書に問題があります。

このサイトの安全性が確認できません　接続しますか

- サイトの証明書がFOMA端末に対応していません。接続するときは[はい]を、接続を中止するときは[いいえ]を選択します。

このサイトは安全でない可能性があります　接続しますか

- サイトの証明書の有効期限前か期限が過ぎています。接続するときは[はい]を、接続を中止するときは[いいえ]を選択します。

この接続先の安全性が確認できません　接続しますか

- FOMA端末の証明書の有効期限前か期限が過ぎています。接続するときは[はい]を、接続を中止するときは[いいえ]を選択します。また、日付時刻が間違っている場合にも表示されることがあります。その場合は日付時刻を設定してください。(P.40)

*"メモリースティック Duo"をご利用になるには、別途"メモリースティック Duo"が必要となります。(P.233)

この接続先は安全でない可能性があります　接続しますか

- サイトの証明書のCN名（サーバー名）が実際のサーバー名と一致していません。接続するときは[はい]を、接続を中止するときは[いいえ]を選択します。

このソフトのメールフォルダが使用中のため起動できません

- 対応するメールフォルダが使用中のため、メール連動型ｉアプリのソフトを起動できません。

このソフトのメールフォルダを使用中のため削除できません

- 対応するメールフォルダが使用中のため、メール連動型ｉアプリのソフトを削除できません。

このソフトは現在利用できません

- ｉアプリのソフトをIP（情報サービス提供者）が停止中です。IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。

このタイプのｉモーションは再生できません

- FOMA端末に対応していないｉモーションのため、ダウンロードできません。

このデータは再生できない可能性があります

- ｉモーションデータが不正なため、再生できない場合があります。

このデータは再生できません

- 再生できない動画/ｉモーションです。

このデータを取得するためには日付時刻設定をしてください

- 日付時刻を設定していないため、ｉモーションを取得できません。日付時刻を設定してください。（P.40）

この履歴は設定できません

- 非通知の履歴のため、電話番号を設定できません。

さ

サービス未契約です

- ｉモードをご契約されていません。ｉモードを利用になるにはお申し込みが必要です。
- ｉモードを途中からご契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

サービス未提供です

- SMSのサービスが未提供です。

再生可能回数が終了しました

- 再生回数制限付きの動画/ｉモーションが再生回数の終了後のため再生できません。詳細情報表示画面で再生可能回数を確認してください。（P.240）

再生可能期限が切れました

- 再生期限制限または再生期間制限付きの動画/ｉモーションが再生期間の終了後のため再生できません。詳細情報表示画面で期限を確認してください。（P.240）

再生可能日前です　再生できません

- 再生期間制限付きの動画/ｉモーションが再生期間の開始前のため再生できません。詳細情報表示画面で開始日時を確認してください。（P.240）

再生制限データに誤りがあるため取得できません

- ｉモーションの再生制限に誤りがあるため、取得できません。

最大件数登録済みです

- データBOXのデータを最大件数登録済みで、これ以上保存できません。不要なデータを削除してください。（P.239）

最大サイズを超えています　受信できません（452）

- サイトなど受信するデータが最大サイズを超えているため、受信できません。

最大番号のファイルがあります

- “メモリースティック Duo”に最大のファイル番号（999-9999）のファイルがあるため、これ以上保存できません。ファイル番号リセットを行うか、最大ファイル番号の画像を削除してください。（P.136、239）

サイトが移動しました（301）

- サイトが移動したため、URLが変更されています。

サイトに接続できませんでした（403）

- 何らかの原因でｉモードに接続できませんでした。もう一度接続してください。（P.146）

辞書データに部分エラーを検出しました

- 辞書データの一部に誤りがあるため、保存できなかった語句があります。（保存できた語句は辞書データとして使用できます）

指定サイトがみつかりません（404）

- サイトなどが見つかりませんでした。URLが正しいかどうか確認してください。

指定サイトに表示データがありません（204）

- 指定したサイトに表示データがありませんでした。

指定されたソフトがありません

- サイトやメール、赤外線通信から起動するｉアプリがFOMA端末内にありません。

指定されたソフトが起動できませんでした

- サイトやメール、赤外線通信からFOMA端末内のｉアプリが起動できませんでした。

指定したサイトへは接続できませんでした（504）

- 何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度接続してください。

指定したファイルが見つかりません（492）

- 10,000バイトを超える静止画の取得時に、指定ファイルが見つかりませんでした。

しばらくお待ちください

- 回線が非常に混み合っています。しばらく待って操作し直してください。110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

充電してください

- 電池残量がありません。充電してください。(P.37)

受信を拒否されました

- 相手がSMSの受信を拒否しているため、送信できませんでした。

署名をつけることができません

- メールの本文と署名の合計文字数が全角5,000文字/半角10,000文字を超えるため、署名を貼付けることができません。本文の文字数を減らすか、署名を貼付けずに送信してください。(P.181、203)

正常に接続できませんでした(400)

- 接続先選択で設定した接続先番号が間違っています。接続先番号をお買い上げ時の「ｉモード」に設定してください。(P.162)
- 何らかの原因でｉモードに接続できませんでした。もう一度接続してください。(P.146)

セキュリティエラーのため終了しました

- ソフトが許可されていない動作をしようとしたため、ｉアプリを終了しました。セキュリティエラー履歴を確認してください。(P.219)

セキュリティエラーのためｉアプリ待受画面を解除しました

- ソフトが許可されていない動作をしようとしたため、ｉアプリ待受画面を解除しました。セキュリティエラー履歴を確認してください。(P.219)

接続相手が見つかりません

- 赤外線通信の接続先の相手を認識できませんでした。赤外線ポートがお互いに正しく向きあっているか、接続先の相手機器が正常かを確認してください。(P.242)

接続が中断されました

- ｉモードデータの取得に失敗しました。もう一度データの取得を行ってください。

接続できません

- 接続先選択で設定した接続先番号が間違っています。接続先番号をお買い上げ時の「ｉモード」に設定してください。(P.162)
- 電波が弱いため接続できません。電波の強い場所でもう一度操作を行ってください。

接続できませんでした

- ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらく待って操作し直してください。
- テレビ電話をかけたとき何らかの理由により接続できませんでした。

接続できませんでした(503)

- ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらく待って操作し直してください。

接続できませんでした(562)

- ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

設定時間内に接続できませんでした

- 接続待ち時間設定で設定した時間内に接続できませんでした。設定を変更するか、しばらく待って操作し直してください。(P.161)

セルフモード設定中です

- セルフモードが設定されています。セルフモードを解除してからもう一度操作を行ってください。(P.111)

送信できませんでした

- メール送信中にエラーが発生しました。「圏外」が表示されていないことを確認の上、送信し直してください。再度この表示が出るときは、しばらく待って送信し直してください。(P.188)
- SMSの宛先が間違っています。正しい宛先(電話番号)を入力して送信し直してください。(P.208)

送信できませんでした(552)

- ｉモードセンターまたはSMSセンター側の問題で接続できませんでした。しばらく待って操作し直してください。

送信できませんでした　送信先のメールがいっぱいです(551)

- 相手のメール保管件数が最大になっている場合は、ｉモードセンターでそれ以上メールを保管できません。相手がメール受信できるようになってから、再度送信してください。(P.188)

送信を拒否されました

- SMSの送信を拒否されたため、送信できませんでした。

そのソフトは最新です

- 目的のソフトが更新されていないため、実行できません。

ソフトに誤りがあります

- ｉアプリのソフトに必要な情報が設定されていないためダウンロード、バージョンアップできません。

ソフトに誤りがあるためダウンロードできません

- ソフトのデータにエラーがあるため、ダウンロードできません。

た

対応機種ではありません

- ダウンロードやバージョンアップしようとしているソフトがFOMA端末に対応していません。

対応していないコンテンツです

- FOMA端末に対応していないデータが含まれています。

対応していないデータのためダウンロードできません

- ダウンロードしようとしているデータがFOMA端末に対応していません。(P.159)

 *“メモリースティック Duo”をご利用になるには、別途“メモリースティック Duo”が必要となります。(P.233)

対応ソフトが削除されています　サブメニューを参照してください

- メールのフォルダに対応しているメール連動型ｉアプリのソフトが削除されています。通常メールで確認するか、該当するソフトをダウンロードしてください。(P.200、213)

ダイヤル発信制限がかかっています

- ダイヤル発信制限が設定されています。ダイヤル発信制限を解除してからもう一度操作を行ってください。(P.112)

ダウンロードできませんでした

- エラーが発生したため、ダウンロードできませんでした。

ダウンロードできませんでした　更新を中止します

- ソフトウェアのダウンロードに失敗したため、ソフトウェア更新を中止しました。電波状態のよい場所に移動し、しばらく待って操作し直してください。(P.312)

ただいま利用制限中のためしばらくしてからご利用ください

- ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合、通信が一定時間内に著しく多くなっています。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。

ただいまｉモードメールが混みあっています　しばらくお待ちください(553)

- 回線が非常に混み合っています。しばらく待って操作し直してください。

チャネル情報取得失敗

- ｉチャネルの情報の取得に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

データが不正です

- QRコードの音楽データまたは画像データが不正なため再生できません。

データに誤りがあるため再生できません

- エラーがあるためメロディが再生できません。

データに誤りがあるため表示できません

- メッセージに添付または挿入されている画像にエラーがあるため、表示できません。

同時起動できない機能が起動中です

- マルチタスクで同時に起動できない機能です。使っていない機能を終了してからもう一度操作を行ってください。(P.249)

登録中です　しばらくしてからご利用ください(554)

- ｉモードへのユーザ登録中です。しばらく待って操作し直してください。

な

入力データまたはURLが長すぎます

- 入力した文字数が多いため、送信できません。文字数を減らしてもう一度送信してください。

入力データをご確認ください(205)

- 入力した内容が間違っています。入力した内容を確認してください。

認証タイプに未対応です(401)

- 認証タイプに未対応のため、サイトなどに接続できません。

認証に失敗しました

- 認証パスワードの照合に失敗しました。もう一度認証パスワードを同じに設定し、赤外線通信を行ってください。(P.244)
- 赤外線通信でデータを送受信するときに接続先と認証タイプ(1件/全件)が違っています。認証タイプ(1件/全件)を同じに設定してください。(P.244)

は

バージョン表示できませんでした

- エラーが発生したため、バージョンを表示できませんでした。

パスワードをご確認ください(401)

- 入力したパスワードが間違っています。正しいパスワードを入力してください。

非対応のメモリースティックです

- FOMA端末に非対応の"メモリースティック Duo"が装着されています。FOMA端末対応の"メモリースティック Duo"を装着してください。(P.233)

ファイル番号がいっぱいです　リセットしてください

- "メモリースティック Duo"に保存するときに付加される画像のファイル番号が最大値(999-9999)に達しています。ファイル番号リセットを行うか、最大ファイル番号の画像を削除してください。(P.136、239)

ファイルを添付することができません

- メール本文の文字数と添付ファイルが制限を超えているため添付することができません。

フォーマットが必要です

- "メモリースティック Duo"が正しくフォーマットされていません。FOMA端末で"メモリースティック Duo"をフォーマットしてください。(P.237)

ブックマークがいっぱいです　登録できません

- ブックマークを200件登録しているとき、QRコードのブックマークを複数件登録することはできません。不要なブックマークを削除してください。(P.155)

他の機能が起動中です　設定は行えません

- 他の機能が起動中のため設定できません。設定以外の機能を終了してからもう一度操作を行ってください。(P.249)

他の機能が起動中のため移動できません

- 通話中のため、動画/ｉモーションをFOMA端末に移動できません。通話を終了して操作し直してください。

他の機能が起動中のため実行できません

- 同時に実行できない機能が起動中のため実行できません。使っていない機能を終了してからもう一度操作を行ってください。(P.249)

他の機能が起動中のため保存できません

- 通話中のため、動画/ｉモーションをFOMA端末に保存できません。通話を終了して操作し直してください。

保存できませんでした

- 画像の保存に失敗しました。
- 着せかえメニューの保存に失敗しました。
- ｉアプリの保存に失敗しました。
- "メモリースティック Duo"への保存に失敗しました。
- 赤外線通信やパソコンなどとのデータ通信時にデータの受信に失敗しました。
- バーコードリーダーで読み取った画像またはメロディの保存に失敗しました。

保存メールがいっぱいのため作成できません

- 保存メールが50件保存されているか、メモリの空き容量がありません。不要な保存メールを削除してください。(P.200)

本体メモリがわずかなため保存できない場合があります

- FOMA端末のメモリの空き容量が不足しているため、編集する画像を保存できない場合があります。不要な画像を削除するか、"メモリースティック Duo"に移動してください。(P.236、239)

本体メモリに空き容量がありません

- FOMA端末のメモリの空き容量が不足しているため、カメラで撮影する画像を保存できません。撮影モードを変更するか、画像サイズを変更するか、不要な画像を削除してください。(P.125、126、130、239)
- FOMA端末のメモリの空き容量が不足しています。不要なデータを削除してください。(P.85、155、200、239、253、257)

ま

無効なデータを受信しました(XXX)

- サイトなどがｉモードに対応していません。
- URLが間違っている可能性があります。
- 受信データにエラーがあるため表示できません。

メモリースティックエラーです

- "メモリースティック Duo"のアクセス(読み込みなど)に失敗しています。"メモリースティック Duo"をもう一度取付けてください。(P.233) 再度、この表示が出た場合、"メモリースティック Duo"の故障が考えられます。

メモリースティックに空き容量がありません

- "メモリースティック Duo"の空き容量が不足しているため、カメラで撮影する画像を保存できません。撮影モードを変更するか、画像サイズを変更するか、不要な画像を削除してください。(P.125、126、130、239)
- "メモリースティック Duo"の空き容量が不足しています。不要なデータを削除してください。(P.85、155、200、239、253、257)

メモリに空きがありません

- 電話帳を1,000件登録しています。不要な電話帳のデータを削除してください。(P.85)
- スケジュールを300件登録しています。不要なスケジュールを削除してください。(P.253)
- 赤外線通信でデータを送受信するときに、メモリに空きがなくデータを保存できません。
- メモリに空きがなく新しいデータを登録できません。不要なデータを削除してください。(P.242)

メモリ不足です

- メモリが不足したため、処理を中断します。

メモリ不足です　終了します

- メモリが不足したため、処理を終了します。

メモリ不足のため実行できません

- メモリが不足したため、機能を実行できません。

メロディデータが不正です

- メロディデータにエラーがあるため、ダウンロードまたは保存できません。

文字数オーバーのため送信できません

- メール本文の文字数がオーバーしているためメールを送信できません。文字数を減らしてください。

や

読込めませんでした

- 本体メモリの読み込み中にエラーが発生しました。

英数字

FOMAカード(UIM)がいっぱいです

- FOMAカード内のSMSがいっぱいです。不要なSMSを削除してください。(P.200)

FOMAカード(UIM)が異なるためご利用できません

- FOMAカード動作制限機能により操作できません。データやファイルを取得時に挿入していたFOMAカードを挿入して、もう一度操作を行ってください。(P.33)

FOMAカード(UIM)が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした

- FOMAカード動作制限機能によりｉアプリを起動できませんでした。データやファイルを取得時に挿入していたFOMAカードを挿入して、もう一度操作を行ってください。(P.33)

ｉモーション再生サイズを超えています

- データ量が最大サイズを超えたため、取得できませんでした。

ｉモーション再生サイズを超えました

- データ量が最大サイズを超えたため、取得できませんでした。

*"メモリースティック Duo"をご利用になるには、別途"メモリースティック Duo"が必要となります。(P.233)

ｉモーション最大サイズを超えています

- データ量が最大サイズを超えたため、取得できませんでした。

ｉモーション最大サイズを超えました

- データ量が最大サイズを超えたため、取得できませんでした。

ｉモードセンターが混みあっています　しばらくお待ちください(555)

- 回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらく待って操作し直してください。

PIMロック中です

- PIMロックが設定されています。PIMロックを解除してからもう一度操作を行ってください。（P.111）

PINロック解除コードがロックされています

- PINロック解除コードがロックされています。ドコモショップ窓口へお問い合わせください。（P.105）

PIN1コードがロックされています

- PIN1コードがロックされています。PIN1コードのロックを解除してからもう一度操作を行ってください。（P.107）

SMSセンター設定を確認してください

- SMSC指定で設定した接続先が間違っています。接続先をお買い上げ時の「ドコモ」に設定してください。（P.210）

SSL通信が切断されました

- SSL通信に失敗しました。もう一度接続してください。

SSL通信が無効です

- サーバーの認証エラーのため、接続できません。

SSL通信が無効に設定されています

- SSL証明書が[無効]に設定されています。SSL証明書を[有効]に設定してください。（P.168）

SSL通信を切断しました

- SSL通信中にサイト証明書に問題があり、SSL通信を切断しました。

URLが正しくありません

- URL入力時、「http://」または「https://」が入力されていないか、間違っています。正しく入力してもう一度操作を行ってください。（P.152）
- URLにエラーがあるため、リンクを表示できません。

URLが長すぎて登録できません

- URLが半角256文字を超えているため、ブックマークに登録できません。（P.153）

XXX(ｉアプリ名)の通信回数が多くなっています　通信を継続しますか

- ｉアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多くなっています。

XXX(ｉアプリ名)利用を継続し通信を行いますか

- ｉアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多くなっています。

αエラーが発生しました

- ｉアプリ実行中にエラーが発生しました。もう一度起動するか、エラー情報を確認してください。（P.219）

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。
  記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。なお、パソコン（Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP）をお持ちの場合は、専用のデータリンクソフト（P.300）とFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモード、iアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しいFOMA端末などに移行を行っておりません。

アフターサービスについて

◎調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったらまずチェック」をご覧になってお調べください。（P.302）
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までご相談ください。

※ お問い合わせの結果、修理が必要な場合
　ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

◎保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

◎次の場合は、修理できないことがあります。

水ぬれシールが反応している場合、試験の結果、水ぬれ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外ですので有償修理となります。

◎保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有償修理いたします。

◎部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間です。
この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◎**お願い**

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - FOMA端末、FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末、FOMAカードは使用できません。
  - 改造(部品の交換・改造・塗装など)が施されたFOMA端末の故障修理は、改造部分を元の状態(ドコモ純正品状態)に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA端末に貼付けられている銘板シールは、はがさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能のON/OFF設定や積算通話料金などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによってリセット(クリア)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 電話機がぬれたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によって修理ができないことがあります。

メモリダイヤル(電話帳機能)およびダウンロード情報などについて

- お客さまご自身で携帯電話などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化・消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- 携帯電話を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらデータなどは一部を除き交換後の製品に移し変えることができません。
  本FOMA端末はｉモード公式サイトからダウンロードした画像・着信メロディを故障修理時に移し替えられます。(一部移し替えできないコンテンツもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります。)

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。

※ ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモホームページおよびｉMenuの「お知らせ＆ヘルプ」にてご案内させていただきます。
ソフトウェアを更新するには、「即時更新」と「予約更新」の2つの方法があります。

即時更新	更新したいときにすぐに更新します。
予約更新	更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアを更新します。

- 接続先選択を［ｉモード（FOMAカード）］以外に設定している場合もソフトウェアを更新できます。
- ソフトウェアを更新する場合は、電池を十分に充電してください。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 正しい日付時刻を設定していないとき
  - 「圏外」が表示されているとき
  - オールロック設定中
  - 電池残量が不足しているとき
  - 他の機能が動作中のとき
  - 通話中
  - セルフモード設定中
  - PIMロック設定中
  - FOMAカードを挿入していないとき
  - パソコンなど外部機器と接続中のとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中はめざまし時計、スケジュールアラームは動作しません。
- PIN1コード入力設定を［ON］に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発着信、各種通信操作ができません。
- ソフトウェア更新中は、他の機能を利用できません。（ダウンロード中は音声着信が可能です）
- ソフトウェアを更新するときは、サーバー（当社のサイト）へSSL通信を行います。あらかじめSSL証明書を［有効］に設定してください。（お買い上げ時：［有効］）（P.168）
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。

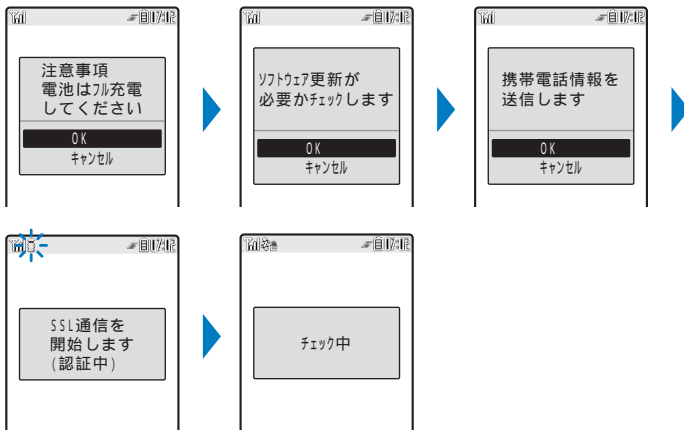
  ※ ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェアを更新してください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されます。
- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。また、メール選択受信を［ON］に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、携帯電話に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様の携帯電話の状態（故障・破損・水ぬれなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、ご了承ください）
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。この場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

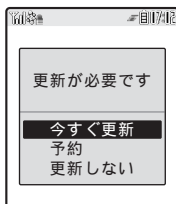
1 メニューで[設定]→[管理]→[ソフトウェア更新]を選び ◉ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、◉ (OK)を押す

- 入力した端末暗証番号は「****」で表示されます。
- お買い上げ時、端末暗証番号は「0000」に設定されています。

3 注意事項を確認する

SSL通信が開始され、ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックします。

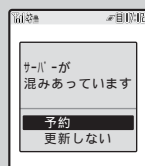
4 更新が必要なときは、更新するタイミングを選び ◉ を押す

[今すぐ更新]：ソフトウェアの更新を開始します。（即時更新）サーバーが混みあっていると更新できない場合があります。

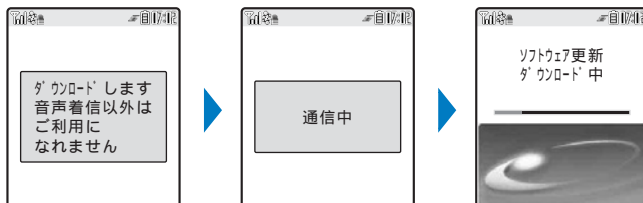
[予約]：ソフトウェア更新を開始する日時を予約します。（予約更新）

[更新しない]：ソフトウェア更新を開始しません。

更新の必要がない旨が表示される場合

ソフトウェアの更新は必要ありません。このままご利用ください。

- サーバーが混みあっている場合、右の画面が表示されます。予約する場合は、[予約]を選択して予約日時を設定してください。

すぐにソフトウェアを更新する(即時更新)

1 更新方法選択画面で[今すぐ更新]を選び ◉ を押し、◉ (OK)を押す

しばらくすると、ダウンロードが開始されます。

- ダウンロードが開始されると、操作2〜3は操作しなくても自動的に実行されます。

ダウンロードを中止する場合

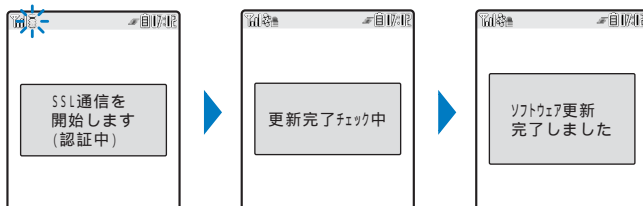
ダウンロード中に ✉ (中止)を押します。

- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは削除されます。

2 ダウンロードが終了したら ◉ (OK)を押す

ソフトウェアの書き換えが開始されます。書き換え完了後、自動的にFOMA端末を再起動します。

- ソフトウェアの書き換え中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。

3 再起動したら更新の完了を確認し、◉ (OK)を押す

再起動後、自動でサーバーと通信を行います。しばらくお待ちください。

- ソフトウェア更新中は着信ランプが点滅します。
- 操作3の画面で更新結果を確認しない場合、待受画面に「◎」(ソフトウェア更新完了)が表示されます。確認していただきたい情報がある場合は、「◎」(ソフトウェア更新説明あり)が表示されます。アイコンを選択して通知情報を確認すると表示が消えます。

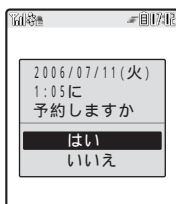
日時を予約してソフトウェアを更新する（予約更新）

ダウンロードに時間がかかる場合、サーバーが混みあっている場合には、あらかじめソフトウェア更新を開始する日時をサーバーと通信して設定しておくことができます。

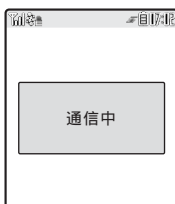
例：ソフトウェア更新を7月11日（火）1:05に予約する

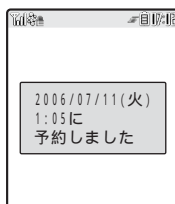
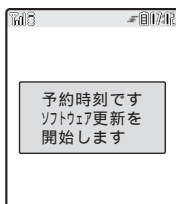
1 **更新方法選択画面で[予約]を選び ◉ を押す**

サーバーと通信を行い、サーバーの予約候補一覧を表示します。

- ソフトウェア更新の予約では、サーバーの時刻が表示されます。

その他の日時を選択する場合

（その他）を押し、希望日、希望時間帯、希望時間を選択します。希望時間帯選択画面ではサーバーの予約空き状況が、「○:空きあり」「△:空きわずか」「×:空きなし」と表示されます。

予約を中止する場合

（中止）を押します。

2 **予約する日時→[はい]を選び ◉ を押す**

サーバーと通信を行い、予約を完了します。

予約時刻になると

FOMA端末は自動的にソフトウェア更新を開始します。

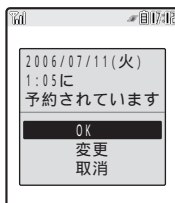
- 予約時刻前には、電波の十分届く所で待受画面を表示しておいてください。

- 他の機能を使用していると、予約時刻になっても開始しないことがありますのでご注意ください。
- 予約時刻と同じ時刻にめざまし時計/スケジュールアラームなどを設定している場合、ソフトウェア更新が優先され、アラームなどが鳴らないことがあります。
- 予約が完了したあとにデータ一括削除を行ったり、電池パックを外した状態または空の状態でFOMA端末をしばらく放置すると、日付時刻がリセットされ、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

予約を確認する

1 メニューで[設定]→[管理]→[ソフトウェア更新]を選び ◉ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、◉（OK）を押す

予約済みの場合は、予約内容が表示されます。

予約を変更する場合

[変更]→[OK]を選択します。サーバーと通信を行い、希望日時を選択します。

予約を取り消す場合

[取消]→[はい]→[OK]を選択します。サーバーと通信を行い、予約を取り消します。

障害を引き起こすデータから携帯電話を守る

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータを削除したりアプリケーションの起動を中止します。

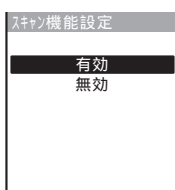
- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。（P.317）
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害等の発生を防ぐことができませんので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。よって当社の都合により、端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止することがありますので、あらかじめご了承ください。

スキャン機能を設定する

お買い上げ時 | 有効

データやプログラムを実行する際、自動的にチェックするかどうかを設定します。

- お買い上げ時、スキャン機能は[有効]に設定されています。

1 メニューで[設定]→[管理]→[スキャン機能]→[スキャン機能設定]を選び ◉ を押す

[有効]：スキャン機能を実行します。障害を引き起こすデータを検出した場合、5段階の警告レベルで表示されます。

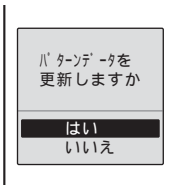
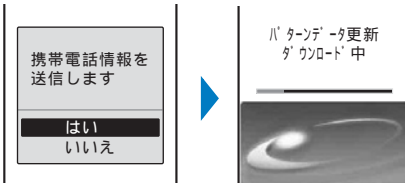
[無効]：スキャン機能を実行しません。

2 [有効]を選び ◉ を押す

設定を変更した場合

[はい]を選択します。

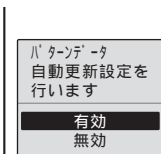
パターンデータを更新する

1 メニューで[設定]→[管理]→[スキャン機能]→[パターンデータ更新]を選び◉を押す

2 [はい]→[はい]を選び◉を押す

パターンデータが最新の場合
パターンデータの更新は不要です。このままお使いください。

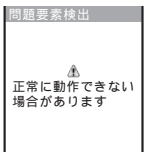
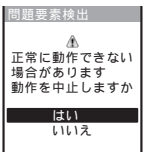
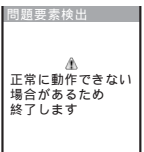
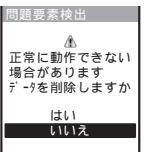
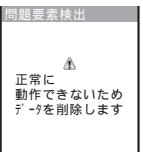
- パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報(機種や製造番号など)が、自動的にサーバー(当社が管理するスキャン機能用サーバー)に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- 以下の場合はパターンデータを更新できません。
  - 日付時刻を設定していないとき
  - セルフモード中
  - FOMAカードを挿入していないとき
  - パソコンなど外部機器と接続中のとき
  - 「圏外」が表示されているとき
  - オールロック設定中
  - 他の機能が動作中のとき
  - 通話中
  - PIMロック設定中
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。

パターンデータを自動更新するかどうかを設定する

パターンデータの更新を自動的に行うかどうかを設定します。

1 メニューで[設定]→[管理]→[スキャン機能]→[自動更新設定]を選び◉を押す

[有効]：パターンデータを自動的に更新します。
[無効]：パターンデータを自動的に更新しません。

2 [有効]→[はい]→[はい]を選び◉を押す

自動更新設定が設定されます。

- 自動更新設定を[有効]に設定した場合、パターンデータの更新が完了すると、待受画面に「 」(パターンデータ更新成功)が表示されます。パターンデータの更新に失敗した場合は、「 」(パターンデータ更新推奨)が表示されます。アイコンを選択して通知情報を確認すると表示が消えます。
- 電池パックを外した状態または空の状態でFOMA端末をしばらく放置すると、日付時刻がリセットされ、自動更新が正しく動作しない場合があります。

スキャン結果表示について

障害を引き起こすデータを検出した場合、警告画面が表示されます。

■スキャン結果の表示

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
問題要素検出 正常に動作できない場合があります	問題要素検出 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか はい いいえ	問題要素検出 正常に動作できない場合があるため 終了します	問題要素検出 正常に動作できない場合があります ﾃﾞｰﾀを削除しますか はい いいえ	問題要素検出 正常に 動作できないため ﾃﾞｰﾀを削除します
処理を継続します。	処理を中止するかどうかを確認します。	処理を中止します。	処理を中止し、対象データを削除するかどうかを確認します。	処理を中止し、対象データを削除します。

■検出された問題要素の表示

警告画面で (詳細)を押すと、問題要素の名前が表示されます。

- 問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略されます。

パターンデータのバージョンを表示する

1 **メニューで[設定]→[管理]→[スキャン機能]→[バージョン表示]を選び を押す**

主な仕様

品名	FOMA SO702i
サイズ	高さ94×幅47×厚さ23mm（高さ・厚さは本体を閉じたとき）
質量	約103g（電池パック装着時）
充電時間（FOMA ACアダプタ 01）	約130分
連続通話（通信）時間	音声電話時：約145分 テレビ電話時：約90分
連続待受時間	静止時：約500時間 移動時：約390時間
電池パック種別	リチウムイオン電池
電池容量	840mAh
カメラ画素数	アウトカメラ：有効画素数約130万画素（記録画素数約120万画素） インカメラ：有効画素数約11万画素（記録画素数約10万画素）
デジタルズーム	アウトカメラ：最大6倍 インカメラ：最大2倍

- 充電時間とは、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電した時間の目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。
- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合など）などにより、通話（通信）・待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリやｉアプリ待受画面の起動、データ通信やマルチアクセスの実行、カメラの使用などによっても通話（通信）・待受時間は短くなります。

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録件数	保護件数
メール	受信メール※1 ※2	最大1000件	最大500件
	送信メール※1 ※2	最大500件	最大250件
	保存メール※1 ※2	最大50件	−
	テンプレート	最大50件	−
FOMAカードのSMS		最大20件	−
メッセージR		最大20件	最大20件
メッセージF		最大20件	最大20件
ブックマーク		最大200件	−
画面メモ※1		最大100件	最大50件
iアプリ※1		最大100件（メール連動型iアプリ最大5件を含む）	−
画像※1		最大1000件	−
メロディ※1		最大200件	−
動画/iモーション※1		最大100件	−
キャラ電※1		最大50件	−

※1 実際の保存・登録可能件数は、データ量により少なくなる場合があります。

※2 iモードメールとSMSの合計件数です。

- FOMA端末に保存・登録した内容は、別にメモを取ったり、“メモリースティック Duo”(P.233)を利用して保管することをおすすめします。
  FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、保存・登録内容が消失してしまう場合もあります。万一、保存・登録した内容が消失してしまうことがあっても当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

携帯電話の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA SO702iの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA SO702iのSARの値は1.35W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
　http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
　http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ
　http://www.nttdocomo.co.jp/product/
ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ
　http://www.SonyEricsson.co.jp/product/SAR/

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省へお問い合わせください。

索引/クイックマニュアル

索引 324
クイックマニュアル 332

索引

あ

アイコン 28, 123
アイコン設定 100
明るさ調節 98
アドレス変更 176
アドレスリセット 176
アニメーション設定 97
アフターサービス 310
アプリケーション設定 257
アラーム
スケジュールアラーム 252
めざまし時計 250
料金上限通知 256
暗証番号 104
安全上のご注意 12
アンテナ 27
イヤホン設定 92, 258, 259
イヤホンスイッチ設定 258
イヤホンマイク 258
イヤホン切替 92
イヤホンスイッチ設定 258
自動着信設定 259
電話を受ける 258
電話をかける 258
インターネット 152
文字サイズ 101
英語ガイダンス 264
エニーキーアンサー 56
絵文字 274
絵文字一覧 286
エラーメッセージ 304
遠隔操作設定 265
遠隔ロック設定 109
応答保留 60
オールロック 109
お買い上げ時設定一覧 260, 278
オプション・関連機器 299
音楽再生 301
音声通話品質アラーム 92
音声電話
アニメーション設定 97
エニーキーアンサー 56
応答保留 60
クローズ動作設定 57
ささやき通話 59
着信設定 88
着信履歴 58
通話中保留 59
テレビ電話切替 46
テレビ電話切替通知 76
伝言メモ 63
電話を受ける 55
電話をかける 44
ハンズフリー 44
リダイヤル 47
音声メモ 254
再生 66
削除 66
録音 254
音量調節
効果音設定 91
受話音量 91
着信音量 88
ボタン確認音量 90
メロディ 232
ｉチャネル 91
ｉモーション 230

か

カーソル 28
改行 285
ガイド表示 30, 95
顔文字一覧 287
学習情報リセット 276
各部の名称と機能 26
カメラ 120
アイコン 123
画像表示 128
カメラ切替 129
カメラモード 121
サイズ選択 130
削除 128
撮影画質 134
撮影可能時間の目安 122
撮影可能枚数の目安 121
撮影種別 134
シーン 128
自動保存 136
シャッター音 135
常時点灯設定 98
ズーム調節 131
静止画撮影 124
セルフタイマー 130
測光モード 132
調整リセット 133
動画撮影 127
バーコードリーダー 137
ピクチャエフェクト 132
ファイルサイズ制限 135
ファイル番号リセット 136
ファイル名 121
フォトライト 129
フレーム撮影 126
保存先選択 136
ホワイトバランス 133
マクロ撮影 125
メール添付 124, 127, 128
連続撮影 125
EV補正 131
画面メモ
削除 157
タイトル変更 156
表示 156
保護設定/解除 157
保存 156
URL表示 156
カレンダー 95, 252
カレンダー/時計表示 95
かんたん検索 4
記号 274
記号・特殊文字一覧 286
着せかえパネル 298
着せかえメニュー 99
機能メニュー 32
キャッシュ 148
キャッチホン 263
キャラ電 231
空き容量不足 242
アクション一覧 73, 231
アクション切替 73, 232
アクション入力モード 73
キャラ電設定 232
キャラ電発信 73, 232
削除 239
詳細情報表示 240
情報表示 240
ソート 239
代替画像設定 232
DTMF送出モード 73
切取 275
クイック伝言メモ 65
クイックマニュアル 332
区点コード 275
区点コード一覧 291
国番号選択 49

クローズ動作設定 57
効果音設定 91
公共モード(電源OFF) 62
公共モード(ドライブモード) 60
国際ダイヤル設定 51
国際ダイヤル選択 49
国際電話 50
故障かな?と思ったら 302
コピー 275
こんな表示がでたら 304

さ

サービスダイヤル 264
ドコモ故障問合せ 264
ドコモ総合案内・受付 264
再接続アラーム音 53
サイト表示 146
ささやき通話 59
サブアドレス設定 52
シークレットコード 79, 176
シークレット登録
スケジュール 251
電話帳 80
電話番号表示 42
シークレット表示 113
辞書
ダウンロード 276
登録 275
自動着信設定 259
車載ハンズフリー 54
充電 36
充電確認音 90
充電時間 36
常時点灯設定 98
受信/拒否設定 176
受信メール 196
受話音量 91
仕様 319
上限値通知アイコン消去 256
常時点灯設定 98
省電力モード 99
証明書 147, 168, 214
照明設定 98
初期設定 39
新規メール作成 181
スイッチ付イヤホンマイク 258
スキャン機能 316
結果表示 318
自動更新設定 317
スキャン機能設定 316
バージョン表示 318
パターンデータ更新 317
スケジュール
休祝日設定 253
削除 253
シークレット表示 113
スケジュールアラーム設定 .. 252
赤外線送信 244
登録 251
登録件数確認 254
日付指定表示 252
表示 252
M.S.保存 236
スケジュール設定
.... 252, 253, 257
ステレオ・3Dサウンド 90
スライドショー 227
静止画編集 227
回転 229
画像スタンプ 227
サイズ変換 229
ズーム切出し 228
テキストスタンプ 228
フレーム 227
赤外線受信 244
赤外線通信 242
受信 244
送信 244
認証パスワード 242
リモコン機能 245
利用できるデータ 243
積算時間表示 255
積算リセット 255
積算料金自動リセット 255
積算料金表示 255
セキュリティスキャン機能
(スキャン機能) 316
設定状況確認 176
設定リセット 259
リセット一覧 260, 278
セルフモード 111
センター接続先選択 170
送信メール 196
ソフトウェア更新 312
即時更新 314
予約確認 316
予約更新 315
ソフトキー表示 96

た

タイマー(T) 45
ダイヤル発信制限 112
ダイヤルボタンの文字割り当て一覧
.... 285
ダウンロード
画像 158
着せかえメニュー 159
キャラ電 159
辞書 159
テンプレート 159
iアプリ 213
iメロディ 159
iモーション 171
卓上ホルダ 37
端末暗証番号 104
変更 106
知的財産権について 22
着信音
指定電話着信音 80, 83
指定メール着信音 80, 83
テレビ電話着信 88
電話着信 88
付加番号 265
メール着信 88
メッセージF着信 88
メッセージR着信 88
着信音量 88
着信画像 89
着信許可/拒否 114
着信設定 88
着信動作選択 265
着信呼出動作設定 115
着信履歴 58
削除 59
電話帳登録 81
メールで返信 257
文字サイズ 101
履歴表示設定 113
追加サービス 266
応答ワーディング追加 266
USSDコマンド追加 266
通常辞書編集 275
通常変換 273
ツータッチダイヤル 86
通知情報表示 30
通知発信/非通知発信 48
通話時間表示 255
通話中着信設定 265
通話中保留 59
通話料金表示 255
定型文 274
定型文一覧 288
登録 274
ディスプレイ 28

ガイド表示 30, 96
着せかえメニュー 99
照明設定 98
ソフトキー表示 96
通知情報表示 30
データ一括削除 259
リセット一覧 260, 278
データ通信 268
準備 270
用語解説 269
ATコマンド 270
データリンクソフト 300
データBOX 238
キャラ電 231
マイピクチャ 226
メロディ 232
ｉモーション 229
テキストメモ 256
削除 257
赤外線送信 244
テキストメモコピー 257
登録 256
表示 257
M.S.保存 236
デコメール 179
作成 183
指定範囲デコレーション 185
デコレーション 184
テンプレート 186
テンプレート一覧 290
デュアルスタイル 298
デュアルネットワーク 264
テレビ伝言メモ 63
テレビ電話 68
アニメーション設定 97
応答保留 60
音声自動再発信 75
音声電話切替 71
カメラ切替 69
キャラ電 73
クローズ動作設定 57
常時点灯設定 98
ズーム 69
送信画質設定 75
送信画像設定 74
代替画像選択 69
着信設定 88
着信履歴 58
通話中の画面 68
通話中の操作 69
通話中保留 69
テレビ伝言メモ 63
テレビ電話画面設定 74
テレビ電話切替通知 76
テレビ電話を受ける 72
テレビ電話をかける 69
ハンズフリー 75
フォトライト 69
リダイヤル 47
テレビ電話切替 46
テロップ表示設定 95
電源 39
伝言メモ 63
クイック伝言メモ 65
再生 66
削除 66
伝言メモ設定 65, 257
転送でんわ 263
電卓 256
電池残量 38
電池パック 35
充電 36
使用時間 36
電話帳 78
引用 274
画像表示設定 84
画像M.S.保存設定 84
グループ設定 82
検索 84
削除 85
シークレット表示 113
指定キャラ電 80
指定着信音 80, 83
指定発着信画像 80, 83
指定ランプ色 80, 83
修正 85
赤外線送信 244
着信許可/拒否 114
着信呼出動作設定 115
ツータッチダイヤル 86
テレビ電話をかける 83
電話をかける 83
登録 79, 81
登録外着信拒否 116
登録件数確認 86
表示形式設定 84
メール送信 83
文字サイズ 101
FOMAカードへコピー 237
M.S.保存 236
電話帳指定画像表示 97
電話帳設定 84, 257
電話番号表示 41
シークレット表示 113
赤外線送信 244
マイデータ引用 274
電話を受ける 55
応答保留 60
着信設定 88
電話をかける 44
アニメーション設定 97
着信履歴 58
テレビ電話切替 46
電話帳 83
リダイヤル 47
動画再生ソフト 301
動画編集 230
サイズ変換 231
静止画切出し 230
動画切出し 230
登録外着信拒否 116
登録件数 320
取り扱い上の注意について 20

な

名前表示 97
認証パスワード 242
ネットワーク暗証番号 104
ネットワークサービス
英語ガイダンス 264
遠隔操作設定 265
キャッチホン 263
サービスダイヤル 264
追加サービス(USSD)登録 266
通話中着信動作選択 265
デュアルネットワークサービス 264
転送でんわサービス 263
番号通知お願いサービス 264
マルチナンバー 265
迷惑電話ストップサービス 263
留守番電話サービス 262
ノイズキャンセラ 53

は

バーコード認識 137
バーコードリーダー 137
削除 138
電話帳登録 138
ブックマーク登録 138
保護設定/解除 138
保存データ 138
読取 137
バイブレータ 89
バイリンガル 102

発信者番号通知 41
発信頻度履歴 47
発信メニュー 49
発着信表示設定 97
貼付 275
番号通知お願いサービス 264
ハンズフリー 44
非通知着信拒否 115
日付時刻設定 40
不在お知らせ 101
不在着信 63
　呼出時間表示 58
ブックマーク
　移動 154
　コピー 153
　削除 155
　タイトル変更 153
　登録 153
　表示 153
　フォルダ操作 154
　ブックマーク操作 153
プッシュ信号 45
プリインストール画像一覧 289
プリインストールメロディ一覧 ... 89
プレフィックス設定 50
プレフィックス選択 49
ポーズ(P) 45
ポケットベル 45
保護件数 320
保証とアフターサービス 310
保存件数 320
保存メール 196
ボタン確認音量 90
ボタンライト調節 98
保留
　応答保留 60
　通話中保留 59
本書の見かた/引きかた 1
本体音設定 90
本体情報 242
本体付属品および主なオプション品
.... 24

ま

マイセレクト 254
マイデータ
　引用 274
　赤外線送信 244
　編集 42
マイピクチャ 226
　空き容量不足 242
　一覧表示切替 240
　移動 239
　画面切替 226
　画面設定 226
　削除 239
　詳細情報表示 240
　情報表示 240
　スライドショー 227
　静止画編集 227
　赤外線送信 244
　ソート 239
　フォルダ情報表示 240
　フォルダ操作 239
　メール添付 226
　M.S.保存 236
マイメニュー 151
待受画面 95
待受画面設定 95
マナーモード 93
　オリジナルマナーモード 94
　サイレントモード 93
マルチアクセス 248
　組み合わせ 295
　操作 248
マルチタスク 249
　機能切り替え 249
　組み合わせ 296
　終了 249
　新機能実行 249
マルチナンバー 265
未承諾広告※メール拒否 176
鳴動時間 89
迷惑電話ストップ 263
メールアドレス 175, 176
メール機能停止 176
メールサイズ制限 176
メール設定 202, 257
メール選択受信 190, 204
メールメニュー 181
メール連動型ｉアプリ 212, 214
　通常メール表示 200
めざまし時計 250
メッセージ
　開封時自動演奏 206
　削除 167
　受信 164
　挿入画像詳細表示 195
　挿入画像選択保存 195
　着信設定 88
　添付ファイル保存 195
　表示 166
　保護設定/解除 167
　マルチタスク中受信設定 206
　メッセージ自動表示 165
　メッセージF 166
　メッセージR 166
　メロディ再生 195
　メロディタイトル確認 195
　メロディ保存 195
　ｉモード問合せ 165
　ｉモード問合せ設定 204
メッセージF 144, 166
メッセージR 144, 166
メニュー
　着せかえメニュー 99
　選択方法 31
　メニュー設定 100
メニュー一覧 278
メニュー設定 100
“メモリースティック Duo” ... 233
　削除 85, 155, 200, 239, 253, 257
　取付け/取外し 233
　表示 233
　ファイル番号リセット 136
　フォーマット 237
　フォルダ構成 234
　本体へ保存 236
　利用できるデータ 235
　FOMA端末からコピー/移動 ... 236
　FOMA端末へコピー/移動 ... 236
　M.S.保存 236
　M.S.Duo情報表示 237
メロディ 232
　空き容量不足 242
　移動 239
　再生 232
　削除 239
　詳細情報表示 240
　情報表示 240
　赤外線送信 244
　ソート 239
　フォルダ情報表示 240
　フォルダ操作 239
　ポイント再生 232
　メール添付 232
　M.S.保存 236
モード切替 100
文字コード変換 150
文字サイズ 101
文字自動判別 163
文字入力 272
　絵文字 274, 286
　絵文字・記号モード 272

学習情報リセット 276
記号 274, 286
切取 275
区点コード 275, 291
コピー 275
削除 272
辞書フォルダ 276
全角/半角切替 272
挿入 272
通常辞書編集 275
通常変換 273
定型文 274, 288
定型文編集 274
電話帳引用 274
バーコードリーダー 274
貼付 275
マイデータ引用 274
文字モード 272
文字割り当て一覧 285
元に戻す 272
予測辞書編集 275
予測変換 272
予測変換切替 273
文字入力設定
.... 257, 273, 274, 275, 276
元に戻す 272

や

ユーザ証明書操作 168
優先順位
着信音 90
着信画像 90
着信ランプ色 90, 101
輸出管理規制 321
予測辞書編集 275
予測変換 272
予測変換切替 273
呼出時間表示 58

ら

ランプ色 89
リセット一覧 260, 278
リダイヤル 47
削除 48
電話帳登録 81
メールで返信 257
文字サイズ 101
履歴表示設定 113
料金上限値通知設定 255
履歴設定 113, 257
履歴表示設定 113
留守番電話 262
ロック機能について 108

英数字

＋ 45
186/184 48
4方向ボタン 28
AC**アダプタ** 37
AT**コマンド** 270
AV Phone To**機能** 160
DC**アダプタ** 37
DCF**規格** 234
EV-Link 257
FirstPass 168
Flash 150
効果音設定 91
FOMA**カード** 33
取付け/取外し 33
本体メモリへコピー 237
FOMAカード設定 106
FOMA端末からコピー 237
FOMA端末へコピー 237
PIN1コード/PIN2コード ... 105
FOMA**カード機能差分** 34
FOMA**カード電話帳** 78
登録 81
FOMA**カード動作制限機能** 34
FOMA**端末から利用できるサービス**
.... 297
FOMA**端末電話帳** 78
ｉアニメ 144
ｉアプリ 212
アイコン情報 215
空き容量不足 242
移動 219
カメラ機能 220
個別設定 215
削除 219
実行 214
自動起動 217
自動起動設定 217
証明書表示 214
赤外線通信 220
ソフト情報表示 214
ソフト初期設定 213
ダウンロード 213
通信設定 215
登録データ 212
バーコードリーダー 220
バージョンアップ 218
フォルダ操作 218
プリインストールソフト 216
待受画面設定 218
待受画面通信設定 215
ｉアプリTo設定 215
ｉアプリ実行情報 219
自動起動エラー履歴 219
セキュリティエラー履歴 219
トレース結果 219
待受エラー履歴 219
ｉアプリ設定 214, 217, 257
ｉアプリ待受画面 218
ｉアプリDX 212
アイコン情報 215
着信音/画像変更 215
電話帳/履歴参照 215
登録データ 212
ｉアプリTo**機能** 161
ｉアプリTo設定 215
ｉショット 178
ｉチャネル 222
効果音設定 91
受信 223
チャネル一覧表示 223
テロップ表示設定 95
ｉメロディ 144, 159
ｉモーション 171, 229
空き容量不足 242
一覧表示切替 240
移動 239
画面切替 230
再生 229
削除 239
取得 171
詳細情報表示 240
常時点灯設定 98
情報表示 240
赤外線送信 244
ソート 239
添付ファイル保存 195
動画編集 230
フォルダ情報表示 240
フォルダ操作 239
待受画面設定 230
メール添付 230
連続再生 229
ｉモーション設定 172
M.S.保存 236
ｉモーションメール 179
ｉモード 140
インターネット 152
画像表示 163

画像保存 158
画面メモ 156
キャッシュ 148
効果音設定 91
サイトの見かたと操作 147
サイト表示 141, 146
再読込 149
終了/切断 150
常時点灯設定 98
接続先選択 162
接続待ち時間設定 161
センター接続先選択 170
ダウンロード 159
電話帳登録 194
登録データ利用設定 163
背景画像保存 158
ブックマーク 153
マイメニュー 151
前のページに戻る/進む 148
メッセージ自動表示 165
文字コード変換 150
文字サイズ 101
文字自動判別 163
ユーザ証明書操作 168
ｉモードパスワード変更 151
ｉモードメニュー 146
SSLページ 147
SSL証明書 168
URL入力 152
URL表示 149
URL履歴 152

ｉモード設定 161, 257

ｉモード問合せ 165, 191
アニメーション設定 97
ｉモード問合せ設定 204

ｉモードパスワード 105
変更 151

ｉモードメール 175
宛先追加 182
アニメーション設定 97
一括メールリスト 182, 205
移動 199
引用返信 191
開封時自動演奏 206
件数確認 201
削除 200
作成・送信 181
シークレットコード 79, 176
受信 189
受信振分条件 202
受信ランキングオールクリア 207
署名編集/設定 203
選択受信 190
送信ランキングオールクリア 207
挿入画像詳細表示 195
挿入画像選択保存 195
ソート 201
着信設定 88
通常メール表示 200
デコメール 183
転送 192
添付ファイル削除 188, 195
添付ファイル追加 187
添付ファイル保存 195
電話帳登録 194
電話で返信 258
表示 196
フォルダ操作 198
返信 191
保護設定/解除 199
保存 188
マルチタスク中受信設定 206
メールアドレス登録 193
メール受信添付ファイル設定 207
メール選択受信設定 204
メールメニュー 181
メロディタイトル確認 195
文字サイズ 101
ｉモーションメール 179
ｉモード問合せ 191
ｉモード問合せ設定 204
M.S.保存 236

ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限 176

ｉモードメニュー 146

ｉ Menu 146

JANコード 137

Mail To**機能** 160

Phone To**機能** 160

PIM**ロック** 111

PIN1**コード**/PIN2**コード** 105
PINロック解除 107
PIN1コード入力設定 106
PIN1コード変更 107

QR**コード** 137

SAR 321

SMS**(ショートメッセージ)** 180
アニメーション設定 97
作成 208
受信 209
保存 208
FOMAカードへコピー 237
SMS設定 210
SMS問合せ 209

SMS**拒否設定** 176

SMS**作成** 208

SMS**問合せ** 209
アニメーション設定 97

SSL**サイト**
表示 147
有効/無効設定 168

SSL**証明書** 168

URL
表示 149
履歴 152

Web To**機能** 160

WORLD CALL 50

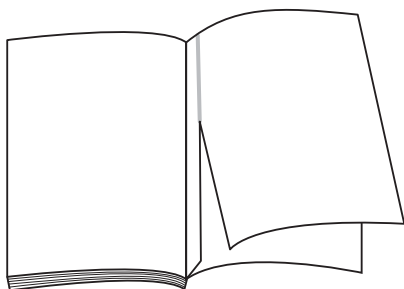
WORLD WING 35

クイックマニュアル

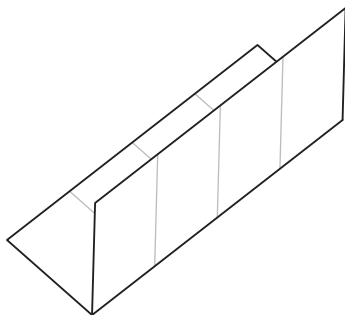
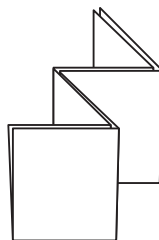
クイックマニュアルの使いかた

次ページからのクイックマニュアルは、切り離して折りたたみ、持ち運んで便利にご利用いただけます。

■切り離しかた

切取り線（ ）に沿って切り離してください。

■折りたたみかた

切り離したクイックマニュアルを、折り線（ ）に沿って図のように折りたたんでください。

1

2

DoCoMo FOMA SO702i

クイックマニュアル

■ **総合お問い合わせ先**
〈DoCoMo インフォメーションセンター〉
ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの) 151 (無料)

※ 一般電話などからはご利用できません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。

■ **故障お問い合わせ先**
ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの) 113 (無料)

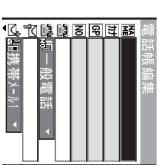
※ 一般電話などからはご利用できません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。

● ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

FOMA端末電話帳登録 (P.79)

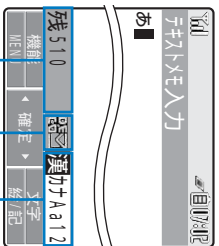
1 待受画面で ▼ (📖)→ (新規)

2 [本体メモリ]→ ◉

電話帳編集
一般電話
携帯メール1

FOMAカード電話帳に登録する場合
[FOMAカード(UIM)]を選択します。

3 各項目を登録→ (完了)

文字入力 (P.271)

テキストメモ入力
あ
残510
漢カナAa12
機能 MENU
確定
文字 絵/記

※ 画面はイメージです。

① 入力可能な文字のバイト数
  • 半角文字は1バイト、全角文字は2バイトになります。
② デコメール編集中
③ 文字モード/絵文字・記号モード

■ **登録できる項目**

NAME：名前(必須)
全角16文字/半角32文字以内で入力します。

ｶﾅ：名前のフリガナ
半角32文字以内で入力します。

GP：グループ
20種類のグループから選択します。

NO：メモリ番号
000～999の範囲で入力します。

☎：電話番号
最大3件、1件につき26桁以内で入力します。

☎：電話番号種別
9つのアイコンから選択します。

✉：メールアドレス
最大3件、1件につき半角英数字50文字以内で入力します。

✉：メールアドレス種別
5つのアイコンから選択します。

■ **文字モードの切替**
(文字)
• 半角の場合：押すたびに[漢]→[ｶﾅ]→[Aa]→[12]の順に切り替わります。
• 全角の場合：押すたびに[漢]→[カ]→[A]→[1]の順に切り替わります。

■ **絵文字・記号モードの切替**
(絵/記)
• 押すたびに[絵]→[絵]→[記]→[ｷｺﾞｳ]の順に切り替わります。

■ **全角/半角の切替**
(機能)→[全角/半角切替]

■ **同じボタンに割り当てられた文字の連続入力**
最初の文字を入力したあとでカーソル移動

NO：シークレットコード
相手から指定されたメールアドレス用のシークレットコードを4桁で入力します。

🏠：郵便番号
半角数字7桁以内で入力します。

🏠：住所
全角64文字/半角128文字以内で入力します。

🎂：誕生日
1900/01/01～2050/12/31の範囲で入力します。

🖼：指定発着信画像
電話発着信時、メール受信直後、電話帳1件表示時に表示する画像を選択または撮影します。

☺：キャラ電
テレビ電話発信時に送信するキャラ電を選択します。

■ **文字の削除**
CLR
• CLR を短く押すと、カーソル位置の文字が削除されます。カーソルが文末にあるときは、最後の文字が削除されます。
• CLR を1秒以上押すと、カーソル以降の文字がすべて削除されます。カーソルが文末にあるときは、すべての文字が削除されます。

■ **文字の挿入**
挿入する場所にカーソル移動

■ **文節の区切り変更**
◀ ▶ でカーソル移動

■ **元に戻す**
(機能)→[元に戻す]

♪：指定電話着信音
音声/テレビ電話がかかってきたときに鳴動する着信音を選択します。

♪：指定メール着信音
メール受信直後に鳴動する着信音を選択します。

💡：指定電話ランプ色
音声/テレビ電話がかかってきたときに点滅するランプ色を選択します。

💡：指定メールランプ色
メール受信直後に点滅するランプ色を選択します。

🔑：シークレット登録
電話帳のデータを表示するかどうかを選択します。

電話帳修正 (P.85)

1 電話帳でデータを選択→ (修正)

2 各項目を修正→ (完了)

カメラ (P.119)

■ 静止画撮影

1 メニューで[エンタテインメント]→[カメラ]→ ◉

カメラモードになります。

2 被写体を確認→ ◉（撮影）

シャッター音が鳴って静止画が撮影され、保存確認画面が表示されます。

3 ◉（保存）

静止画が保存されます。

■ 撮影カメラ切替

1 カメラモード画面で ✉（機能）→[撮影]→[カメラ切替]→[インカメラ]→ ◉

■ 動画撮影

1 メニューで[エンタテインメント]→[ムービー]→ ◉

動画撮影画面に切り替わります。

2 被写体を確認→ ◉（撮影）

撮影開始音が鳴って動画の撮影が開始されます。

3 撮影を終了するときは ◉（停止）

撮影終了音が鳴って動画の撮影が終了し、保存確認画面が表示されます。

4 ◉（保存）

動画が保存されます。

■ 画像再生

1 カメラモード画面で ch（再生）

データBOX (P.238)

■ 静止画再生

1 待受画面で ▲（📁）→[マイピクチャ]→フォルダ→画像→ ◉

選択した画像が表示されます。

■ 動画/ｉモーション再生

1 待受画面で ▲（📁）→[ｉモーション]→フォルダ→動画/ｉモーション→ ◉

選択した動画/ｉモーションが再生されます。

■ 情報表示

1 待受画面で ▲（📁）→ ✉（情報表示）

データBOXの情報が表示されます。

テレビ電話 (P.67)

■ テレビ電話発信

1 待受画面で電話番号入力→ ch（テレビ電話）

2 通話を終了するときは 🔚

■ テレビ電話着信

1 電話がかかってきたら 📞 または ch（テレビ電話）

2 通話を終了するときは 🔚

■ 通話中の操作

ボタン操作	操　作
◉（自画像/代替）	カメラ画像/代替画像の切替
ch（カメラ切替）	インカメラ/アウトカメラの切替
📞	ハンズフリーON/OFF
▶/◀	カメラのズームイン/ズームアウト

ｉモードメール作成・送信 (P.181)

1 待受画面で ✉（メール）→[新規メール作成]→ ◉

メール編集
宛先
題名
本文
残10000

2 [To]に宛先を入力

半角50文字以内で入力します。

宛先を追加する場合

機能メニュー[宛先追加]→宛先種別(To/Cc/Bcc)を選択します。

追加した宛先を削除する場合

宛先にカーソルをあわせ、機能メニュー[宛先削除]→[はい]を選択します。

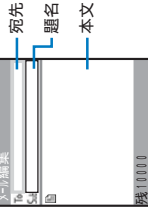
3 [Sub]に題名を入力

全角15文字/半角30文字以内で入力します。

4 [📄]に本文を入力

全角5,000文字/半角10,000文字以内で入力します。

5 iα（送信）

メールが送信されます。

ファイル添付 (P.187)

1 メール編集画面で ✉（機能）→[添付ファイル追加]→ ◉

[イメージ添付]：画像を添付します。
[ｉモーション添付]：動画/ｉモーションを添付します。
[メロディ添付]：メロディを添付します。
[カメラ起動]：カメラを起動して、画像/動画を撮影して添付します。

2 添付ファイルの種類→フォルダ→ファイルを選択→ ◉

ファイルが添付され、「🖼」「▦」「♪」「🖼」が表示されます。

3 メールを作成→ iα（送信）

ｉモード問合せ (P.191)

1 待受画面で ✉（メール）（1秒以上）

ｉモードセンターに接続し、問い合わせ結果が表示されます。

メール自動受信 (P.189)

1 メールを受信すると

「✉」が点滅します。

2 メールの受信が終了

「✉」が表示され、着信ランプが点滅して着信音が鳴り、受信したメールの件数が表示されます。
約15秒経過すると受信前の画面に戻ります。

メニュー一覧 (P.278)

■ メニューの選びかた

1 MENU (MENU)

■ メニュー一覧

- エンタテインメント
  - マイセレクト
  - カメラ
  - ムービー
  - メモリースティック
- メール
  - メールBOX
  - 新規メール作成
  - SMS作成
  - ｉモード問合せ
  - SMS問合せ
  - メール選択受信
  - メール設定

16

- ｉモード
  - ｉMenu
  - ブックマーク
  - 画面メモ
  - インターネット
  - ｉチャネル
  - メッセージ
  - ｉモード問合せ
  - ｉモード設定
- ｉアプリ
  - ｉアプリ一覧
  - ｉアプリ設定
  - ｉアプリ実行情報
- 電話
  - 電話番号表示
  - 電話帳
  - 履歴
  - 伝言メモ

17

- 生活ツール
  - バーコード認識
  - 赤外線受信
  - めざまし時計
  - スケジュール
  - テキストメモ
  - 電卓
- データBOX
  - マイピクチャ
  - ｉモーション
  - メロディ
  - キャラ電

18

- 設定
  - 画面設定
    - 待受画面設定
    - 照明設定
    - 省電力モード
    - メニュー設定
    - 着せかえメニュー
    - アニメーション設定
    - 文字サイズ
  - 発着信通話
    - 着信設定
    - 不在お知らせ
    - テレビ電話設定
    - 発着信表示設定
    - 発着信補助
    - 通話設定
    - 通話品質
    - イヤホン設定
    - セルフモード

19

- (設定)
  - アプリケーション設定
    - メール設定
    - ｉモード設定
    - ｉアプリ設定
    - 電話帳設定
    - 履歴設定
    - 伝言メモ設定
    - スケジュール設定
    - 文字入力設定
  - ロック/セキュリティ
    - オールロック
    - 遠隔ロック設定
    - PIMロック
    - シークレット表示
    - ダイヤル発信制限
    - 着信許可/拒否
    - 登録外着信拒否
    - 非通知着信拒否

20

- (設定)
  - 管理
    - 日付時刻設定
    - バイリンガル
    - マナーモード設定
    - 暗証番号変更
    - FOMAカード設定
    - スキャン機能
    - ソフトウェア更新
    - 電池残量
    - 本体音設定
    - 本体情報
    - リセット
    - 初期設定

21

- NWサービス
  - 留守番電話
  - キャッチホン
  - 転送でんわ
  - 迷惑電話ストップ
  - 発信者番号通知
  - 番号通知お願いサービス
  - 通話料金表示
  - 通話中着信設定
  - 着信動作選択
  - 遠隔操作設定
  - デュアルネットワーク
  - 英語ガイダンス
  - サービスダイヤル
  - 追加サービス
  - マルチナンバー
  - テレビ電話切替通知

22

FOMA端末から利用できるサービス (P.297)

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール (料金着信払い通話)	(局番なし)106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内(有料)	(局番なし)104
電報の発信(有料：電報料) 午前8時～午後10時	(局番なし)115
時報サービス(有料)	(局番なし)117
天気予報(有料)	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	(局番なし)110
消防・救急への緊急通報	(局番なし)119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	(局番なし)118
災害用伝言ダイヤル(有料)	(局番なし)171

23

留守番電話サービス (P.262)

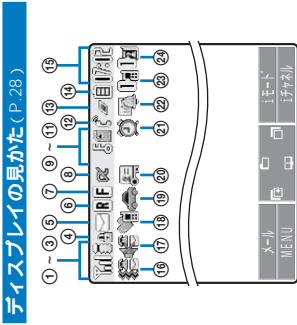
■ **サービス開始**
メニューで[NWサービス]→[留守番電話]→[留守番サービス開始]→[開始]→[はい]→◉

■ **サービス停止**
メニューで[NWサービス]→[留守番電話]→[留守番サービス停止]→[はい]→◉

■ **新しいメッセージの再生**
メニューで[NWサービス]→[留守番電話]→[留守番メッセージ再生]→[はい]→◉

キャッチホン (P.263)

■ **サービス開始**
メニューで[NWサービス]→[キャッチホン]→[キャッチホンサービス開始]→[はい]→◉

■ **サービス停止**
メニューで[NWサービス]→[キャッチホン]→[キャッチホンサービス停止]→[はい]→◉

転送でんわサービス (P.263)

■ **サービス開始**
メニューで[NWサービス]→[転送でんわ]→[転送サービス開始]→[開始]→[はい]→◉

■ **サービス停止**
メニューで[NWサービス]→[転送でんわ]→[転送サービス停止]→[はい]→◉

■ **転送先電話番号の変更**
メニューで[NWサービス]→[転送でんわ]→[転送先変更]→転送先電話番号の入力→[設定]/[設定＋開始]→◉

番号通知お願いサービス (P.264)

■ **サービス開始**
メニューで[NWサービス]→[番号通知お願いサービス]→[番号通知お願い開始]→[はい]→◉

■ **サービス停止**
メニューで[NWサービス]→[番号通知お願いサービス]→[番号通知お願い停止]→[はい]→◉

ボタン操作一覧 (P.27)

- ：待受画面で押すとデータＢＯＸを表示。
- ：待受画面で押すと電話帳を表示。
- ：待受画面で押すと着信履歴を表示。
- ：待受画面で押すとリダイヤルを表示。
- ：待受画面で押すとメールメニューを表示。
待受画面で1秒以上押すとｉモード問合せ。
- ：待受画面で押すとｉモードメニューを表示。
待受画面で1秒以上押すとｉアプリフォルダ一覧画面を表示。
- ：メニューを表示。
- ：待受画面で押すとチャネル一覧を表示。
待受画面で1秒以上押すとマイセレクトを表示。

- ：待受画面で1秒以上押すと公共モード（ドライブモード）を設定/解除。
- ：待受画面で押すとマナーモード設定画面を表示。
待受画面で1秒以上押すとマナーモードを設定/解除。
前の画面にスクロール。
- ：待受画面で押すと伝言メモ画面を表示。
待受画面で1秒以上押すと伝言メモを設定/解除。
次の画面にスクロール。
- ：マクロ撮影するときに「」の方向にスライド。

ディスプレイの見かた (P.28)

① ：電波受信レベル
② ：ｉモード中
③ ：圏外
self ：セルフモード設定中
EXT ：赤外線機能実行中
④ ：SSLサイト表示中など

⑤ ：未読ｉモードメールあり/未読SMSあり/未読ｉモードメールと未読SMSあり
：ｉモードセンターに新着メールあり
⑥ ：未読メッセージRあり
⑦ ：未読メッセージFあり
⑧ ：ｉアプリ（ｉアプリ待受画面）実行中/ｉアプリDX実行中
⑨ ：シークレット表示を[ON]に設定中
⑩ ：" メモリースティック Duo "挿入中
⑪ ：赤外線リモコン使用中
⑫ ：音声通話中
：テレビ電話通話中（64K）/（32K）
⑬ ：起動中タスク1件/2件/3件以上
⑭ ：電池残量
⑮ ：現在時刻（24時間表示）
⑯ ：電話着信バイブレータ設定中
：メール着信バイブレータ設定中
：電話着信とメール着信バイブレータ設定中

⑰ ：電話着信音量OFF
：メール着信音量OFF
：電話着信とメール着信音量OFF
⑱ ：マナーモード設定中（はピンク）
⑲ ：公共モード（ドライブモード）設定中
⑳ ：PIMロック設定中
：ダイヤル発信制限設定中
：PIMロックとダイヤル発信制限設定中
㉑ ：めざまし時計設定中
㉒ ：スケジュールアラーム設定中
㉓ ：伝言メモ設定中（は白）（未再生伝言メモあり）（は水色）
㉔ ：テレビ伝言メモ設定中（は緑）（未再生テレビ伝言メモあり）（は水色）

NTT DoCoMo FOMA SO702i

クイックマニュアル

■ **総合お問い合わせ先**
〈DoCoMo **インフォメーションセンター**〉
ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）151（無料）

※ 一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合
0120-800-000

※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。

■ **故障お問い合わせ先**
ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）113（無料）

※ 一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合
0120-800-000

※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。

● ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

●運転中の場合
運転中にFOMA端末を使用すると、安全な走行の妨げとなり危険です。
※ 車を安全な所に停車させてからご使用になるか、公共モード（ドライブモード）をご利用ください。

●劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

●使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

●満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

●レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気を付けましょう。
●街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

! カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定やFOMA端末から鳴る音を消去する設定など、便利な機能があります。

●公共モード（P.60、62）

●マナーモード（P.93）/**オリジナルマナーモード**（P.94）

●バイブレータ（P.89）

●伝言メモ機能（P.63）

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。

「ドコモｅサイト」では、住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

ｉモードから　ｉMenu ➡ 料金＆お申込 ➡ ドコモeサイト　**パケット通信料無料**

パソコンから　My DoCoMo（http://www.mydocomo.com/）➡ 各種手続き（ドコモeサイト）

※ ｉモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ ｉモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※ パソコンからご利用になる場合、「My DoCoMo ID/ パスワード」が必要となります。
※ 「ネットワーク暗証番号」および「My DoCoMo ID/ パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ ご契約内容により、ご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※ 一般電話などからはご利用できません。

■ 一般電話などからの場合

0120-800-000

※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。

● ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

■ ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※ 一般電話などからはご利用できません。

■ 一般電話などからの場合

0120-800-000

※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。

● ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

● なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元　ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社

環境保全のため、不要になった電池パックはNTT　DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

古紙配合率100%再生紙を使用しています

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています

'06.7 (3版)
2-683-610-**03**(1)

FOMA® SO702i
データ通信マニュアル

データ通信について 1
データ通信の準備と流れ 3
パソコンとFOMA端末を接続する 3
通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする 4
FOMA PC設定ソフトによる通信の設定 6
FOMA PC設定ソフトを使わない通信の設定 12
ATコマンド 17

■データ通信マニュアルについて

本マニュアルでは、FOMA SO702iでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「SO702i通信設定ファイル（ドライバ）」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。

■Windows XPの操作について

本マニュアルでは、Windows XP Service Pack 2に対応した内容となっております。お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

’06.5（1版）
A-CGP-100-**01**（1）

データ通信について

FOMA端末で利用できるデータ通信は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。

- FOMA端末はRemote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion II」や「musea」に接続してデータ通信を行う場合、「sigmarion II」/「musea」をアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料がかかる通信形態です。（受信最大384Kbps、送信最大64Kbps）
パケット通信は、FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってパソコンと接続し、各種設定を行うと利用できます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」など、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントをご利用ください。また、FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスし、データの送受信をすることもできます。

- パケット通信は、データ量の多い通信を行うと、通信料が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料がかかる通信形態です。（通信速度64Kbps）
64Kデータ通信は、FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってパソコンと接続し、各種設定を行うと利用できます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」などのFOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントをご利用ください。

- 64Kデータ通信は、長時間通信を行うと、通信料が高額になりますのでご注意ください。

データ転送

赤外線やFOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってデータを送受信する、課金が発生しない通信形態です。赤外線通信では、FOMA端末またはパソコンなど赤外線通信機能を持つ機器とデータを送受信することができます。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料金

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」をご利用いただけます。
「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS 64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザー認証

接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証

パソコンのインターネットブラウザでFirstPass対応サイトを利用するときのアクセス認証で、FirstPass(ユーザー証明書)が必要な場合、本CD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。
詳細は本CD-ROM内の[FirstPassPCSoft]フォルダ内の「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧ください。
「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます。(別途通信料がかかります)
詳細はアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

■ FirstPass PCソフトの動作環境

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
OS	Windows 98SE、Windows Me、 Windows 2000 Professional、 Windows XP(各日本語版) (Windows 98には対応していません)
必要メモリ※	32MB以上 (Windows XPの場合128MB以上)
ハードディスク容量※	10MB以上の空き容量
インターネットブラウザ	Microsoft Internet Explorer 5.5以上 (Windows XPの場合Microsoft Internet Explorer 6.0以上)

※ 必要メモリおよびハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うためには、以下の条件が必要になります。

- FOMA USB接続ケーブル(別売)を利用できるパソコンであること
- FOMAパケット通信、64Kデータ通信に対応したPDAであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先がFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑している、または電波状態が悪い場合は通信ができないことがあります。

■ 用語解説

● **管理者権限**
Windows XP、Windows 2000 Professionalのシステムのすべてにアクセスできる権限。1台のパソコンに最低1人は管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、管理者権限を持たないユーザーは、通信設定ファイル(ドライバ)のインストールができません。管理者権限の設定については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。

● APN(Access Point Name)
パケット通信で接続先のインターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別する文字列。たとえば「mopera U」の場合は、「mopera.net」がAPNです。

● cid(Context Identifier)
パケット通信の接続先(APN)をFOMA端末へ書き込むときの登録番号。FOMA端末では、1から10までの10件を登録できます。

FOMA端末のお買い上げ時のcid登録

登録番号(cid)	接続先(APN)
1	mopera.ne.jp(mopera)
2	未設定
3	mopera.net(mopera U)
4～10	未設定

● DNS(Domain Name System)
ドメインネーム(例：nttdocomo.co.jp)をコンピュータで使うIPアドレスに変換するシステム。

● IrDA(Infrared Data Association)
赤外線通信に関する規格を制定している組織の名称。

● IrMC(Ir Mobile Communications)
携帯電話どうしやPDA(携帯情報端末)間でデータを転送する目的で作られた規格。IrMCに準拠した赤外線端子を持つ携帯電話どうしやPDAとの間で、電話番号やスケジュールをやりとりできます。

● OBEX(Object Exchange)
データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応した携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データを送受信できます。

● QoS(Quality of Service)
サービスの品質。通信時にユーザーの意図どおりに回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。

● W-TCP
FOMAネットワークでパケット通信を行うときに、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータ。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

データ通信の準備と流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

パソコンとFOMA端末を接続する(P.3)

通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする(P.4)

通信設定ファイル(ドライバ)を確認する(P.5)

FOMA PC設定ソフトを使用する場合

FOMA PC設定ソフトをインストールする(P.6)

接続先を設定する

パケット通信の場合

- 「mopera U」または「mopera」(P.8)
- その他のプロバイダ(P.8)

64Kデータ通信の場合

- 「mopera U」または「mopera」(P.9)
- その他のプロバイダ(P.9)

通信を実行する(P.10)

FOMA PC設定ソフトを使用しない場合

ATコマンドをサポートする通信ソフトを起動する(P.12)

接続先を設定する(P.12)

発信者番号通知/非通知を設定する(P.13)

ダイヤルアップネットワークの設定をする(P.13)

通信を実行する(P.17)

■ **通信設定ファイル(ドライバ)・FOMA PC設定ソフトの動作環境**

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC/AT互換機
OS※2	Windows 98、Windows Me、 Windows 2000 Professional、 Windows XP(各日本語版)
必要メモリ※3	Windows 98、Windows Me：32MB以上 Windows 2000 Professional：64MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク容量※3	5MB以上の空き容量

※1　USBポート(USB仕様1.1/2.0に準拠)が必要です。
※2　OSアップグレードからの動作は保証しかねます。
※3　必要メモリおよびハードディスク容量は、FOMA PC設定ソフトに関する動作環境です。なお、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

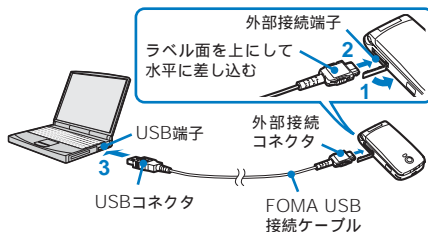
パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。

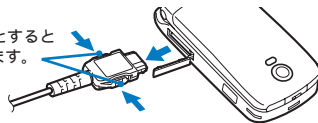
1 **外部接続端子カバーを開ける**

2 **FOMA端末の外部接続端子にFOMA USB接続ケーブル(別売)の外部接続コネクタを「カチッ」と音がするまで差し込む**

3 **パソコンのUSB端子にFOMA USB接続ケーブルのUSBコネクタを接続する**

パソコンとFOMA端末が接続され、FOMA端末に「」が表示されます。

■ **取外しかた**

1 **FOMA USB接続ケーブルは必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜く**

USB接続ケーブルを取外すと、FOMA端末の画面から「」が消えます。

2 **パソコンのUSB端子からFOMA USB接続ケーブルを引き抜く**

- データ通信中にFOMA USB接続ケーブルを取外さないでください。故障などの原因となります。
- FOMA端末に表示される「」は、通信設定ファイル(ドライバ)のインストール前には表示されません。

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）を使って接続し、データ通信を行うには、本CD-ROMから通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしてください。

Windows XPの場合

パソコンの管理者権限を持ったユーザーでインストールしてください。

1 **「FOMA SO702i用CD-ROM」をパソコンにセットする**

2 **FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブルで接続する**

ウィザード開始画面が表示されます。

- お使いのパソコンによっては、ウィザード開始画面は表示されない場合があります。操作4に進みます。

3 **［いいえ、今回は接続しません］を選び、［次へ］をクリックする**

4 **［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選び、［次へ］をクリックする**

5 **［次の場所で最適のドライバを検索する］を選び、［次の場所を含める］をチェックしてフォルダを指定し、［次へ］をクリックする**

- フォルダは［参照］をクリックし、［<CD-ROMドライブ名>:¥USB Driver¥Win2k_XP］と指定します。（CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります）

インストールが開始されます。インストールが終了すると、ウィザード終了画面が表示されます。

6 **［完了］をクリックする**

次のドライバの検索画面が表示されます。

7 **他のドライバをすべてインストールする**

引き続き操作1～6を参考に、他のドライバ（P.5）をすべてインストールしてください。
すべての通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが完了すると、タスクバーのインジケータから「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」というメッセージが数秒間表示されます。

Windows 2000 Professionalの場合

パソコンの管理者権限を持ったユーザーでインストールしてください。

1 **「FOMA SO702i用CD-ROM」をパソコンにセットする**

2 **FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブルで接続する**

ウィザード開始画面が表示されます。

3 **［次へ］をクリックする**

4 **［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選び、［次へ］をクリックする**

- お使いのパソコンによっては、［USB DEVICE］と表示される場合があります。

5 **［場所を指定］を選び、［次へ］をクリックする**

6 **フォルダを指定し、［OK］をクリックする**

- フォルダは［参照］をクリックし、［<CD-ROMドライブ名>:¥USB Driver¥Win2k_XP］と指定します。（CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります）

7 **ドライバ名を確認し、［次へ］をクリックする**

ここでは［FOMA SO702i］と表示されます。
インストールが開始されます。インストールが終了すると、ウィザード終了画面が表示されます。

8 **［完了］をクリックする**

次のドライバの検索画面が表示されます。

9 **他のドライバをすべてインストールする**

引き続き操作1～8を参考に、他のドライバ（P.5）をすべてインストールしてください。

Windows Meの場合

1 **「FOMA SO702i用CD-ROM」をパソコンにセットする**

2 **FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブルで接続する**

ウィザード開始画面が表示されます。

3 **［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選び、［次へ］をクリックする**

4 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選び、[検索場所の指定]をチェックしてフォルダを指定し、[次へ]をクリックする

- フォルダは[参照]をクリックし、[<CD-ROMドライブ名>:¥USB Driver¥Win98_Me]と指定します。(CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります)

5 ドライバ名を確認し、[次へ]をクリックする

ここでは[FOMA SO702i]と表示されます。
インストールが開始されます。インストールが終了すると、ウィザード終了画面が表示されます。

6 [完了]をクリックする

次のドライバの検索画面が表示されます。

7 他のドライバをすべてインストールする

引き続き操作1〜6を参考に、他のドライバ(P.5)をすべてインストールしてください。

Windows 98の場合

1 「FOMA SO702i用CD-ROM」をパソコンにセットする

2 FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブルで接続する

ウィザード開始画面が表示されます。

3 [次へ]をクリックする

4 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選び、[次へ]をクリックする

5 [検索場所の指定]をチェックしてフォルダを指定し、[次へ]をクリックする

- フォルダは[参照]をクリックし、[<CD-ROMドライブ名>:¥USB Driver¥Win98_Me]と指定します。(CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります)

6 [更新されたドライバ(推奨)]を選び、[次へ]をクリックする

7 ドライバ名を確認し、[次へ]をクリックする

ここでは[FOMA SO702i]と表示されます。
インストールが開始されます。インストールが終了すると、ウィザード終了画面が表示されます。

8 [完了]をクリックする

次のドライバの検索画面が表示されます。

9 他のドライバをすべてインストールする

引き続き操作1〜8を参考に、他のドライバ(P.5)をすべてインストールしてください。

インストールした通信設定ファイル(ドライバ)を確認する

SO702i通信設定ファイル(ドライバ)が正しくインストールされていることを確認します。

例: Windows XPの場合

1 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックし、[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]をクリックする

Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98の場合
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[システム]をダブルクリックします。

2 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックする

Windows Me、Windows 98の場合
[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

3 各デバイスをクリックし、インストールしたドライバ名を確認する

デバイスの種類	ドライバ名
ポート(COM/LPT)	• FOMA SO702i Command Port • FOMA SO702i OBEX Port
モデム	• FOMA SO702i
ユニバーサル シリアル バス コントローラまたはUSB(Universal Serial Bus)コントローラ	• FOMA SO702i • FOMA SO702i OBEX※ • FOMA SO702i Modem※ • FOMA SO702i Command※

※ Windows Me/Windows 98のみ
- COMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

通信設定ファイル(ドライバ)をアンインストールする

Windows XP、Windows 2000 Professionalの場合は、パソコンの管理者権限を持ったユーザーでアンインストールしてください。

- アンインストール開始前にパソコンからFOMA端末を取外してください。

例： Windows XPの場合

1 **[スタート]→[コントロールパネル]をクリックし、プログラムの追加と削除アイコンをクリックする**

Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98の場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、アプリケーションの追加と削除アイコンをダブルクリックします。

2 **[FOMA SO702i USB]を選び、[変更と削除]をクリックする**

3 **削除するプログラム名を確認し、[はい]をクリックする**

通信設定ファイル（ドライバ）のアンインストールを開始します。

4 **[OK]をクリックする**

● インストールに失敗したとき、または操作2の画面に「FOMA SO702i USB」が表示されないときは、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックして[<CD-ROMドライブ名>:¥USB Driver¥Win2k_XP¥so702iun.exe]※を指定し、アンインストールしたあとに再度インストールしてください。
※ Windows Me、Windows 98の場合は、[<CD-ROMドライブ名>:¥USB Driver¥Win98_Me¥so702iun.exe]を指定してください。

● Windows Me、Windows 98では通信設定ファイル（ドライバ）のアンインストール後、すぐにインストールし直してデータ通信を行うと、パソコンなどの環境によっては正しく通信できない場合があります。その場合は、FOMA USB接続ケーブルまたは市販のUSBケーブルを一度抜き差ししてからデータ通信を行ってください。

FOMA PC設定ソフトによる通信の設定

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。（P.12）

● **かんたん設定**

ガイドに従い操作することでFOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成を行い、同時にW-TCPの設定などを行います。

● **W-TCPの設定**

FOMAパケット通信を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、W-TCP設定による通信設定の最適化が必要になります。

● **接続先（APN）の設定**

パケット通信に必要な接続先（APN）の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPNと呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先番号欄に指定して接続します。

● 古いバージョンのFOMA PC設定ソフト（バージョン1.00、以後「旧FOMA PC設定ソフト」と呼びます）がインストールされている場合は、FOMA PC設定ソフト（バージョン2.0.1）のインストールを行う前にアンインストールしてください。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

FOMA PC設定ソフトを使用する場合は、本CD-ROMからインストールしてください。
Windows XP、Windows 2000 Professionalの場合は、パソコンの管理者権限を持ったユーザーでインストールしてください。

- インストール開始前に起動中のプログラムはすべて終了してください。

例： Windows XPの場合

1 **「FOMA SO702i用CD-ROM」をパソコンにセットする**

2 **[スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックし、ファイルを指定し、[OK]をクリックする**

- ファイルは[参照]をクリックし、[<CD-ROMドライブ名>:¥FOMA_PCSET¥setup.exe]と指定します。（CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります）

3 **[次へ]をクリックする**

FOMA PC設定ソフトの使用許諾契約が表示されます。

4 **内容をご確認の上、契約内容に同意する場合は[はい]をクリックする**

[いいえ]をクリックした場合

インストールは中止されます。

5 **[タスクトレイに常駐する]にチェックし、[次へ]をクリックする**

インストール後、タスクトレイに「W-TCP設定」が常駐します。

- 「W-TCP設定」インストール後、常駐の設定は変更できます。

6 インストール先を確認し、［次へ］をクリックする

変更する場合

［参照］をクリックし、任意のインストール先を指定して［次へ］をクリックします。

7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックする

変更する場合

新規フォルダ名を入力し、［次へ］をクリックします。

8 ［完了］をクリックする

インストールが完了すると、FOMA PC設定ソフトの操作画面が起動します。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

例： Windows XPの場合

1 起動中のプログラムを終了する

- W-TCP設定ソフトを終了します。ウィンドウ右下のタスクトレイの［W-TCP設定ソフト］を右クリックし、［終了］をクリックします。
- FOMA PC設定ソフトを終了します。FOMA PC設定ソフト右下の［終了］をクリックします。

2 ［スタート］→［コントロールパネル］をクリックし、［プログラムの追加と削除］をクリックする

Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98の場合

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］をクリックし、［アプリケーションの追加と削除］をクリックします。

3 ［NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト］を選び、［変更と削除］をクリックする

Windows 2000 Professionalの場合

［NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト］を選び、［変更/削除］をクリックします。

Windows Me、Windows 98の場合

［NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト］を選び、［追加と削除］をクリックします。

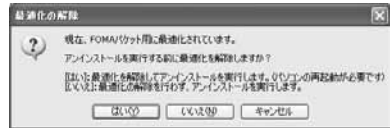
4 削除するプログラム名を確認し、［はい］をクリックする

アンインストールが実行され、プログラムが削除されます。

5 ［OK］をクリックする

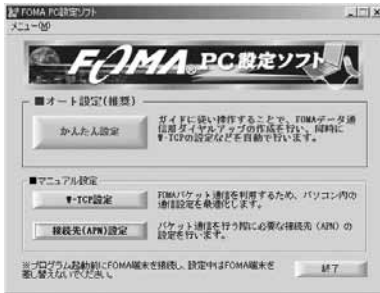
FOMA PC設定ソフトのアンインストールが終了します。

W-TCPが最適化されている場合

下の画面が表示されます。通常は［はい］をクリックして最適化を解除してください。

各種設定前の準備

FOMA端末でのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプション、国際ローミングなどに対応した「mopera U」のご利用をおすすめします。（別途お申し込みが必要です）
また、今すぐに簡単にインターネットに接続したい方には、「mopera」が便利です。
お客様の選択した「接続方法」および「接続プロバイダ」の情報に従い、表示される設問に対する選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。
設定の前にFOMA端末がパソコンに接続されていることを確認してください。

例： Windows XPの場合

1 [スタート]→[すべてのプログラム]→[FOMA PC設定ソフト]をクリックする

Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98の場合

[スタート]→[プログラム]→[FOMA PC設定ソフト]をクリックします。

かんたん設定（パケット通信）

「mopera U」/「mopera」を利用する場合

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[かんたん設定]をクリックする

2 [パケット通信]を選び、[次へ]をクリックする

3 [『mopera U』への接続]または[『mopera』への接続]を選び、[次へ]をクリックする

4 [OK]をクリックする

FOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 [接続名]に接続名（任意の名前）を入力し、[次へ]をクリックする

- 半角の「¥」「/」「:」「＊」「?」「<」「>」「|」「 ”」は入力できません。

6 [次へ]をクリックする

[ユーザー名]、[パスワード]は空欄でも接続できます。

- Windows XP、Windows 2000 Professionalの場合は、使用可能ユーザーを選択できます。

7 [最適化を行う]をチェックし、[次へ]をクリックする

- すでに最適化されている場合、最適化を行うための確認画面は表示されません。

8 設定情報を確認し、[完了]をクリックする

9 [OK]をクリックする

設定変更を有効にするために、パソコンを再起動する必要がある場合があります。再起動する旨の画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

その他のプロバイダを利用する場合

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[かんたん設定]をクリックする

2 [パケット通信]を選び、[次へ]をクリックする

3 [その他]を選び、[次へ]をクリックする

4 [OK]をクリックする

FOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 [接続名]に接続名（任意の名前）を入力する

- 半角の「¥」「/」「:」「＊」「?」「<」「>」「|」「 ”」は入力できません。

6 [接続先（APN）設定]をクリックする

7 [追加]をクリックし、接続先(APN)を設定し、[OK]をクリックする

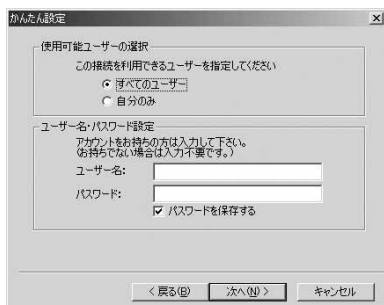
cidは2または4～10に設定します。

8 [OK]をクリックする

9 [次へ]をクリックする

10 [ユーザー名]、[パスワード]を設定し、[次へ]をクリックする

[ユーザー名]、[パスワード]の設定は、サービスプロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

- Windows XP、Windows 2000 Professionalの場合は、使用可能ユーザーを選択できます。

11 [最適化を行う]をチェックし、[次へ]をクリックする

- すでに最適化されている場合、最適化を行うための確認画面は表示されません。

12 設定情報を確認し、[完了]をクリックする

13 [OK]をクリックする

設定変更を有効にするために、パソコンを再起動する必要がある場合があります。再起動する旨の画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

かんたん設定(64Kデータ通信)

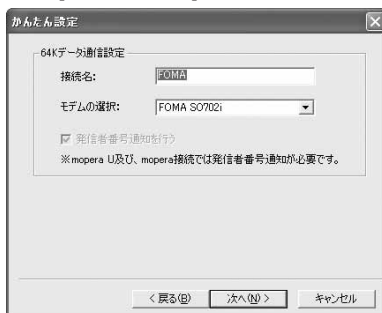
「mopera U」/「mopera」を利用する場合

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[かんたん設定]をクリックする

2 [64Kデータ通信]を選び、[次へ]をクリックする

3 [『mopera U』への接続]または[『mopera』への接続]を選び、[次へ]をクリックする

4 [接続名]に接続名(任意の名前)を入力し、[次へ]をクリックする

- 半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「<」「>」「|」「 ”」は入力できません。
- [モデムの選択]が[FOMA SO702i]になっていない場合は、[FOMA SO702i]を選択します。

5 [次へ]をクリックする

[ユーザー名]、[パスワード]は空欄でも接続できます。

- Windows XP、Windows 2000 Professionalの場合は、使用可能ユーザーを選択できます。

6 設定情報を確認し、[完了]をクリックする

7 [OK]をクリックする

その他のプロバイダを利用する場合

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[かんたん設定]をクリックする

2 [64Kデータ通信]を選び、[次へ]をクリックする

3 [その他]を選び、[次へ]をクリックする

4 ダイヤルアップ情報を入力する

[接続名]：

接続名(任意の名前)を入力します。

- 半角の「¥」「/」「:」「＊」「?」「<」「>」「|」「 "」は入力できません。

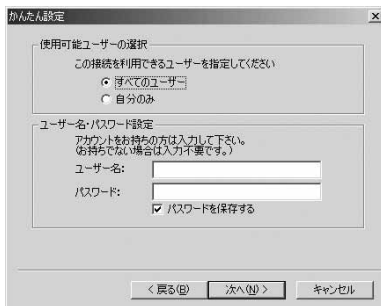
[モデムの選択]：

[FOMA SO702i]を選択します。

[電話番号]：

プロバイダ接続の電話番号を入力します。

- サービスプロバイダから提供された情報を正確に入力してください。

5 [詳細情報の設定]をクリックする

[IPアドレス]、[ネームサーバー]の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、各種アドレスを設定して[OK]をクリックします。

6 [次へ]をクリックする

7 [ユーザー名]、[パスワード]を設定し、[次へ]をクリックする

[ユーザー名]、[パスワード]の設定は、サービスプロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

- Windows XP、Windows 2000 Professionalの場合は、使用可能ユーザーを選択できます。

8 設定情報を確認し、[完了]をクリックする

9 [OK]をクリックする

設定した通信を実行する

あらかじめ、FOMA端末とパソコンを接続してください。

例： Windows XPの場合

1 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

通信が開始されます。

スタートメニューから起動する場合

Windows XP

[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワーク接続]をクリックします。

Windows 2000 Professional

[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]をクリックします。

Windows Me、Windows 98

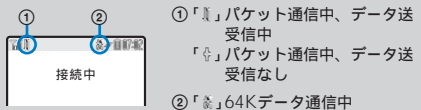
[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ダイヤルアップネットワーク]をクリックします。

2 [ユーザー名]、[パスワード]を入力し、[ダイヤル]をクリックする

- 「mopera U」または「mopera」の場合は、[ユーザー名]、[パスワード]は空欄でも接続できます。

接続が実行されます。

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- 通信中はFOMA端末にアイコンが表示されます。

①「 」パケット通信中、データ送受信中
「 」パケット通信中、データ送受信なし
②「 」64Kデータ通信中

通信を切断する

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するためには、以下の操作を行ってください。

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

ダイヤルアップアイコン

2 [切断]をクリックする

接続が切断されます。

W-TCPの設定

W-TCP設定ソフトはFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定」ツールです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用する前に、このソフトウェアによる通信設定の最適化が必要です。

Windows XPの場合

ダイヤルアップごとに最適化設定が可能です。

例： システム設定を最適化する場合

1 **FOMA PC設定ソフトを起動し、[W-TCP設定]をクリックする**

タスクトレイから操作する場合
タスクトレイの「」をクリックします。

2 **[最適化を行う]をクリックする**

最適化を解除する場合
[システム設定]→[最適化を解除する]をクリックします。

3 **最適化するダイヤルアップを選び、[実行]をクリックする**

システム設定、ダイヤルアップ設定、それぞれの最適化が実行されます。

4 **画面に従ってパソコンを再起動する**

システム設定が最適化されます。

Windows 2000 Professional/Windows Me/Windows 98の場合

例： システム設定を最適化する場合

1 **FOMA PC設定ソフトを起動し、[W-TCP設定]をクリックする**

タスクトレイから操作する場合
タスクトレイの「」をクリックします。

2 **[最適化を行う]をクリックする**

最適化を解除する場合
[最適化を解除する]をクリックします。

3 **画面に従ってパソコンを再起動する**

システム設定が最適化されます。

接続先(APN)の設定

パケット通信を行う場合の接続先(APN)の設定をします。あらかじめ、FOMA端末とパソコンを接続してください。

1 **FOMA PC設定ソフトを起動し、[接続先(APN)設定]をクリックする**

2 **[OK]をクリックする**

FOMA端末から接続先(APN)設定を取得します。しばらくお待ちください。

3 **接続先(APN)を設定する**

接続先(APN)を追加する場合
[追加]をクリックします。

接続先(APN)を編集(修正)する場合
[編集]をクリックします。

接続先(APN)を削除する場合
接続先(APN)を選び、[削除]をクリックします。

- [cid1]と[cid3]に登録されている接続先(APN)は削除できません。([cid3]を選んで[削除]をクリックしても、実際には削除されず、[mopera.net]に戻ります)

ファイルへ保存する場合
[ファイル]メニュー→[上書き保存]/[名前を付けて保存]をクリックします。

ファイルから読み込む場合
[ファイル]メニュー→[開く]をクリックし、保存したファイルを選択します。

FOMA端末から接続先(APN)情報を読み込む場合
[ファイル]メニュー→[FOMA端末から設定を取得]をクリックします。

FOMA端末へ接続先(APN)情報を書き込む場合
[ファイル]メニュー→[FOMA端末へ設定を書き込む]をクリックします。

ダイヤルアップを作成する場合
接続先(APN)を選び、[ダイヤルアップ作成]をクリックします。画面の指示に従ってパケット通信用のダイヤルアップを設定してください。

- 接続先(APN)はFOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度FOMA端末に接続先(APN)を登録する必要があります。
- パソコンに登録されている接続先(APN)を継続利用する場合は、同じ接続先(APN)の登録番号(cid)をFOMA端末に登録してください。
- Windows Me、Windows 98でFOMA端末が「COM20」より大きい番号で認識されている場合、接続先(APN)を設定するときに接続先(APN)設定の取得・書き込みができないことがあります。この場合、Windows標準添付の「ハイパーターミナル」を使って設定してください。(P.12)

FOMA PC設定ソフトを使わない通信の設定

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信または64Kデータ通信を設定する方法について説明します。設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここでは、Windows標準添付の「ハイパーターミナル」を使って説明します。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。

- 64Kデータ通信の場合、パケット通信の接続先が「mopera U」または「mopera」の場合、設定不要です。

例： Windows XPの場合

1 FOMA端末とパソコンを接続する

2 [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]をクリックする

ハイパーターミナルが起動します。

Windows 2000 Professional、Windows Meの場合

[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]をクリックします。

Windows 98の場合

[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]をクリックし、[Hypertrm.exe]をダブルクリックします。

3 [名前]に任意の名前を入力し、[OK]をクリックする

4 [電話番号]に実在しない電話番号（「0」など）を仮入力し、[接続方法]に「FOMA SO702i」を選択し、[OK]をクリックする

接続画面が表示されます。

5 [キャンセル]をクリックする

6 接続先（APN）を入力し、⏎を押す

入力形式

AT+CGDCONT=<cid>,“ PPP ”,“ APN ”⏎

2、4～10の登録番号を入力

接続先の名称を“ ”で囲んで入力

入力したATコマンドが表示されない場合

「ATE1⏎」と入力してください。

接続先（APN）が設定されると、「OK」と表示されます。

7 [ファイル]メニュー→[ハイパーターミナルの終了]をクリックする

ハイパーターミナルが終了します。

- 「現在、接続されています。切断してもよろしいですか？」と表示されたときは、「はい」を選択してください。
- Windows XPの場合、『“ XXX ”と名前付けされた接続を保存しますか？』と表示されますが、特に保存する必要はありません。
- Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98の場合、「セッションXXXを保存しますか？」と表示されますが、特に保存する必要はありません。

接続先（APN）をリセットする場合

入力形式

AT+CGDCONT=⏎（すべてのcidをリセットする場合）

AT+CGDCONT=<cid>⏎（特定のcidのみリセットする場合）

現在の接続先（APN）を表示する場合

入力形式

AT+CGDCONT?⏎

発信者番号の通知/非通知の設定

発信者番号は、お客様の大切な情報です。通知する際には、十分にご注意ください。

- 「mopera U」または「mopera」を利用する場合は、発信者番号の通知が必要です。

1 P.12の操作1～5を行う

2 パケット通信時の発信者番号の通知/非通知を設定する

入力形式
AT＊DGPIR=<n>↵
1：「184」(非通知)を付けます。
2：「186」(通知)を付けます。

入力したATコマンドが表示されない場合
「ATE1↵」と入力してください。

発信者番号の通知/非通知が設定されると、「OK」と表示されます。

■ ダイヤルアップネットワークでの通知/非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定(P.13)でも、接続先の番号に186(通知)/184(非通知)を付けることができます。＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で設定を行った場合、以下のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定(<cid>=3の場合)	＊DGPIRコマンドによる設定		
	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#	非通知		
186＊99＊＊＊3#	通知		

ダイヤルアップネットワークの設定

Windows XPの場合

1 [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[新しい接続ウィザード]をクリックする

新しい接続ウィザード画面が表示されます。

2 [次へ]をクリックする

3 [インターネットに接続する]を選び、[次へ]をクリックする

4 [接続を手動でセットアップする]を選び、[次へ]をクリックする

5 [ダイヤルアップモデムを使用して接続する]を選び、[次へ]をクリックする

6 [モデム-FOMA SO702i]をチェックし、[次へ]をクリックする

- デバイスの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

7 [ISP名]に任意の名前を入力し、[次へ]をクリックする

8 [電話番号]に接続先番号を入力し、[次へ]をクリックする

パケット通信の場合
「＊99＊＊＊<cid>#」を入力します。<cid>には接続先の登録番号を入力します。

64Kデータ通信の場合
接続先の電話番号を入力します。

9 [ユーザー名]、[パスワード]、[パスワードの確認入力]を入力し、[次へ]をクリックする

- 「mopera U」または「mopera」の場合は、[ユーザー名]、[パスワード]は空欄でも接続できます。

10 [完了]をクリックする

11 設定内容を確認し、[キャンセル]をクリックする

12 作成した接続先アイコンを選び、[ファイル]メニュー→[プロパティ]をクリックする

13 [全般]タブの各項目を確認する

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、[接続方法]で[モデム-FOMA SO702i]のみにチェックします。
- [ダイヤル情報を使う]のチェックを外します。

14 [ネットワーク]タブをクリックし、各項目を確認し、[設定]をクリックする

- [呼び出すダイヤルアップサーバーの種類]は、[PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet]を選択します。
- [この接続は次の項目を使用します]は、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のみをチェックします。[QoSパケットスケジューラ]は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。

15 すべてのチェックを外し、[OK]をクリックする

16 [OK]をクリックする

接続先とTCP/IPプロトコルが設定されます。

Windows 2000 Professionalの場合

1 [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]をクリックする

ネットワークとダイヤルアップ接続画面が表示されます。

2 [新しい接続の作成]アイコンをダブルクリックする

所在地情報画面が表示されます。

- 2回目以降は、ネットワークの接続ウィザード画面が表示されます。操作5に進んでください。

3 [市外局番]に局番を入力し、[OK]をクリックする

電話とモデムのオプション画面が表示されます。

4 [OK]をクリックする

ネットワークの接続ウィザード画面が表示されます。

5 [次へ]をクリックする

6 [インターネットにダイヤルアップ接続する]を選び、[次へ]をクリックする

7 [インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します]を選び、[次へ]をクリックする

8 [電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します]を選び、[次へ]をクリックする

9 [インターネットへの接続に使うモデムを選択する]が[FOMA SO702i]になっていることを確認し、[次へ]をクリックする

- お使いになるパソコンの動作環境によっては、画面は表示されません。その場合は、操作10に進みます。

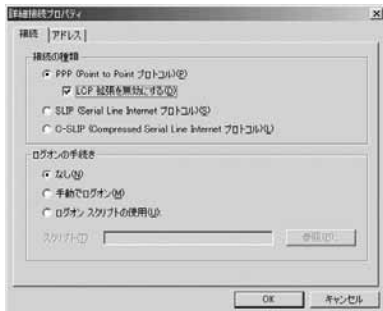
10 [電話番号]に接続先番号を入力し、[詳細設定]をクリックする

パケット通信の場合

「＊99＊＊＊<cid>#」を入力します。<cid>には接続先の登録番号を入力します。

64Kデータ通信の場合

接続先の電話番号を入力します。

11 [接続]タブの各項目を画面例のように設定する

12 [アドレス]タブをクリックし、各項目を画面列のように設定する

13 [OK]をクリックする

14 [次へ]をクリックする

15 [ユーザー名]、[パスワード]を入力し、[次へ]をクリックする

- 「mopera U」または「mopera」の場合は、[ユーザー名]、[パスワード]は空欄でも接続できます。

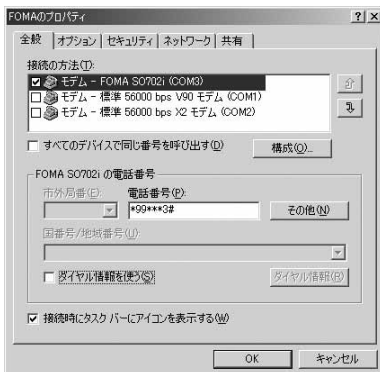
16 [接続名]に接続名（任意の名前）を入力し、[次へ]をクリックする

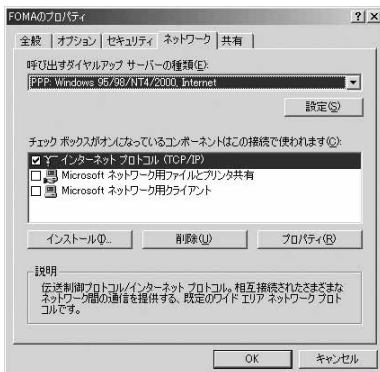
17 [いいえ]を選び、[次へ]をクリックする

18 [今すぐインターネットに接続するにはここを選んで[完了]をクリックしてください]のチェックを外し、[完了]をクリックする

19 作成した接続先アイコンを選び、[ファイル]メニュー→[プロパティ]をクリックする

20 [全般]タブの各項目を確認する

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、[接続方法]で[モデム-FOMA SO702i]のみにチェックします。
- [ダイヤル情報を使う]のチェックを外します。

21 [ネットワーク]タブをクリックし、各項目を確認し、[設定]をクリックする

- [呼び出すダイヤルアップサーバーの種類]は、[PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet]を選択します。
- コンポーネントは、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のみをチェックします。

22 すべてのチェックを外し、[OK]をクリックする

23 [OK]をクリックする

接続先とTCP/IPプロトコルが設定されます。

Windows Me/Windows 98の場合

例： Windows Meの場合

1 **[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ダイヤルアップネットワーク]をクリックする**

- ダイヤルアップネットワークを初めて起動した場合は、「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。[次へ]をクリックして、操作3に進んでください。

2 **[新しい接続]アイコンをダブルクリックする**

3 **[接続名]に接続名(任意の名前)を入力し、[次へ]をクリックする**

- [モデムの選択]が[FOMA SO702i]になっていない場合は、[FOMA SO702i]を選択します。

4 **[電話番号]に接続先番号を入力し、[次へ]をクリックする**

パケット通信の場合

「＊99＊＊＊<cid>#」を入力します。<cid>には接続先の登録番号を入力します。

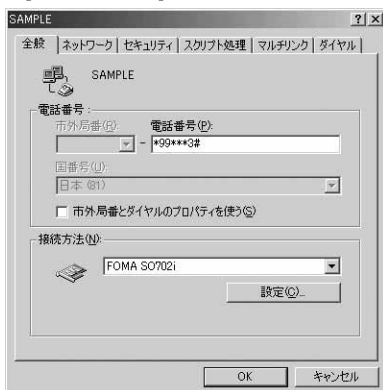
64Kデータ通信の場合

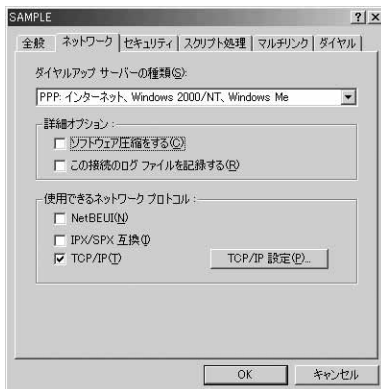
接続先の電話番号を入力します。

5 **接続名(任意の名前)を確認し、[完了]をクリックする**

6 **作成した接続先アイコンを選び、[ファイル]メニュー→[プロパティ]をクリックする**

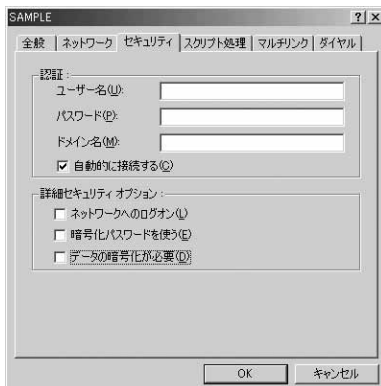
7 **[全般]タブの各項目を確認する**

- [市外局番とダイヤルのプロパティを使う]のチェックを外します。
- [接続方法]が[FOMA SO702i]になっていない場合は、[FOMA SO702i]を選択します。

8 **[ネットワーク]タブをクリックし、各項目を画面例のように設定する**

- [ダイヤルアップサーバーの種類]、[詳細オプション]、[使用できるネットワークプロトコル]は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおりに設定します。

Windows 98の場合

[サーバーの種類]タブをクリックし、各項目を確認します。

9 **[セキュリティ]タブをクリックし、[ユーザー名]、[パスワード]を入力する**

- [自動的に接続する]にチェックをしておくと、接続時に[ユーザー名]、[パスワード]などを確認する画面が出なくなり、すぐに接続するようになります。
- パスワードを変更した場合は、この画面でパスワードを入力し直します。
- 「mopera U」または「mopera」の場合は、[ユーザー名]、[パスワード]は空欄でも接続できます。

10 **[OK]をクリックする**

接続先とTCP/IPプロトコルが設定されます。

ダイヤルアップ接続する

あらかじめ、FOMA端末とパソコンを接続します。

例： Windows XPの場合

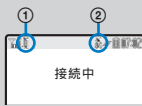
1 **[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワーク接続]をクリックする**

2 **接続先アイコンをダブルクリックする**

3 **各項目を確認し、[ダイヤル(D)]をクリックする**

- 「mopera U」または「mopera」の場合は、[ユーザー名]、[パスワード]は空欄でも接続できます。

接続が実行されます。

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- 通信中はFOMA端末にアイコンが表示されます。

①「」パケット通信中、データ送受信中
「」パケット通信中、データ送受信なし
②「」64Kデータ通信中

ダイヤルアップを切断する

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するためには、以下の操作を行ってください。

1 **タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする**

ダイヤルアップアイコン

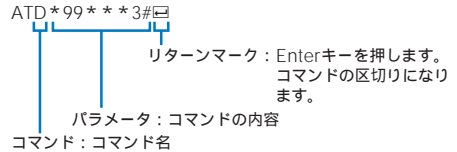
2 **[切断]をクリックする**

接続が切断されます。

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の機能の設定や変更を行うためのコマンド(命令)です。

■ ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ずATを付けて入力します。必ず半角英数字で入力してください。以下に入力例を示します。

ATコマンドはコマンドに続くパラメータ(数字や記号)を含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から⏎を押した直前までの文字のことです。

■ ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作するには、パソコンをターミナルモードにしてください。
ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末(ターミナル)のように動作させるモードです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている機器や回線に送られます。

- **オフラインモード**
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作を行います。
- **オンラインデータモード**
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤作動させることがあります。通信中はATコマンドを入力しないでください。
- **オンラインコマンドモード**
  FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードとオンラインコマンドモードに切り替えるには、以下の2つの方法があります。

- 「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C(※)のER信号をOFFにします。
  ※ USBインターフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替える場合は、「ATO⏎」と入力します。

ATコマンド一覧

FOMA SO702iで使用できるATコマンドです。

［&F］ ： AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。

［&W］： AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。ATZコマンドで設定値を呼び戻すことができます。

コマンド		概要・パラメータ	入力例
A/		直前に実行したコマンドを再実行します。	A/
AT%V		FOMA端末のバージョンを「Verx.xx」の形式で表示します。	AT%V
AT&C<n>		DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	AT&C1
	n=0	CD信号は常にONにします。（パラメータ省略時）	
[&F][&W]	n=1	CD信号は相手モデムの状態に従って変化します。（お買い上げ時）	
AT&D<n>		DTEから受け取る回路ER信号がON/OFF遷移したときの動作を選択します。	AT&D1
	n=0	ER信号の状態を無視します。（常にON）（パラメータ省略時）	
	n=1	ER信号がONからOFFに変化するとオンラインコマンドモードになります。	
[&F][&W]	n=2	ER信号がONからOFFに変化するとオフラインモードになります。（お買い上げ時）	
AT&E<n>		接続時の速度表示の仕様を選択します。	AT&E1
	n=0	無線区間通信速度を表示します。	
[&F][&W]	n=1	パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示します。（お買い上げ時）	
AT&F<n>		FOMA端末のATコマンド設定値をお買い上げ時の設定にします。通信中に実行した場合は、通信切断処理を行います。	AT&F0
	n=0	n=0のみ指定可能（省略可）	
AT&S<n>		FOMA端末が出力するDR信号の制御を設定します。	AT&S0
	n=0	DR信号は常にONにします。（お買い上げ時、パラメータ省略時）	
[&F][&W]	n=1	回線接続時にDR信号をONにします。	
AT&W<n>		現在の設定値をFOMA端末に書き込みます。	AT&W0
	n=0	n=0のみ指定可能（省略可）	
AT＊DANTE		FOMA端末の電波の受信レベルを「＊DANTE:m」の形式で表示します。 m=0：圏外、m=1〜3：FOMA端末に表示されるアンテナの本数	AT＊DANTE AT＊DANTE=?
AT＊DGANSM=<n>		パケット着信呼に対して着信拒否/着信許可を設定します。	AT＊DGANSM=0 AT＊DGANSM? AT＊DGANSM=?
	n=0	着信拒否設定と着信許可設定をOFFにします。（お買い上げ時）	
	n=1	着信拒否設定をONにします。	
	n=2	着信許可設定をONにします。	
AT＊DGAPL=<n>[,<cid>]		パケット着信呼に対して着信許可を行う接続先（APN）を設定します。APNは、「+CGDCONT」で定義された<cid>パラメータを使用します。 <cid>が省略された場合には、すべてのcidを追加/削除します。	AT＊DGAPL=0,1 AT＊DGAPL? AT＊DGAPL=?
	n=0	<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加します。	
	n=1	<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除します。	
AT＊DGARL=<n>[,<cid>]		パケット着信呼に対して着信拒否を行う接続先（APN）を設定します。APNは、「+CGDCONT」で定義された<cid>パラメータを使用します。 <cid>が省略された場合には、すべてのcidを追加/削除します。	AT＊DGARL=0,1 AT＊DGARL? AT＊DGARL=?
	n=0	<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加します。	
	n=1	<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除します。	
AT＊DGPIR=<n>		パケット通信の発着信時の番号通知/非通知を設定します。	AT＊DGPIR=0 AT＊DGPIR? AT＊DGPIR=?
	n=0	APNをそのまま使用します。（お買い上げ時）	
	n=1	APNに「184」を付けます。	
	n=2	APNに「186」を付けます。	
AT＊DRPW		FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を「＊DRPW:m」の形式（m=0〜75）で表示します。	AT＊DRPW AT＊DRPW=?
AT+CEER		直前の通信の切断理由を表示します。（P.22）	AT+CEER AT+CEER=?

コマンド		概要・パラメータ	入力例
AT+CGDCONT=[<cid>[,“PPP”[,“<APN>”]]]		パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	AT+CGDCONT=2,“PPP”,“abc” AT+CGDCONT= ※1 AT+CGDCONT=<cid> ※2 AT+CGDCONT? AT+CGDCONT=?
	cid=1～10	FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。	
	APN=任意	接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。	
AT+CGEQMIN=[<cid.[,,<n>[,<m>]]]		パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。	AT+CGEQMIN=2,,64,384 AT+CGEQMIN=2,,64 AT+CGEQMIN=2,,,384 AT+CGEQMIN= ※1 AT+CGEQMIN=<cid> ※2
	cid=1～10	FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。	
	n=なし/64	FOMA端末と基地局間の上り最低通信速度（Kbps）です。 なし：すべて速度を許容します。（お買い上げ時） 64：パケット通信がつながらない場合があります。	
	m=なし/384	FOMA端末と基地局間の下り最低通信速度（Kbps）です。 なし：すべて速度を許容します。（お買い上げ時） 384：パケット通信がつながらない場合があります。	
AT+CGEQREQ=[<cid>]		パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	AT+CGEQREQ= ※1 AT+CGEQREQ=<cid> ※2
	cid=1～10	FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。	
AT+CGMR		FOMA端末のバージョンを16桁の数字で表示します。	AT+CGMR AT+CGMR=?
AT+CGREG=<n>		ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。	AT+CGREG=1 AT+CGREG? AT+CGREG=?
	n=0	通知しません。（お買い上げ時）	
[&F][&W]	n=1	圏内/圏外の登録状態を「+CGREG:<n>,<stat>」の形式で通知します。 stat=0：圏外、stat=1：圏内（home）、stat=4：不明、stat=5：圏内（visitor）	
AT+CGSN		FOMA端末の製造番号を表示します。	AT+CGSN AT+CGSN=?
AT+CLIP=<n>		64Kデータ通信の着信時に相手の発信者番号をパソコンに表示するかどうかを設定します。 AT+CLIP?を入力すると、「+CLIP:n,m」が表示されます。 m=0：発信時に相手に発信者番号を通知しないネットワーク設定、 m=1：発信時に相手に発信者番号を通知するネットワーク設定、 m=2：不明	AT+CLIP=0 AT+CLIP? AT+CLIP=?
	n=0	表示しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）	
[&F][&W]	n=1	表示します。	
AT+CLIR=<n>		64Kデータ通信の発信時に相手に電話番号を通知するかどうかを設定します。 AT+CLIR?を入力すると、「+CLIR:n,m」が表示されます。 m=0：CLIRは未起動（常時通知）、m=1：CLIRは常時起動（常時非通知）、m=2：不明、m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト）、m=4：CILRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=0 AT+CLIR? AT+CLIR=?
	n=0	CLIRサービスの契約の設定に従います。（パラメータ省略時）	
	n=1	通知しません。	
	n=2	通知します。（お買い上げ時）	
AT+CMEE=<n>		FOMA端末のエラーレポートの形式を設定します。（P.22）	AT+CMEE=0 AT+CMEE? AT+CMEE=?
	n=0	「ERROR」を表示します。（お買い上げ時、パラメータ省略時）	
	n=1	「+CME ERROR:xxxx」の形式（xxxxは数字）で表示します。	
[&F][&W]	n=2	「+CME ERROR:xxxx」の形式（xxxxは文字）で表示します。	
AT+CNUM		FOMA端末の自局番号を「+CNUM:,“自局電話番号”,type」の形式で表示します。 type=129：国際アクセスコード+を含まない、type=145：国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM AT+CNUM? AT+CNUM=?
AT+CR=<mode>		回線接続時に「CONNECT」を表示する前に、通信の種別を表示するかどうかを設定します。	AT+CR=0 AT+CR? AT+CR=?
	mode=0	表示しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）	
[&F][&W]	mode=1	「+CR:serv」の形式で表示します。 serv=SYNC：64Kデータ通信、serv=GPRS：パケット通信	
AT+CRC=<n>		着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	AT+CRC=0 AT+CRC? AT+CRC=?
	n=0	使用しません。（お買い上げ時）	
[&F][&W]	n=1	使用します。	

※1　すべてのcidをお買い上げ時の設定に戻します。
※2　指定したcidをお買い上げ時の設定に戻します。

コマンド		概要・パラメータ	入力例
AT+CREG=<n>		圏外/圏内情報を表示するかどうかを設定します。 AT+CREG?を入力すると、「+CREG:<n>,<stat>」の形式で表示します。 stat=0：圏外、stat=1：圏内（home）、stat=4：不明、stat=5：圏内（visitor）	AT+CREG=1 AT+CREG? AT+CREG=?
	n=0	表示しません。（お買い上げ時）	
[&F][&W]	n=1	表示します。	
AT+GMI		FOMA端末の製造会社名を表示します。	AT+GMI AT+GMI=?
AT+GMM		FOMA端末名を表示します。	AT+GMM AT+GMM=?
AT+GMR		FOMA端末のバージョンを表示します。	AT+GMR AT+GMR=?
AT+IFC=<n,m>		パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 nはDCE by DTEの制御、mはDTE by DCEの制御を設定します。 mを省略すると、DCE by DTEと同じ入力値になります。	AT+IFC=2,2 AT+IFC? AT+IFC=?
	n=0	フロー制御を行いません。	
	n=1	XON/XOFFフロー制御を行います。	
	n=2	RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行います。（お買い上げ時）	
	m=0	フロー制御を行いません。	
	m=1	XON/XOFFフロー制御を行います。	
[&F][&W]	m=2	RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行います。（お買い上げ時）	
AT+WS46=<n>		発信時にFOMA端末が使用する無線ネットワークを設定します。	AT+WS46=22 AT+WS46? AT+WS46=?
[&F][&W]	n=22	FOMAネットワーク（固定値）	
AT¥S		コマンドの設定内容とSレジスタを表示します。	AT¥S
AT¥V<n>		接続時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを選択します。	AT¥V0
	n=0	拡張リザルトコードを使用しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）	
[&F][&W]	n=1	拡張リザルトコードを使用します。	
ATA		FOMA端末が着信したモードに従って着信処理をします。	
ATD		パケット通信または64Kデータ通信の発信をします。 パケット通信の場合：「ATD＊99＊＊＊cid#」の形式で入力します。cidを省略すると、cid=1になります。「ATD184＊99」で始まる形式で入力した場合、指定したcidのAPNに対して184（発信者番号通知なし）が付加されます。（186も同様です） 64Kデータ通信の場合：「ATD電話番号」の形式で入力します。 リダイヤル発信の場合：「ATDL」または「ATDN」の形式で入力します。	ATD＊99＊＊＊3#
ATE<n>		パソコンから送信された文字をエコーバックするかどうかを設定します。	ATE0
	n=0	エコーバックしません。（パラメータ省略時）	
[&F][&W]	n=1	エコーバックします。（お買い上げ時）	
ATH		パケット通信または64Kデータ通信を切断します。	ATH
ATI<n>		認識コードを表示します。	ATI0
	n=0	「NTT DoCoMo」と表示します。（パラメータ省略時）	
	n=1	FOMA端末名を表示します。	
	n=2	FOMA端末のバージョンを表示します。	
ATO		通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに移行します。	ATO
ATQ<n>		パソコンにリザルトコードを表示するかどうかを設定します。	ATQ1
	n=0	表示します。（お買い上げ時、パラメータ省略時）	
[&F][&W]	n=1	表示しません。	
ATS0=<n>		FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	ATS0=0 ATS0?
	n=0	自動着信しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）	
[&F][&W]	n=1～255	呼び出し回数です。	
ATS2=<n>		エスケープキャラクタを設定します。	ATS2=0 ATS2?
	n=0～126	43：お買い上げ時、0：パラメータ省略時	
[&F]	n=127	エスケープ処理を無効にします。	

コマンド		概要・パラメータ	入力例
ATS3=<n>		ATコマンドの文字列の最後を認識する復帰(CR)キャラクタを設定します。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付けられます。	ATS3=13 ATS3?
[&F]	n=13	お買い上げ時	
ATS4=<n>		改行(LF)キャラクタを設定します。英文字でリザルトコードを表示する場合、復帰(CR)キャラクタの次に付けられます。	ATS4=10 ATS4?
[&F]	n=10	お買い上げ時	
ATS5=<n>		ATコマンド入力中に入力バッファの最後のキャラクタを削除するバックスペース(BS)キャラクタを設定します。	ATS5=8 ATS5?
[&F]	n=8	お買い上げ時	
ATS6=<n>		ダイヤルするまでのポーズ時間(秒)を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、動作しません。	ATS6=5 ATS6?
[&F]	n=2〜10	5:お買い上げ時、パラメータ省略時	
ATS8=<n>		カンマダイヤルするまでのポーズ時間(秒)を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、ポーズ時間は3秒で固定です。	ATS8=3 ATS8?
[&F]	n=1〜255	60:お買い上げ時、121〜255:120とみなす	
ATS10=<n>		自動切断の遅延時間(1/10秒)を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、動作しません。	ATS10=1 ATS10?
[&F][&W]	n=1〜255	1:お買い上げ時、パラメータ省略時	
ATS30=<n>		64Kデータ通信時、データの送受信がなかった場合に通信を切断するまでの時間(分)を設定します。	ATS30=0 ATS30?
	n=0	切断しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時)	
[&F]	n=1〜255	切断するまでの時間(分)です。	
ATS103=<n>		64Kデータ通信で、着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	ATS103=0 ATS103?
	n=0	＊(パラメータ省略時)	
	n=1	/(お買い上げ時)	
[&F]	n=2	¥	
ATS104=<n>		64Kデータ通信で、発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	ATS104=0 ATS104?
	n=0	#(パラメータ省略時)	
	n=1	%(お買い上げ時)	
[&F]	n=2	&	
ATV<n>		リザルトコードの表示方法を設定します。	ATV1
	n=0	数字で表示します。(パラメータ省略時)	
[&F][&W]	n=1	文字で表示します。(お買い上げ時)	
ATX<n>		ビジートーン検出、ダイヤルトーン検出、通信速度表示を設定します。	ATX1
	n=0	ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし(パラメータ省略時)	
	n=1	ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり	
	n=2	ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示なし	
	n=3	ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり	
[&F][&W]	n=4	ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり(お買い上げ時)	
ATZ		FOMA端末の設定をAT&Wで記憶させた不揮発メモリの内容にします。通信中に実行した場合は、回線切断処理を行います。	ATZ
+++		FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えます。エスケープガード区間は、1秒間の固定です。	+++

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
27	APNが存在しない、または正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため通信できません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手が呼び出し中のため通信できません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信しました、または着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（FOMAカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

リザルトコード

ATVnコマンド（P.21）がn=1に設定されている場合は文字表示形式（初期値）、n=0に設定されている場合は数字表示形式でリザルトコードが表示されます。

■ リザルトコード一覧

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信がきています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けられません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンが検出できません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。 通信ネットワークが混雑しています。 しばらくたってから接続し直してください。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

● &E0のとき

FOMA端末－基地局間の接続速度を表示します。

数字表示	文字表示	接続速度
121	CONNECT 32000	32,000bps
122	CONNECT 64000	64,000bps
125	CONNECT 384000	384,000bps

● &E1のとき

FOMA端末－パソコン間の接続速度を表示します。

数字表示	文字表示	接続速度
5	CONNECT 1200	1,200bps
10	CONNECT 2400	2,400bps
11	CONNECT 4800	4,800bps
12	CONNECT 9600	9,600bps
16	CONNECT 19200	19,200bps
17	CONNECT 38400	38,400bps
18	CONNECT 57600	57,600bps
19	CONNECT 115200	115,200bps
20	CONNECT 230400	230,400bps
21	CONNECT 460800	460,800bps

● 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－パソコン間はFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■ リザルトコード表示例

● **ATX0が設定されている場合**

接続完了のときは、AT¥Vコマンド(P.20)の設定にかかわらず、「CONNECT」のみ表示します。

文字表示例	数字表示例
ATD∗99∗∗∗3# CONNECT	ATD∗99∗∗∗3# 1

● **ATX1が設定されている場合※**

• **ATX1、AT¥V0が設定されている場合**

接続完了のときは、「CONNECT<FOMA端末－パソコン間の速度>」の書式で表示します。

文字表示例	数字表示例
ATD∗99∗∗∗3# CONNECT 460800	ATD∗99∗∗∗3# 1 21

• **ATX1、AT¥V1が設定されている場合※**

接続完了のときは、「CONNECT<FOMA端末－パソコン間の速度>PACKET<接続先APN>/<上り方向(FOMA端末→基地局間)の最高速度>/<下り方向(FOMA端末←基地局間)の最高速度>」の書式で表示します。

文字表示例	数字表示例
ATD∗99∗∗∗3# CONNECT 460800 PACKET mopera.net/64/384	ATD∗99∗∗∗3# 1 21 5

(mopera.netに、上り最大64Kbps、下り最大348Kbpsで接続したことを表します)

※ ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。